令和２年度
渋川市市民意識調査結果報告書

2020

令和３年１月

目　　次

Ⅰ　調査概要 1
1　調査目的 1
2　調査方法 1
3　調査票の配布・回収状況 1
4　グラフ中の表記 1

Ⅱ　調査結果 3
1　回答者の属性について 3
（１）性別 3
（２）年代 3
（３）職業 3
（４）家族構成 4
（５）居住地区 4
（６）居住年数 4
2　市政との関わりについて 5
問１　合併後のまちづくり 5
問２　合併後の市民サービス 8
問３　今後の定住意向 11
3　市の現状の評価について 13
問４　市の取組の満足度・重要度 13
（１）安全・安心、暮らし分野 15
（２）健康、福祉、スポーツ分野 18
（３）産業分野 22
（４）都市基盤、自然環境分野 25
（５）教育、文化分野 29
（６）自治、協働分野 31
（７）４８項目の満足度と重要度の関係 35
4　男女共同参画について 37
問５　男女共同参画についての考え 37
5　移住・定住について 39
問６　保育料の無料化と学校給食費の完全無料化について 39
問７　「移住者住宅支援制度」について 41

問８　渋川市に住み続けてもらうための市の取組について.....43
問９　自宅や実家の空き家の可能性について.....45
問１０　空き家になる可能性がある住宅の地区について.....47

６　インターネットの利用環境について.....48
問１１　インターネットの利用手段.....48

７　環境問題について.....50
問１２　関心のある環境問題.....50
問１３　低炭素社会・循環型社会への取組について.....52
問１４　持続可能な社会の実現に向けた取組について.....54

８　老人福祉センターについて.....56
問１５　老人福祉センターの認知度.....56
問１６　老人福祉センターの利用状況・利用意向について.....58
問１７　渋川老人福祉センターの今後の方向性について.....60
問１８　前問【問１７】のように回答した理由.....62

９　がん検診について.....64
問１９・２０　がん検診の受診状況.....64
問２１　検診を受けなかった理由.....77

１０　公民館について.....79
問２２　参加したいと思う公民館の講座やイベント.....79
問２３　公民館の講座やイベントで参加しやすい時間・時期.....81
問２４　公民館の講座やイベントなどの利用頻度.....83

１１　市政について.....85
問２５　住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと.....85

資料.....90
１．４８項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）.....90
２．４８項目の年代別満足度・重要度（加重平均値）.....108
３．４８項目の項目別・年代別満足度・重要度（加重平均値）.....115
４．分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値）.....163
５．市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による３区分比較.....169
６．参加したいと思う公民館の講座やイベントと参加しやすい時間・時期のクロス集計.....196
７．調査票.....198

Ⅰ　調査概要

1　調査目的

この調査は、市民の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするため実施しました。

2　調査方法

① 調査地域　　渋川市内
② 調査対象　　市内に居住する 18 歳以上の市民 4,000 人を無作為抽出
③ 調査方法　　アンケート用紙による自記式アンケート
④ 調査時期　　令和２（2020）年 10 月 28 日～11 月 17 日
⑤ 配布回収方法　郵送による直接配布、直接回収

3　調査票の配布・回収状況

① 配布数　　4,000 通
② 回収数　　1,852 通
③ 回収率　　46.3％

4　グラフ中の表記

① 各設問に対する回答者数を n で表記しています。
② 数値は小数第２位を四捨五入しているため、合計が 100.0％にならない場合があります。
③ 合併後のまちづくり（問 1）では、以下の算出方法で加重平均値を求めて点数化しています。点数は 2 点から－2 点の間に分布し、中間点の 0.0 点を境として、2 点に近いほど合併後のまちづくりが「進んだ」(問 1)、－2 点に近いほど「進んでいない」(問 1)、であることを示します。

	問 1 選択肢	加重値
ア	進んだ	2
イ	どちらかと言えば進んだ	1
ウ	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば進んでいない	－1
オ	進んでいない	－2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア}\times 2 + \text{イ}\times 1 + \text{ウ}\times 0 + \text{エ}\times(-1) + \text{オ}\times(-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

④ 市の取組の満足度・重要度（問 4）の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は 2 点から－2 点の間に分布し、中間点の 0.0 点を境として、2 点に近いほど評価が高く、－2 点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	－1
オ	不満	重要ではない	－2

$$加重平均値＝\frac{ア×2＋イ×1＋ウ×0＋エ×（－1）＋オ×（－2）}{無回答を除く回答者数}$$

⑤ 本文中の「R元年度」「H30 年度」「H29 年度」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「令和元年度」「平成 30 年度」「平成 29 年度」と示します。
これら昨年度までの結果について、今回（令和 2 年度）と「R元年度」「H30 年度」の 3 か年での比較を基本とし、「H29 年度」の結果については経年傾向を把握する上で参考として用いることとします。
なお、これらの調査結果との比較において、選択肢の文章表現等が若干異なる場合、本調査の内容に準じたものとみなして、本調査票の表現で表記しています。

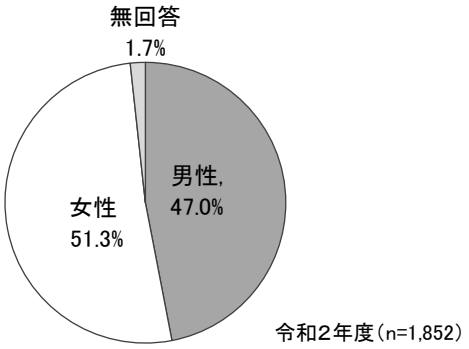
R元年度	市民意識調査 令和元（2019）年 5～6 月実施 配布 4,000 通・回収 1,288 通（回収率 32.2%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）
H30 年度	市民意識調査 平成 30（2018）年 5～6 月実施 配布 4,000 通・回収 1,255 通（回収率 31.4%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）
H29 年度	市民意識調査 平成 29（2017）年 5～6 月実施 配布 4,000 通・回収 1,438 通（回収率 36.0%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）

Ⅱ　調査結果

1　回答者の属性について

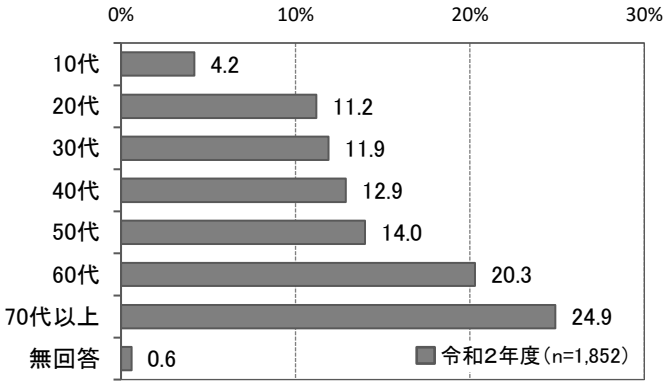
（1）性別

男性（47.0%）が 4 割以上、女性（51.3%）が 5 割以上となっています。



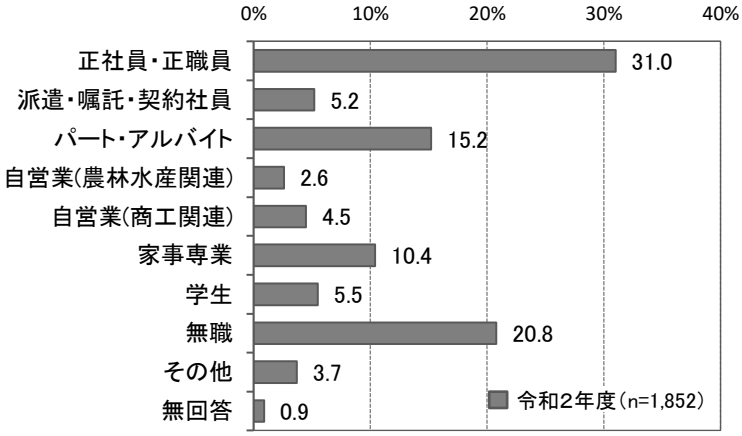
（2）年代

70 代以上（24.9%）が最も高く、次いで 60 代（20.3%）、50 代（14.0%）となっています。



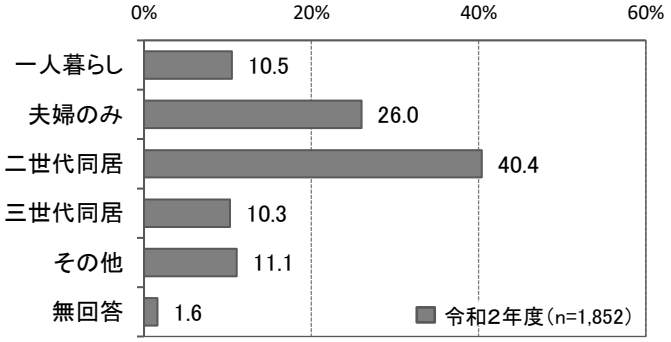
（3）職業

正社員・正職員（31.0%）が約 3 割で最も高く、次いで無職（20.8%）が約 2 割、パート・アルバイト（15.2%）、家事専業（10.4%）となっています。



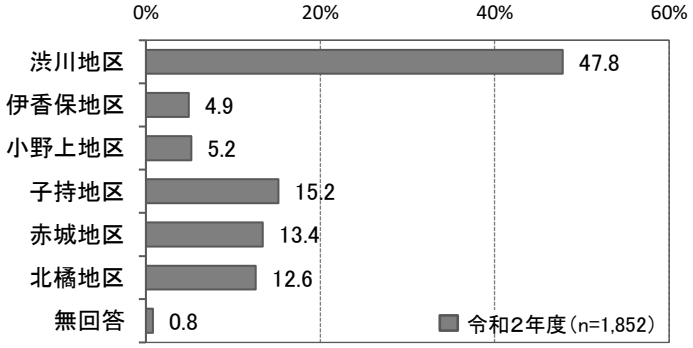
（4）家族構成

二世代同居（40.4%）が約 4 割で最も高く、次いで夫婦のみ（26.0%）、一人暮らし（10.5%）となっています。



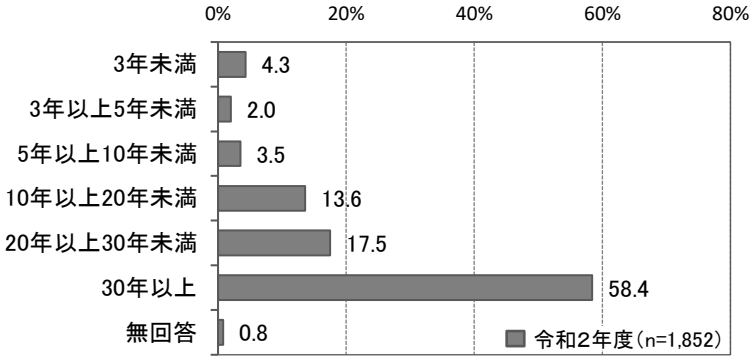
（5）居住地区

渋川地区（47.8%）が約 5 割で最も高く、次いで子持地区（15.2%）、赤城地区（13.4%）、北橘地区（12.6%）となっています。



（6）居住年数

30 年以上（58.4%）が約 6 割で最も高く、次いで 20 年以上 30 年未満（17.5%）、10 年以上 20 年未満（13.6%）となっています。



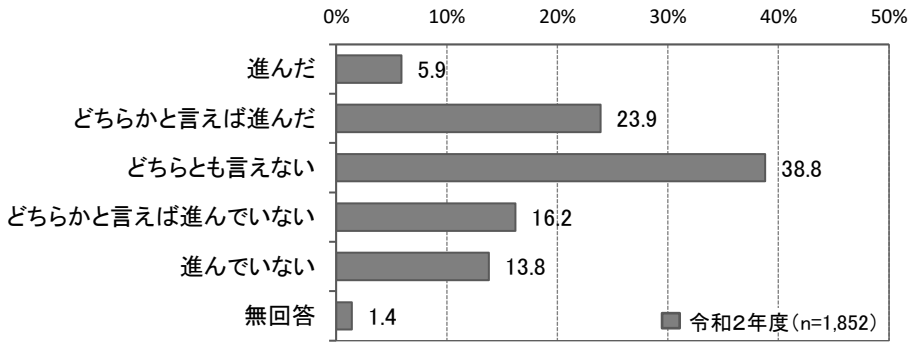
２　市政との関わりについて

問１　合併後のまちづくり

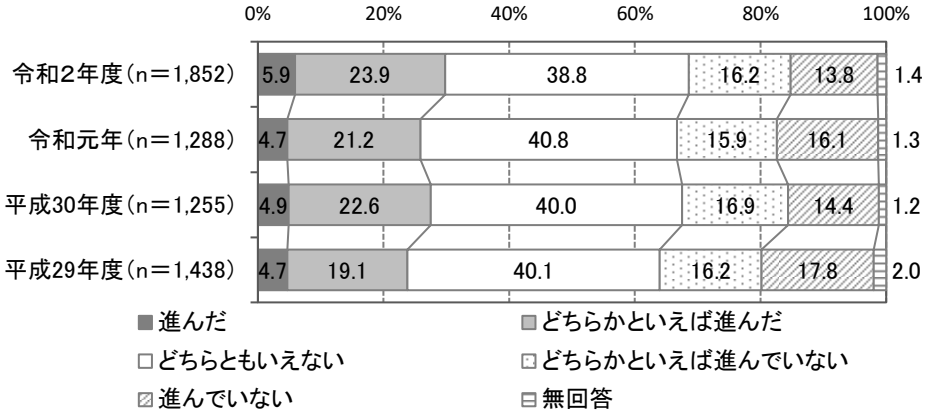
あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。（１つ選択）

「どちらとも言えない」（38.8%）が約４割で最も高くなっています。

「進んだ」（5.9%）と「どちらかと言えば進んだ」（23.9%）の合計値『進んだ』（29.8%）は約３割、「どちらかと言えば進んでいない」（16.2%）と「進んでいない」（13.8%）の合計値『進んでいない』（30.0%）は３割であり、ほぼ同数となっています。



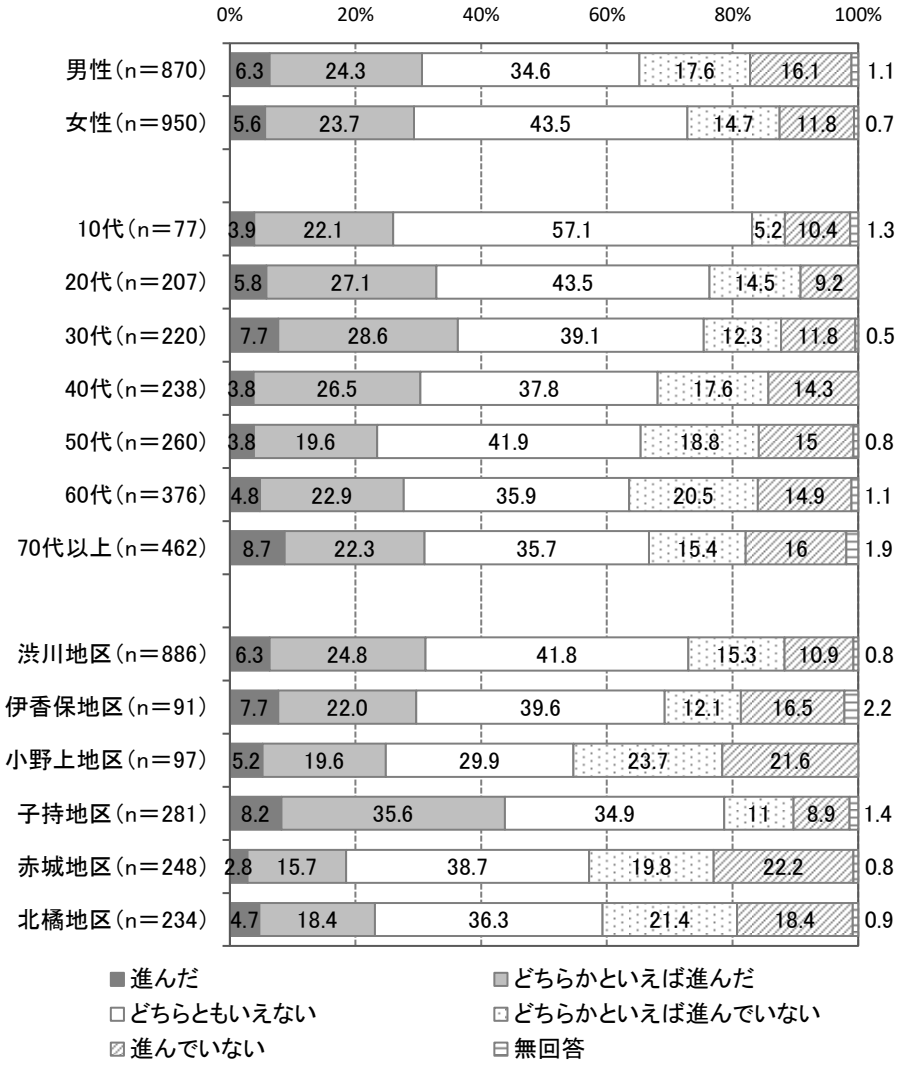
前回までの調査結果と比較すると、合計値『進んだ』（今回 29.8%、Ｒ元年度 25.9%、H30 年度 27.5%、H29 年度 23.8%）はＲ２年度が最も高くなっています。合計値『進んでいない』（今回 30.0%、Ｒ元年度 32.0%、H30 年度 31.3%、H29 年度 34.0%）はＲ２年度が最も低くなっています。



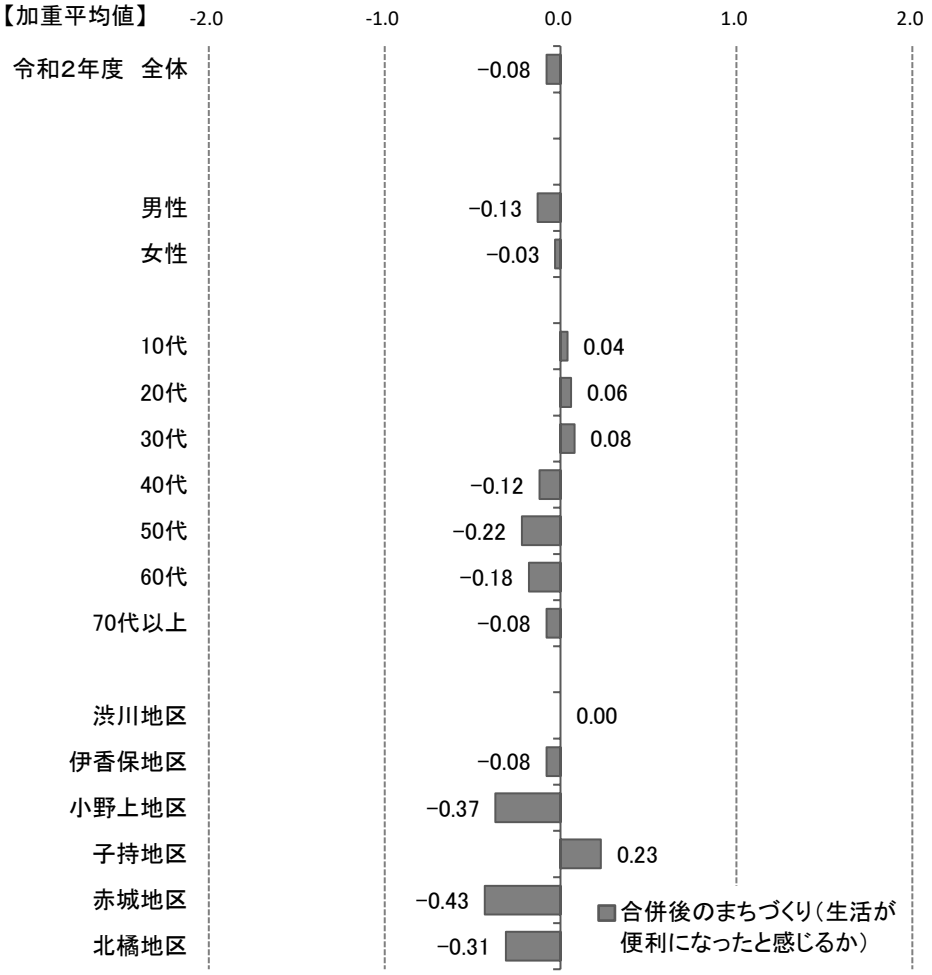
属性別に見ると、「進んだ」と「どちらかと言えば進んだ」の合計値『進んだ』は、性別では大きな差は見られません。

年代別では 30 代（36.3%）が最も高く、対照的に 50 代（23.4%）が最も低くなっています。

地区別では子持地区（43.8%）が 4 割以上で最も高く、次いで渋川地区（31.1%）、伊香保地区（29.7%）が約 3 割で比較的高い一方、小野上地区（24.8%）、北橘地区（23.1%）、赤城地区（18.5%）は 2 割未満となっています。



加重平均値を見ると、全体（－0.08 ポイント）ではマイナス値となっており、子持地区（0.23 ポイント）、30 代（0.08 ポイント）、20 代（0.06 ポイント）、10 代（0.04 ポイント）、渋川地区（0.00 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっています。また、年代別では 50 代が－0.22 ポイントで最もマイナスの値が大きくなっています。地区別では赤城地区（－0.43 ポイント）のマイナス値が最も大きく、次いで小野上地区（－0.37 ポイント）、北橘地区（－0.31 ポイント）のマイナス値が大きくなっています。

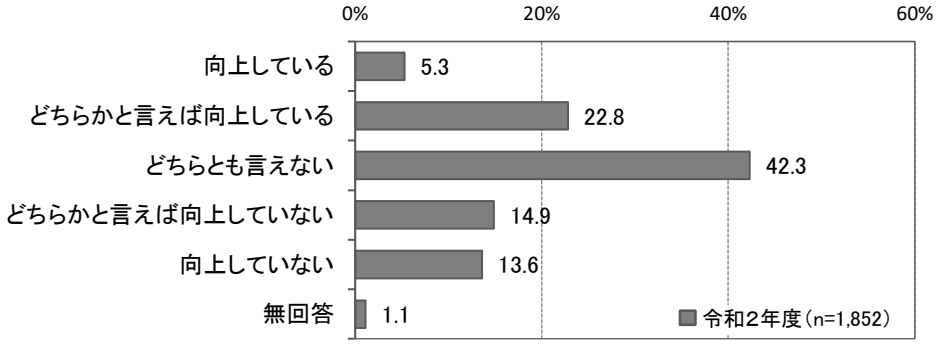


問２　合併後の市民サービス

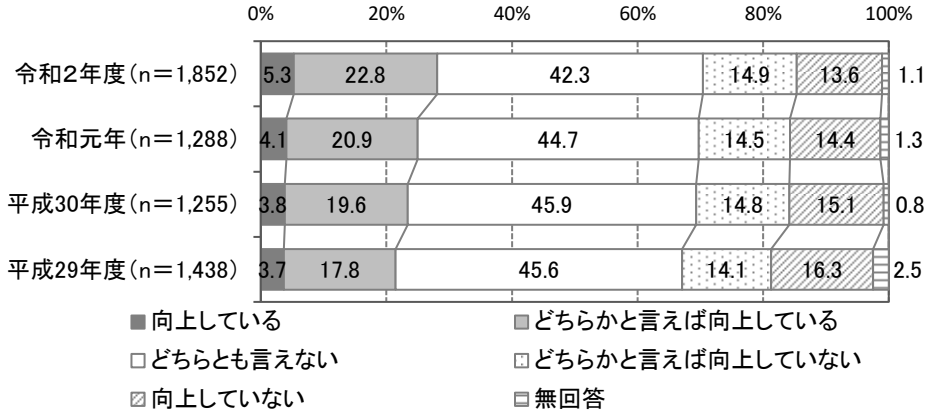
あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。（１つ選択）

「どちらとも言えない」（42.3%）が４割以上で最も高くなっています。

「向上している」（5.3%）と「どちらかと言えば向上している」（22.8%）の合計値『向上している』（28.1%）は約 3 割、「どちらかと言えば向上していない」（14.9%）と「向上していない」（13.6%）の合計値『向上していない』（28.5%）も約３割で拮抗しています。



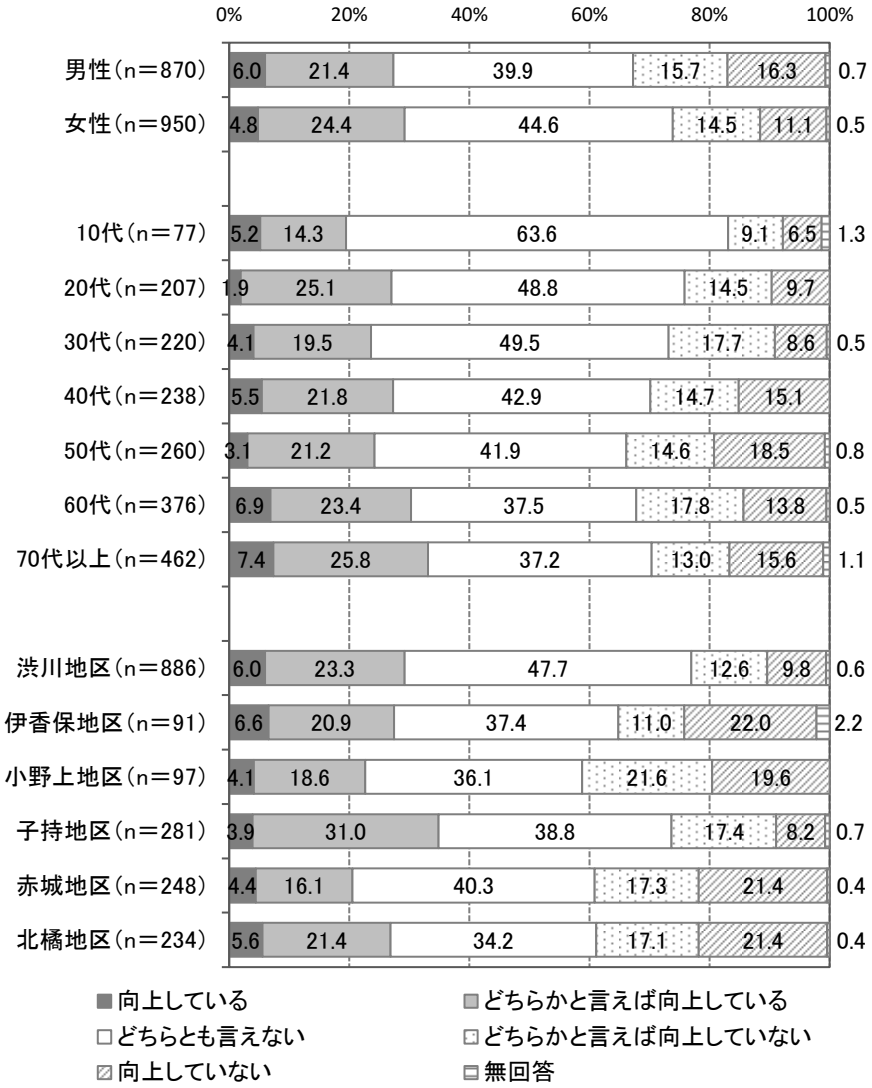
前回までの調査結果と比較すると、合計値『向上している』（今回 28.1%、R元年度 25.0%、H30 年度 23.4%、H29 年度 21.5%）は高くなる傾向がうかがえます。一方、合計値『向上していない』（今回 28.5%、R元年度 28.9%、H30 年度 29.9%、H29 年度 30.4%）は微減しています。



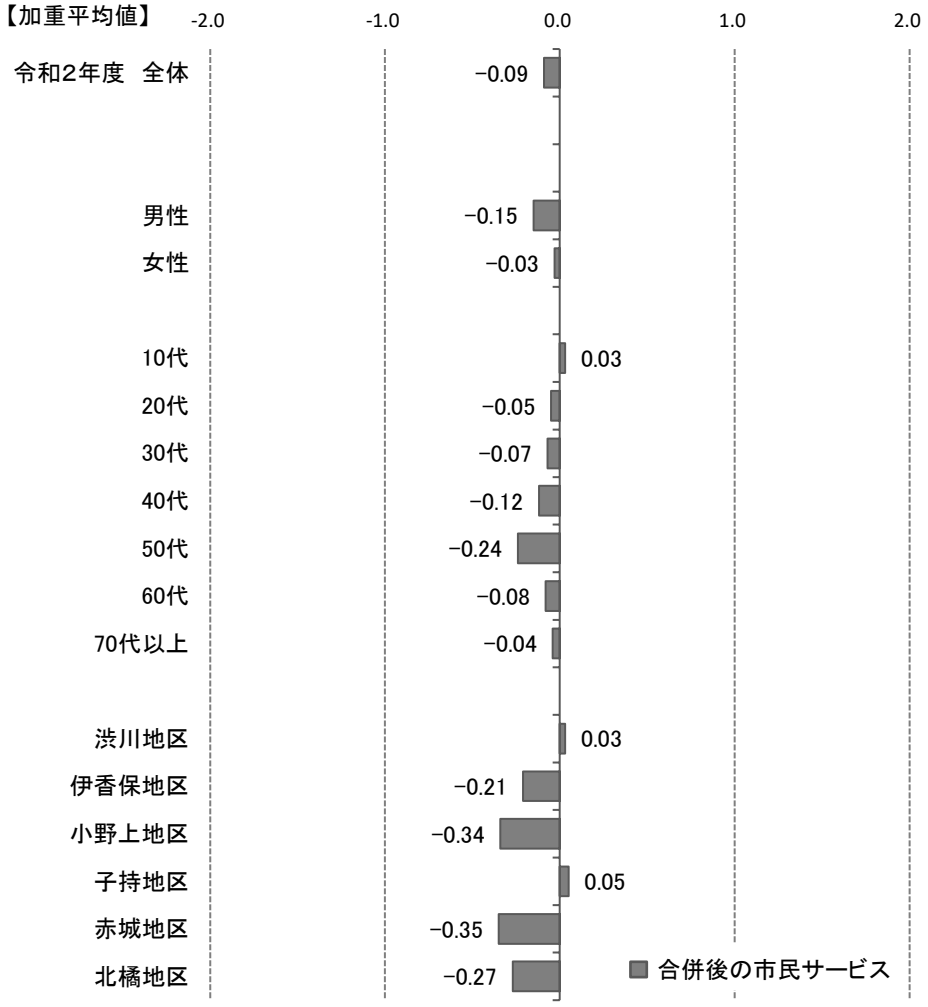
属性別に見ると、「向上している」と「どちらかと言えば向上している」の合計値『向上している』は、性別では大きな差は見られません。

年代別では 70 代以上（33.2%）と 60 代（30.3%）が 3 割以上で高く、次いで 40 代（27.3%）、20 代（27.0%）となっています。一方、10 代（19.5%）のみ 2 割未満で低くなっています。

地区別では子持地区（34.9%）が 3 割以上で最も高く、次いで渋川地区（29.3%）となっています。一方、赤城地区（20.5%）が最も低くなっています。



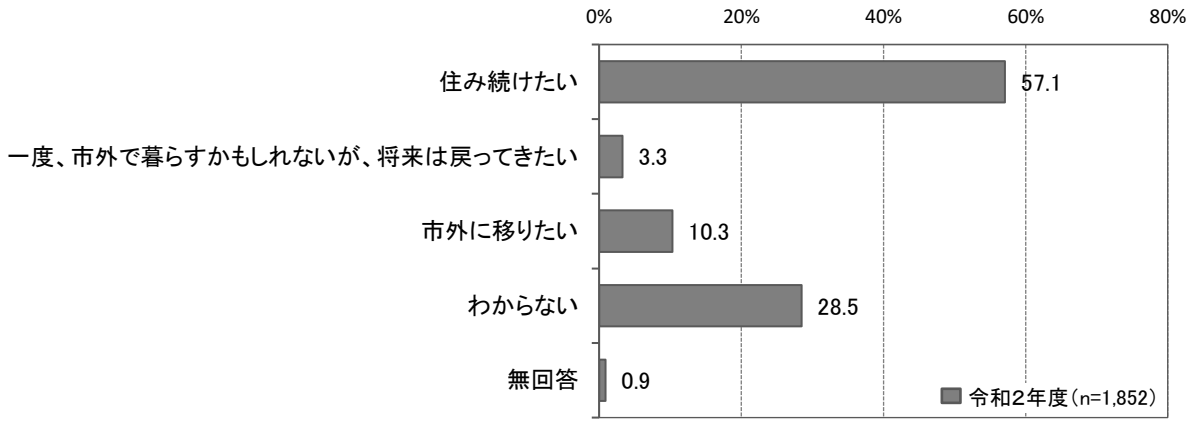
加重平均値を見ると、全体（－0.09 ポイント）ではマイナス値となっており、10 代（0.03 ポイント）、渋川地区（0.03 ポイント）、子持地区（0.05 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっています。また、年代別では 50 代（－0.24 ポイント）のマイナス値が最も大きくなっています。地区別では赤城地区（－0.35 ポイント）、小野上地区（－0.34 ポイント）のマイナス値が大きくなっています。



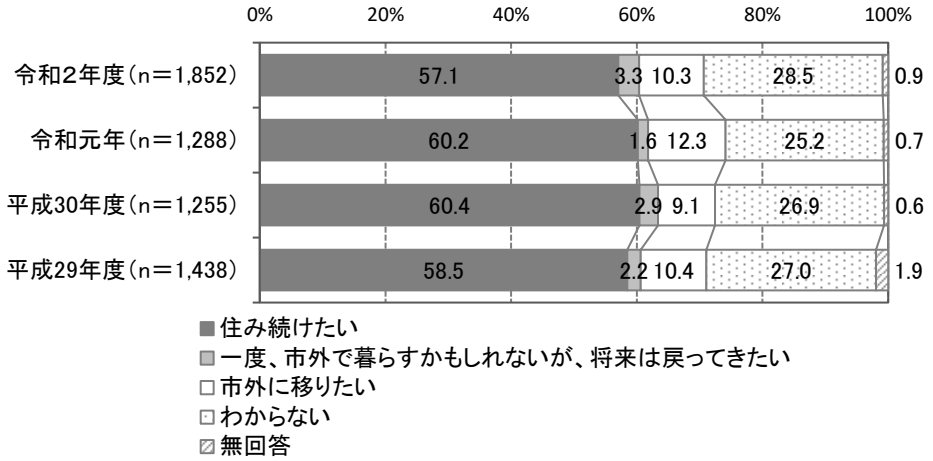
問３　今後の定住意向

あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。（１つ選択）

「住み続けたい」（57.1%）が約 6 割で最も高く、次いで「わからない」（28.5%）が約 3 割、「市外に移りたい」（10.3%）が約 1 割となっています。



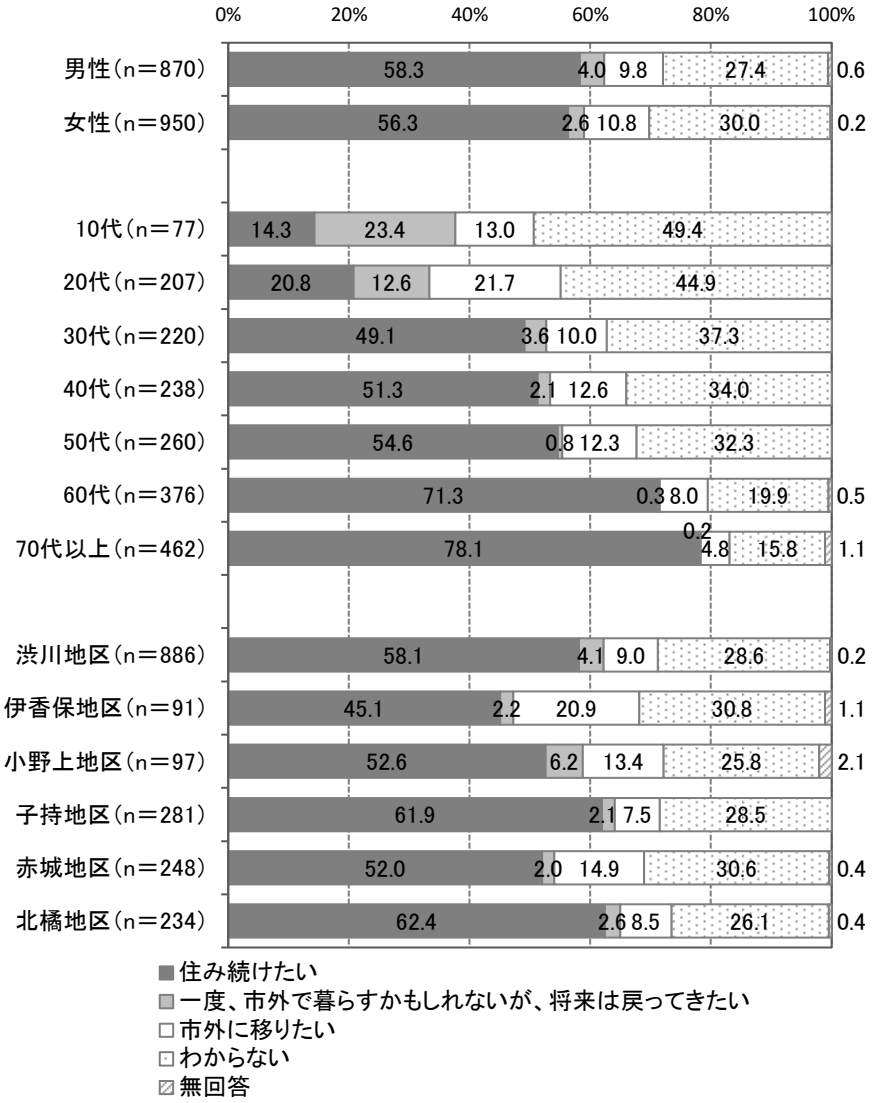
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、今回は「住み続けたい」が若干低くなっています。



属性別に見ると、「住み続けたい」は性別では男性（58.3%）が女性（56.3%）より若干高くなっています。

年代別では「住み続けたい」で差が大きく、概ね高い年代ほど高くなっています。特に 70 代以上（78.1%）は 7 割以上で高い一方、10 代及び 30 代から 50 代でも「市外に移りたい」が 1 割以上となっています。また、10 代は、「一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」（23.4%）が 2 割以上となっています。

地区別では「住み続けたい」は伊香保地区（45.1%）を除き、いずれの地区も 5 割以上となっています。伊香保地区は「市外に移りたい」（20.9%）が 2 割以上で高くなっています。

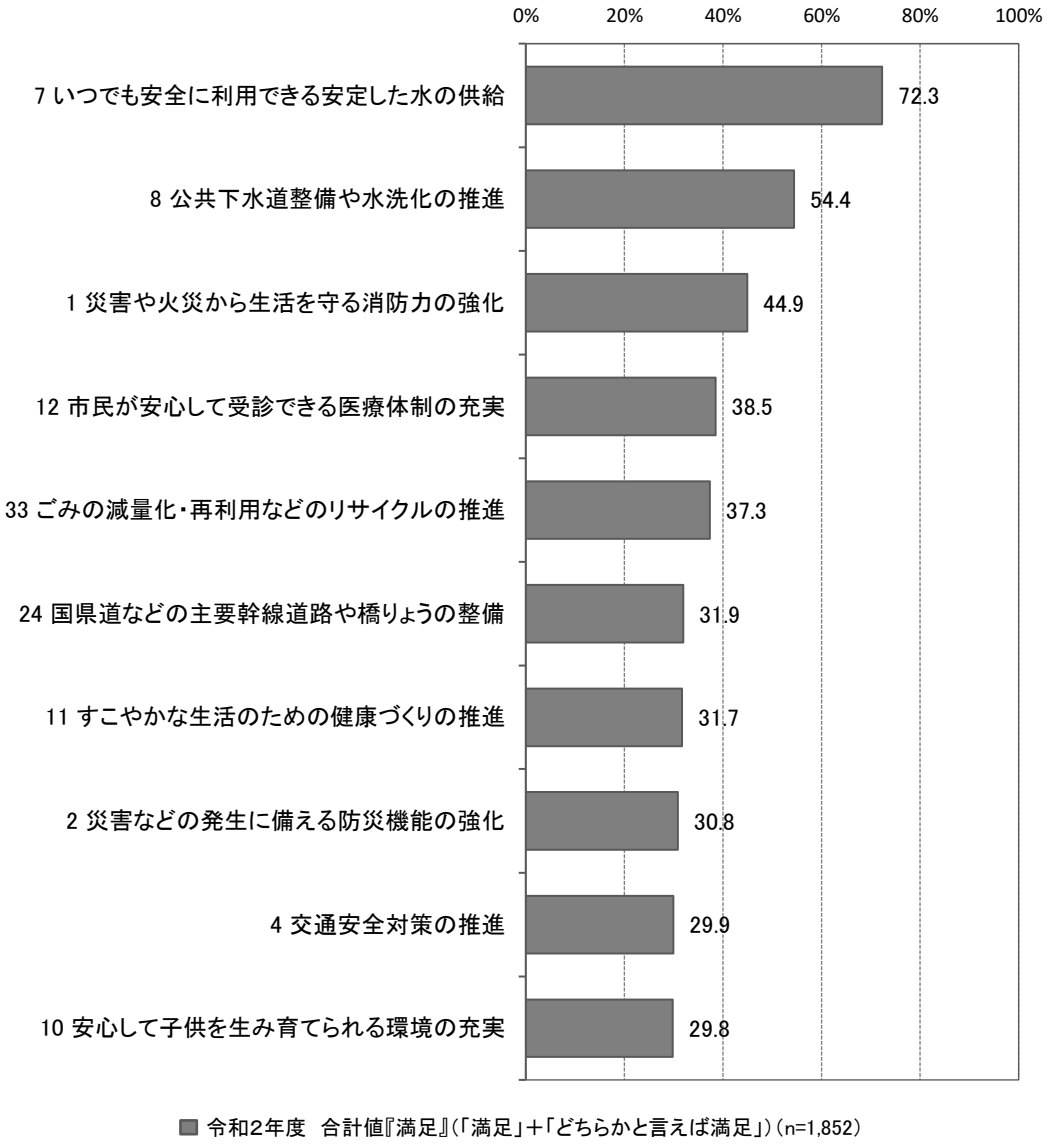


３　市の現状の評価について

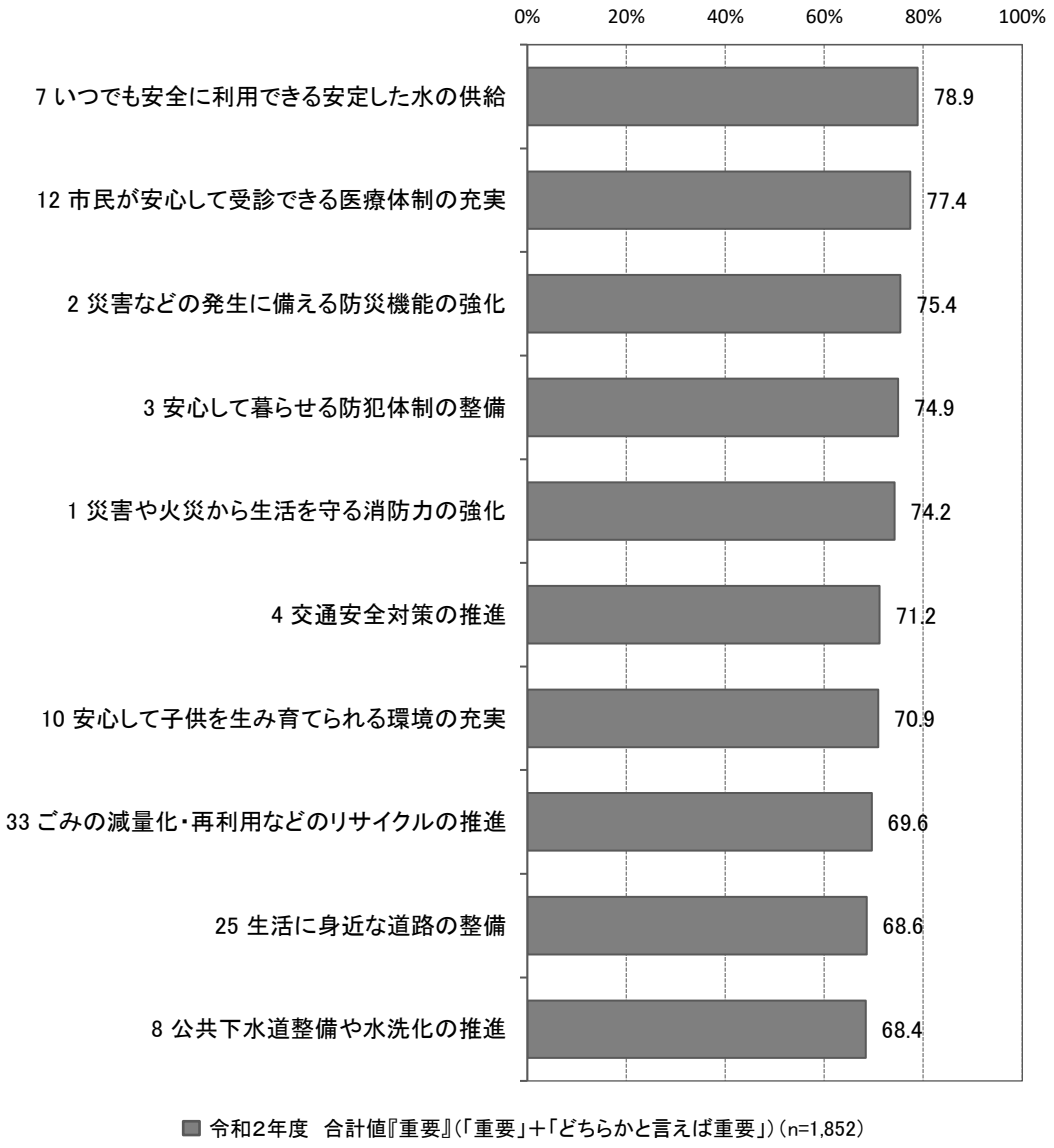
問４　市の取組の満足度・重要度

あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。（各項目の「満足度」欄及び「重要度」欄の５段階評価の中から、１つずつ選択）

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』の上位 10 項目を見ると、「7　いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（72.3%）が 7 割以上で最も高く、次いで「8　公共下水道整備や水洗化の推進」（54.4%）が 5 割以上、「1　災害や火災から生活を守る消防力の強化」（44.9%）が 4 割以上となっています。



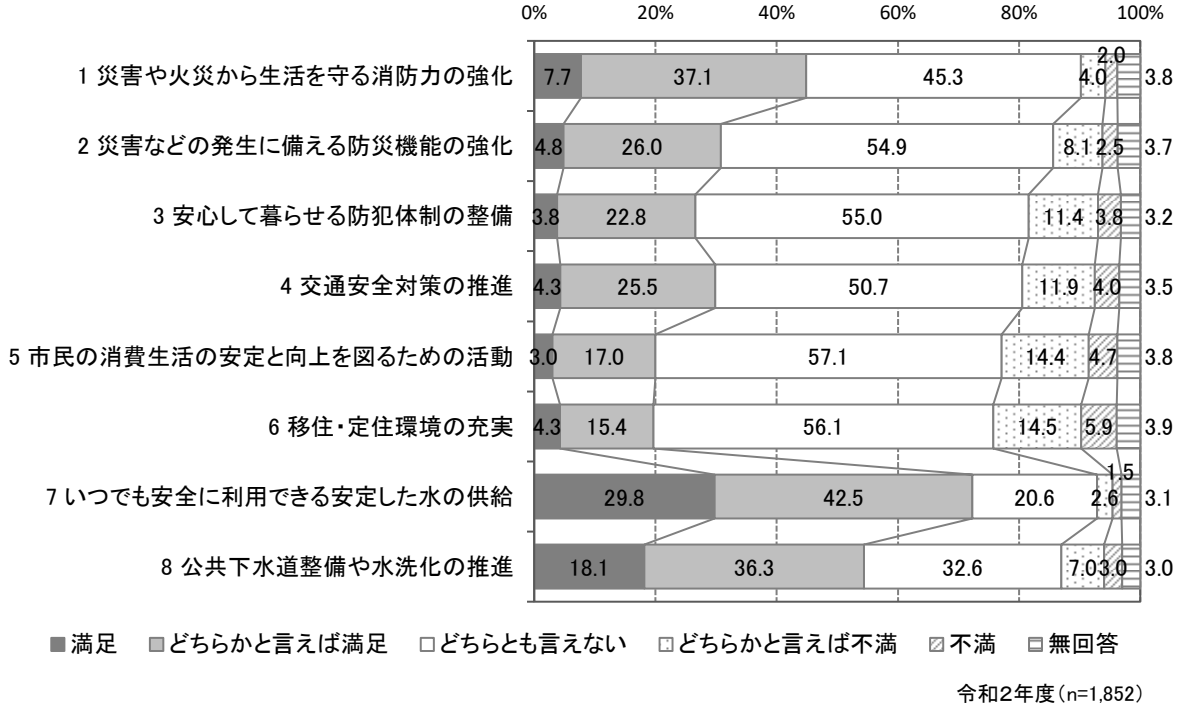
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』の上位 10 項目を見ると、「7　いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（78.9%）が約 8 割で最も高く、次いで「12　市民が安心して受診できる医療体制の充実」(77.4%)、「2　災害などの発生に備える防災機能の強化」（75.4%）などとなっており、10 項目中 7 項目が 7 割以上となっています。



（1）安全・安心、暮らし分野

【満足度】

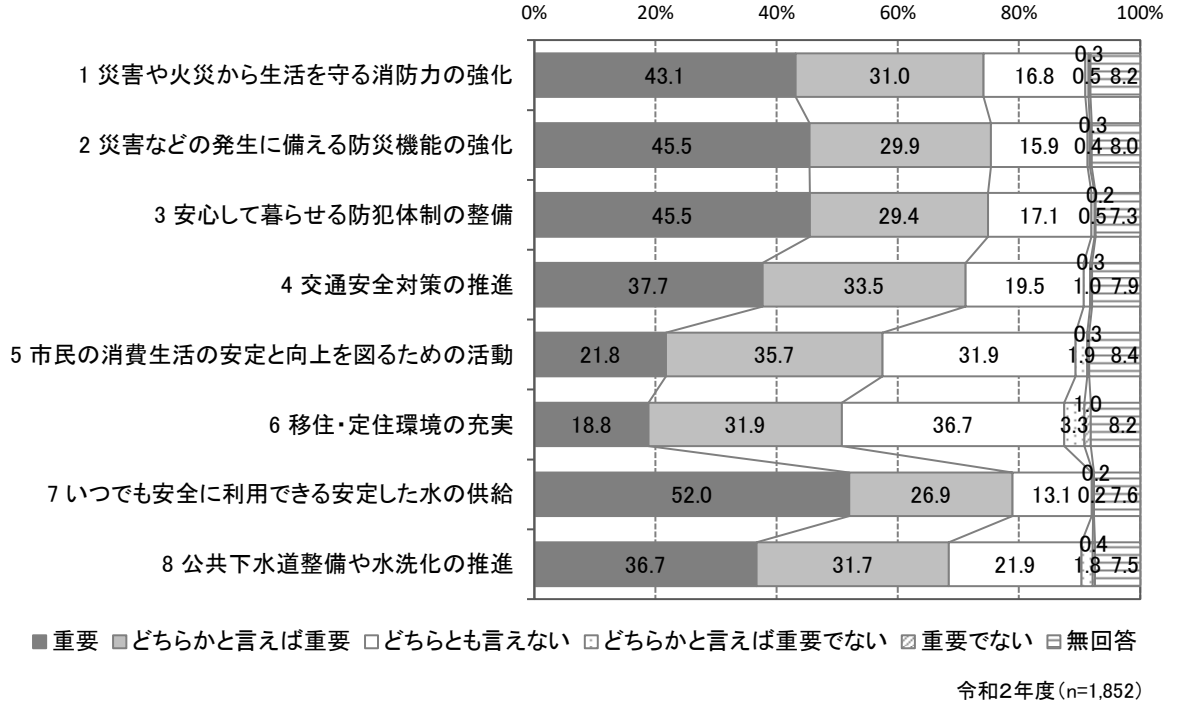
「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「7　いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（72.3%）が 7 割以上で最も高くなっています。



令和2年度（n=1,852）

【重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「7　いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（78.9%）が約 8 割で最も高くなっています。

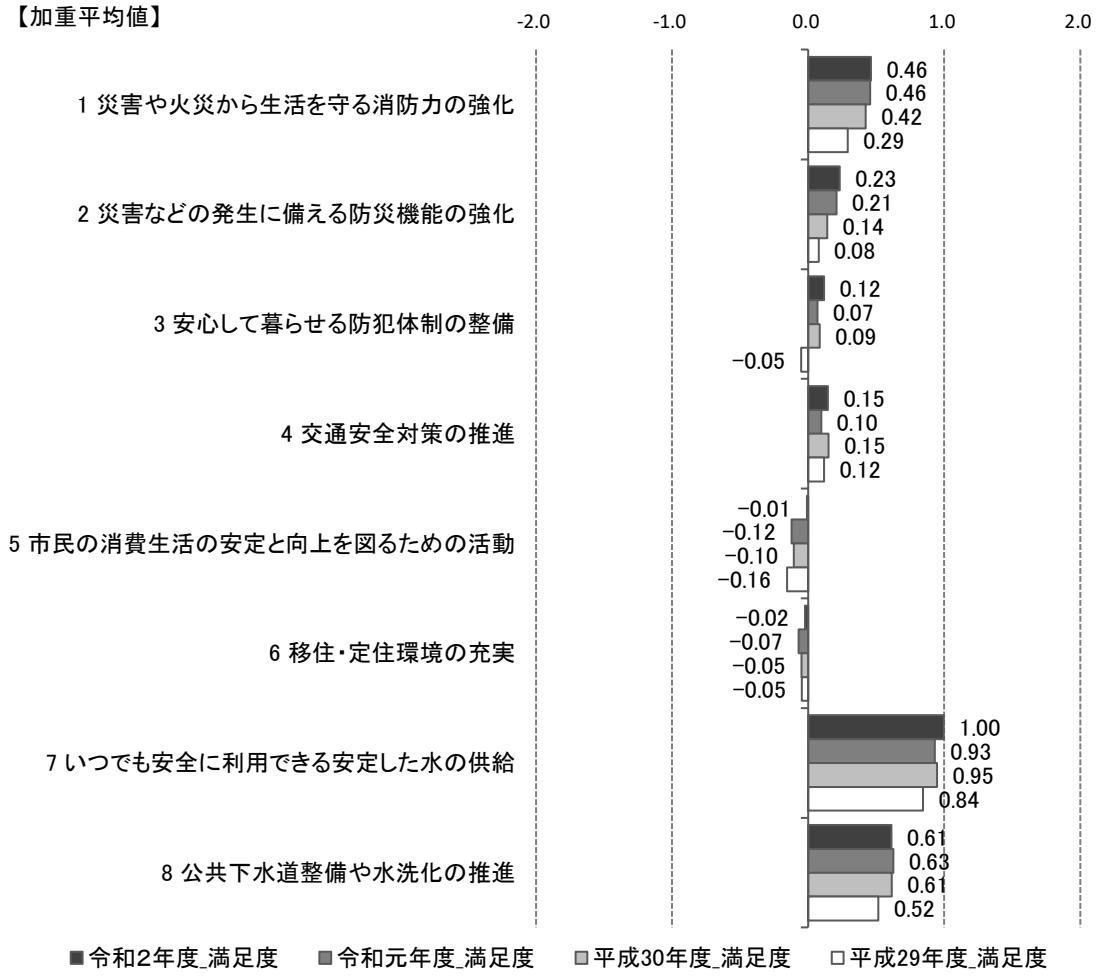


令和2年度（n=1,852）

【満足度　経年変化】

加重平均値を見ると、「7　いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（1.00 ポイント）が最も高くなっています。一方、「5　市民の消費生活の安定と向上を図るための活動」（-0.01 ポイント）、「6　移住・定住環境の充実」（-0.02 ポイント）の２項目はマイナス値となっています。

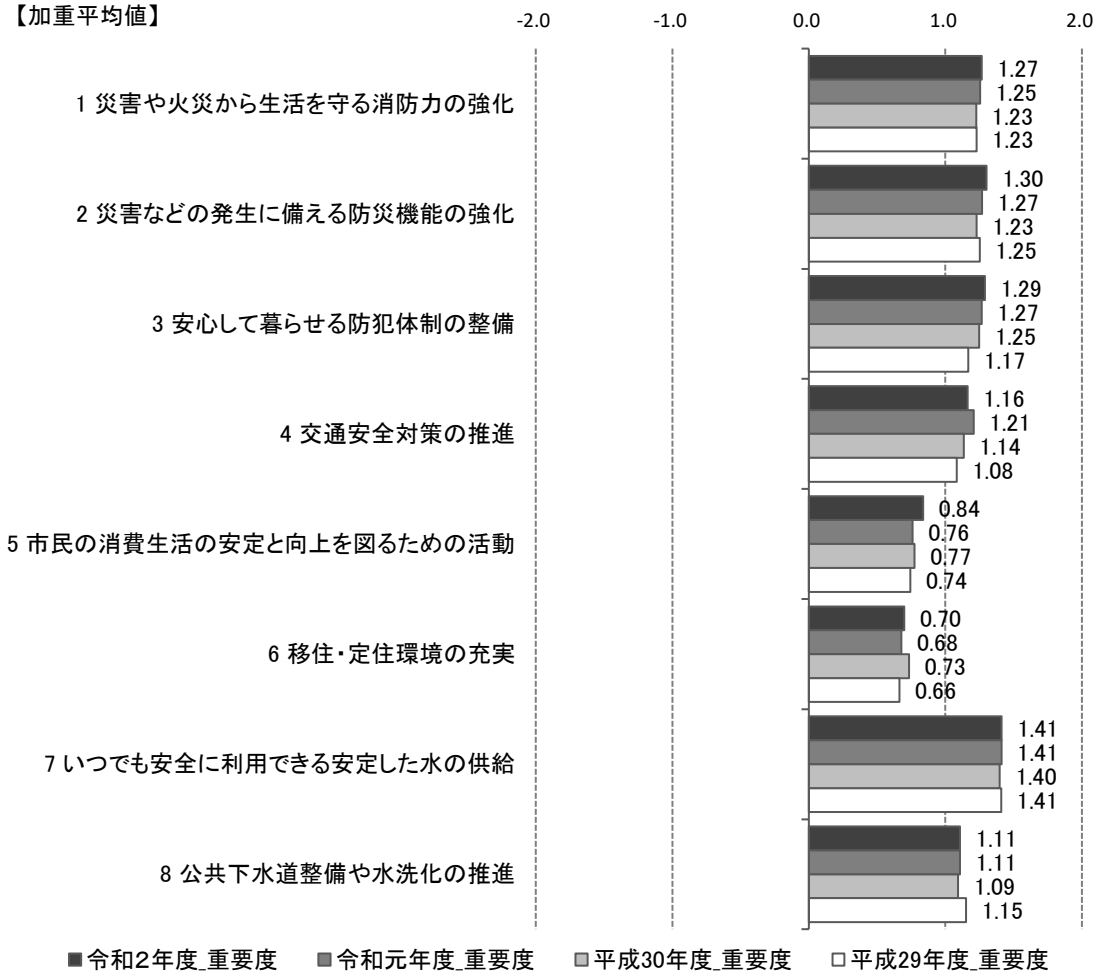
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「2　災害などの発生に備える防災機能の強化」（0.23 ポイント）は満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。



【重要度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「7　いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（1.41 ポイント）が最も高くなっています。

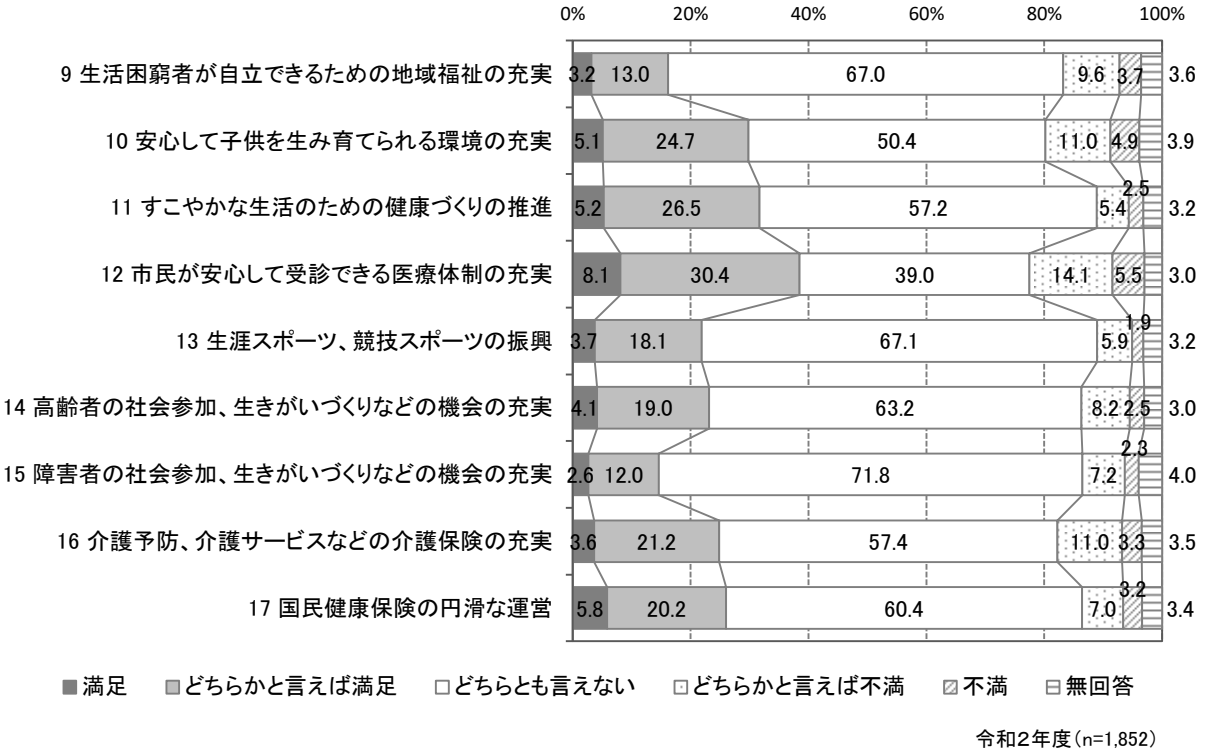
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「3　安心して暮らせる防犯体制の整備」（1.29 ポイント）は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



（２）健康、福祉、スポーツ分野

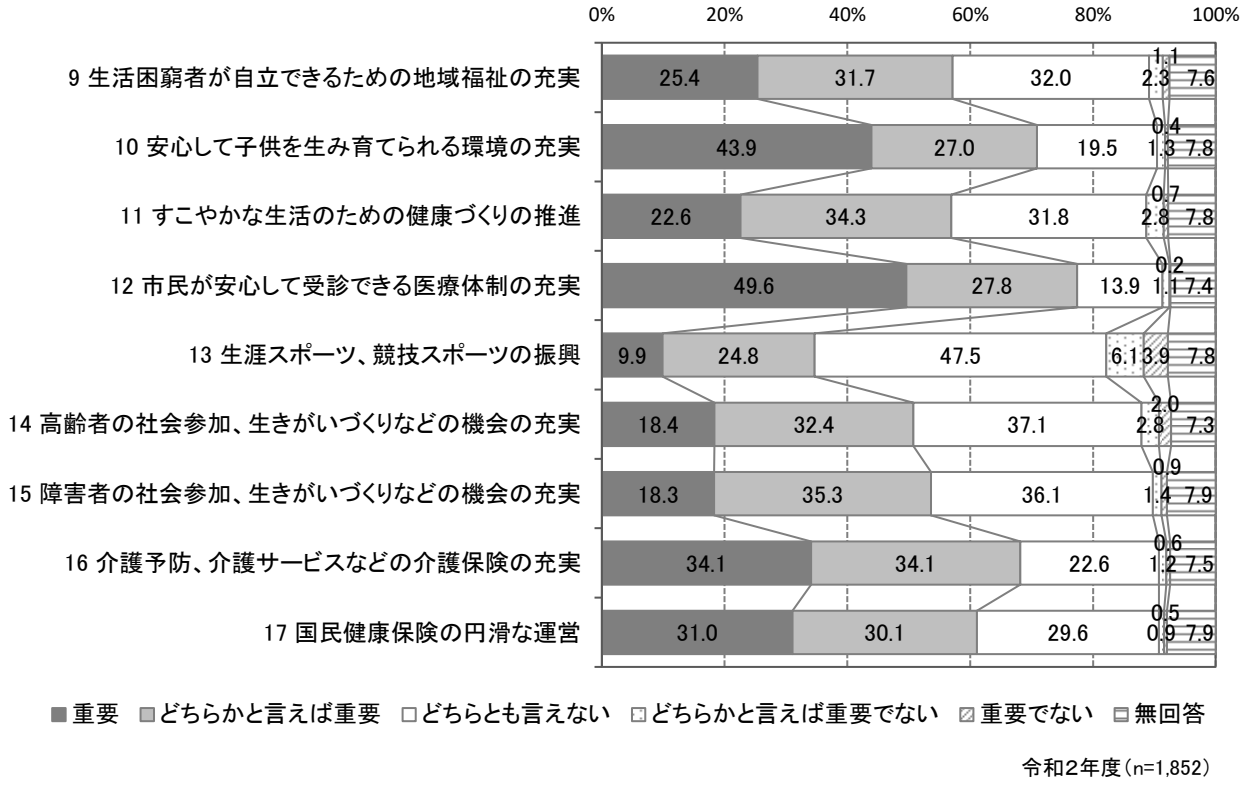
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「12　市民が安心して受診できる医療体制の充実」（38.5%）が約４割で最も高くなっています。



【重要度】

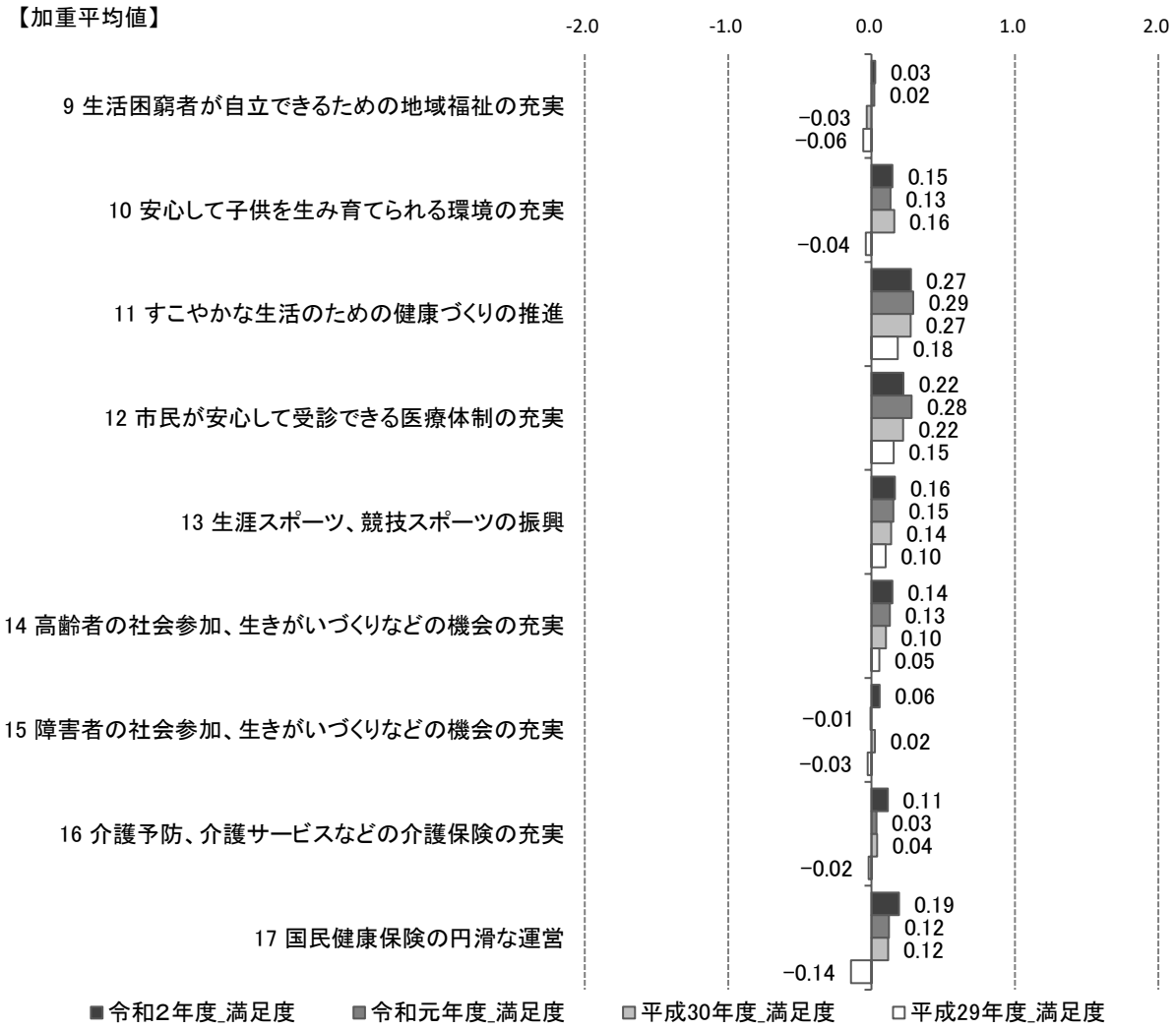
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「12　市民が安心して受診できる医療体制の充実」（77.4%）が約 8 割で最も高く、次いで高い「10　安心して子どもを生み育てられる環境の充実」（70.9%）が 7 割以上となっています。



【満足度　経年変化】

加重平均値を見ると、「11　すこやかな生活のための健康づくりの推進」（0.27 ポイント）が最も高く、次いで高いのが「12　市民が安心して受診できる医療体制の充実」（0.22 ポイント）となっています。満足度が最も低かったのが「9　生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実」（0.03 ポイント）となっています。

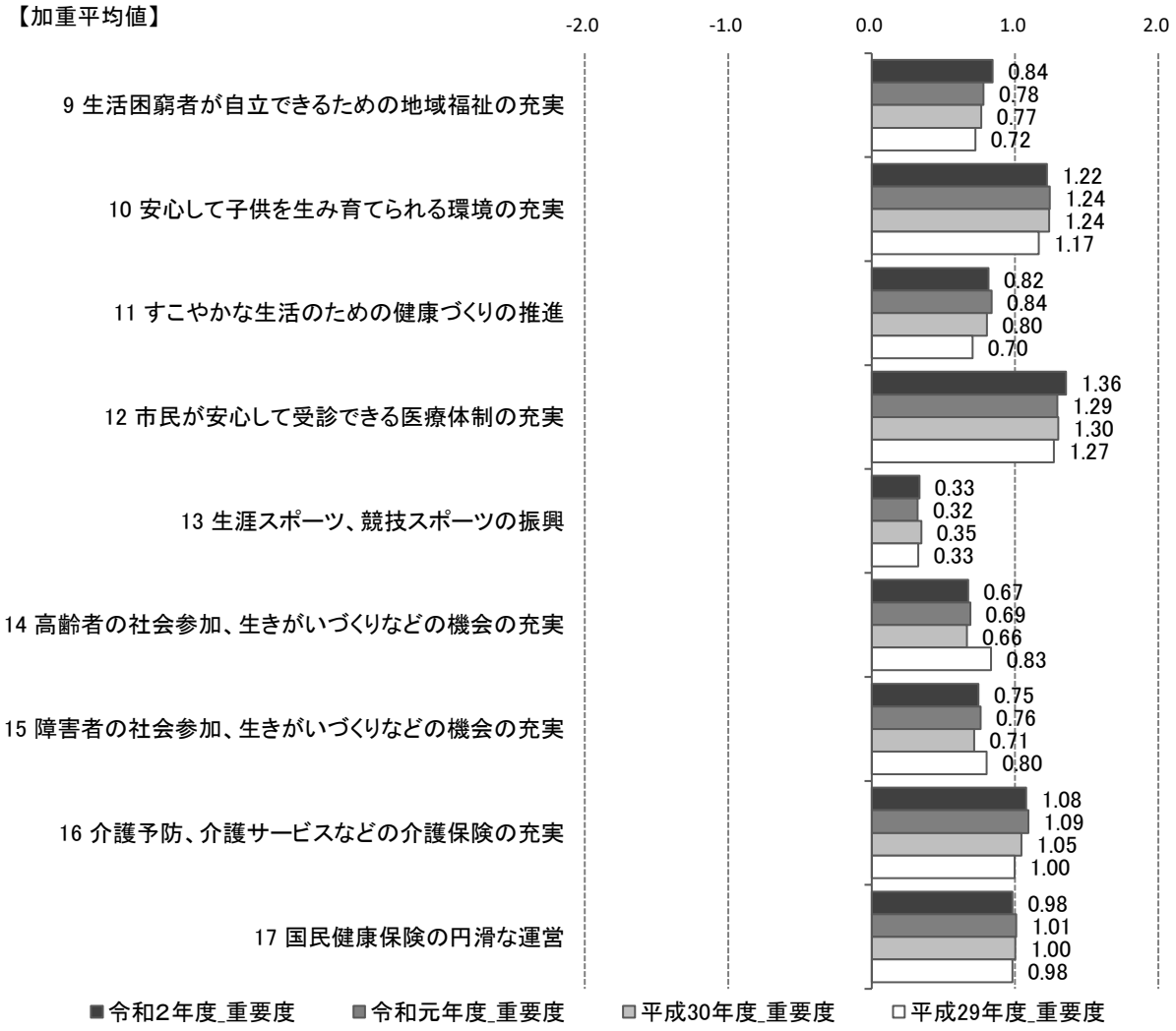
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「16　介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実」（0.11 ポイント）は、令和元年度（0.03 ポイント）に比べて 0.08 ポイント高くなっています。



【重要度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「12　市民が安心して受診できる医療体制の充実」（1.36 ポイント）が最も高くなっています。

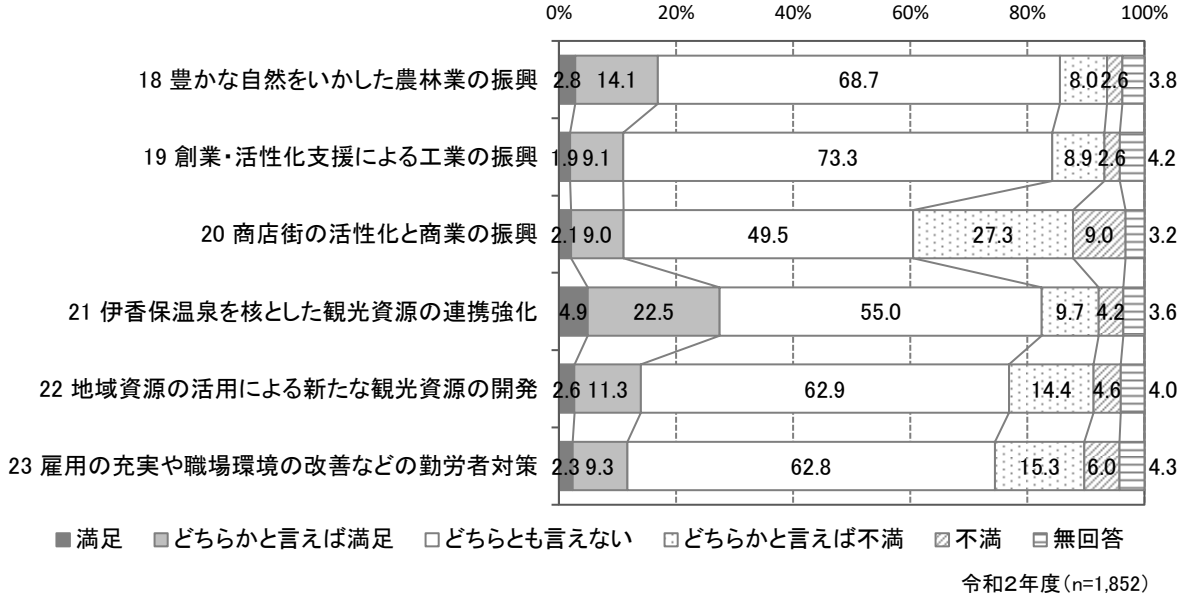
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「9　生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実」は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



（3）産業分野

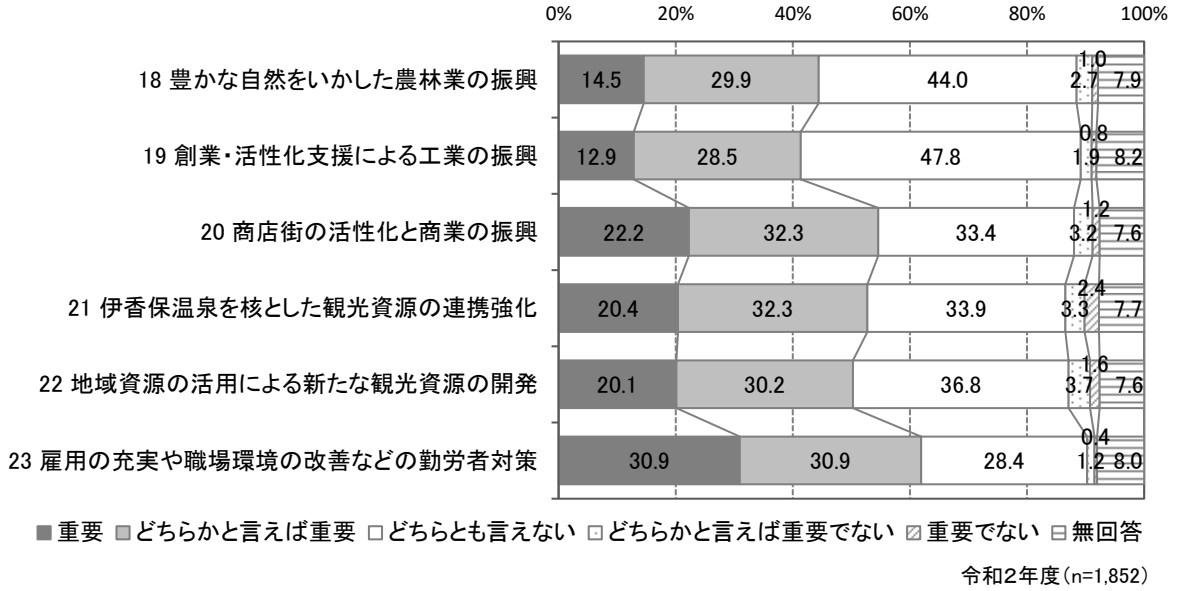
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「21　伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」（27.4%）が約 3 割で最も高くなっています。



【重要度】

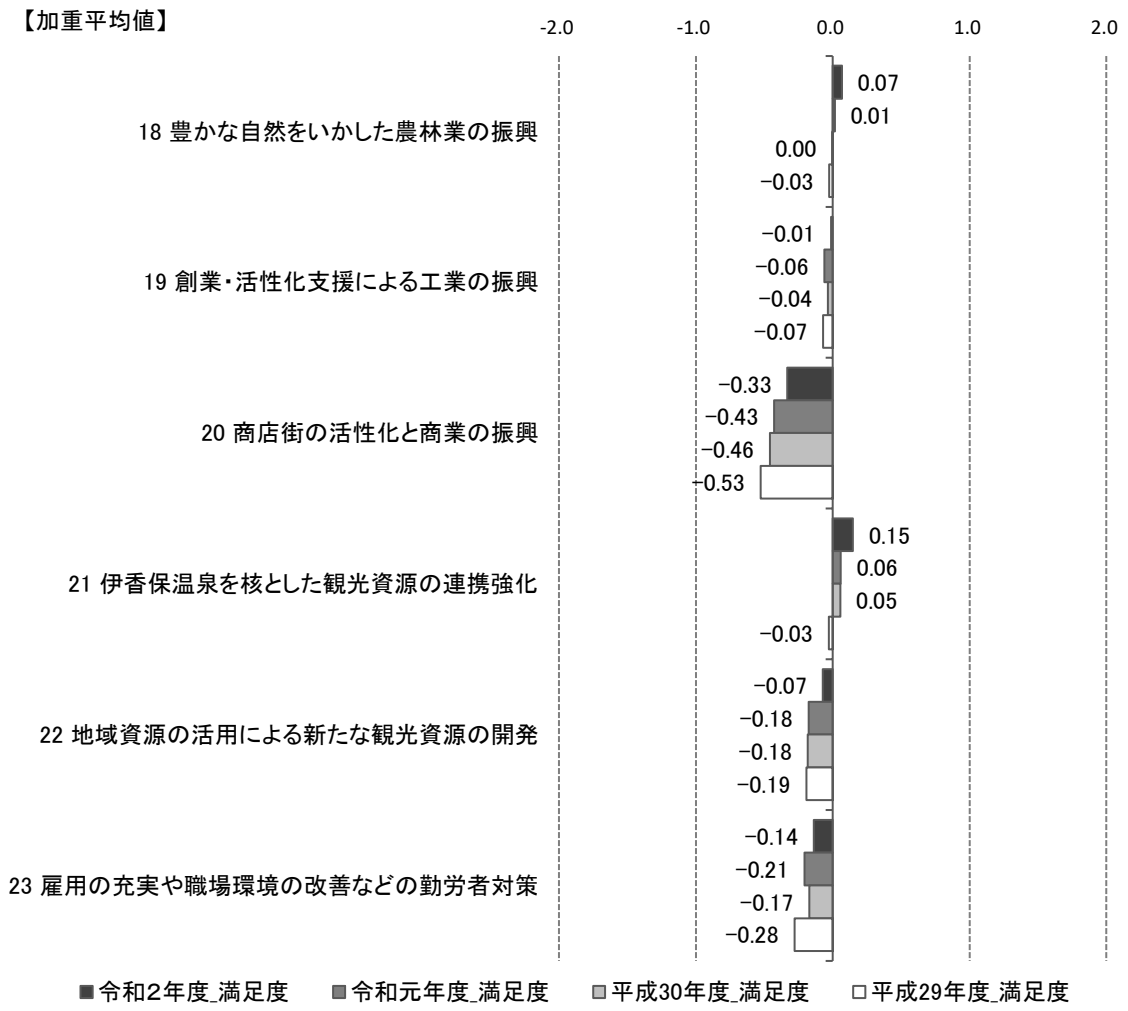
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「23　雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」（61.8%）が 6 割以上で最も高くなっています。



【満足度　経年変化】

加重平均値を見ると、プラス値を示していたのは「21　伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」（0.15 ポイント）と「18　豊かな自然をいかした農林業の振興」（0.07 ポイント）で、その他の項目はマイナス値となっています。

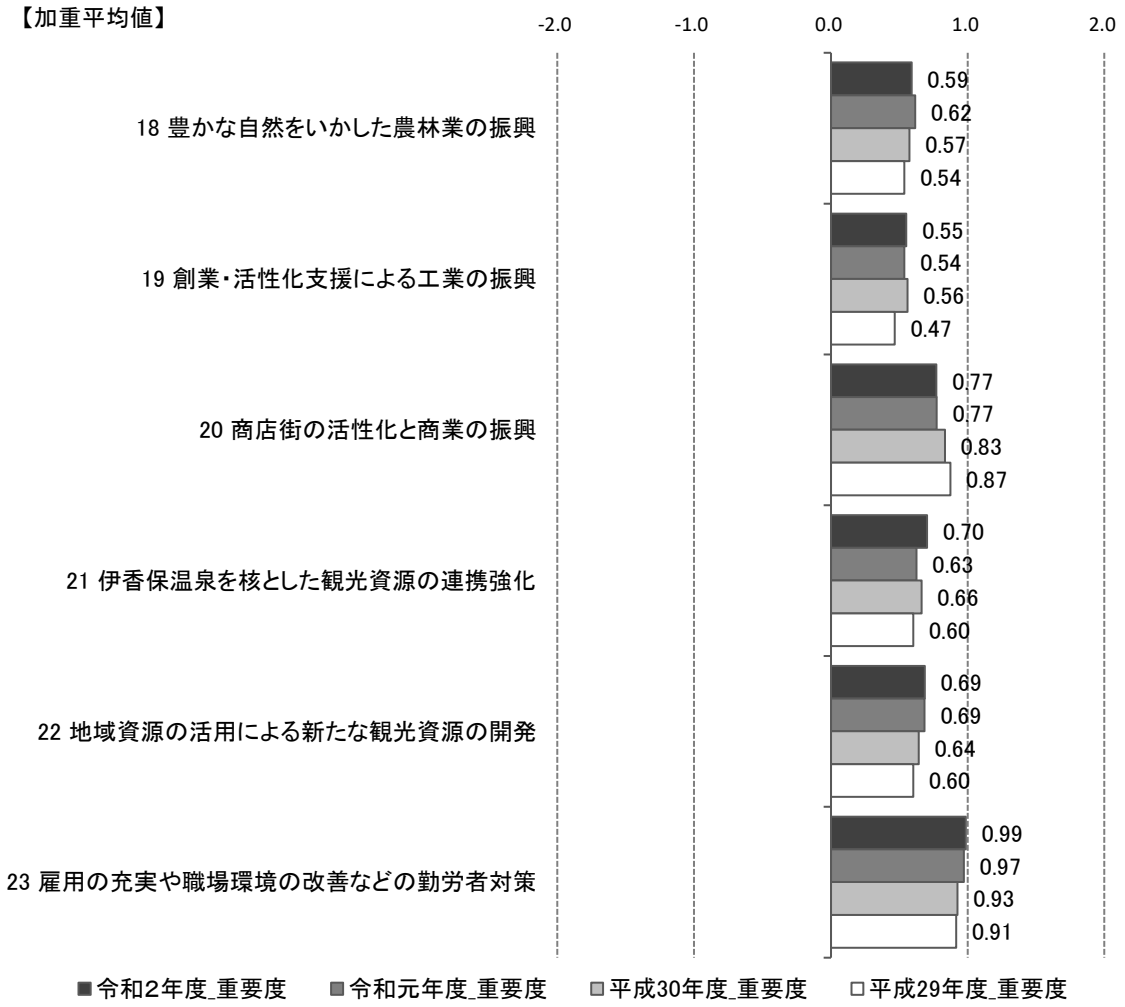
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。その中で「20　商店街の活性化と商業の振興」（-0.33 ポイント）は、平成 29 年度（-0.53 ポイント）以降、マイナス値ですが、満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。また、多くの項目で満足度が高くなる傾向がうかがえます。



【重要度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、「23　雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」（0.99 ポイント）が最も高くなっています。

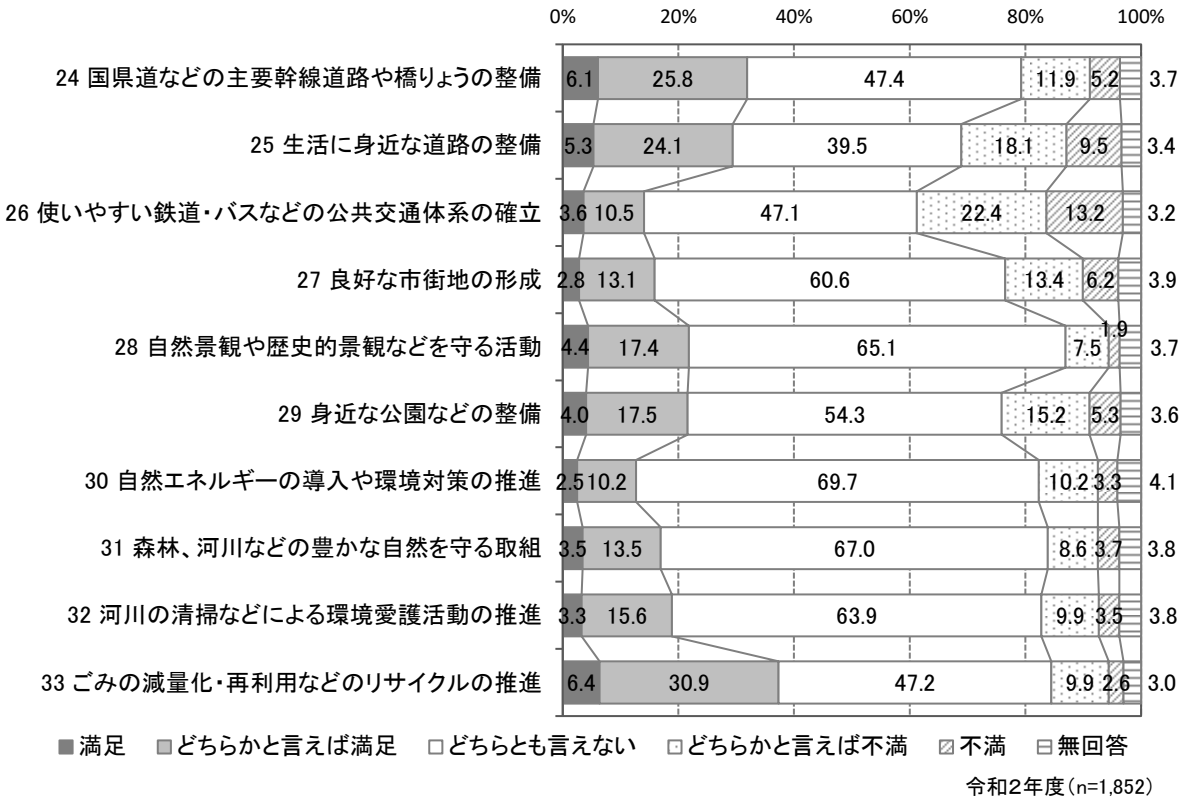
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「23　雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



（４）都市基盤、自然環境分野

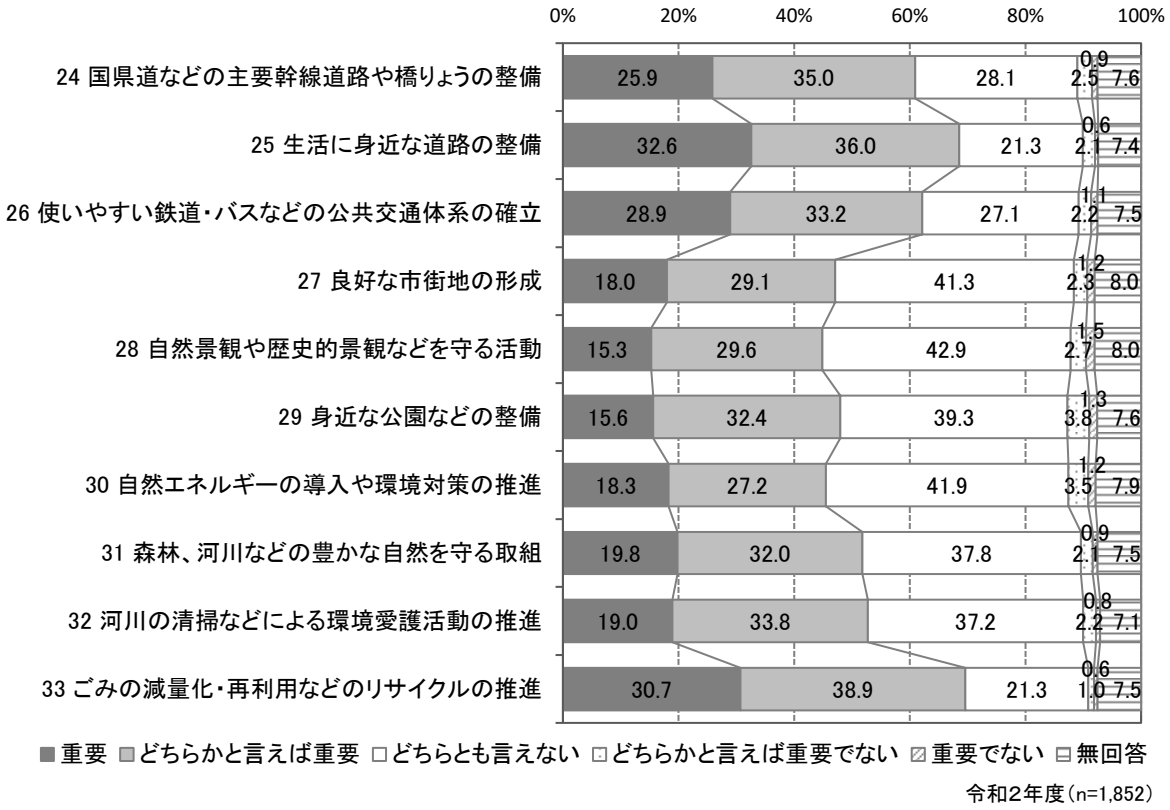
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「33　ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（37.3%）が最も高く、次いで高い「24　国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」（31.9%）も 3 割以上となっています。



【重要度】

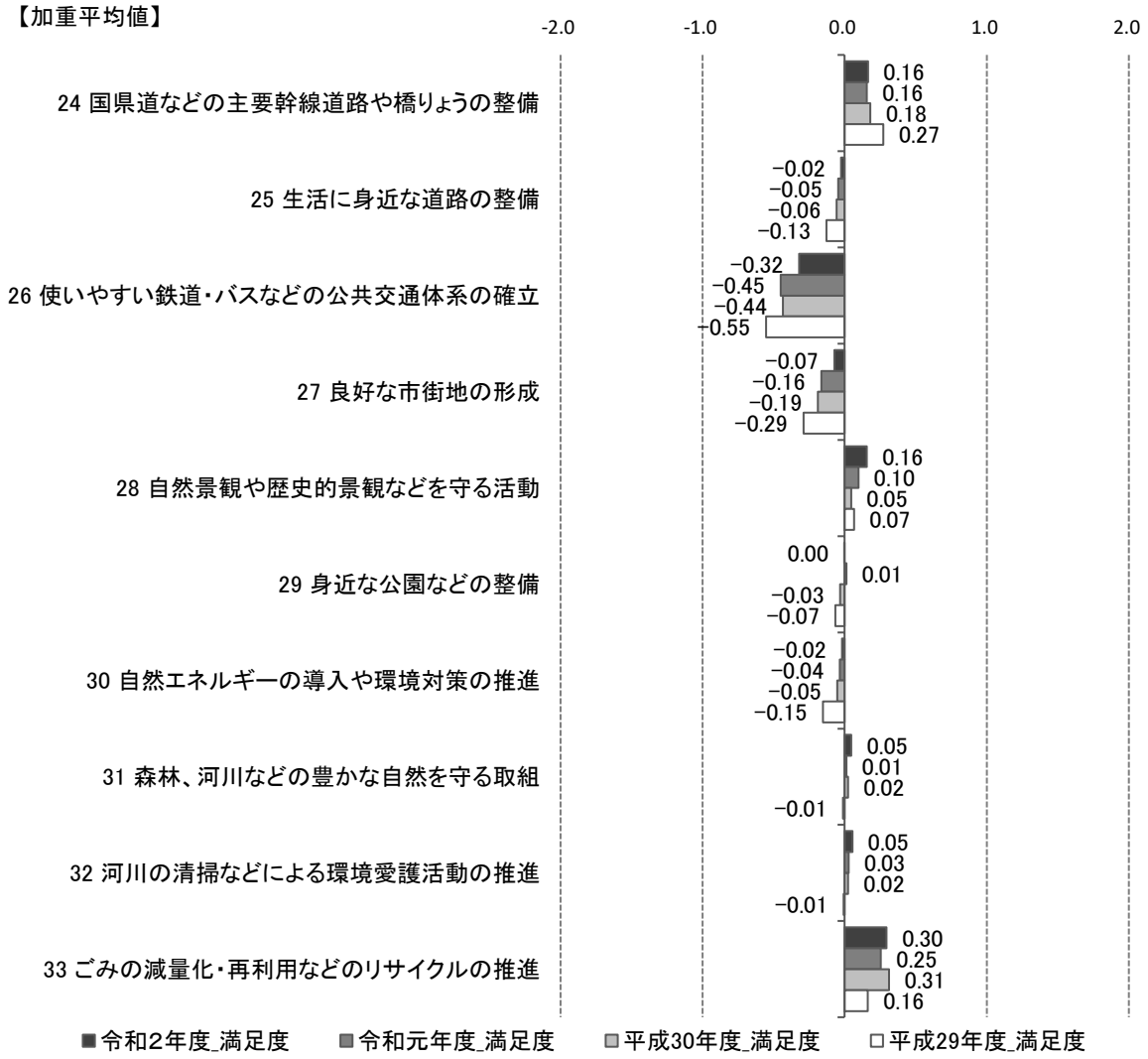
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「33　ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（69.6%）が最も高く、次いで高い「25　生活に身近な道路の整備」（68.6%）も約７割となっています。



【満足度　経年変化】

加重平均値を見ると、「33　ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（0.30 ポイント）が最も高くなっています。また、10 項目のうち 4 項目がマイナス値となっており、その中で「26　使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立」（－0.32 ポイント）が最も低くなっています。

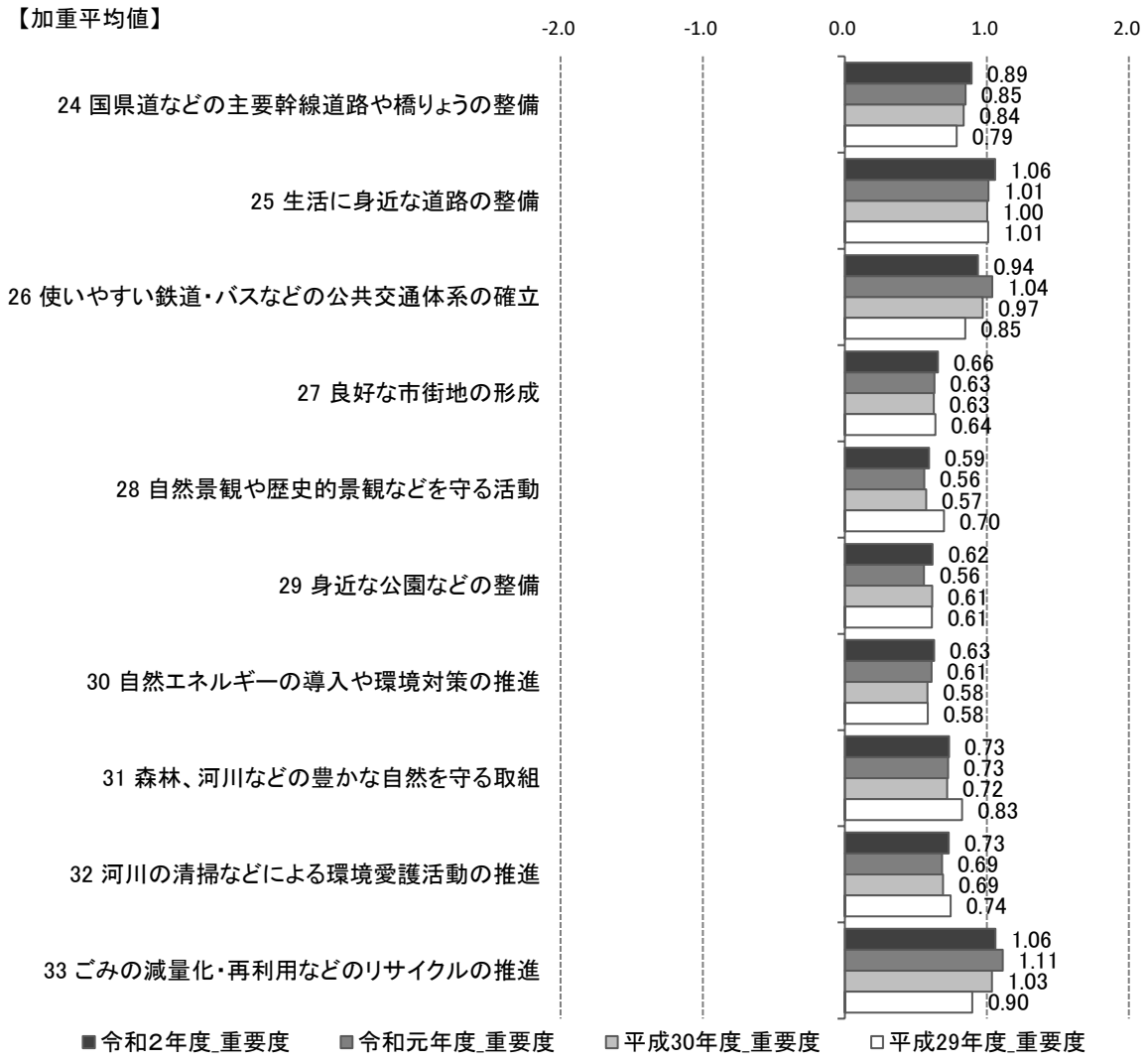
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「27　良好な市街地の形成」（-0.07 ポイント）と「25　生活に身近な道路の整備」（-0.02 ポイント）、「30　自然エネルギーの導入や環境対策の推進」（-0.02 ポイント）は平成 29 年度以降、マイナス値ですが、満足度が高くなる傾向がうかがえます。



【重要度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「25　生活に身近な道路の整備」と「33　ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」は 1.06 ポイントで最も高くなっています。

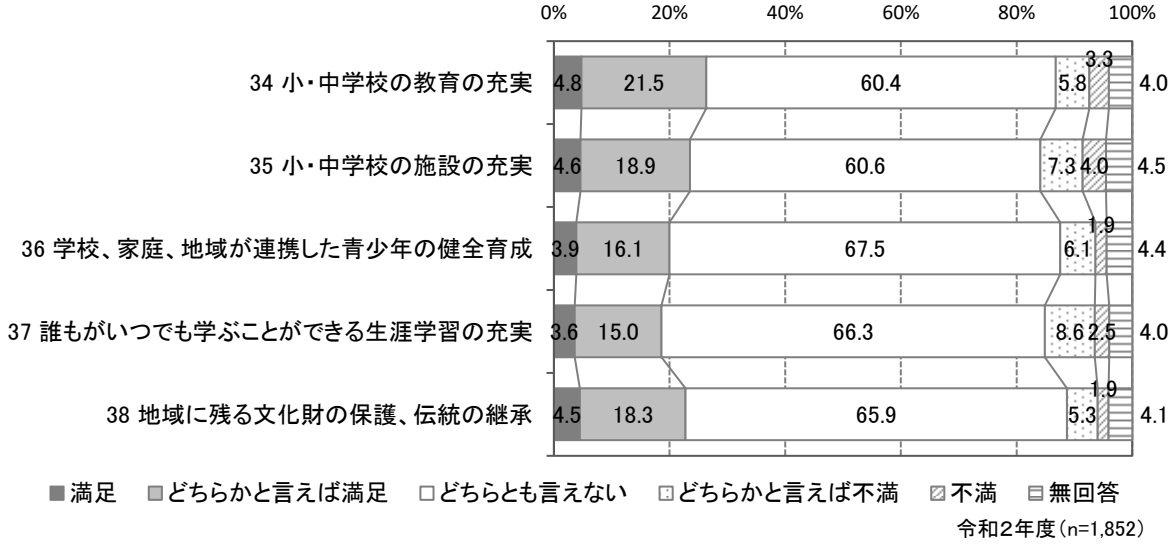
前回までの調査結果と比較すると、「24　国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」（0.89 ポイント）は重要度が高くなる傾向がうかがえます。



（5）教育、文化分野

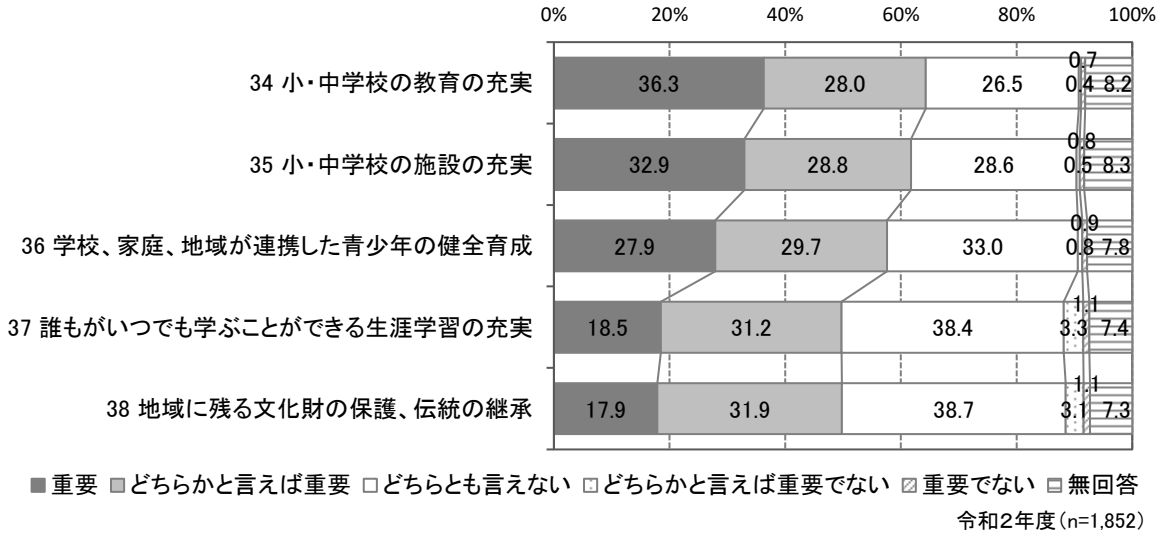
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「34　小・中学校の教育の充実」（26.3%）が最も高くなっていますが、次いで「35　小・中学校の施設の充実」（23.5%）が高くなっています。



【重要度】

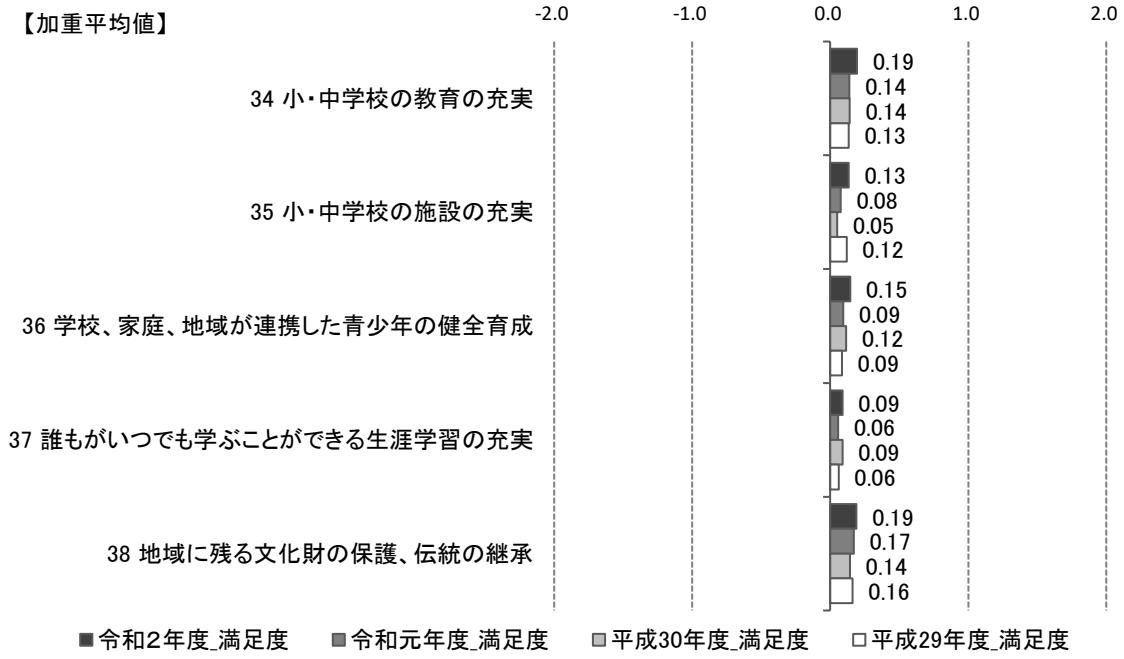
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「34　小・中学校の教育の充実」（64.3%）が 6 割以上で最も高く、次いで高い「35　小・中学校の施設の充実」（61.7%）も 6 割以上、「36　学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成」（57.6%）が約 6 割で比較的高くなっています。



【満足度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、「34　小・中学校の教育の充実」と「38　地域に残る文化財の保護、伝統の継承」（0.19 ポイント）が最も高くなっています。

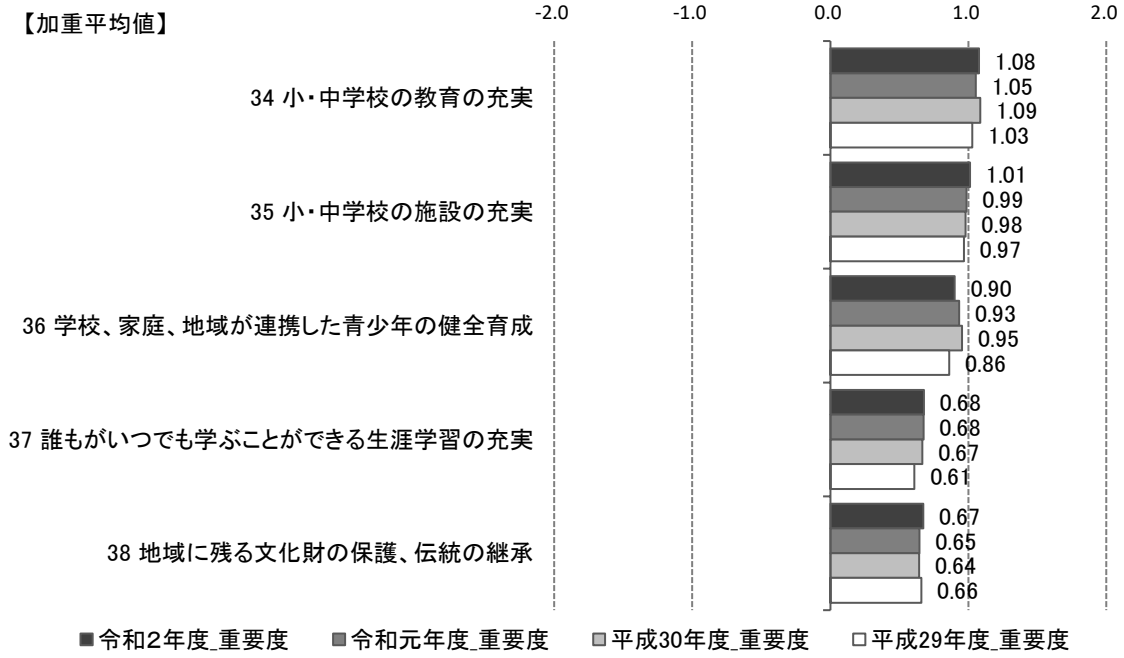
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「34　小・中学校の教育の充実」（1.08 ポイント）が最も高くなっています。

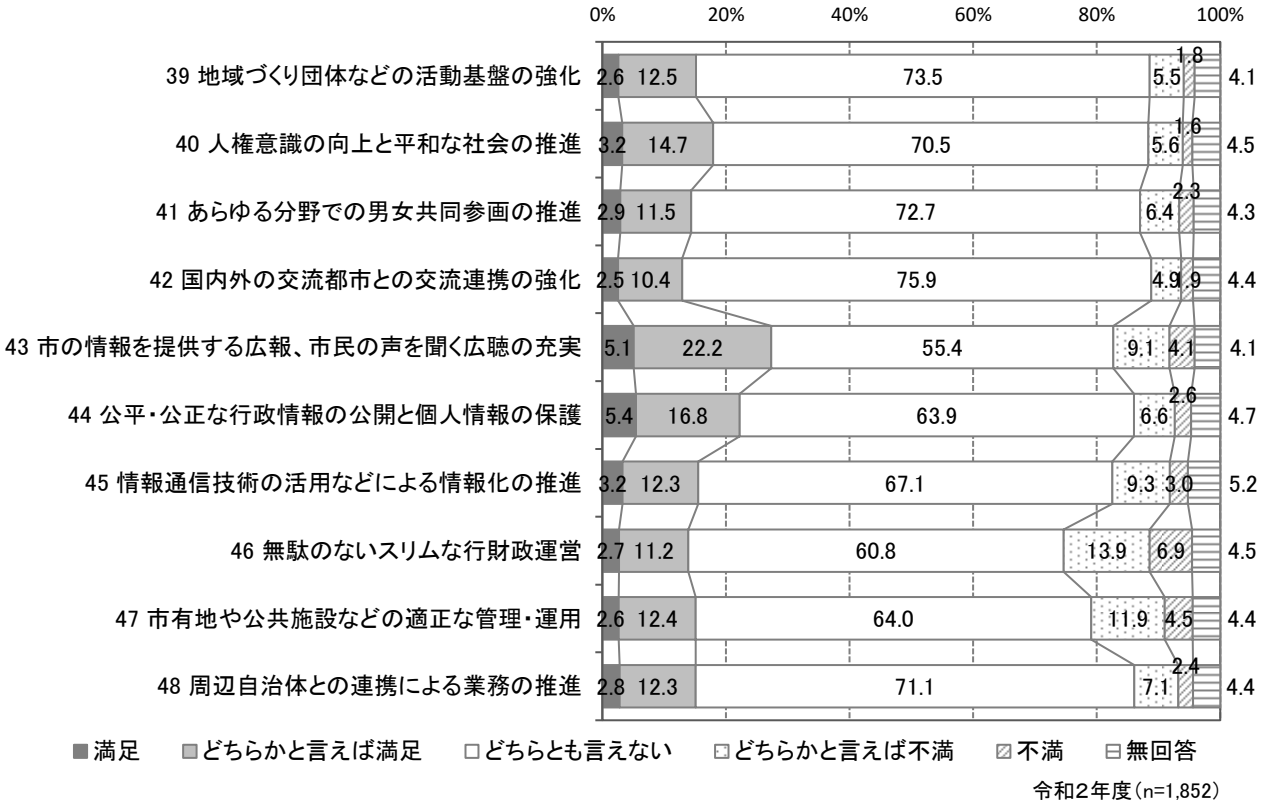
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



（６）自治、協働分野

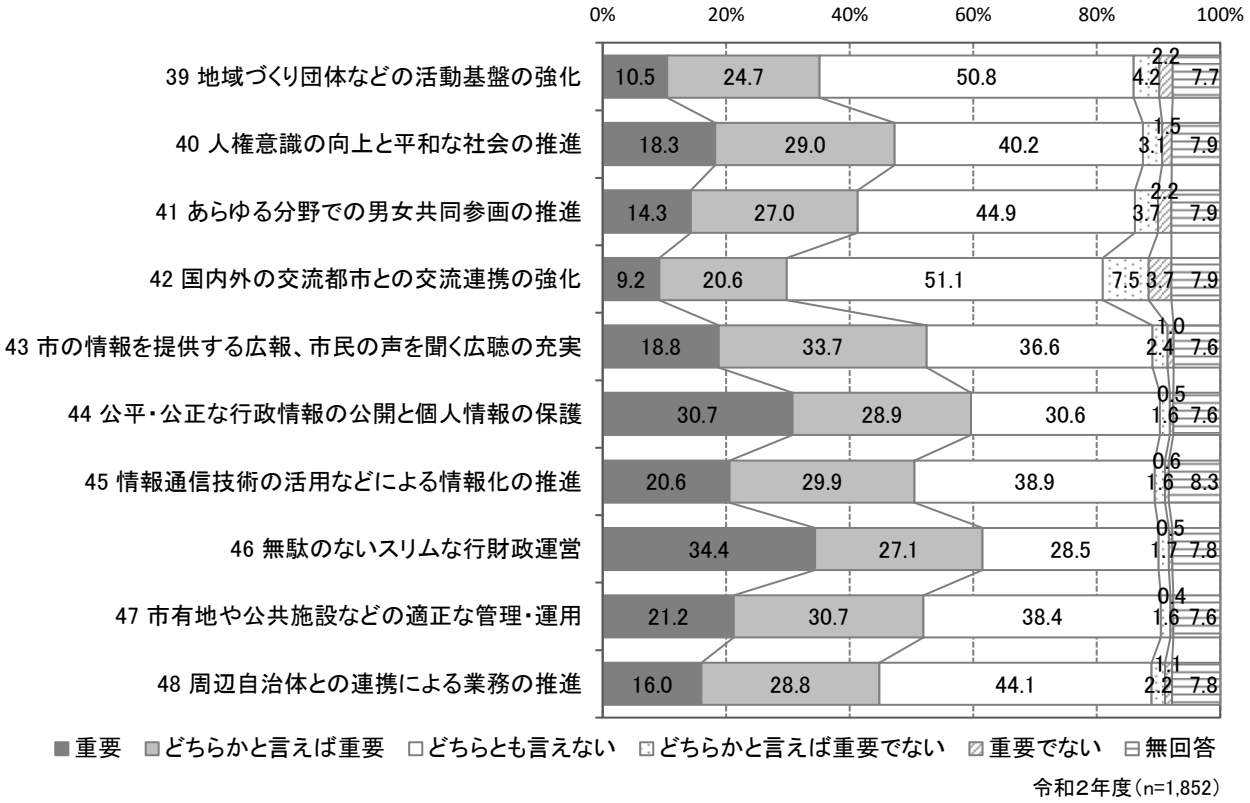
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「43　市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」（27.3%）が約 3 割で最も高く、次いで高い「44　公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」（22.2%）も 2 割以上となっています。



【重要度】

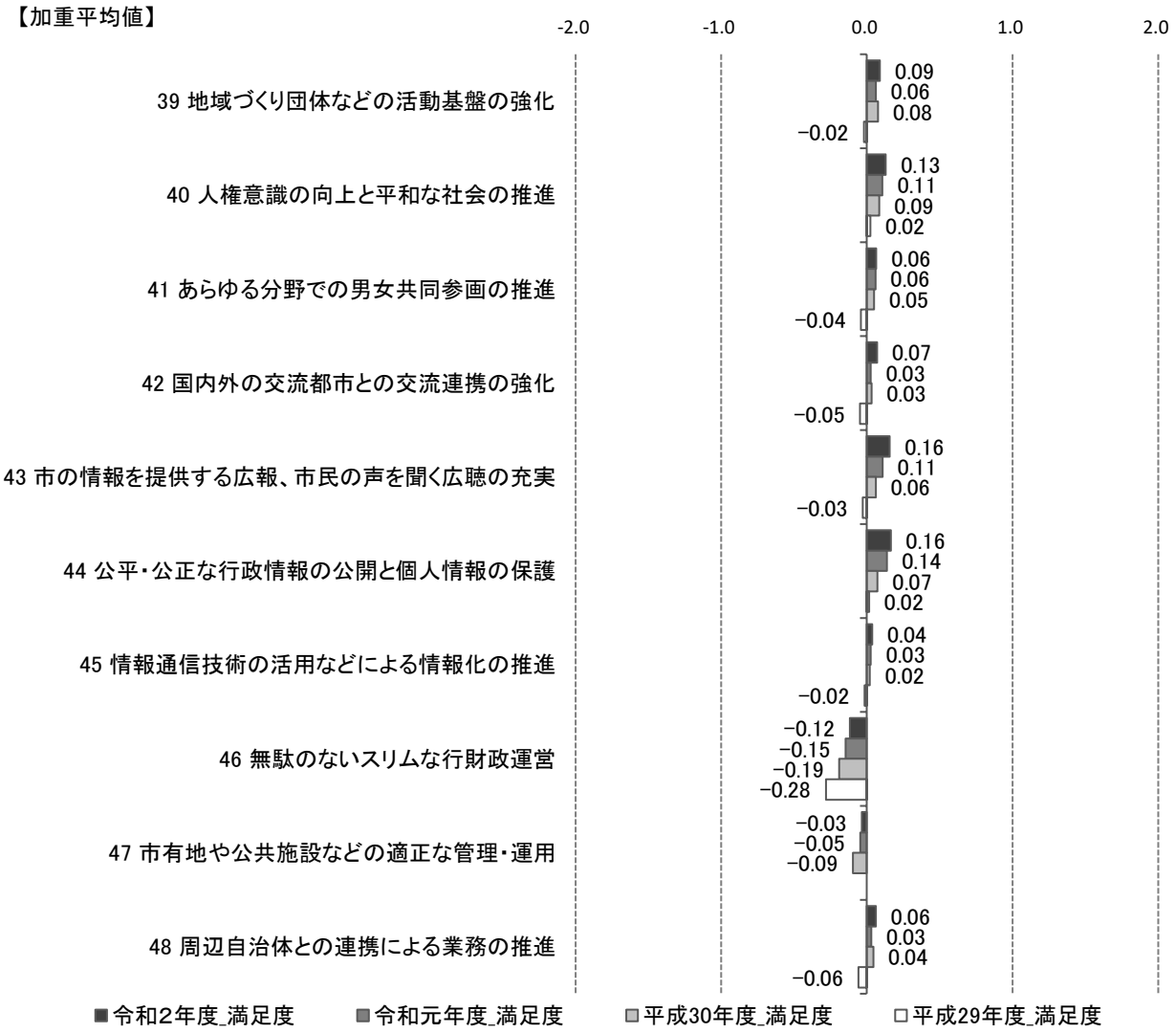
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「46　無駄のないスリムな行財政運営」（61.5%）が 6 割以上で最も高く、次いで高い「44　公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」（59.6%）も約 6 割となっています。



【満足度　経年変化】

加重平均値を見ると、「43　市の情報を提供する広報、市民の声を聴く広聴の充実」と「44　公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」が最も高く 0.16 ポイントとなっています。

前回までの調査結果と比較すると、「46　無駄のないスリムな行財政運営」(-0.12 ポイント)は、マイナス値ですが、満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。また、多くの項目で満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。

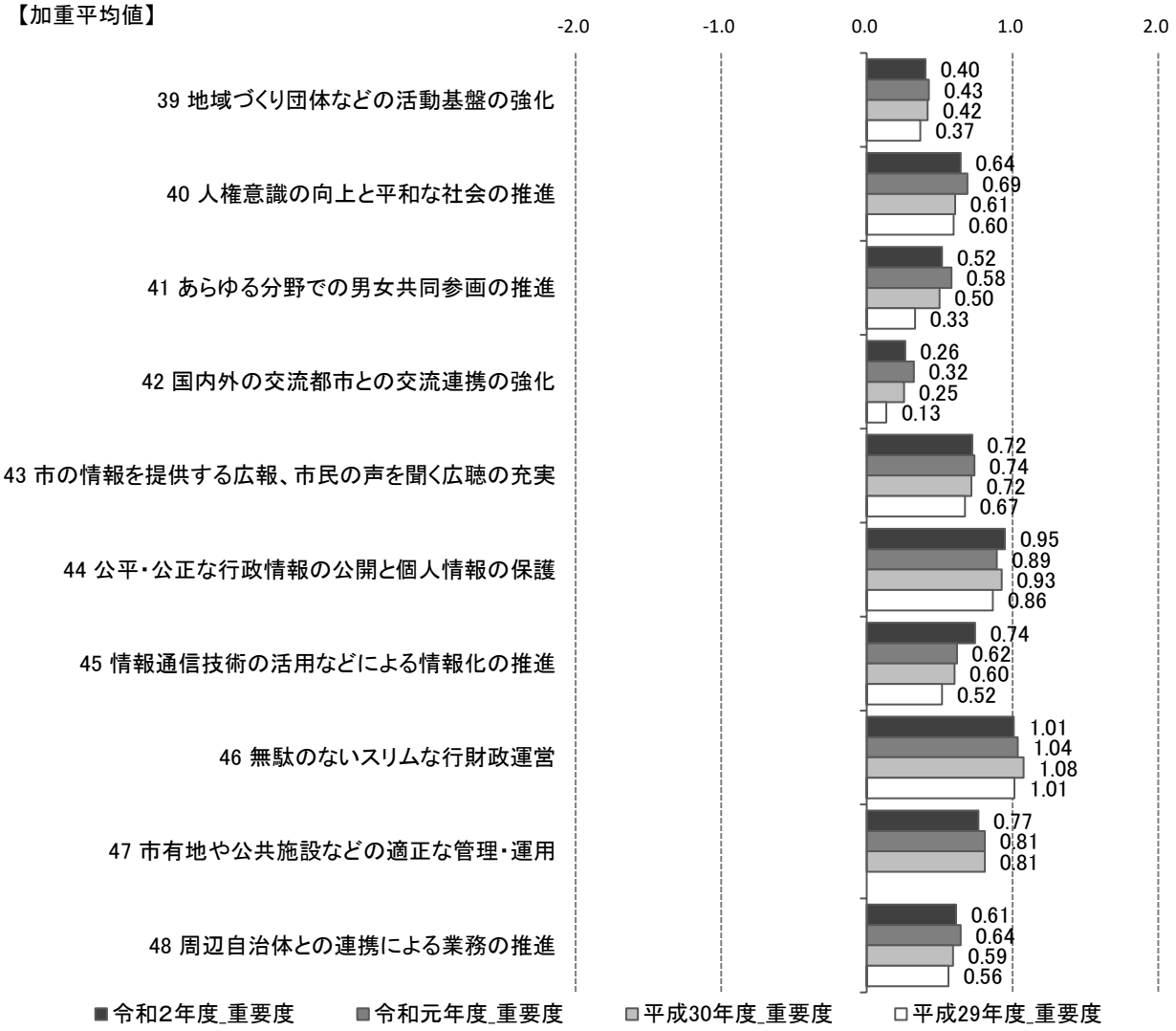


※「47　市有地や公共施設等の適正な管理・運用」は H30 年度から設定

【重要度　経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「46　無駄のないスリムな行財政運営」（1.01 ポイント）が最も高くなっています。

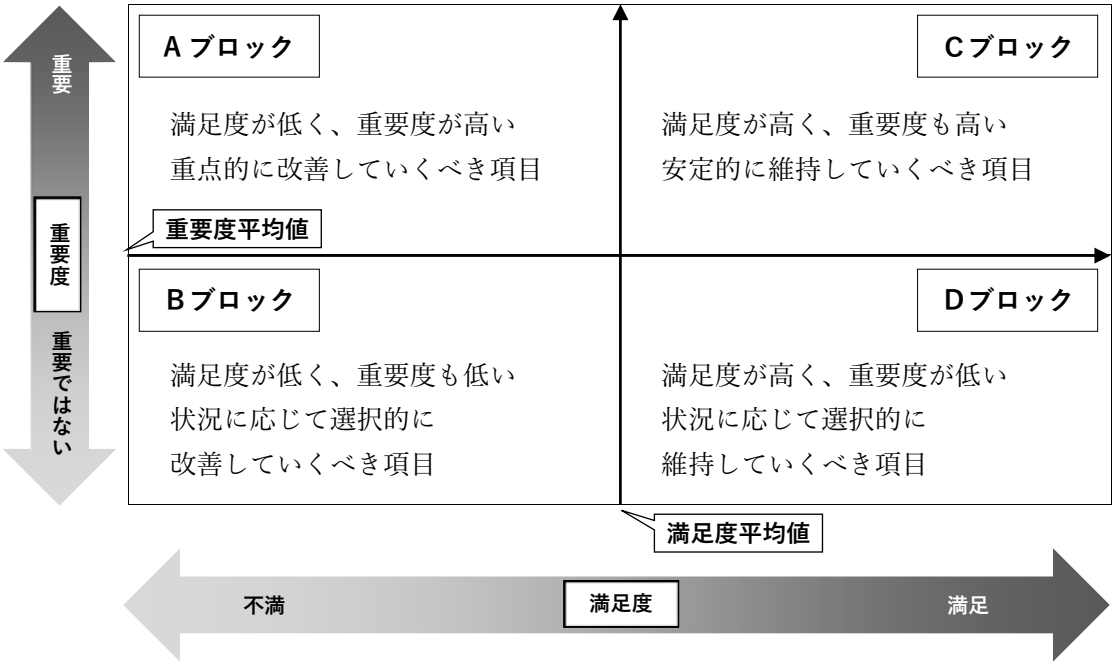
前回までの調査結果と比較すると、「45　情報通信技術の活用などによる情報化の推進」（0.74 ポイント）は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



※「47　市有地や公共施設等の適正な管理・運用」は H30 年度から設定

（7）４８項目の満足度と重要度の関係

48 項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について 4 つの象限で見てみると、おおむね以下に分類できます。



Ａブロック　重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Ｂブロック　状況に応じて選択的に改善していくべき項目

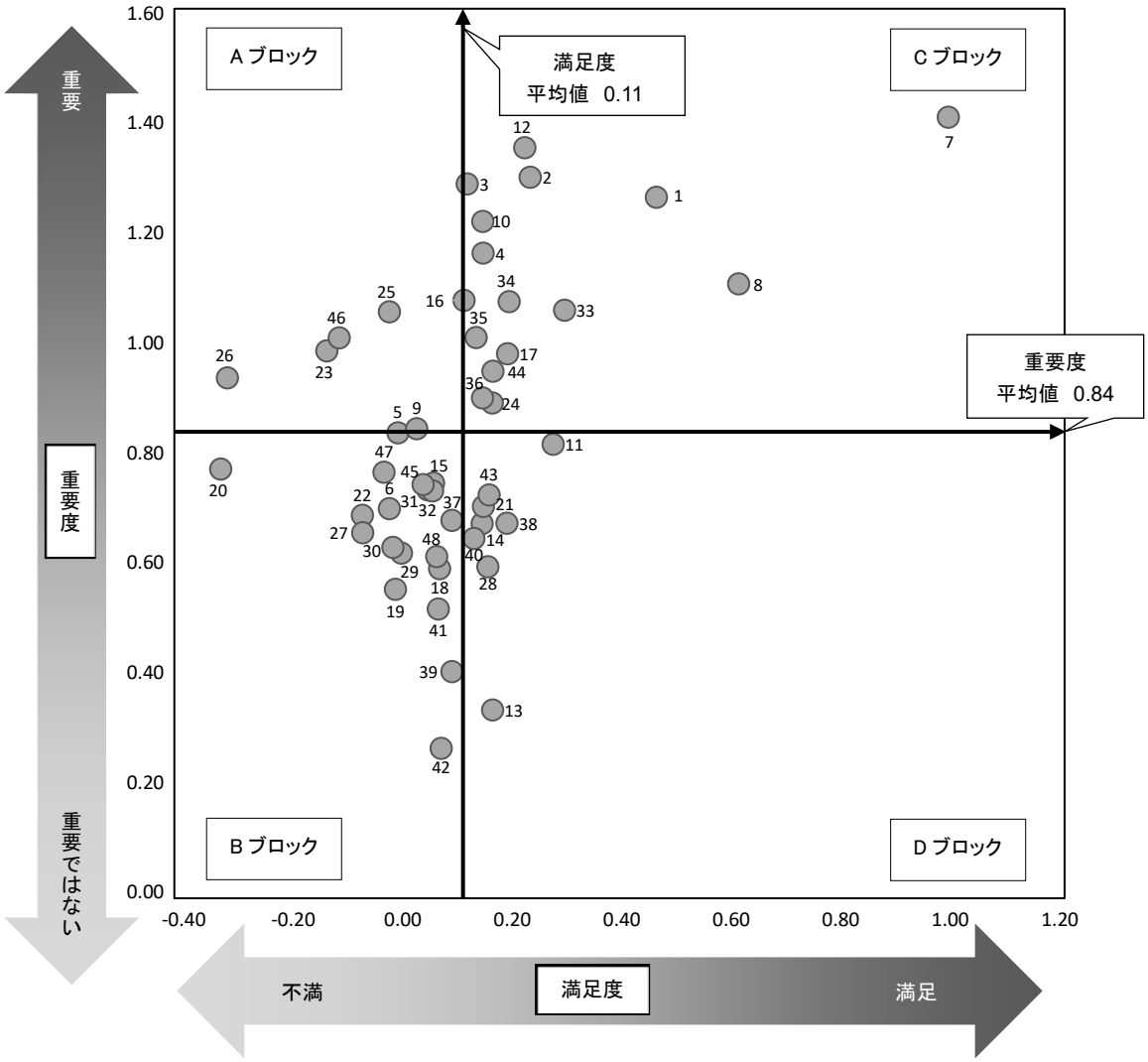
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Ｃブロック　安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

Ｄブロック　状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

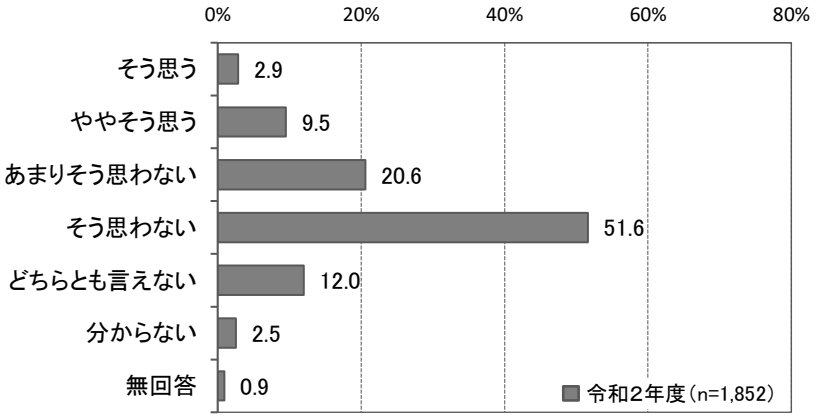
4　男女共同参画について

問５　男女共同参画についての考え

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（１つ選択）

「そう思わない」（51.6%）が５割以上で最も高く、次いで「あまりそう思わない」（20.6%）が約２割となっています。

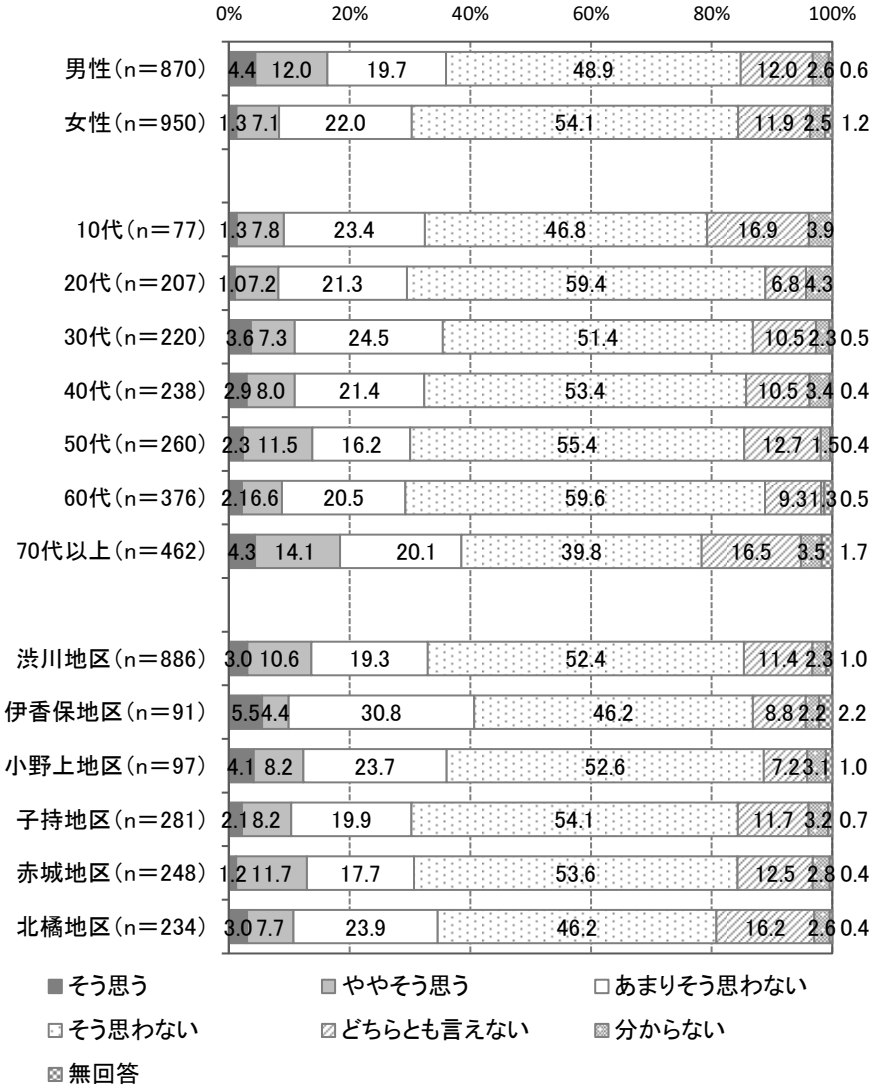
また、「そう思わない」と「あまり思わない」の合計値『思わない』は 72.2%となっています。



「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計値『思わない』は、属性別では、男性が68.6%、女性が76.1%で、女性が男性より高くなっています。

年代別では『思わない』は20代(80.7%)と60代(80.1%)が8割以上で高く、70代(59.9%)が最も低くなっています。

地区別では『思わない』は全ての地区で7割以上となっています。

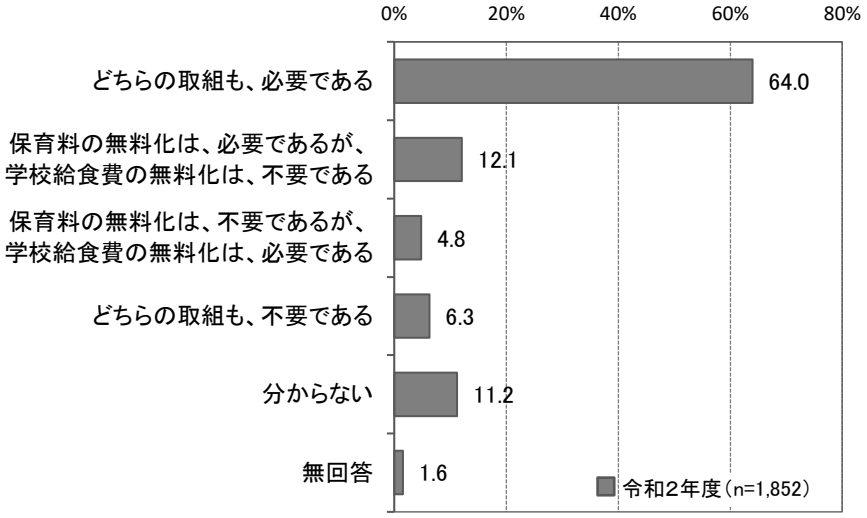


５　移住・定住について

問６　保育料の無料化と学校給食費の完全無料化について

渋川市では、保育料を完全無料化しています。また、学校給食費を完全無料化し、市が負担しています。あなたは、人口減少が進む中、渋川市に住み続けてもらうためのこれらの取組をどう考えますか。（１つ選択）

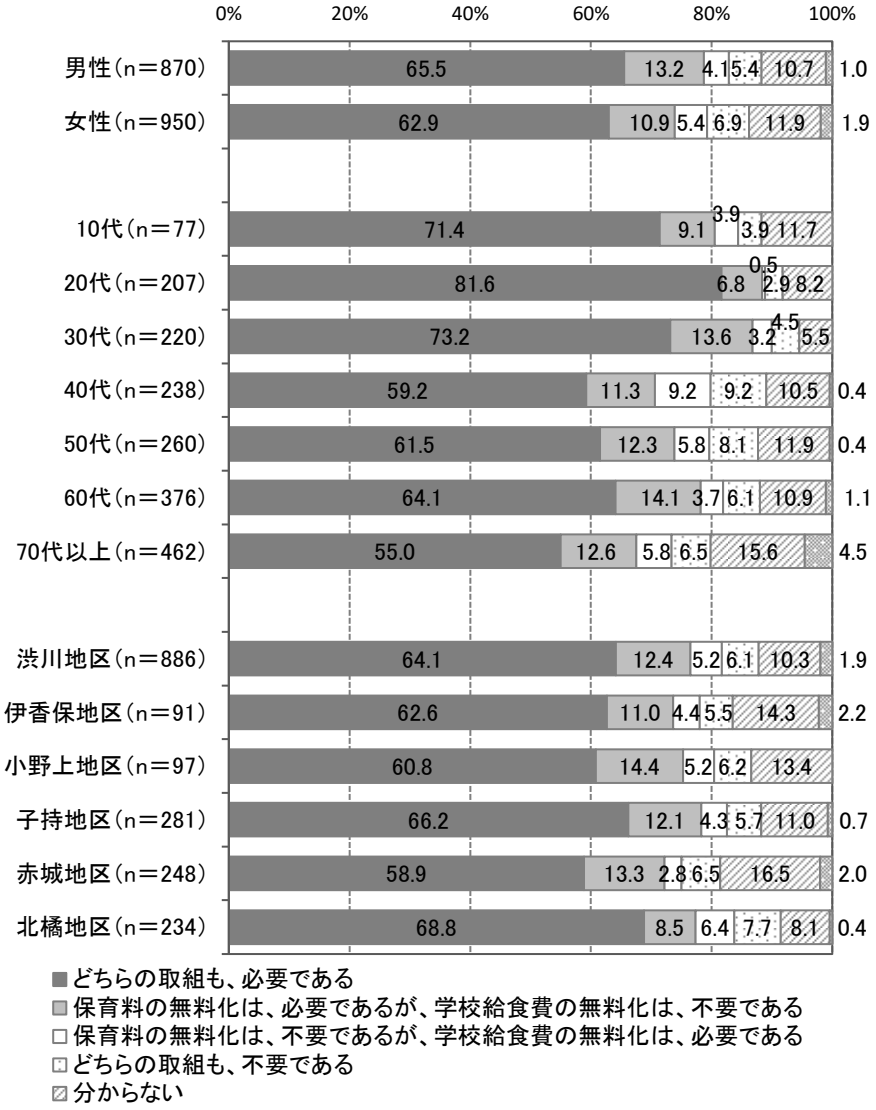
「どちらの取組も、必要である」（64.0%）が 6 割以上で最も高く、次いで「保育料の無料化は、必要であるが、学校給食費の無料化は、不要である」（12.1%）、「わからない」（11.2%）の 2 項目が約 1 割で同程度となっています。



属性別に見ると、「どちらの取組も、必要である」は男性（65.5%）、女性（62.9%）で、若干男性が高くなっています。

年代別では 20 代（81.6%）が 8 割以上で最も高く、次いで高い 30 代、10 代（それぞれ 73.2%、71.4%）も 7 割以上となっています。

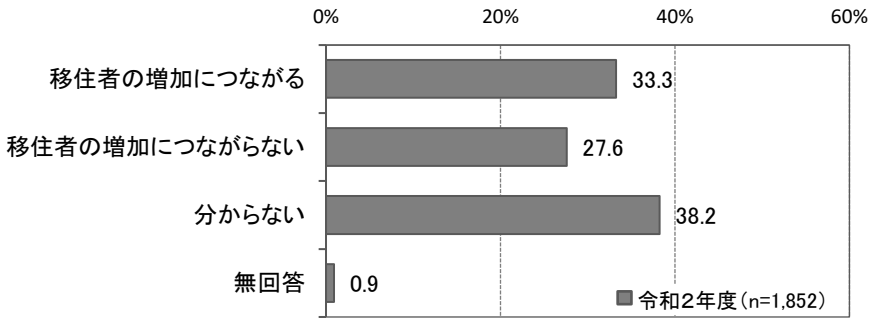
地区別では北橘地区（68.8%）が約 7 割で最も高く、次いで子持地区（66.2%）、渋川地区（64.1%）となっています。一方、赤城地区（58.9%）が 6 割以下で最も低くなっています。



問７　「移住者住宅支援制度」について

渋川市では、住宅を取得して他の市から転入する世帯に対し、基本 10 万円、加算額を含んで最大 50 万を支援する「移住者住宅支援制度」を行っています。あなたは、この制度が移住者の増加につながると思いますか。（１つ選択）

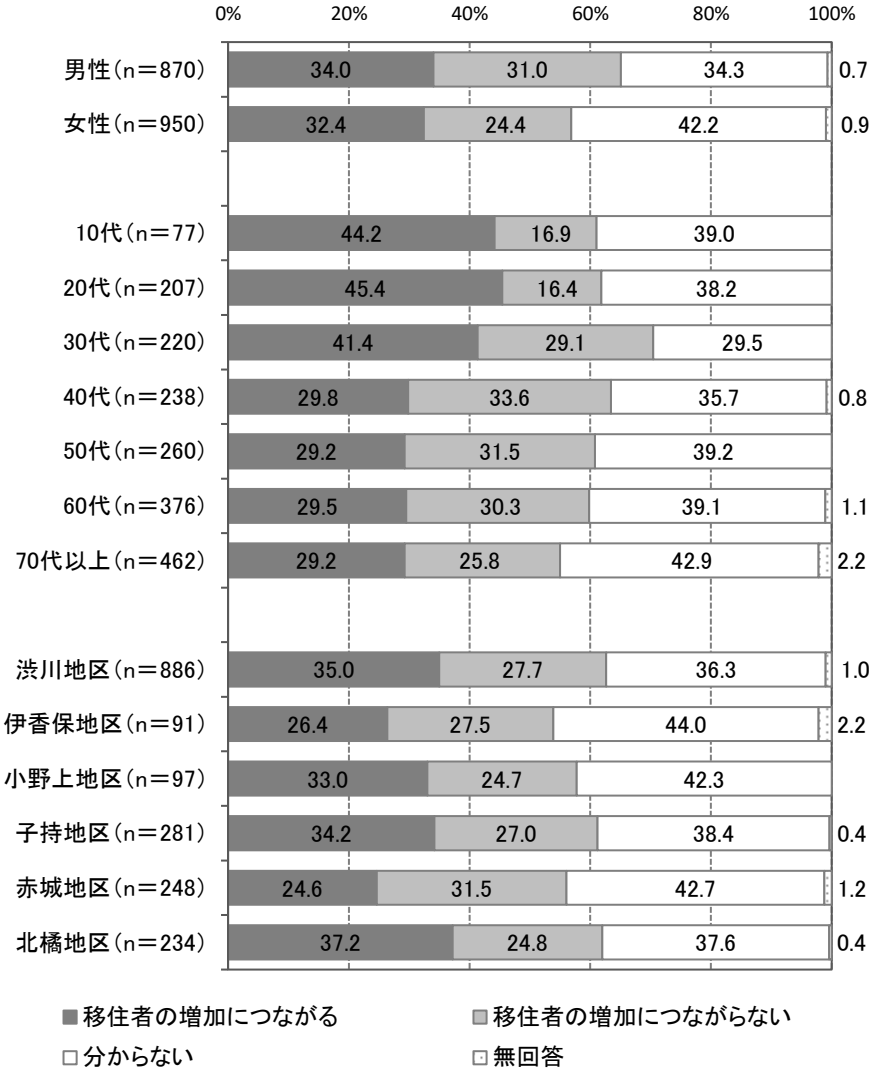
「分からない」（38.2%）が約 4 割で最も高くなっています。「移住者の増加につながる」（33.3%）と「移住者の増加につながらない」（27.6%）は約 3 割で拮抗しています。



属性別に見ると、「移住者の増加につながる」は男性（34.0%）、女性（32.4%）で、若干男性が高くなっています。

年代別では 20 代（45.4%）、10 代（44.2%）、30 代（41.4%）は 4 割以上で高く、その他の年代は約 3 割となっています。

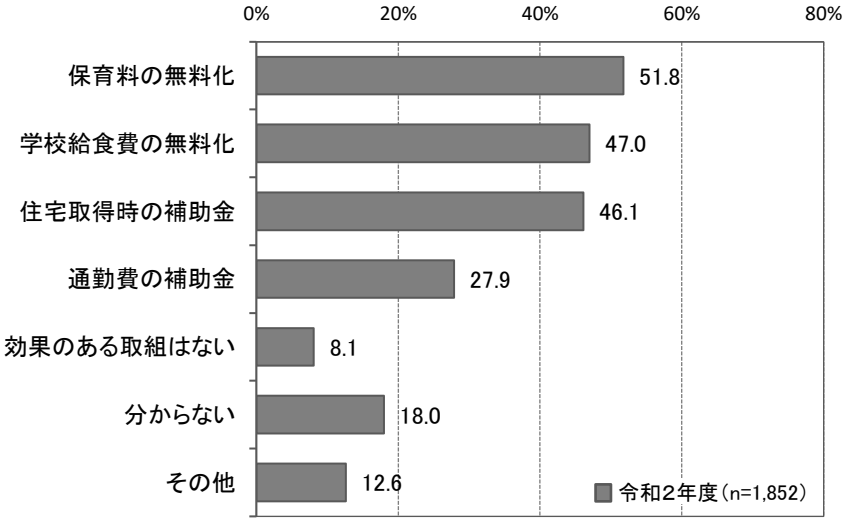
地区別では北橘地区（37.2%）が約 4 割で最も高く、次いで高い渋川地区（35.0%）、子持地区（34.2%）となっています。一方、赤城地区（24.6%）が最も低くなっています。



問８　渋川市に住み続けてもらうための市の取組について

あなたは、渋川市に住み続けてもらうための市の取組として、どのような取組が効果があると思いますか。（全て選択）

「保育料の無料化」（51.8%）で最も高く、次いで「学校給食費の無料化」（47.0%）、「住宅取得時の補助金」（46.1%）が４割を超えています。



属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では「保育料の無料化」を回答した割合が 30 代（69.1%）と 20 代（67.1%）で高くなっています。また、30 代は「学校給食費の無料化」と「住宅取得時の補助金」を回答した割合も 6 割以上となっています。

地区別では、小野上地区は「住宅取得時の補助金」を回答した割合も 5 割以上となっています。

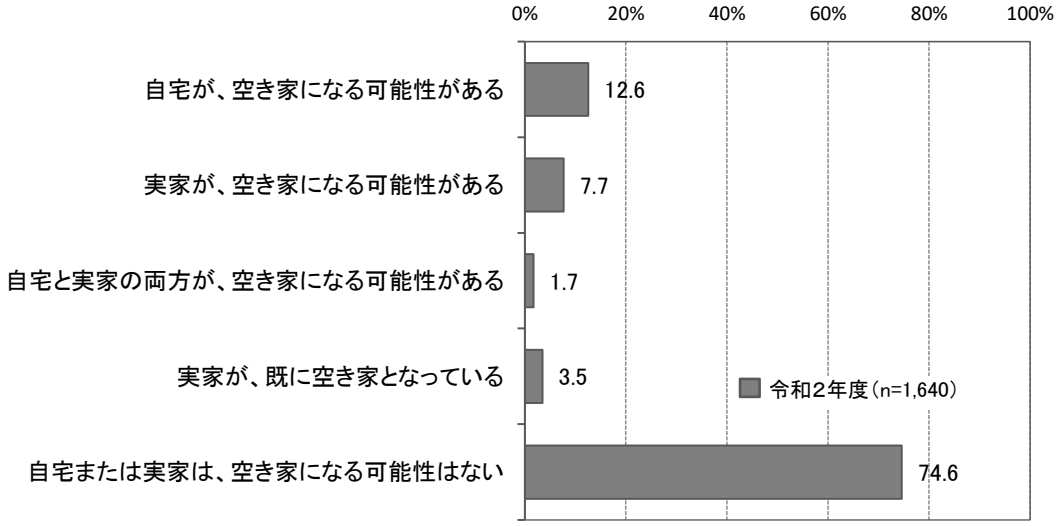
(%)	n	保育料の無料化	学校給食費の無料化	住宅取得時の補助金	通勤費の補助金	効果のある取組はない	分からない	その他
男性	870	50.5	44.6	45.4	25.6	8.9	16.9	14.8
女性	950	53.7	49.6	47.1	30.2	7.3	19.2	11.2
10 代	77	55.8	51.9	46.8	49.4	9.1	16.9	9.1
20 代	207	67.1	56.0	52.7	44.4	4.8	13.0	11.6
30 代	220	69.1	62.7	60.5	41.8	6.8	8.6	14.1
40 代	238	49.2	50.4	48.7	34.5	7.6	12.2	16.8
50 代	260	46.2	40.4	44.6	30.4	6.5	18.1	18.8
60 代	376	52.7	46.8	46.5	19.4	8.8	17.8	13.8
70 代以上	462	40.3	37.2	36.1	12.1	10.6	28.1	7.1
渋川地区	886	55.0	48.3	48.8	28.0	7.7	16.3	12.8
伊香保地区	91	45.1	46.2	39.6	34.1	8.8	19.8	9.9
小野上地区	97	55.7	49.5	53.6	34.0	7.2	19.6	7.2
子持地区	281	52.3	50.2	44.8	25.6	7.5	19.9	12.8
赤城地区	248	44.8	38.7	39.5	27.4	10.1	22.2	12.5
北橘地区	234	49.1	47.4	46.2	26.1	8.1	16.2	16.7

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

問９　自宅や実家の空き家の可能性について

渋川市内に、持ち家のご自宅やご実家がある方のみお答えください。あなたのご自宅やご実家が、今後 5 年以内に空き家になる可能性はありますか。（１つ選択）

「自宅または実家は、空き家になる可能性はない」（74.6%）が 7 割以上で最も高く、次いで「自宅が、空き家になる可能性がある」（12.6%）が 1 割以上となっています。

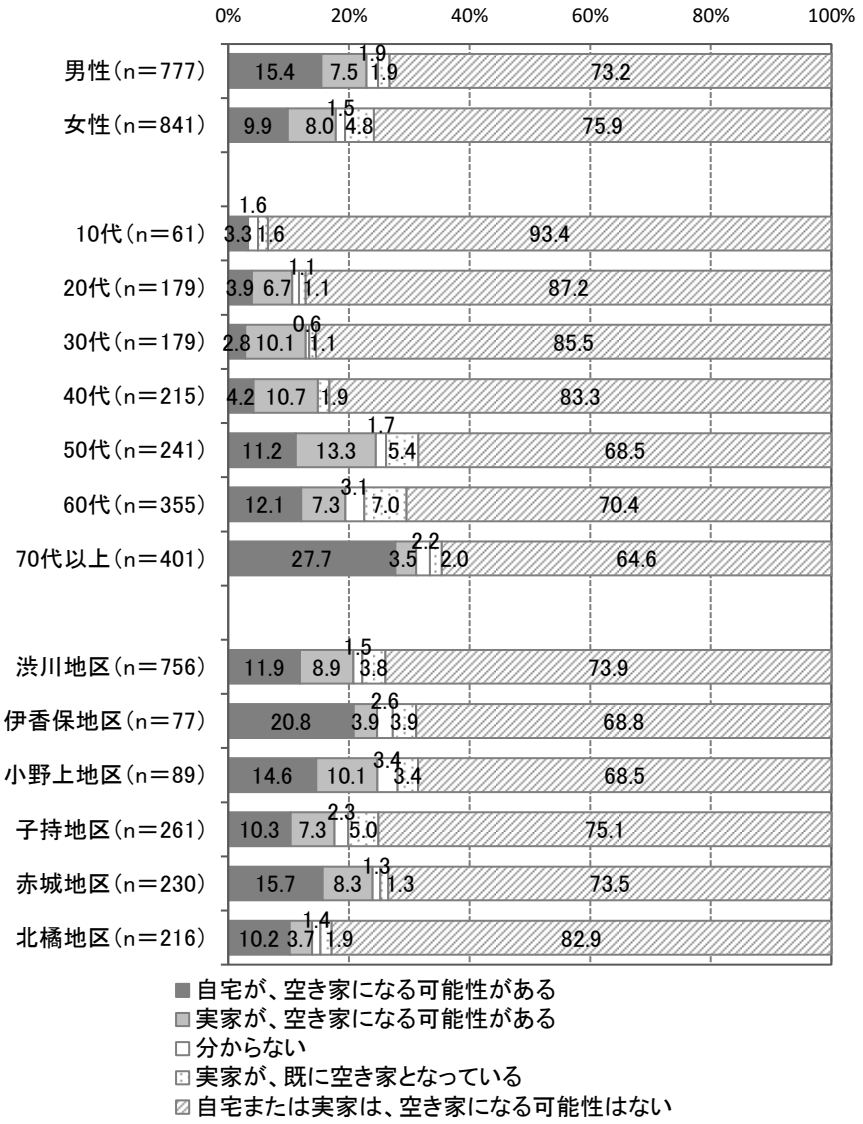


※無回答を除いた総数で割合を算出

属性別に見ると、性別では「自宅が、空き家になる可能性がある」を男性が 15.4%で、女性が 9.9%であり、男性の方が若干高くなっています。

年代別で傾向の違いが見られ、若い世代ほど「自宅または実家は、空き家になる可能性はない」と回答する割合が高く、10 代（93.4%）で 9 割以上となっています。70 代以上は、「自宅が、空き家になる可能性がある」と回答した割合が 27.7%であり、約 3 割となっています。

地区別では、伊香保地区は「自宅が、空き家になる可能性がある」（20.8%）を回答した割合が 2 割以上で最も高くなっています。北橘地区は「自宅または実家は、空き家になる可能性はない」と回答する割合が高く、8 割を超えています。



問１０　空き家になる可能性がある住宅の地区について

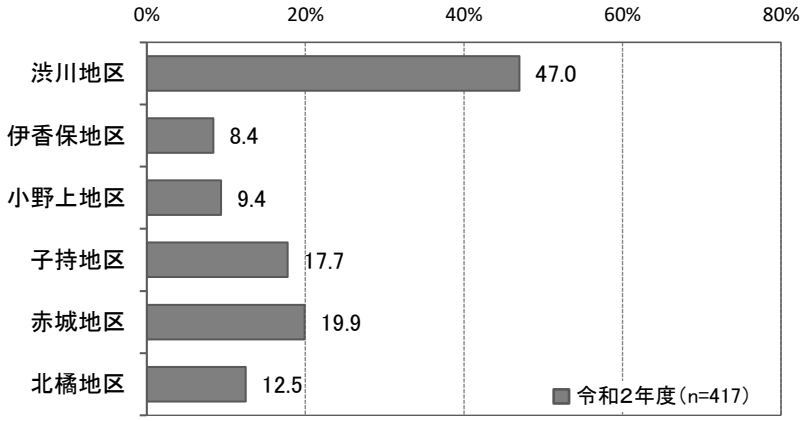
前問【問 9】で、選択肢 1～4 を選んだ人にお伺いします。今後 5 年以内に空き家になる可能性があるご自宅またはご実家は、渋川市内のどの地区にありますか。（全て選択）

「渋川地区」(47.0%) が約 5 割で最も高く、次いで「赤城地区」(19.9%)、「子持地区」(17.7%) となっています。

属性別に見ると、性別では「渋川地区」を男性が 43.3%で、女性が 36.9%であり、男性の方が若干高くなっています。

年代別では、「渋川地区」を回答した割合が最も高かったのが 30 代（50.0%）で 5 割、最も低かったのが 40 代（27.8%）で 3 割を下回っています。

地区別では、居住する地区内を回答する割合が高くなっています。



※選択肢 1～4 を選択した総数で割合を算出

(%)	n	渋川地区	伊香保地区	小野上地区	子持地区	赤城地区	北橘地区
男性	208	43.3	6.3	8.7	15.9	16.3	7.7
女性	203	36.9	7.9	6.9	14.8	20.2	11.3
10 代	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
20 代	23	30.4	8.7	8.7	17.4	21.7	13.0
30 代	26	50.0	11.5	0.0	11.5	15.4	11.5
40 代	36	27.8	5.6	11.1	11.1	22.2	19.4
50 代	76	43.4	6.6	3.9	19.7	15.8	9.2
60 代	105	35.2	5.7	11.4	16.2	19.0	9.5
70 代以上	142	45.1	7.7	7.0	14.8	17.6	6.3
渋川地区	197	79.7	2.5	1.0	4.1	6.1	3.6
伊香保地区	24	4.2	95.8	0.0	0.0	0.0	0.0
小野上地区	28	3.6	0.0	89.3	0.0	3.6	0.0
子持地区	65	4.6	1.5	0.0	83.1	4.6	1.5
赤城地区	61	6.6	0.0	4.9	3.3	88.5	1.6
北橘地区	37	0.0	0.0	5.4	0.0	13.5	81.1

※属性ごとに選択肢 1～4 を選択した総数で割合を算出

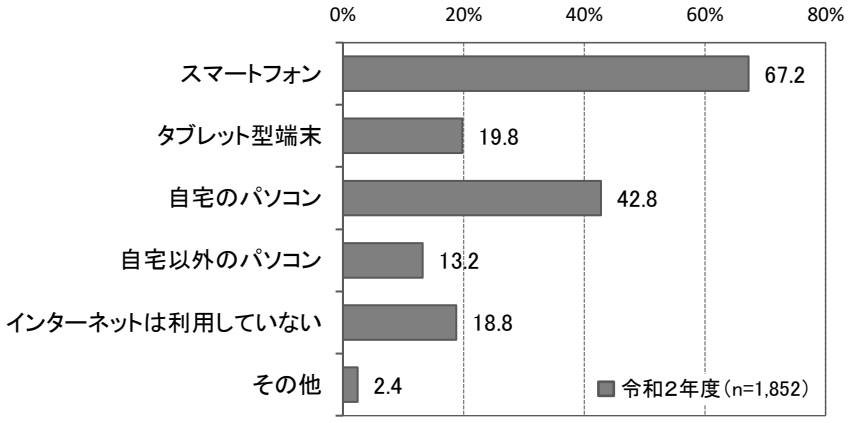
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示。10 代は該当者が 10 人未満であるため参考表示とし、色表示なし

６　インターネットの利用環境について

問１１　インターネットの利用手段

あなたは、インターネットを利用するとき、どのような手段を使いますか。（全て選択）

「スマートフォン」が 67.2％で最も高く、「インターネットは利用していない」（18.8％）は約 2 割となっています。



属性別に見ると、性別では「自宅のパソコン」を男性（50.1%）が 5 割以上、女性（36.7%）が 3 割以上で男性が高くなっています。

年代別では、70 代以上は「インターネットを利用していない」（48.3%）が約 5 割で高くなっています。

地区別では大きな違いは見られません。

(%)	n	スマートフォン	タブレット型端末	自宅のパソコン	自宅以外のパソコン	インターネットは利用していない	その他
男性	870	66.1	20.3	50.1	15.7	17.8	2.5
女性	950	69.4	19.6	36.7	10.9	19.3	2.2
10 代	77	94.8	23.4	59.7	10.4	1.3	0.0
20 代	207	98.1	29.0	55.6	23.2	0.5	0.5
30 代	220	95.5	32.7	55.0	17.7	1.4	2.7
40 代	238	93.3	34.0	54.2	21.8	2.5	2.1
50 代	260	83.1	25.0	51.5	15.0	9.6	0.8
60 代	376	58.8	12.8	41.8	11.4	22.3	2.4
70 代以上	462	20.8	4.5	18.8	3.0	48.3	4.8
渋川地区	886	68.5	21.2	46.3	14.2	16.5	2.5
伊香保地区	91	65.9	22.0	39.6	9.9	17.6	1.1
小野上地区	97	63.9	14.4	34.0	13.4	22.7	4.1
子持地区	281	68.3	21.0	42.0	13.9	21.4	1.4
赤城地区	248	62.9	14.1	38.3	9.7	24.6	2.8
北橘地区	234	69.2	20.1	41.0	13.7	16.2	3.0

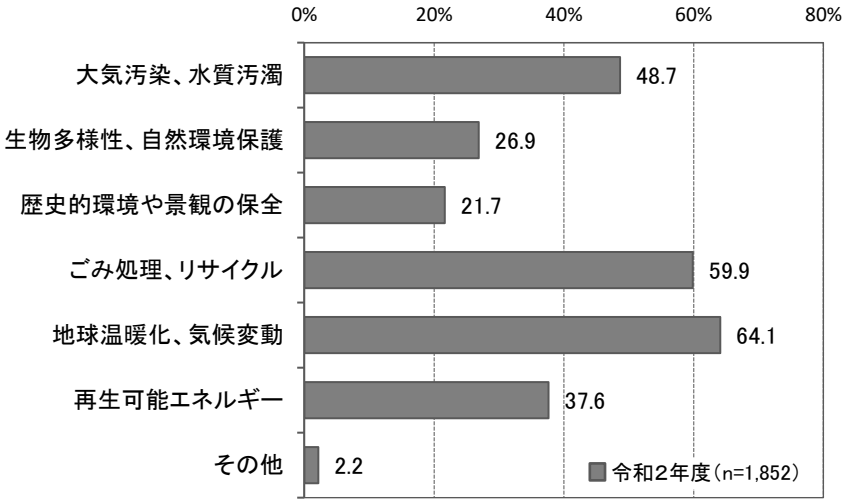
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

７　環境問題について

問１２　関心のある環境問題

あなたは、次の環境に関する項目の中で、どのようなことに関心がありますか。（全て選択）

「地球温暖化、気候変動」（64.1%）と「ごみ処理、リサイクル」（59.9%）が約 6 割で特に高くなっています。次いで「大気汚染、水質汚濁」（48.7%）が約 5 割、「再生可能エネルギー」（37.6%）が約 4 割となっています。



属性別に見ると、性別では大きな違いは見られません。

年代別では、「大気汚染、水質汚濁」で 30 代（55.9%）と 60 代（54.8%）の回答した割合が高くなっています。

地区別では、「地球温暖化、気候変動」で小野上地区（54.6%）を除いて、全ての地区は 6 割以上となっています。

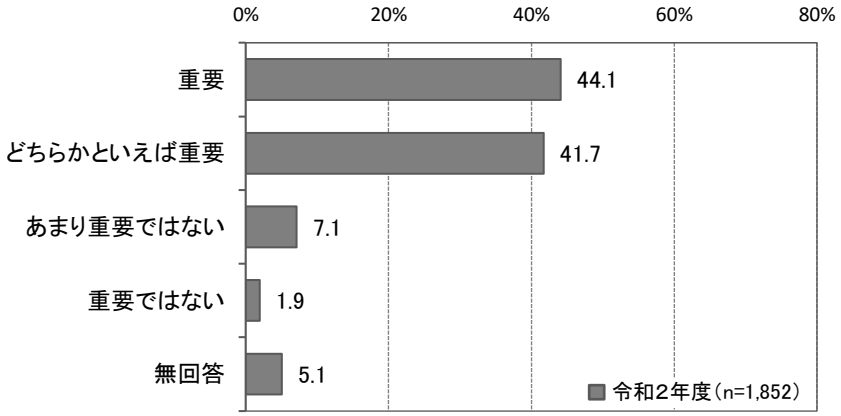
(%)	n	大気汚染、水質汚濁	生物多様性、自然環境保護	歴史的環境や景観の保全	ごみ処理、リサイクル	地球温暖化、気候変動	再生可能エネルギー	その他
男性	870	46.1	27.7	23.8	57.1	62.2	41.3	2.6
女性	950	51.2	26.0	19.9	62.7	66.2	34.7	1.6
10 代	77	40.3	33.8	22.1	49.4	63.6	42.9	1.3
20 代	207	46.4	29.0	28.0	54.6	57.5	41.1	1.4
30 代	220	55.9	24.5	20.5	55.9	59.5	37.3	1.8
40 代	238	47.1	23.1	21.0	61.8	68.5	43.7	2.5
50 代	260	47.7	30.0	21.9	61.9	67.3	43.5	1.9
60 代	376	54.8	32.4	24.7	66.8	73.9	37.0	1.9
70 代以上	462	44.8	21.6	16.9	58.9	57.6	30.1	2.8
渋川地区	886	49.8	26.9	21.3	61.2	63.2	39.4	2.4
伊香保地区	91	41.8	19.8	26.4	51.6	61.5	33.0	3.3
小野上地区	97	47.4	36.1	19.6	55.7	54.6	28.9	1.0
子持地区	281	48.4	27.0	18.9	60.1	68.3	40.2	2.1
赤城地区	248	46.8	29.8	23.8	62.1	65.7	34.3	2.4
北橘地区	234	51.7	22.2	22.6	59.0	67.1	38.0	0.9

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

問１３　低炭素社会・循環型社会への取組について

あなたは、持続可能な社会の実現に向けた、低炭素社会・循環型社会への取組について、どう考えますか。（１つ選択）

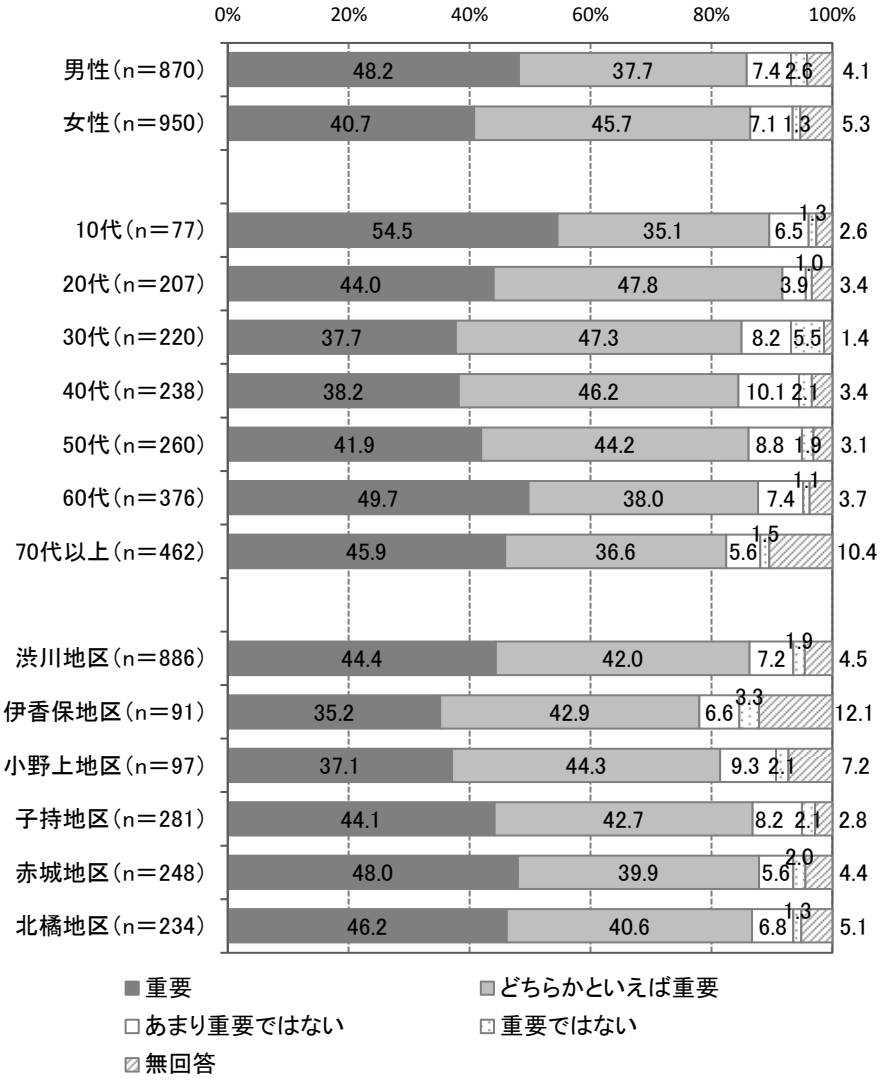
「重要」（44.1%）と「どちらかといえば重要」（41.7%）は 4 割を超え、合わせると 85.8%となっています。「重要ではない」（1.9%）と「あまり重要ではない」（7.1%）を合わせると 9.0%となっています。



属性別に見ると、性別では「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた値で見ると大きな違いはありませんでした。

年代別では、20 代は「重要」（44.0%）と「どちらかといえば重要」（47.8%）を合わせると 91.8%で他の世代に比べて最も高くなっています。次いで、10 代も 89.6%で約 9 割となり、高くなっています。

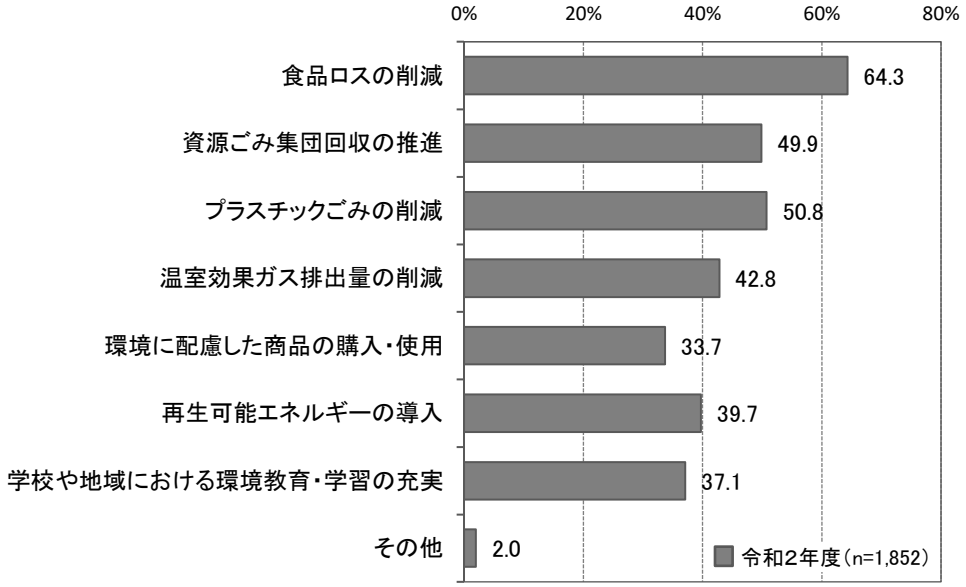
地区別では、伊香保地区は「重要」（35.2%）と「どちらかといえば重要」（42.9%）を合わせると 78.1%で他の地区に比べて最も低くなっています。



問１４　持続可能な社会の実現に向けた取組について

あなたは、持続可能な社会の実現に向けて、どのような取組が重要だと思いますか。（全て選択）

「食品ロスの削減」（64.3%）が 6 割以上で特に高く、次いで「プラスチックごみの削減」（50.8%）と「資源ごみ集団回収の推進」（49.9%）が約 5 割となっています。



属性別に見ると、「食品ロスの削減」を男性（58.9%）と女性（69.7%）で比較すると、1 割以上女性の方が高くなっています。

年代別では、10 代が 2 番目に割合の高かった項目が「温室効果ガス排出量の削減」（61.0%）で 6 割以上となっており、その他年代に比べて高くなっています。

地区別では大きな差は見られませんが、小野上地区は「食品ロスの削減」（56.7%）を回答した割合が、その他地区に比べて低くなっています。

(%)	n	食品ロスの削減	資源ごみ集団回収の推進	プラスチックごみの削減	温室効果ガス排出量の削減	環境に配慮した商品の購入・使用	再生可能エネルギーの導入	学校や地域における環境教育・学習の充実	その他
男性	870	58.9	47.5	48.2	43.6	31.5	44.4	35.4	2.0
女性	950	69.7	51.9	53.1	42.3	35.8	35.5	38.5	1.9
10 代	77	70.1	42.9	49.4	61.0	37.7	50.6	50.6	0.0
20 代	207	65.7	42.5	47.3	44.9	38.6	45.9	42.5	1.0
30 代	220	63.2	42.7	41.4	37.7	30.9	40.5	43.6	3.6
40 代	238	63.0	46.2	46.6	38.7	33.2	36.1	39.5	3.8
50 代	260	67.3	49.2	54.6	45.0	37.3	44.6	35.8	2.3
60 代	376	67.8	56.6	58.5	47.3	35.6	42.0	35.9	0.3
70 代以上	462	59.5	55.0	50.9	38.5	29.0	32.3	29.7	2.2
渋川地区	886	65.8	48.4	49.7	44.4	34.8	39.6	37.0	1.9
伊香保地区	91	70.3	48.4	50.5	36.3	34.1	31.9	34.1	1.1
小野上地区	97	56.7	54.6	50.5	42.3	28.9	38.1	38.1	2.1
子持地区	281	63.7	48.8	50.9	40.2	34.2	40.6	35.9	2.8
赤城地区	248	64.1	54.0	52.8	46.8	33.9	44.4	37.9	2.0
北橘地区	234	60.7	52.1	54.3	40.2	31.6	38.9	38.9	1.7

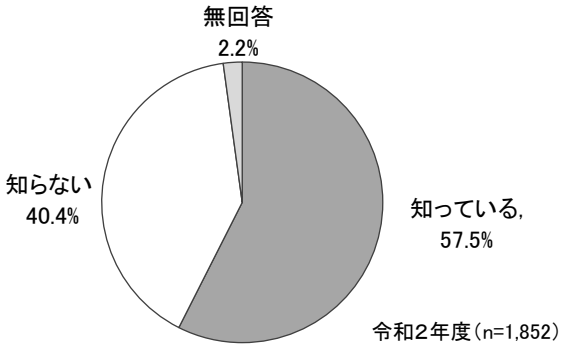
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

８　老人福祉センターについて

問１５　老人福祉センターの認知度

あなたは、老人福祉センター（渋川老人福祉センター、小野上地域福祉センター、子持老人福祉センター）を知っていますか。（１つ選択）

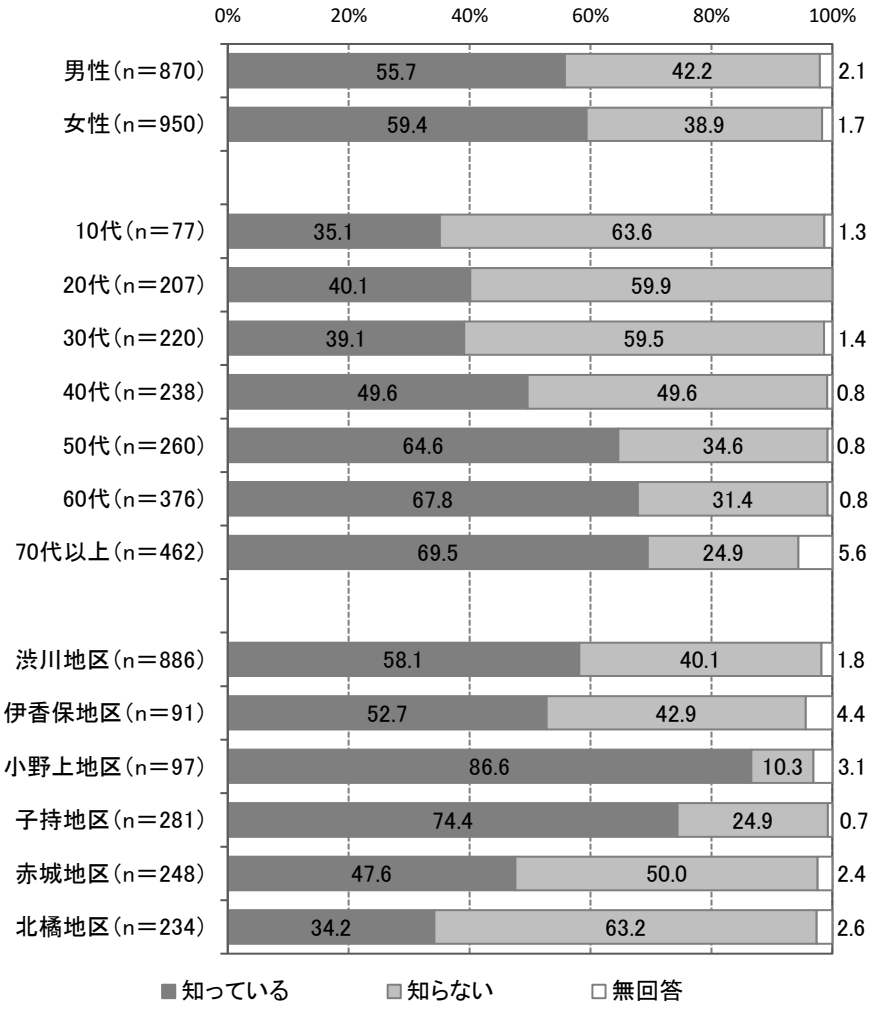
「知っている」（57.5%）が約６割で、「知らない」（40.4%）が約４割となっています。



属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では「知っている」は 10 代（35.1%）が最も低く、概ね年代が上がるにつれ「知っている」と回答した割合が高くなっています。

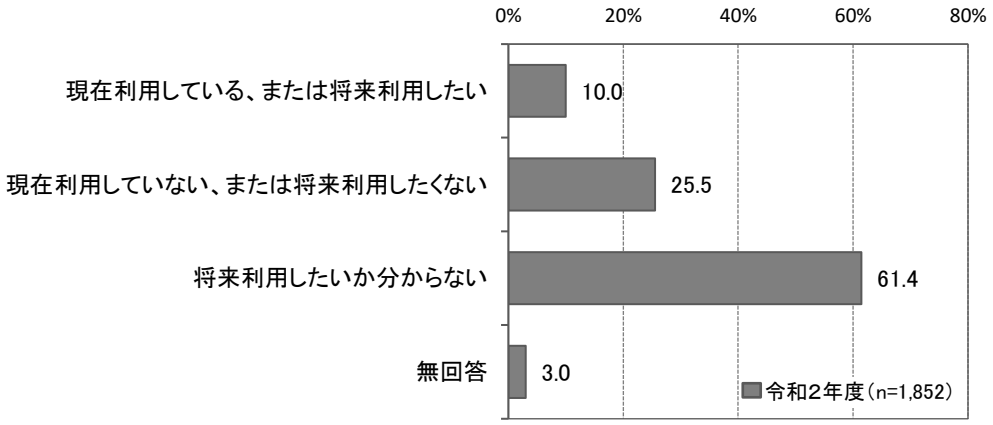
地区別では、「知っている」を回答した割合は、老人福祉センターが立地する小野上地区（86.6%）と子持地区（74.4%）で特に高くなっています。北橘地区は「知らない」（63.2%）と回答した割合が 6 割を超え、その他地区に比べて高くなっています。



問１６　老人福祉センターの利用状況・利用意向について

あなたは、老人福祉センターを現在利用していますか。または、将来利用したいですか。（１つ選択）

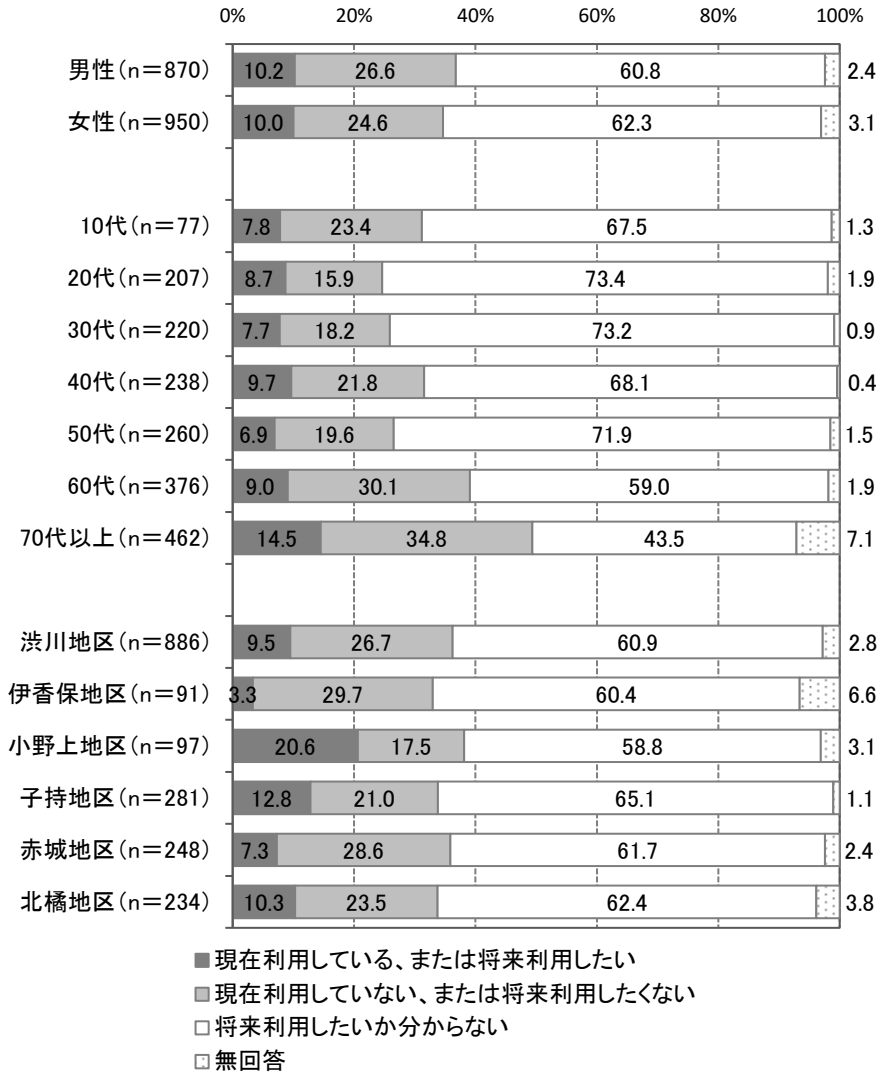
「将来利用したいか分からない」（61.4%）が 6 割以上で特に高く、次いで「現在利用していない、または将来利用したくない」（25.5%）、「現在利用している、または将来利用したい」（10.0%）が 1 割となっています。



属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では、「現在利用していない、または将来利用したくない」を 70 代（34.8%）と 60 代（30.1%）は、3 割以上で高くなっています。

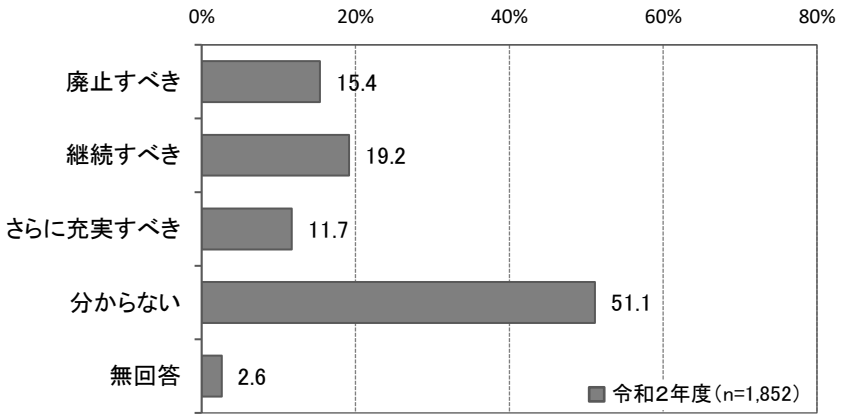
地区別では、「現在利用している、または将来利用したい」を回答した割合が、伊香保地区は 3.3%で低く、他の地区に比べて低くなっています。一方、小野上地区（20.6%）と子持地区（12.8%）で高くなっています。



問１７　渋川老人福祉センターの今後の方向性について

外部有識者で組織された「渋川市社会福祉施設等のあり方検討委員会」において、平成23年10月にまとめた報告書では、渋川老人福祉センターは「廃止の検討をすべき」とされています。あなたは、渋川老人福祉センターの今後の方向性について、どう考えますか。（1つ選択）

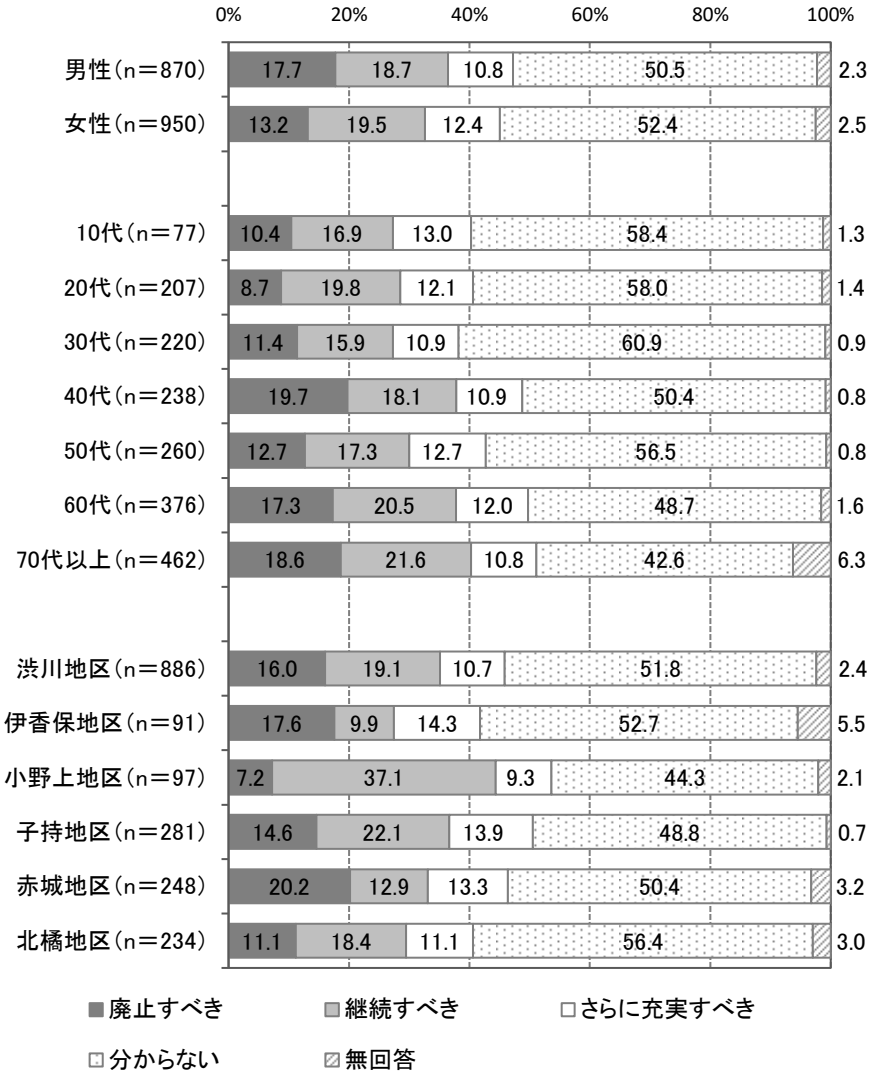
「分からない」（51.1％）が5割以上で最も高くなっています。「継続すべき」（19.2％）が「廃止すべき」（15.4％）を若干上回っています。



属性別に見ると、性別では「廃止すべき」を男性（17.7%）、女性（13.2%）で若干男性の方が高くなっています。

年代別では、40 代は「廃止すべき（19.7%）」の方が、「継続すべき（18.1%）」を若干上回っています。「継続すべき」を回答した割合が 70 代以上（21.6%）と 60 代（20.5%）で高く、2 割以上となっています。

地区別では、「継続すべき」を回答した割合が、小野上地区（37.1%）と子持地区（22.1%）で高くなっています。



問１８　前問【問１７】のように回答した理由

前問【問１７】のように回答した理由は何ですか。（自由記入）

【「廃止すべき」を回答した人の主な理由】

・あまり有効利用されていない。
・①利用者が限られている。②日帰り温泉を利用するので不要ではないかと思う。
・お金がかかる。
・介護保険で施設利用が充実してきたから福祉センターは廃止すべき。
・近隣や使用しなれている一部の住民が利用している施設に、財政が厳しい市の税金を使ってまで継続する必要は全くないと思う。
・高齢者でも車を運転している人が多いため、地域の福祉施設を利用しなくても好きな場所へ行くことが可能なため、利用者が少ないと思う。財政を違う方へまわせる気がする。
・時代に合わない。
・デイサービスで良いと思う。
・何をしているのか全く分からないので。
・他の施設が充実してきているため。
・利用していないから。
・老人より若い人に金を使うべき！

【「継続すべき」を回答した人の主な理由】

・高齢者が地域とのつながりを持てると思うから。
・高齢者が家にとじこもりにならずに、気分転換になると思うから。
・自分が年をとった時に利用したいから。
・憩いの場として必要と考える。地域とのコミュニケーションの場として必要と考える。
・お年寄りが楽しみに行ける場所はあった方が良い。
・外出する機会となる。
・現在の利用で満足しているから。
・高齢化社会が進んでいくと思うので、利用する人が増えると思うから。
・一人暮らしの世帯が多くなると思う。社会、地域のつながりを持つためにも続けてほしい。
・現在センターを頼りにしている人のために無くすべきではない。もっと魅力ある場所にしていただきたい。

【「さらに充実すべき」を回答した人の主な理由】

・今は高齢化がますます進んでいくなかで、高齢者が無料で利用できる資源があることで、引きこもり防止につながると思う。多くの人が老人福祉センターの存在を知り、さらに施設を充実させ、利用したくなる施設にしてほしい。
・お年寄りの方達が寄り集まって、おしゃべりをしたりできる場所を無理に廃止する必要はないと思う。もっと交流できる場所を増やすべきでは。
・いつも利用しているので。
・現在センターを頼りにしている人のために無くすべきではない。もっと魅力ある場所にしてい

ただきたい。
・高齢化社会のなか孤独感が増えつつある。そのためにもこのような施設を増やしていき、交流を深める場として充実させるべき。
・高齢者が増えているため。
・高齢者だけでなく、障害者や児童などにとっても良い交流の場となるから。高齢者にとって入浴できる施設はとても重要だと思うから。
・これからの利用にあたり、他市の老人センターを参考に（前橋）
・今後も増加し続ける高齢者の福祉施設として、利用価値のあるものとして充実させるべき。それでも継続困難であれば、廃止の検討も考え得ると思う。
・充実すれば利用者も増え、需要が高まると思うから。
・老人の憩いの場として、また、安価で入浴ができるところを残してあげたいので、利用しやすいものにもっと改善、工夫していくようにしてほしい。

【「分からない」を回答した人の主な理由】
・老人福祉センターについて何も知らないから。
・行ったことがないから分からない。
・今の状態をよく知らないため。
・利用したことがないため。
・興味がない。
・現在利用していないので分からない。
・高齢者にとって一つの交流が楽しみの場として必要かもしれないと思う一方で、どれほど需要があるか分からない。高齢者だけでなく、全世代に向けた施設などの方が需要があるのでは。
・渋川老人福祉センターがどんな場所か知らないから。
・自分が利用することがないから。
・なぜ渋川老人福祉センターを廃止すべきか検討している理由が分からない。
・廃止の理由が解らない。
・身近に利用している人がいないから。

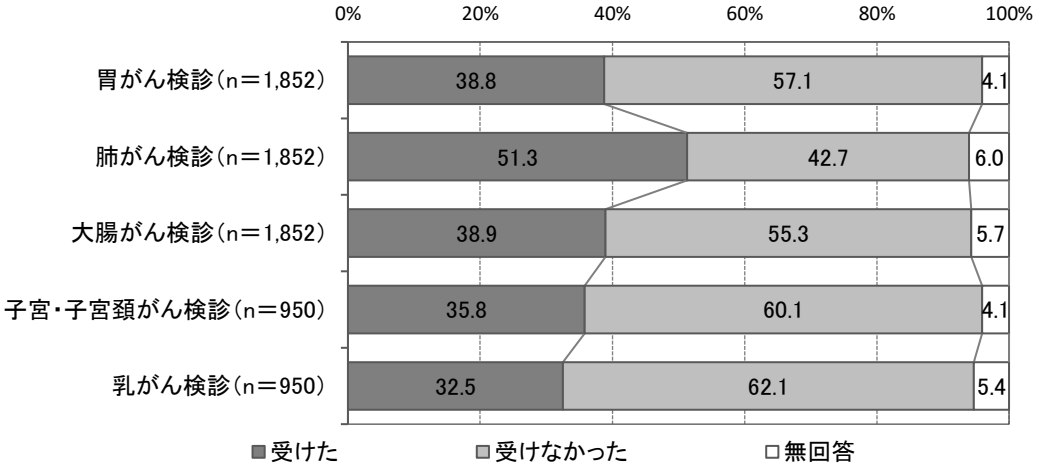
９　がん検診について

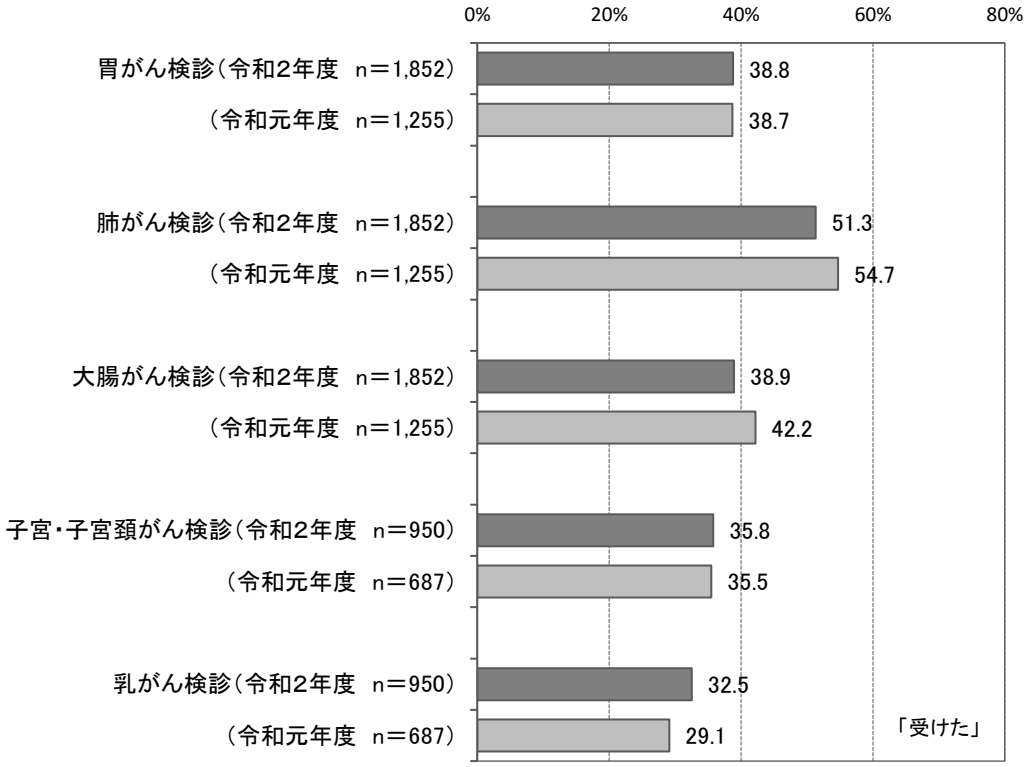
問１９・２０　がん検診の受診状況

あなたは、平成 31 年４月から令和２年３月までに、次のがん検診を受けましたか。検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。（それぞれ１つ選択）

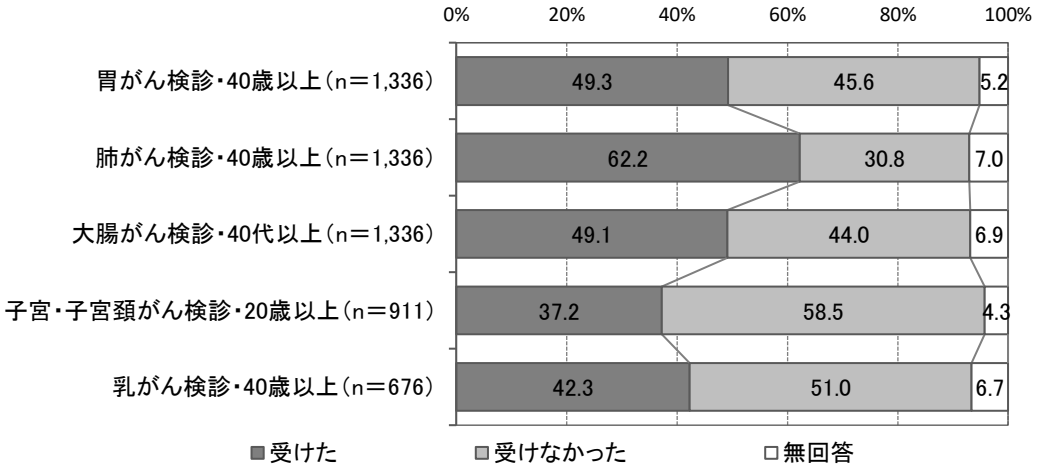
「受けた」は肺がん検診（51.3%）が 5 割以上で最も高くなっています。次いで、大腸がん検診（38.9%）と胃がん検診（38.8%）が約 4 割となっています。

前回調査の結果と比較すると、胃がん検診と子宮・子宮頸がん検診は大きな変化は見られません。肺がん検診と大腸がん検診は若干低くなっており、乳がん検診は若干高くなっています。

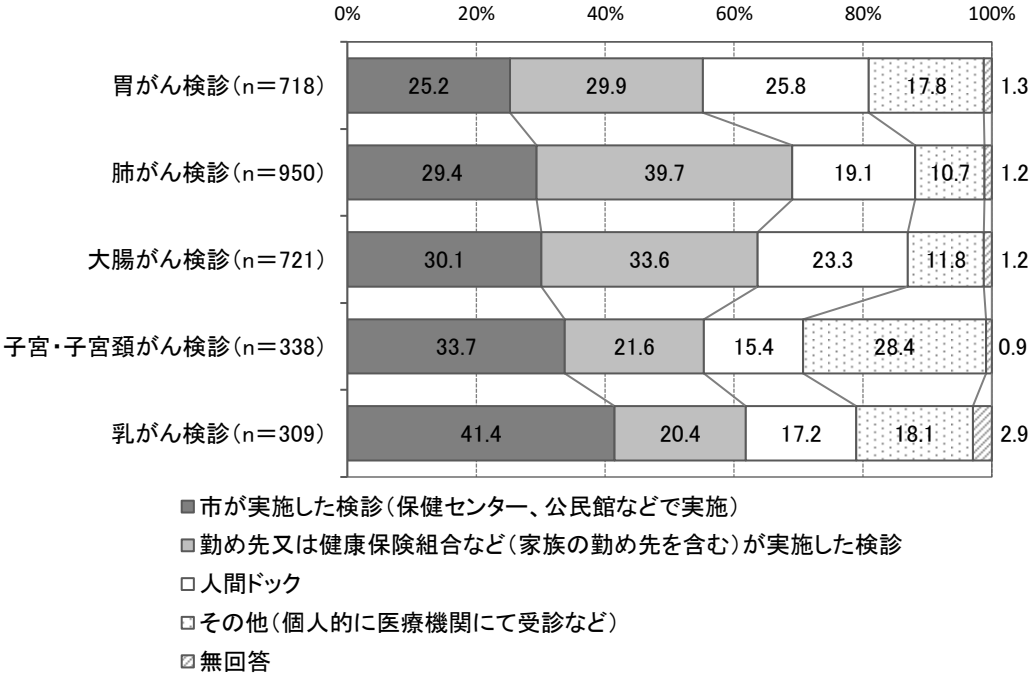




市が実施するそれぞれの検診の対象年齢（胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診は 40 歳以上、乳がん検診は 40 歳以上の女性、子宮・子宮頸がん検診は 20 歳以上の女性）で見ると、「受けた」は肺がん検診（62.2%）が 6 割以上で最も高くなっています。次いで、胃がん検診（49.3%）と大腸がん検診（49.1%）が約 5 割となっています。

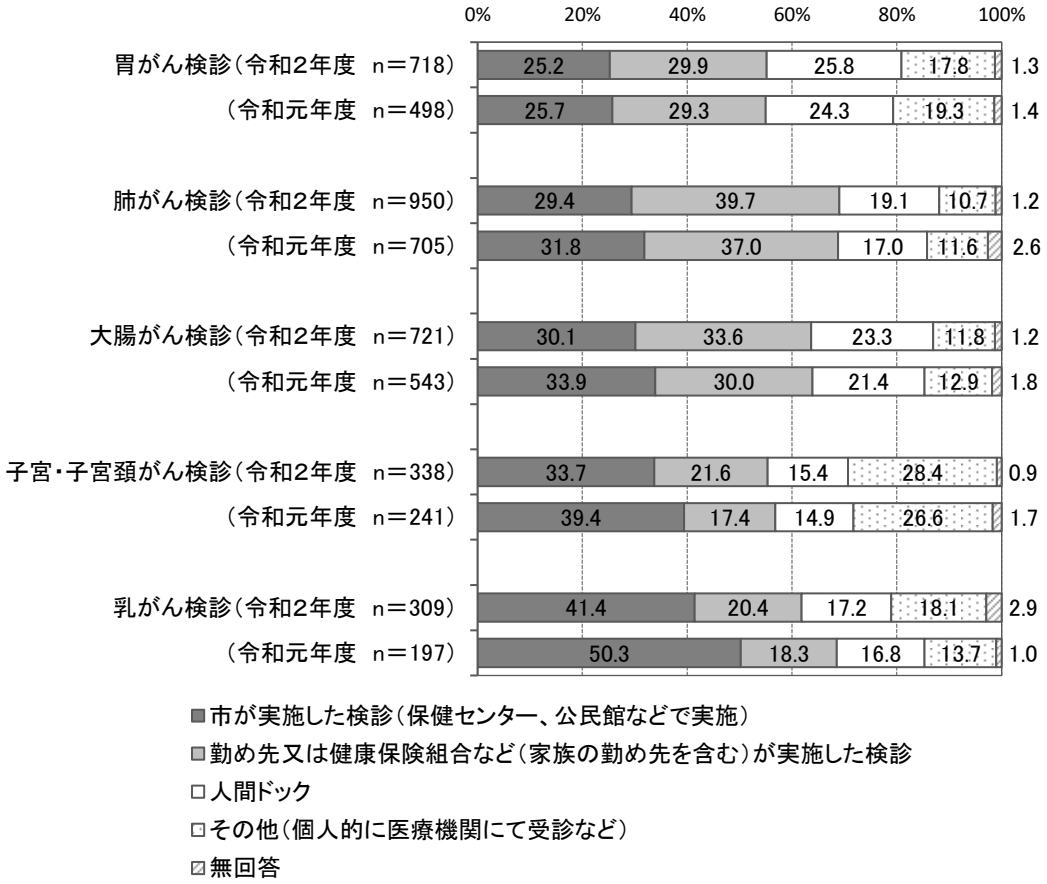


「受けた」機会は、子宮・子宮頸がん検診、乳がん検診は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）※」（それぞれ 33.7%、41.4%）が最も高く、乳がん検診では 4 割以上となっています。胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 29.9%、39.7%、33.6%）が最も高く、肺がん検診では約 4 割となっています。



※子宮・子宮頸がん検診、乳がん検診では「市が実施した検診（保健センター、公民館、指定医療機関などで実施）」
※「市が実施した検診」は胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診は 40 歳以上、子宮・子宮頸がん検診は 20 歳以上女性、乳がん検診は 40 歳以上女性が対象

前回調査の結果と比較すると、乳がん検診は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（今回 41.4%、R元年度 50.3%）が 8.9 ポイント低下しています。

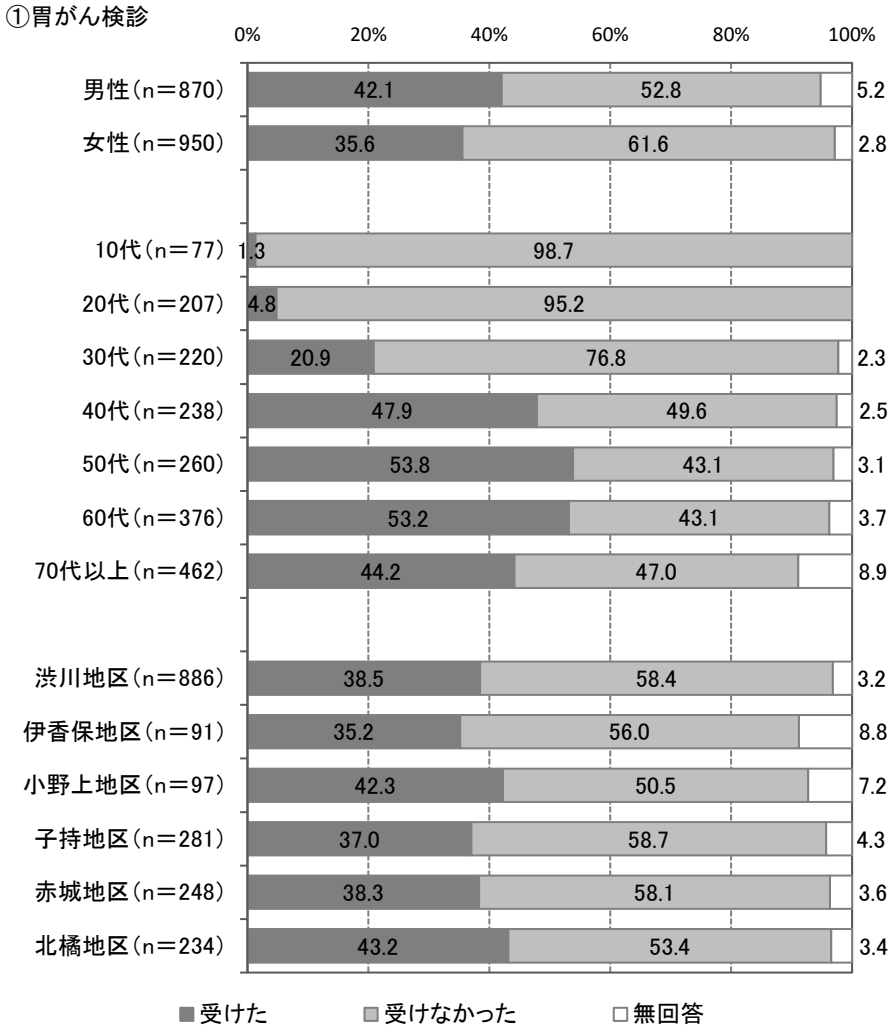


問１９①胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ）による撮影など）

「受けた」について属性別に見ると、性別では男性（42.1%）が 4 割以上、女性（35.6%）が 3 割以上で、男性が高くなっています。

年代別では 50 代（53.8%）が 5 割以上で最も高く、次いで高い 60 代（53.2%）も 5 割以上となっています。また、50 代をピークに 40 代以下と 60 代以上の値が低くなる傾向がうかがえます。

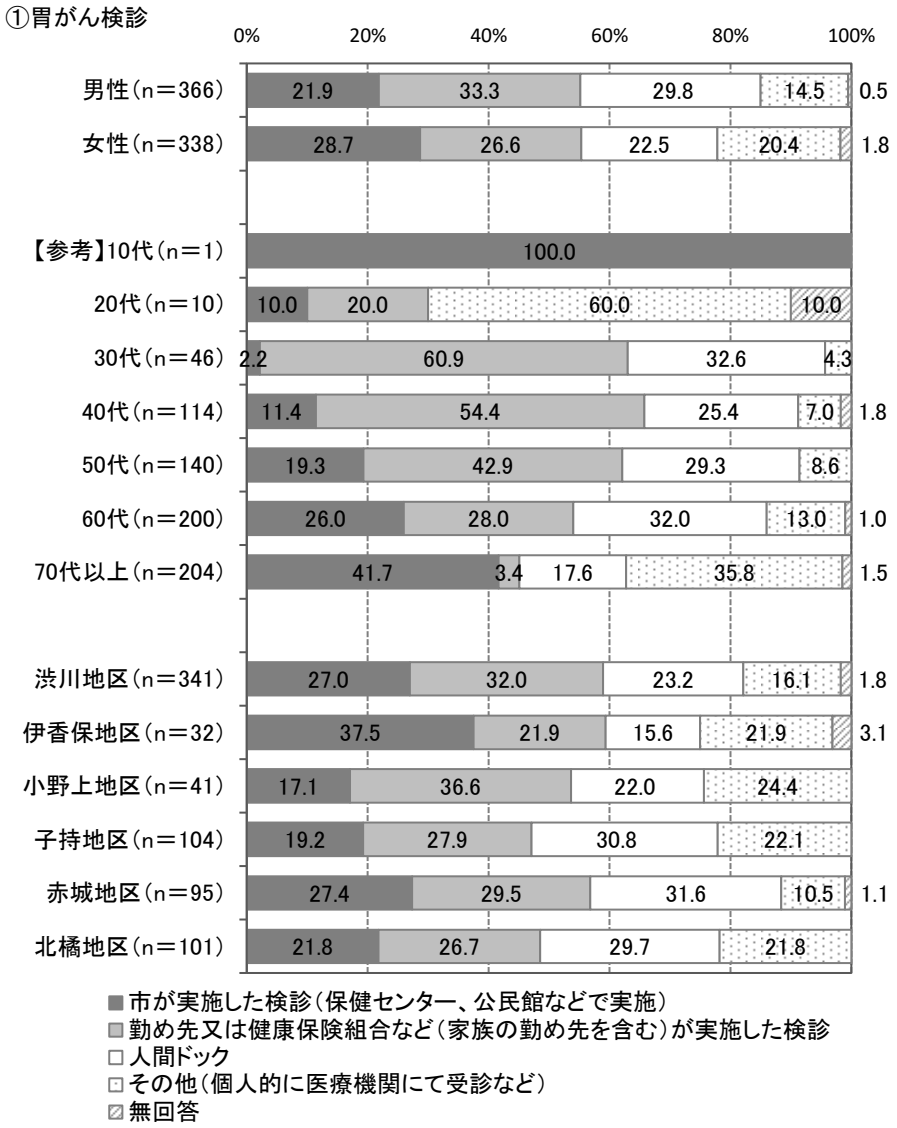
地区別では北橘地区（43.2%）が 4 割以上で最も高く、伊香保地区（35.2%）が最も低くなっています。



「受けた」機会について属性別に見ると、性別では男性は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（33.3%）が 3 割以上で最も高くなっています。女性はいずれの項目も 2 割以上で同程度となっています。

年代別では 30 代、40 代、50 代では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 60.9%、54.4%、42.9%）が最も高く、特に 30 代は 6 割以上となっています。60 代は「人間ドック」（32.0%）が最も高く、70 代以上は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（41.7%）が最も高く、4 割以上となっています。70 代以上は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（35.8%）も 3 割以上で高くなっています。

地区別では渋川地区、小野上地区では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 32.0%、36.6%）が最も高く、伊香保地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（37.5%）が最も高くなっています。子持地区、赤城地区、北橘地区は「人間ドック」（それぞれ 30.8%、31.6%、29.7%）が最も高くなっています。



※10 代は該当者が 10 人未満であるため参考表示

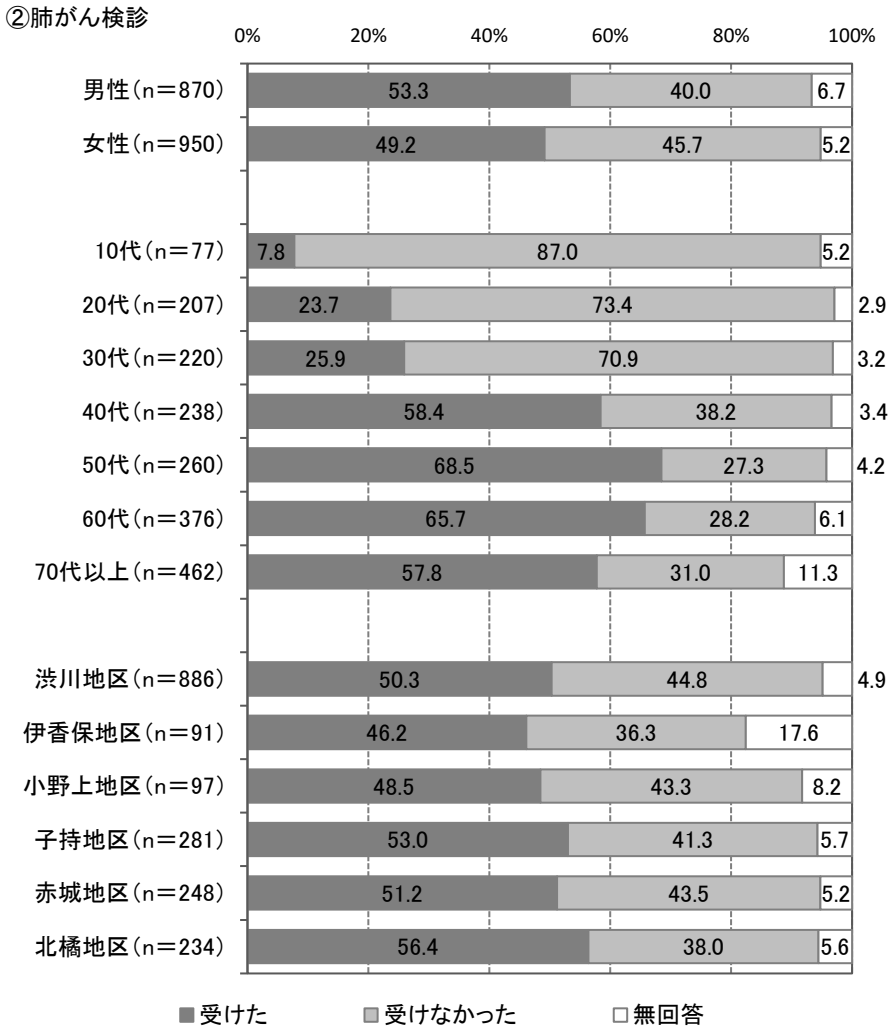
※「市が実施した検診」は 40 歳以上が対象

問１９②肺がん検診（胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など）

「受けた」について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では 50 代（68.5%）が約 7 割で最も高く、次いで高い 60 代（65.7%）も 6 割以上となっています。また、50 代をピークに 40 代以下と 60 代以上の値が低くなる傾向がうかがえます。

地区別では北橘地区（56.4%）が最も高く、伊香保地区（46.2%）が最も低くなっています。

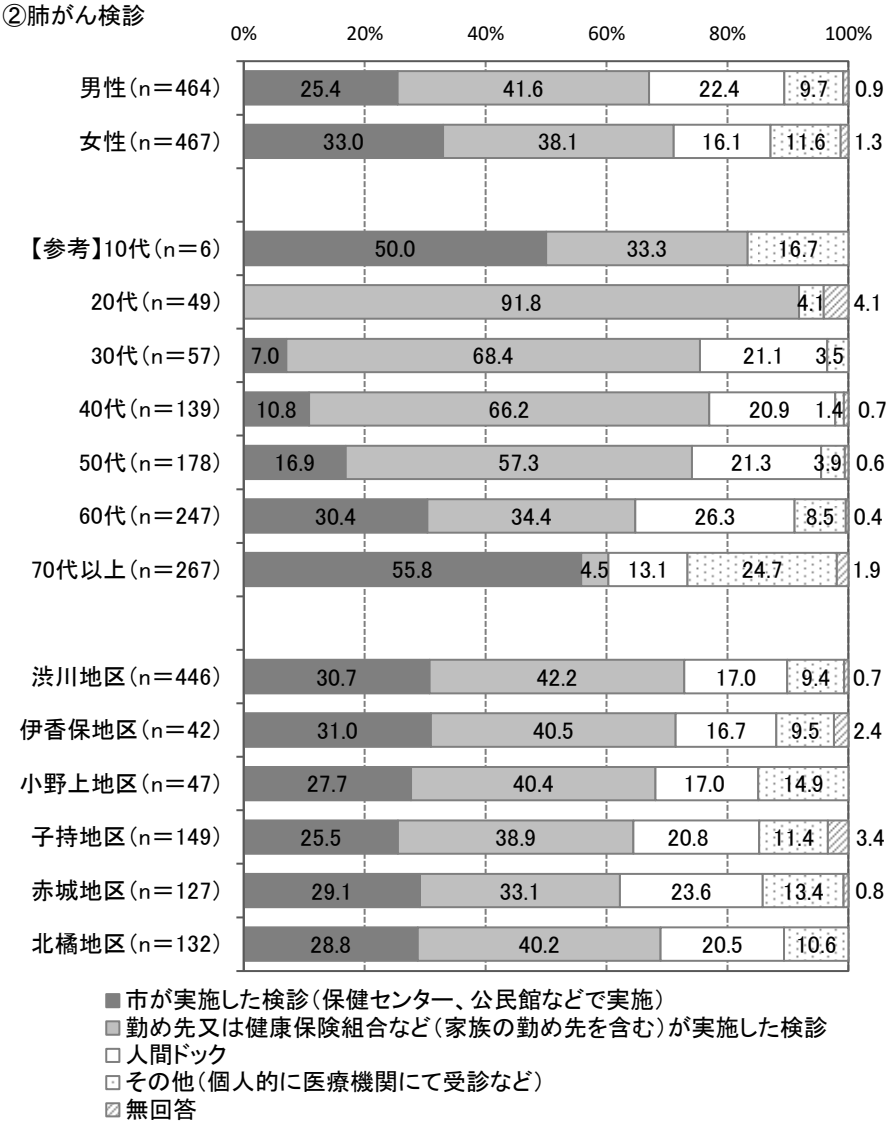


「受けた」機会について属性別に見ると、「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」は女性（33.0%）が男性（25.4%）より 7.6 ポイント高くなっています。

年代別では 20 代から 60 代では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」が最も高く、20 代（91.8%）は 9 割以上、30 代（68.4%）は約 7 割と高くなっています。70 代以上では「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（55.8%）が最も高くなっています。また、「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」は、高い年代ほど高くなる一方、「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」は、若い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

地区別ではいずれの地区も「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」が最も高くなっています。

②肺がん検診



※10 代は該当者が 10 人未満であるため参考表示

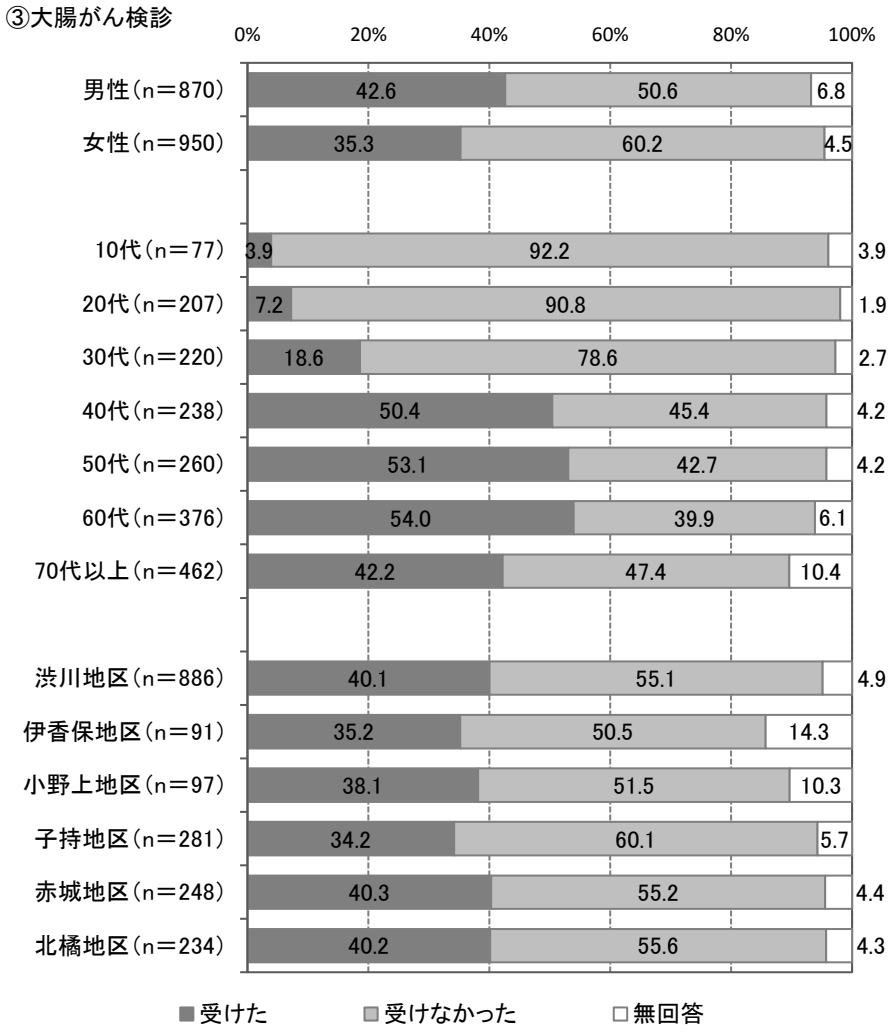
※「市が実施した検診」は 40 歳以上が対象

問１９③大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）

「受けた」について属性別に見ると、男性（42.6%）が女性（35.3%）より 7.3 ポイント高くなっています。

年代別では 60 代（54.0%）が最も高く、次いで 50 代（53.1%）、40 代（50.4%）が 5 割以上となっています。また、60 代をピークに 50 代以下と 70 代以上の値が低くなる傾向がうかがえます。

地区別では赤城地区（40.3%）、北橘地区（40.2%）、渋川地区（40.1%）が 4 割以上となっています。

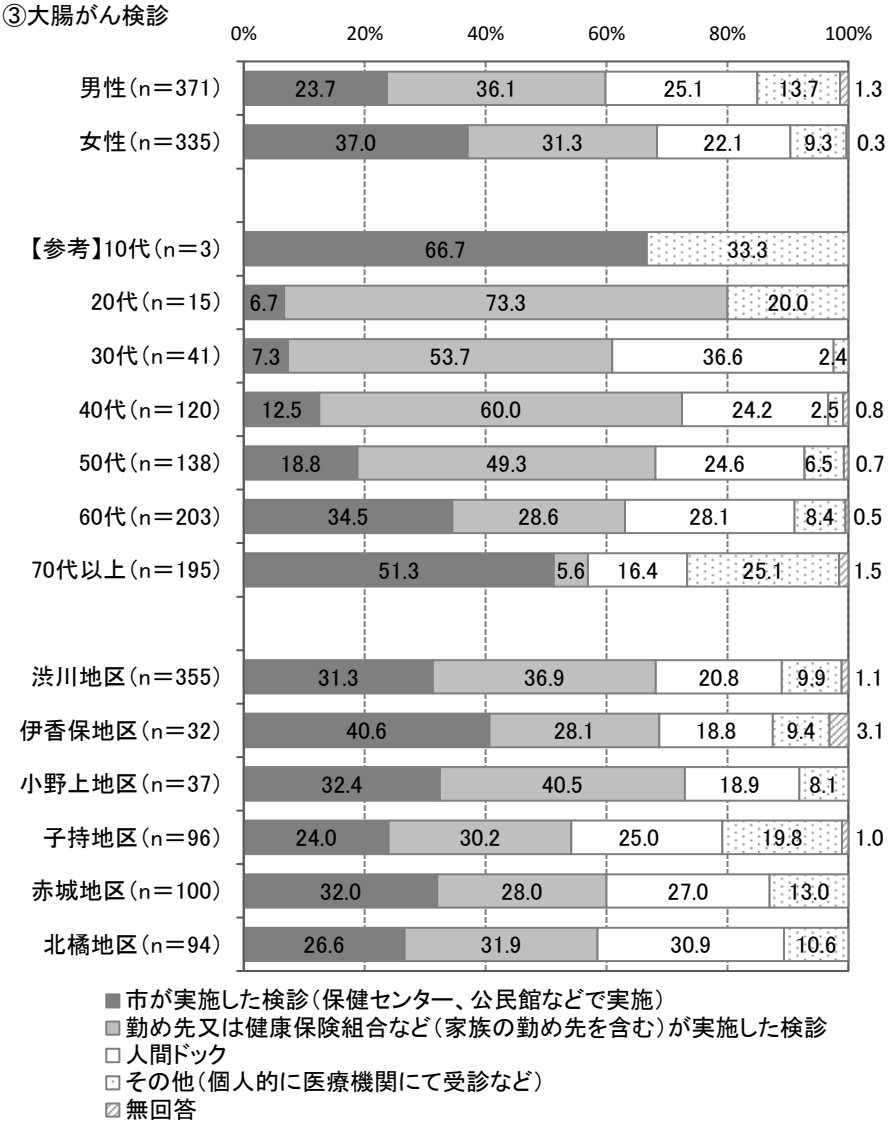


「受けた」機会について属性別に見ると、性別では女性は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 37.0%、31.3%）が 3 割以上となっています。男性は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（36.1%）が最も高くなっています。

年代別では 20 代、30 代、40 代、50 代では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 73.3%、53.7%、60.0%、49.3%）が最も高くなっています。60 代、70 代以上では「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ 34.5%、51.3%）がそれぞれ最も高くなっています。また、「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」は、概ね高い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

地区別では小野上地区、渋川地区、北橘地区、子持地区では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 40.5%、36.9%、31.9%、30.2%）が最も高くなっています。伊香保地区、赤城地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ 40.6%、32.0%）が最も高くなっています。

③大腸がん検診



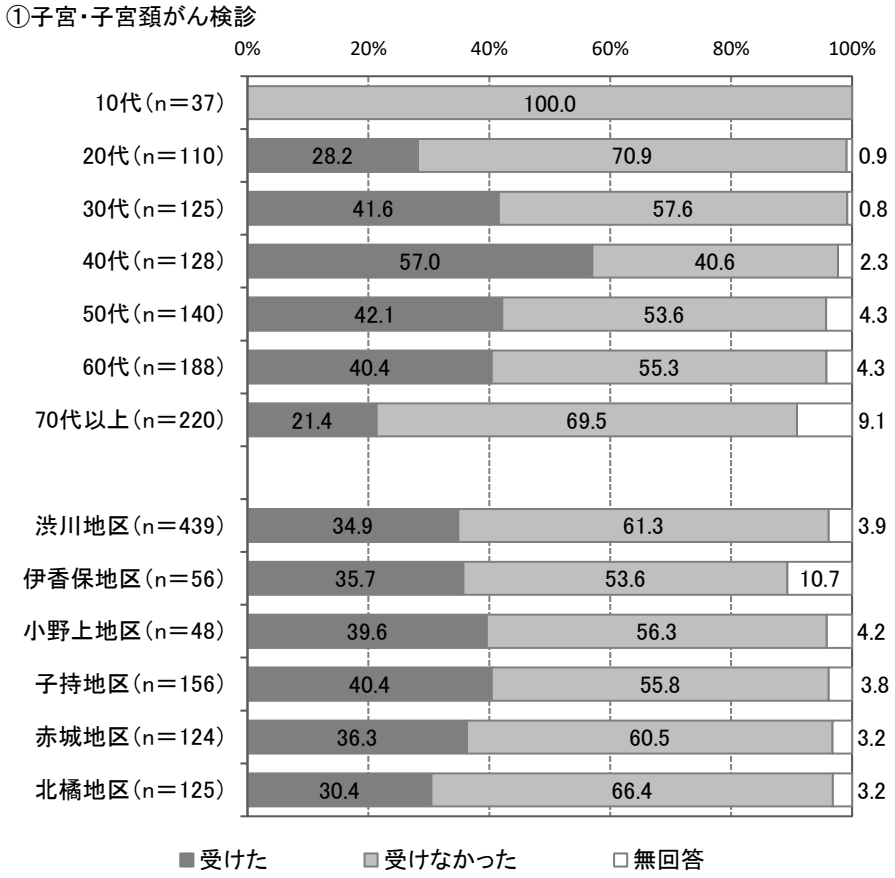
※10 代は該当者が 10 人未満であるため参考表示

※「市が実施した検診」は 40 歳以上が対象

問２０①子宮がん（子宮頸がん）検診（子宮の細胞診検査など）（女性のみ）

「受けた」について属性別に見ると、年代別では 40 代（57.0%）が約 6 割で最も高くなっています。また、40 代をピークに 30 代以下と 50 代以上の値が低くなる傾向がうかがえます。

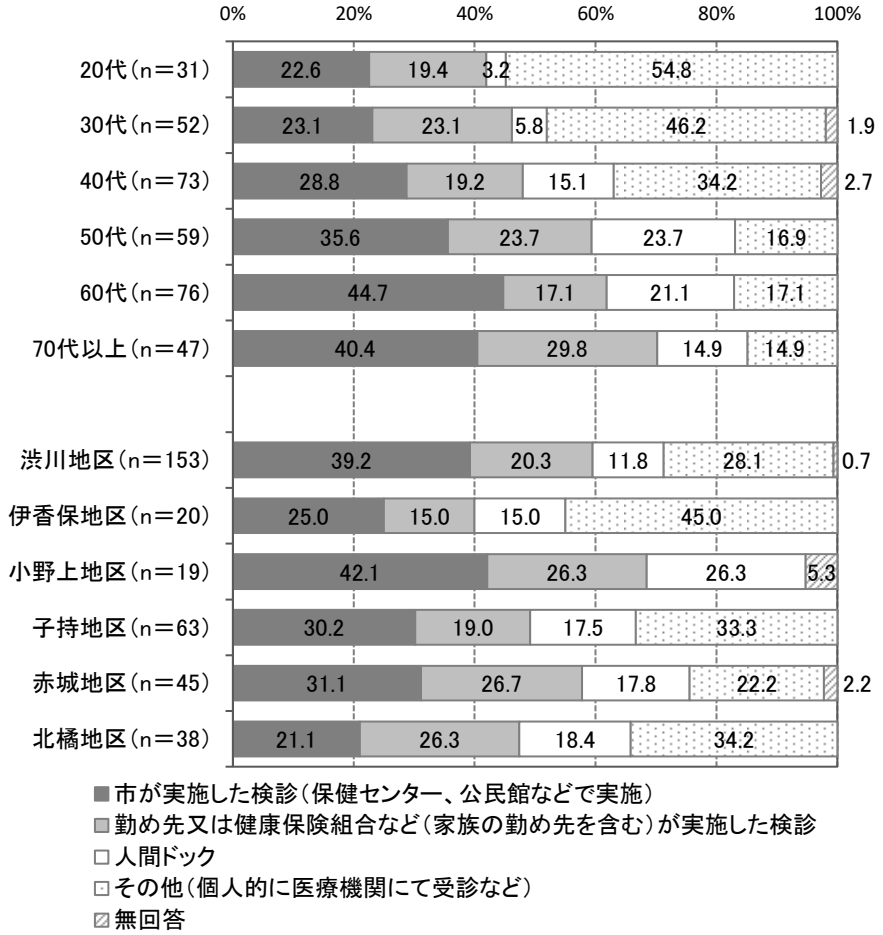
地区別では子持地区（40.4%）が 4 割以上で最も高く、次いで小野上地区（39.6%）、赤城地区（36.3%）となっています。



「受けた」機会について属性別に見ると、年代別では、20 代、30 代、40 代は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（それぞれ 54.8%、46.2%、34.2%）が最も高く、20 代は 5 割以上となっています。50 代以上は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く、70 代以上と 50 代は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 29.8%、23.7%）も高くなっています。

地区別では小野上地区と渋川地区、赤城地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ 42.1%、39.2%、31.1%）が最も高く、特に小野上地区は 4 割以上となっています。伊香保地区と北橘地区、子持地区は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（それぞれ 45.0%、34.2%、33.3%）が最も高く、特に伊香保地区は 4 割以上となっています。

①子宮・子宮頚がん検診



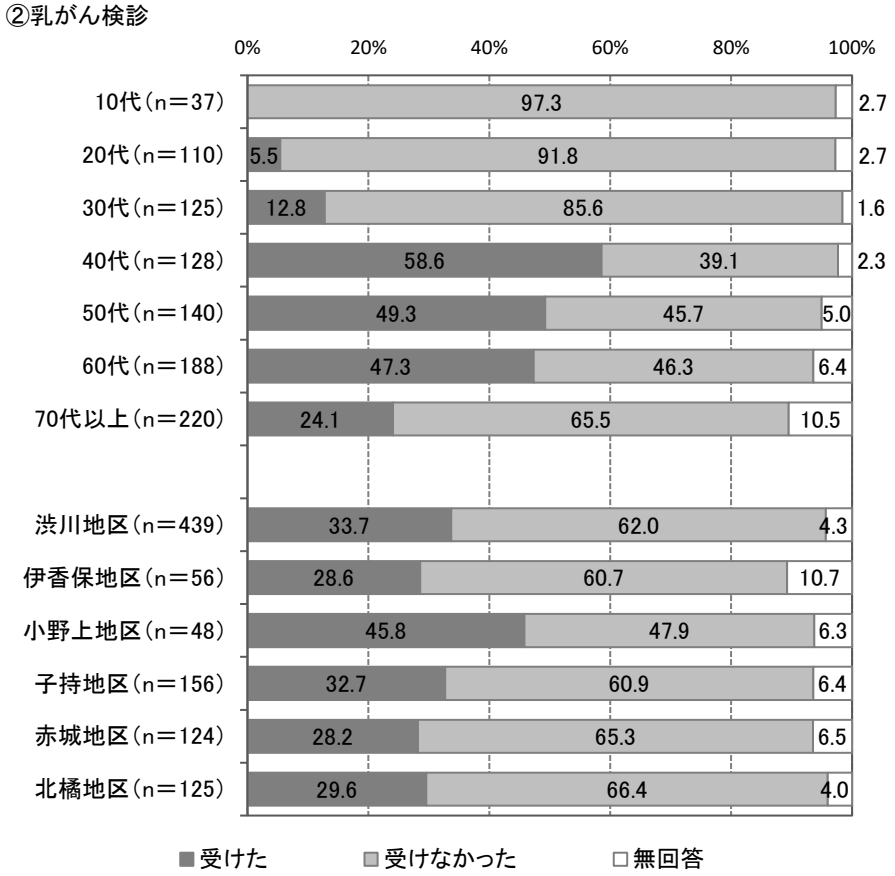
※10 代は該当者がいないため非表示

※「市が実施した検診」は 20 歳以上女性が対象

問２０②乳がん検診（マンモグラフィ撮影や乳房超音波検査など）

「受けた」について属性別に見ると、年代別では 40 代（58.6%）が約 6 割で最も高く、次いで高い 50 代（49.3%）が約 5 割となっています。また、40 代をピークに 30 代以下と 50 代以上の値が低くなる傾向がうかがえます。

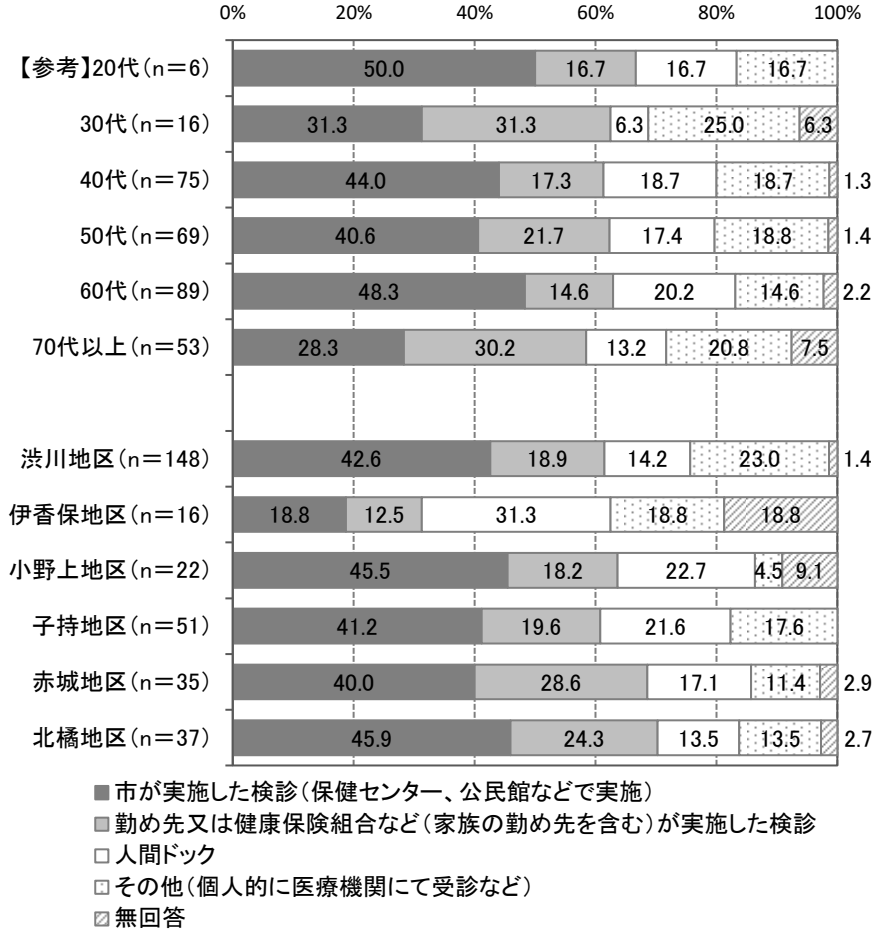
地区別では、小野上地区（45.8%）が最も高く、渋川地区（33.7%）と子持地区（32.7%）が 3 割以上となっています。



受けた機会について属性別に見ると、年代別では、30 代、40 代、50 代、60 代は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ 31.3%、44.0%、40.6%、48.3%）が最も高くなっています。

地区別では、伊香保地区を除いた地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く、伊香保地区（18.8%）では 2 割以下で最も低くなっています。伊香保地区は、「人間ドック」（31.3%）が最も高くなっています。

②乳がん検診



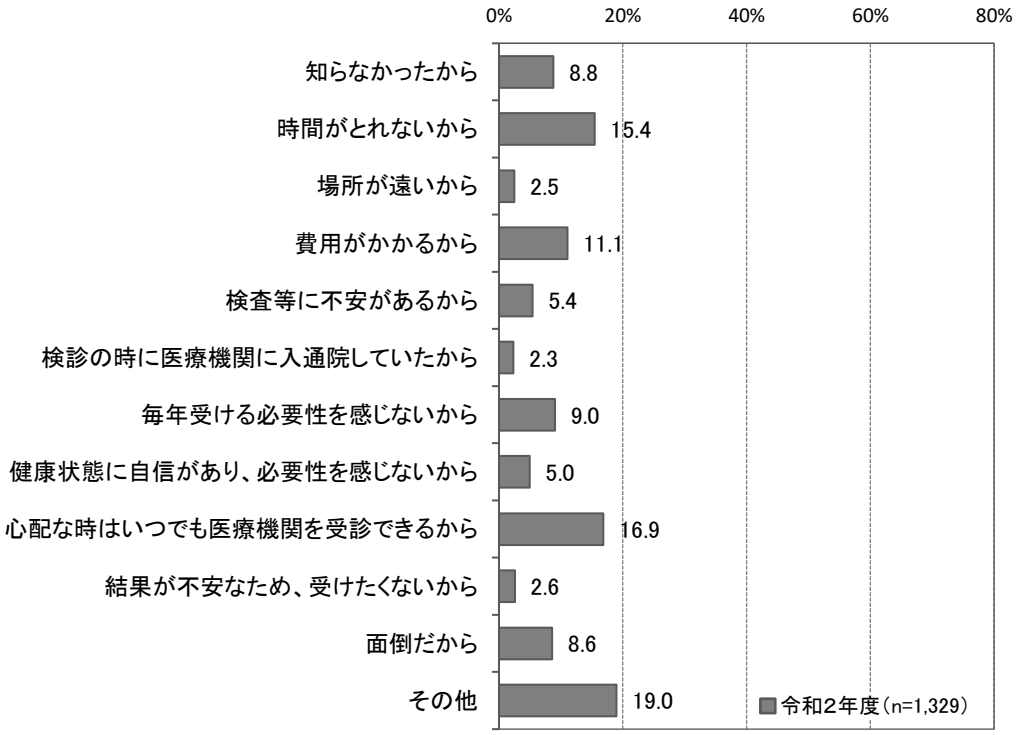
※10 代は該当者がいないため非表示。20 代は該当者が 10 人未満であるため参考表示

※「市が実施した検診」は 40 歳以上女性が対象

問２１　検診を受けなかった理由

あなたが、がん検診を受けなかった理由は何ですか。(問 19・20 のいずれかの検診を「受けなかった」場合・全て選択)

「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と「時間がとれないから」、「費用がかかるから」(それぞれ 16.9%、15.4%、11.1%) が 1 割以上となっています。



属性別に見ると、性別では「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」を男性（13.9%）、女性（18.7%）とも最も高く、女性の方が 4.8 ポイント高くなっています。

年代別では、10 代と 20 代は「時間がとれないから」（それぞれ 24.7%、21.5%）最も高く、30 代は「検査等に不安があるから」（19.6%）、40 代と 50 代は「場所が遠いから」（それぞれ 26.3%、23.9%）、60 代と 70 代以上は「結果が不安なため、受けたくないから」（それぞれ 22.7%、32.3%）が最も高くなっています。

地区別では、伊香保地区を除いて全ての地区で「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が最も高くなっています。

(%)	n	知らなかったから	時間がとれないから	場所が遠いから	費用がかかるから	検査等に不安があるから	検診の時に医療機関に入通院していたから	毎年受ける必要性を感じないから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	結果が不安なため、受けたくないから	面倒だから	その他
男性	541	9.4	13.3	0.9	9.2	4.3	2.4	8.5	5.4	13.9	2.2	8.3	14.6
女性	771	8.6	17.1	3.5	12.2	6.2	2.1	9.3	4.7	18.7	2.9	8.9	22.2
10 代	77	19	24.7	15.6	1.3	10.4	5.2	0.0	6.5	18.2	3.9	0.0	7.8
20 代	205	44	21.5	16.6	4.4	15.1	5.4	1.0	8.3	8.8	13.7	2.9	13.7
30 代	194	33	17.0	19.1	3.6	19.6	6.2	2.1	5.7	2.1	5.7	0.5	9.3
40 代	152	5	3.3	26.3	1.3	12.5	7.2	1.3	5.3	2.6	7.2	3.9	9.2
50 代	155	2	1.3	23.9	0.6	12.3	8.4	0.6	7.7	1.9	10.3	3.2	9.0
60 代	229	8	3.5	13.5	0.9	8.3	5.7	1.3	14.8	3.1	22.7	4.4	7.9
70 代以上	310	5	1.6	4.5	3.5	3.9	2.6	5.5	10.3	5.2	32.3	1.9	5.2
渋川地区	647	9.3	14.2	2.5	9.3	5.6	2.5	8.5	5.3	15.1	2.6	7.4	18.4
伊香保地区	62	4.8	21.0	6.5	17.7	8.1	3.2	17.7	4.8	19.4	0.0	17.7	14.5
小野上地区	62	6.5	16.1	1.6	11.3	3.2	0.0	3.2	4.8	21.0	1.6	4.8	17.7
子持地区	211	9.0	18.0	0.5	14.7	4.7	1.9	7.6	3.8	18.0	2.8	10.0	16.6
赤城地区	180	7.2	12.2	3.3	9.4	4.4	1.7	11.1	4.4	15.0	2.8	10.0	28.9
北橘地区	159	10.7	18.9	3.1	12.6	6.3	2.5	8.8	6.3	20.8	3.1	7.5	16.4

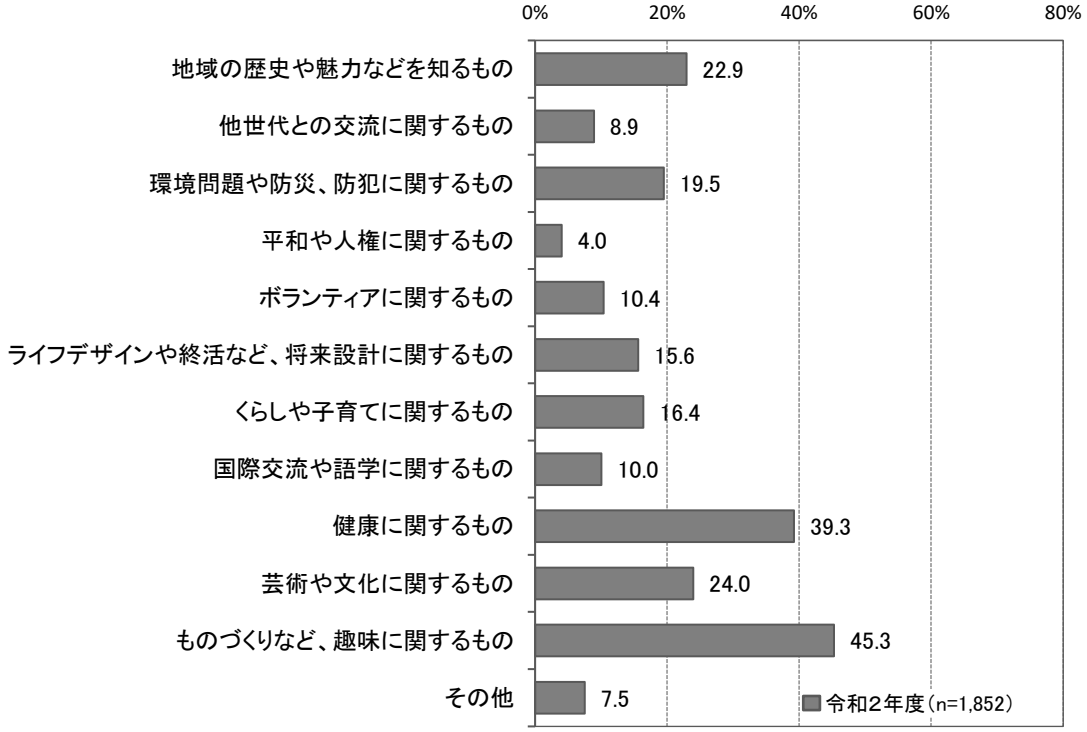
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

１０　公民館について

問２２　参加したいと思う公民館の講座やイベント

あなたが、参加したいと思う公民館の講座やイベントは何ですか。（３つ選択）

「ものづくりなど、趣味に関するもの」（45.3%）が最も高く、次いで「健康に関するもの」（39.3%）が約４割となっています。



属性別に見ると、性別では男性、女性ともに「ものづくりなど、趣味に関するもの」が最も高く、次いで「健康に関するもの」となっています。男性は、「地域の歴史や魅力などを知るもの」（29.8%）や「環境問題や防災、防犯に関するもの」（23.7%）も高くなっています。女性は、「芸術や文化に関するもの」（25.8%）や「くらしや子育てに関するもの」（20.1%）も高くなっています。

年代別では、70 代以上を除く全ての年代で「ものづくりなど、趣味に関するもの」が最も高くなっています。10 代、20 代、30 代は「くらしや子育てに関するもの」（それぞれ 29.9%、30.9%、44.1%）が 2 番目に高くなっています。40 代、50 代、60 代は「健康に関するもの」（それぞれ 28.6%、42.7%、48.4%）が 2 番目に高くなっています。70 代以上は「健康に関するもの」（45.9%）が最も高くなっています。

地区別では、大きな差は見られません。

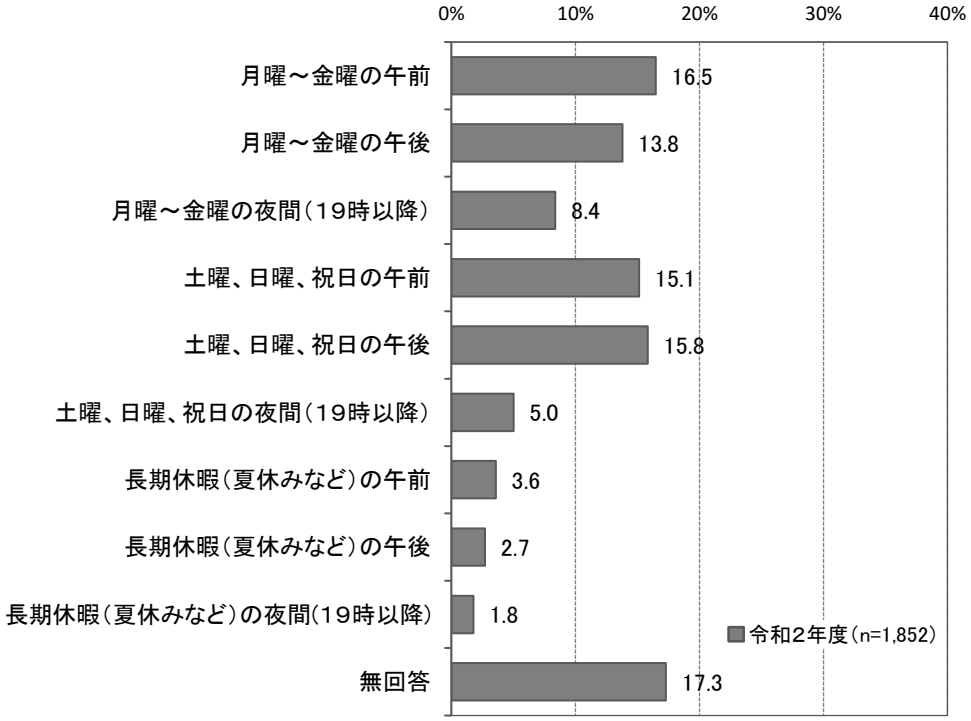
(%)	n	地域の歴史や魅力などを知るもの	他世代との交流に関するもの	環境問題や防災、防犯に関するもの	平和や人権に関するもの	ボランティアに関するもの	ライフデザインや終活など、将来設計に関するもの	くらしや子育てに関するもの	国際交流や語学に関するもの	健康に関するもの	芸術や文化に関するもの	ものづくりなど、趣味に関するもの	その他
男性	870	29.8	10.7	23.7	5.3	9.9	14.8	12.8	9.9	36.7	22.6	38.4	7.6
女性	950	17.1	7.6	15.4	2.9	11.1	16.7	20.1	10.2	41.9	25.8	52.6	7.1
10 代	77	26.0	15.6	23.4	9.1	23.4	18.2	29.9	24.7	27.3	20.8	42.9	3.9
20 代	207	18.8	10.1	13.0	3.9	12.1	18.4	30.9	18.4	31.4	29.5	47.8	6.3
30 代	220	14.1	5.0	14.5	3.6	6.4	11.8	44.1	15.0	28.2	20.5	53.2	8.2
40 代	238	15.1	7.1	16.0	4.2	11.3	13.9	28.2	8.8	28.6	21.8	45.8	10.9
50 代	260	17.7	7.7	17.3	3.1	13.1	19.6	9.2	12.3	42.7	25.4	51.9	8.1
60 代	376	30.3	7.2	21.3	5.1	10.1	20.2	4.8	8.0	48.4	27.4	50.3	5.9
70 代以上	462	29.4	12.3	25.3	3.0	7.8	10.8	1.9	2.6	45.9	21.4	33.8	7.6
渋川地区	886	22.0	7.9	19.0	4.1	10.6	16.4	18.4	10.8	39.6	23.5	44.9	7.7
伊香保地区	91	30.8	12.1	14.3	1.1	7.7	16.5	11.0	12.1	36.3	20.9	40.7	6.6
小野上地区	97	22.7	11.3	19.6	1.0	12.4	21.6	6.2	7.2	34.0	24.7	46.4	7.2
子持地区	281	21.0	9.3	22.1	4.3	10.0	14.2	18.5	9.3	39.5	24.6	49.1	7.8
赤城地区	248	20.2	9.7	18.5	4.4	12.1	14.5	14.5	8.9	39.9	23.8	44.0	7.3
北橘地区	234	29.1	9.0	20.9	6.0	8.5	13.2	15.8	9.0	40.6	26.9	47.4	7.3

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

問２３　公民館の講座やイベントで参加しやすい時間・時期

あなたが、公民館の講座やイベントなどに参加しやすいのはいつですか。（１つ選択）

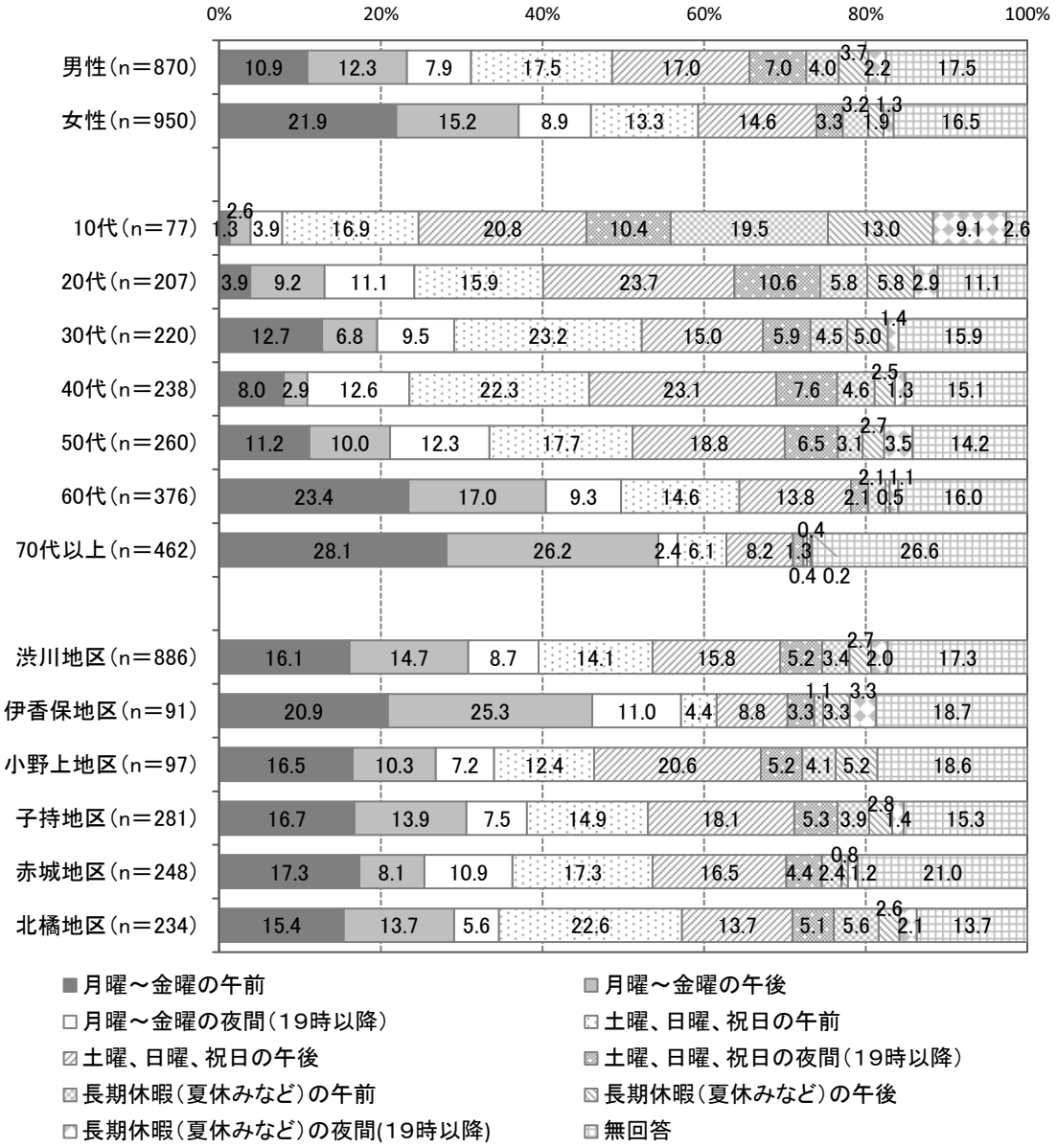
「月曜～金曜の午前」が 16.5%で最も高く、次いで「土曜、日曜、祝日の午後」（15.8%）、「土曜、日曜、祝日の午前」（15.1%）、「月曜～金曜の午後」（13.8%）の順で高く、1 割を超えています。



属性別に見ると、性別では、「月曜～金曜の午前」を女性（21.9%）の方が男性（10.9%）よりも 11 ポイント高くなっています。

年代別では、比較的に年代が上がるにつれ「月曜～金曜の午前」と「月曜～金曜の午後」を回答する割合が高くなります。また、「土曜、日曜、祝日の午前」と「土曜、日曜、祝日の午後」を回答した割合は、40 代をピークに 30 代以下と 50 代以上の値が低くなる傾向がうかがえます。

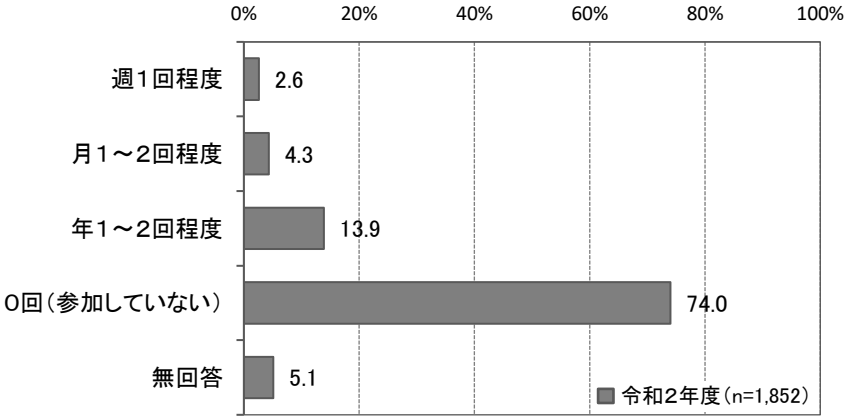
地区別では、伊香保地区は、「月曜～金曜の午前」（20.9%）と「月曜～金曜の午後」（25.3%）を合わせると 46.2%となり、他の地区に比べて高くなっています。



問２４　公民館の講座やイベントなどの利用頻度

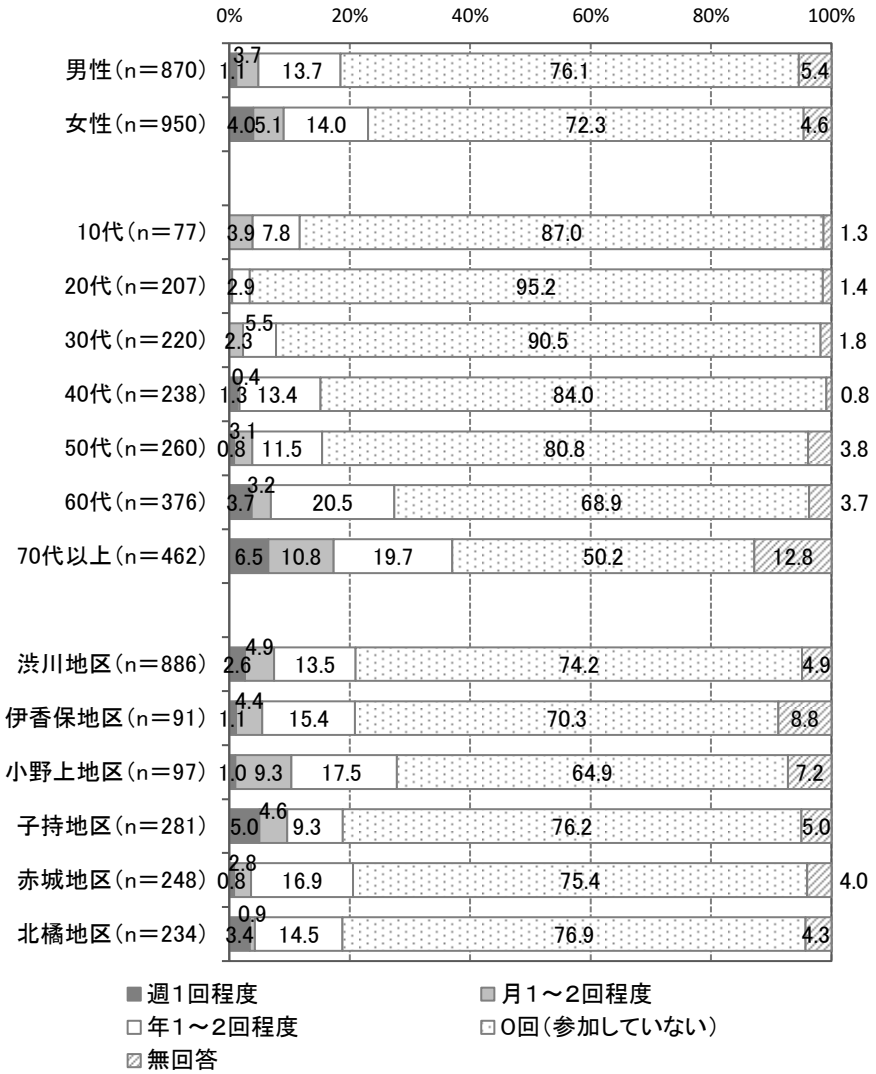
あなたは、公民館の講座やイベントなどにどの位の頻度で参加していますか。（１つ選択）

「０回（参加していない）」（74.0%）が７割以上で特に高くなっています。次に「年１～２回程度」（13.9%）が１割以上となっています。



属性別に見ると、性別と地区別では大きな差は見られません。

年代別では、20 代以降は年代が上がるにつれ利用する頻度並びに利用する人の割合が高くなっています。



１１　市政について

問２５　住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

916 人から意見をいただきました。これを現行の総合計画の 6 分野別に読み分けました。なお、複数の分野にまたがる内容についてはそれぞれの分野に整理、集計し、意見数は全 1,152 件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数（件）
1　安全・安心、暮らし分野	257
2　健康、福祉、スポーツ分野	124
3　産業分野	124
4　都市基盤、自然環境分野	205
5　教育、文化分野	65
6　自治、協働、行財政分野	216
7　その他	161
合計	1,152

【1　安全・安心、暮らし分野】

・子育て環境、老人福祉環境、レジャー環境が整い、生活しやすいと思えるまちにしたい。

・ショッピングモールをつくり、前橋や高崎に出なくても、充実したお買物やイベント、映画などを楽しめると良い。

・暮らしや子育て、老後の生活に力を入れてください。住みよい渋川であるよう。

・カフェ、飲食店の増加、アパートなどの住居の増加。

・子どもたちが安心、集中して学業に取り組めるよう、学校、親子、子供の声を聞く。不審者も増えているので、人口が少ない地域にも街灯や監視カメラの導入など、子供たちに寄り添った環境づくり。

・「防災」の強化。まずは防災無線の内容が聞き取れると良いと思う。文面を、例えば「火災です・・・」「鎮火しました・・・」「詐欺の電話です・・・」等、初めの２秒位で主旨が伝わるように工夫してほしい。

・水道水を安心して飲める町。高齢者が安心して生活できる町。子育てをしやすく安心な町。

・歩道を確保し、電灯をたくさんつけてほしい。夜道が暗すぎる。

・世代等関係なく、安心安全に暮らせるようなまちづくり。若い人でも働ける場所がある、犯罪が無い、子供や障害者、高齢者に優しい、お互い苦楽を分かち合えるまちづくり。

・空き家対策を強化。古民家再生して、都会からリモートワークできる環境をつくり誘致する。

・若い世代（子育て世代）が生活しやすいまちづくり。若い人に魅力を感じてもらわないと人は増えない。

・空き家、空地を若い人に開放し、人口増加につなげたい。

・移住者住宅支援制度の見直し強化。地域、企業、社会、三身一体での強化。個人支援よりも企業、組織（団体、NPO 等）に助成を実施し、個人への負担を軽減させることによって、移住者（識別能力のある）を増加させる。

【２　健康、福祉、スポーツ分野】

・西群馬病院跡地の開発を至急対策。総合公園、若い人や老人のスポーツ大会可能な総合公園として空き地を利用する。

・教育の充実（生徒に 1 台タブレット配付）と運動施設の充実（市民体育館の建て替え、新たな運動施設の確保）。

・予防接種を無料化する。

・ズバリ　新型コロナ対策でこれ以上感染者や死者が増えてしまわない市政づくり。

・障害者福祉の充実と老朽化施設の改修（学校、市役所、行政センターなど）、車椅子の子がおむつを替える場所がないので。子育て世帯が仕事をしやすい環境づくり。

・子育てについて相談しやすい窓口を充実させる。夜間の救急の対応を充実させる。（以前利用したが対応がとても悪かった。）

・子育て、福祉、医療に力を入れたい。女性が活躍できる、輝ける町にしたい。

・がん検診などの健康診断の充実と対象年齢の引き下げや検診の種類を増やすこと。

・１０～２０代が流出しないように支援やサービスを充実する。また、高齢者は生活が困窮しても助けを求めにくい状況があるため、家庭を訪問し顔を見ながら話を聞くなど、現場の状況把握が重要だと思う。

・小中学校の 1 クラスの人数を減らしたい。高校 3 年間にかかる費用の負担が減る施策を立案したい。福祉医療の年齢を 18 歳までにしたい。

・子育て支援。学童保育や預かり保育の充実や費用の負担軽減。通学路への外灯設置。長期休暇の子供たちの過ごす場所の提供。

・子育てしやすいまちづくり。健康に暮らせるまちづくり。老人が車が無くても買い物などができるまちづくり。

・高齢者（車に乗れない人）などが通院、買物等に家族が連れていけない時に、地域でお願いできる人がいると良い。

【３　産業分野】

・企業の誘致による雇用創出とそれに伴う移住者の増加を図る。

・雇用の充実を図り、若い人が住んでくれるように力を入れたい。

・雇用創出。IC 付近に企業を誘致（電気自動車関連）。学校、大学、専門学校と連携。ぶどうの畑、ワイナリー。子持山にぶどう畑に関連した仕事が増えるようしばらく税を減税。

・市の財政を豊かにする必要がある。そのため渋川市の立地、都心に近い利点を生かした野菜生産工場のようなものを大規模につくり、雇用と同時に市を豊かにすることをもっと考えていった方が良い。新聞に載らなくても地道にすることが大切だと思う。

・学校（高校、大学等）を卒業した若者が地元に残って安心できる職場環境が整ったまちづくり。企業誘致や地場産業の育成をさらに強化推進する。

・渋川市は大きな災害もなく住みやすいまちと思う。都心には２ｈもあれば行ける環境である。あとは働ける場所であり、優良企業を誘致して安定した生活をすることができるようにする。

・郊外ばかりが発展している。旧市内は取り残され空き地ばかり。行ってみたいと思う施設が何もない。いろいろな施設や商店街など市内を走らせるバスなどで回ってもらえればありがたい。お金がかかるのは分かるが、待たずにいつでも乗れるとなれば、年をとった人もお金を払っても利用するようになると思う。大型商業施設ができたら集客できる。空地はいっぱいある。

・市外に出なくても必要な物がすべてすむようなまち。大型ショッピングモール等があれば買い物もできるし、雇用も生み出せるし、人が移動することによっていろいろ循環すると思うので、住みやすいまちにするために力を入れたい。

・大企業の誘致を行い、本社機能拠点づくりが可能な整備（インフラ、住宅など)、製造業の国内回帰に、雇用拡大。

・これからの若い世代に負担をかけないようにしたい。例えば、年金に頼らずとも生活していける程度の、一生働き続けられる雇用制度を望む。

・市を離れた若者が「渋川良いね！！」と言って帰ってこれる渋川市にしたい。そのためにはシャッター通りをつくるのではなく、昔のような活性化が必要に思う。

・市民が住みやすいまちを作るためには、市の財政が豊にならなければならないので、企業誘致をすればＵターン就職にもつながる。観光地の充実、渋川市が観光地を伊香保以外にも作る。首都圏から人を呼び込む。伊香保温泉旅館と伊香保スケートリンクで首都圏の大学の合宿に使ってもらう（アイスホッケーなどの）伊香保屋内リンクを通年利用にする。夏場の合宿に利用してもらう。

【４　都市基盤、自然環境分野】

・交通機関の充実。現在、運転免許の返納をすることで、生活に不便を感じている方が多くいる。今よりもっと低価格で移動できる手段が、もっともっと必要だと考える。

・道路のデコボコの改修。新しい道やバイパスをつくることも良い事だと思うが、穴が開いていたりへっこんだりと、デコボコのあるところが多いと思う。

・主要幹線道路が充実したことで、市道の交通量が増えているが、歩道の整備が全く進んでいないので、通学時、交通事故の危険に常に子供たちはさらされているように思う。早急に市道の整備を行いたい。その後、市街地の活気あるまちづくりに取り組みたい。

・道路網、交通網の整備、充実による生活しやすい環境。

・高齢者が増加するなかで、車の運転が問題になっている。山間部に住んでいる方など、車の運転ができないと買い物ができなくなってしまう。バスの整備が重要になると思う。自分自身ならバスの使用など交通の利用などに力を入れたいと思う。

・それぞれの地域に買い物ができる場所、病院に便利に行けるように施設を分散して、交通網を充実。

・半田（東町）の利根川の洪水対策。７０年前に石を積んだものでは、いつ破壊するか分からない。昔の堤防を作り直す。

・降雪時の道路整備。(現在は遅すぎる)。

・渋川市はごみの分別が甘い気がする。リサイクルなど力を入れたい。他の市では、フリマや子供の衣類など交換できるイベントもあるし、そういったところでもゴミは減らせるんじゃ

ないかと思う。

・コンパクトシティの設計に向けた整備。子ども、年寄りに安全な道路づくり。

・各地域に見られる長年放置されているごみの山や空き家対策に力を入れる。

・住宅の周りの木や草を整備。冬の道路の早急な除雪。暗い道路に街灯をもれなくつける、等。

・温泉を利用しての発電化。電柱を廃止して電線を共同溝を作りそこに入れる。下水、その他のガス等も埋設する。路線バスを増便。自転車レーン設置、車椅子が通れるように溝のグレーチングをなくす。今後高齢者が増えるのでその穴に杖が挟まらないようにする。

・自然災害に強いまちづくり（ハザードマップの配布、等）。自然保護、環境に優しいまちづくり。

・歩いて行ける範囲に生活の必要な物、事が揃うこと、または移動手段が便利であること。年をとっても徒歩で外出することが可能な町（交通、公園など）。高齢者がもっと外出すれば、防犯などの役割の一端にもなるのではないかとも思う。

・免許返納した老人の生活の足を考える。

・各地域にみんなが利用できる公園、広場があると良いと思う。

・お店が近くにない所に住んでいる人、車に乗れなくて買い物、病院に行けない人など、弱者の方が住みやすくなるようなことに力を入れたい。

・人口増加に向けての活動、公園などの施設づくり。

【5　教育、文化分野】

・学校や公民館などに、今の子供たちや大人にとっても魅力的な特色を持たせる。いろいろなスポーツ、芸術に触れる体験（本格的な）、給食など。

・渋川駅近くに「温泉と地域の文化歴史」の交流センター施設をつくり（富岡や中之条が実践）、新たなまちづくりの基礎となるよう文化交流を充実させる。

・子どもを第一に考え、育てやすい環境をつくる。取組①中学校の統合②小中学校の教育費を増やす③子育て支援の充実④子どもこそが渋川市の宝であり、子供の幸せが家族の幸せであり、渋川市の未来を創ることはまちがいない。渋川市のスピード感、決断力に期待している。

・子どもをたくさん産めるように、高校、大学時の補助が大切。小さいときはお金がかからない、小さい時の補助はいらないと思う。これが本当だと思う。

・現役世代が居着くまちづくり。親には仕事が必要、子には例えば「秋田県式家庭学習」のような特色ある教育で、学力向上を図り、住みたいという魅力を持ってもらう。高齢者には運動や畑仕事などで健康寿命を延ばしてもらう。高齢者が一人親家庭などを対象に学習支援ボランティアをしてもよい。

・小中高生に対する教育の拡充。学ぶ機会を様々な角度、方面から作ることが必要。

・道路などのインフラに浪費するのではなく、若者世代への教育などの投資に支出する。若者世代に借金を残すようなことはやめてほしい。

・文化的な美しいまちを望む。心の美しい人を育てることに力を入れるべき。

・学校等の大きな施設については、いつでも安全に利用できる場所にしたい。

【6　自治、協働、行財政分野】

・子供に行政の授業、社会や税金の仕組みなどを教える。・縦割り行政をやめる。・広報誌の電子化。ペーパーは街角の掲示板や役所、図書館などにだけあれば良い。・無駄な郵送物を減らす。

・道路の端のあらゆるところにゴミが落ちている。市民が交流を楽しみながら清掃活動をしていけたらよいといつも思っている。みんなで自分の住むまちをきれいにして、会話して、からだを動かして、そんな活動がどんどん広がることを願っている。

・共生社会の実現をしていきたい。助け合いをすることで、渋川市全体が優しい、あたたかい心を持つ人の市にしていきたい。

・子どもたちが参加できるイベントやお祭りなど、地域をまたいで体験してもらうこと。隣に住んでいる人の顔が分かっているような、住民のつながりある自治体づくり。

・6 市町村が合併したが、まとまりがない気がする。例えば、「運動して汗を流したら温泉に入れる。」「長峰公園をつつじの名所として復活する。」「図書館に行ったらカフェがある。」など、みんなが楽しく集まる居場所づくりをしたい。

・地域の清掃。駅のまわりの商店街、渋川の顔だから。

・しぶかわ　①し＝自然　②ぶ＝文化　③か＝観光　①～③を柱とし、長所は伸ばし、短所は改善していく。そのうえで④＝わ（Wonderful）なまちになっていけるのでは！？

・市民の声を聞き入れて市民に還元すること。市役所内の課の名称が変わりすぎ。※防災渋川の放送で男性の声が全く聞き取れないので替えてほしい。

・税金の使い道を正しい物や必要なことにかけ、無駄使いをしないこと。

・うまく言えないが、自治会や地域の活動の頻度や負担と重圧を減らせるような何か上手い人員の配備ができたら良いと考える。

・オンライン化で行政手続きをしやすくする。

・マナーを守れる意識の高い地域の向上（地域環境指導員の育成）、生活目安箱の設置。

・不要な公共施設の廃止は必要だが、残したものについては充分活用する方策を進めてほしい。

・全ての年代の人が利用できる総合施設をつくりたい。大人、子供関係なく、政治やいろいろなものについてのイベントを行い、お互いの交流ができる場をつくりたい。

・大雨が降っている時には、外の放送は聞こえにくいので、各家庭に防災無線を設置する。

・LGBT（性的マイノリティ）の方が暮らしやすいまちづくりのために「LGBT に関する知識を普及するための講演や運動、活動の実施、理解が進んだ街にするために力を入れたい。

【7　その他】

・渋川市は他市町村と比べると土地代金が高いと思う。隣の吉岡町、子待村に家を建てる人が多いので、ますます市民の人口が減少している。この辺りを再検討する必要がある。

・歌いやすくて楽しい（替え歌も可）市民が口ずさめるような市歌。

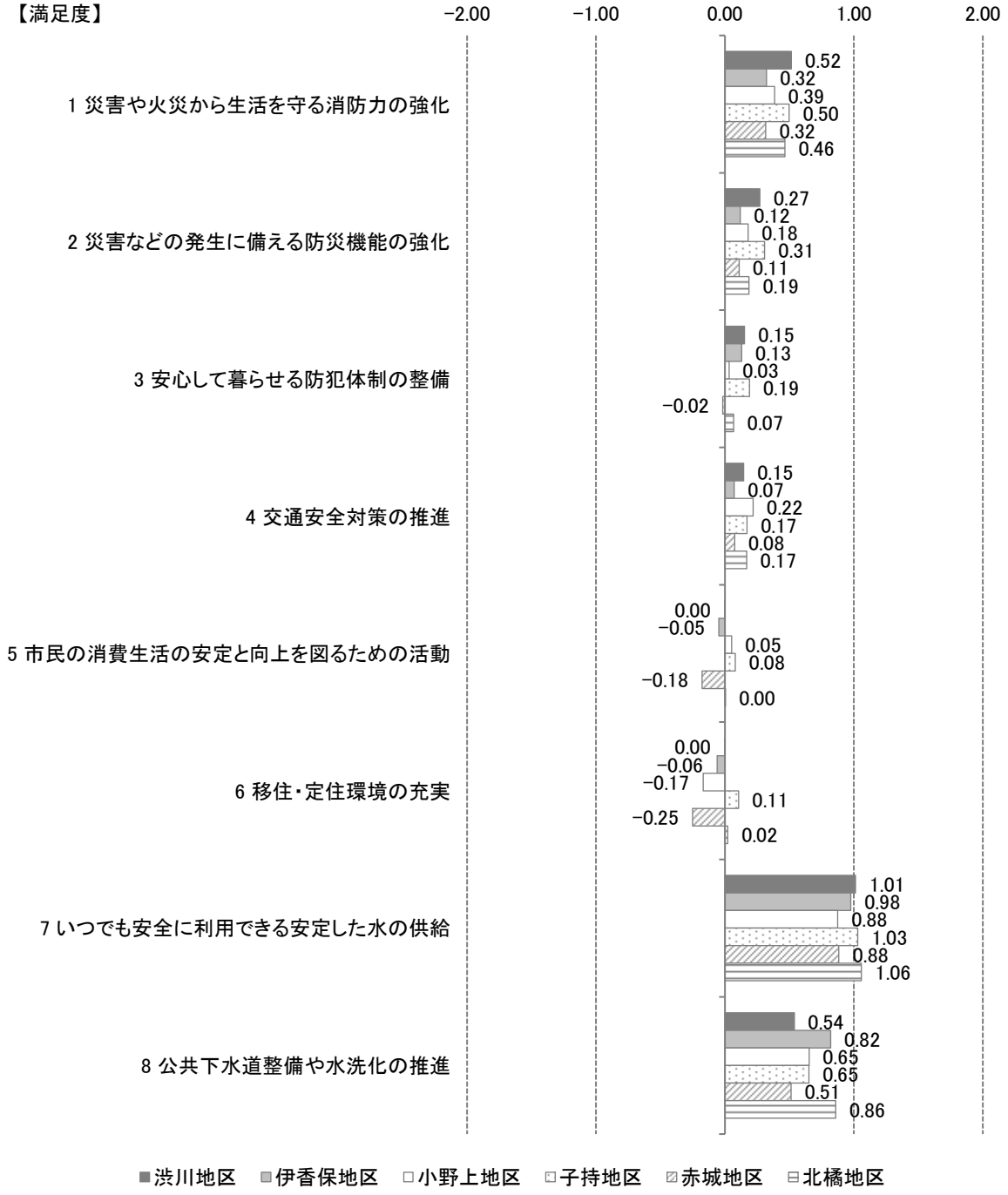
・渋川市にドッグランを設けてもらいたい。（高崎市にある会員制のようなものでも OK）

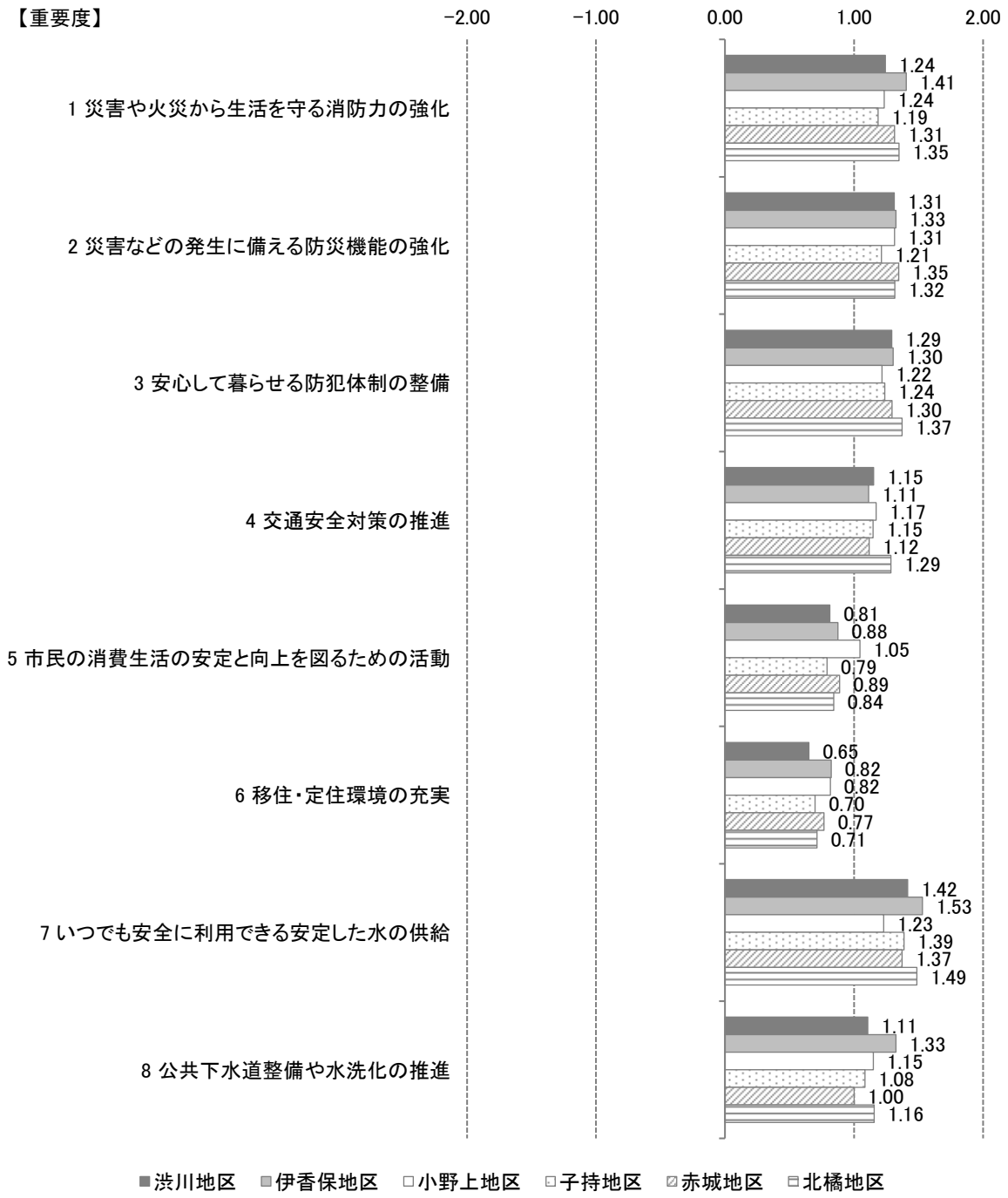
・野良猫や野良犬の保護（譲渡）の強化。

資料

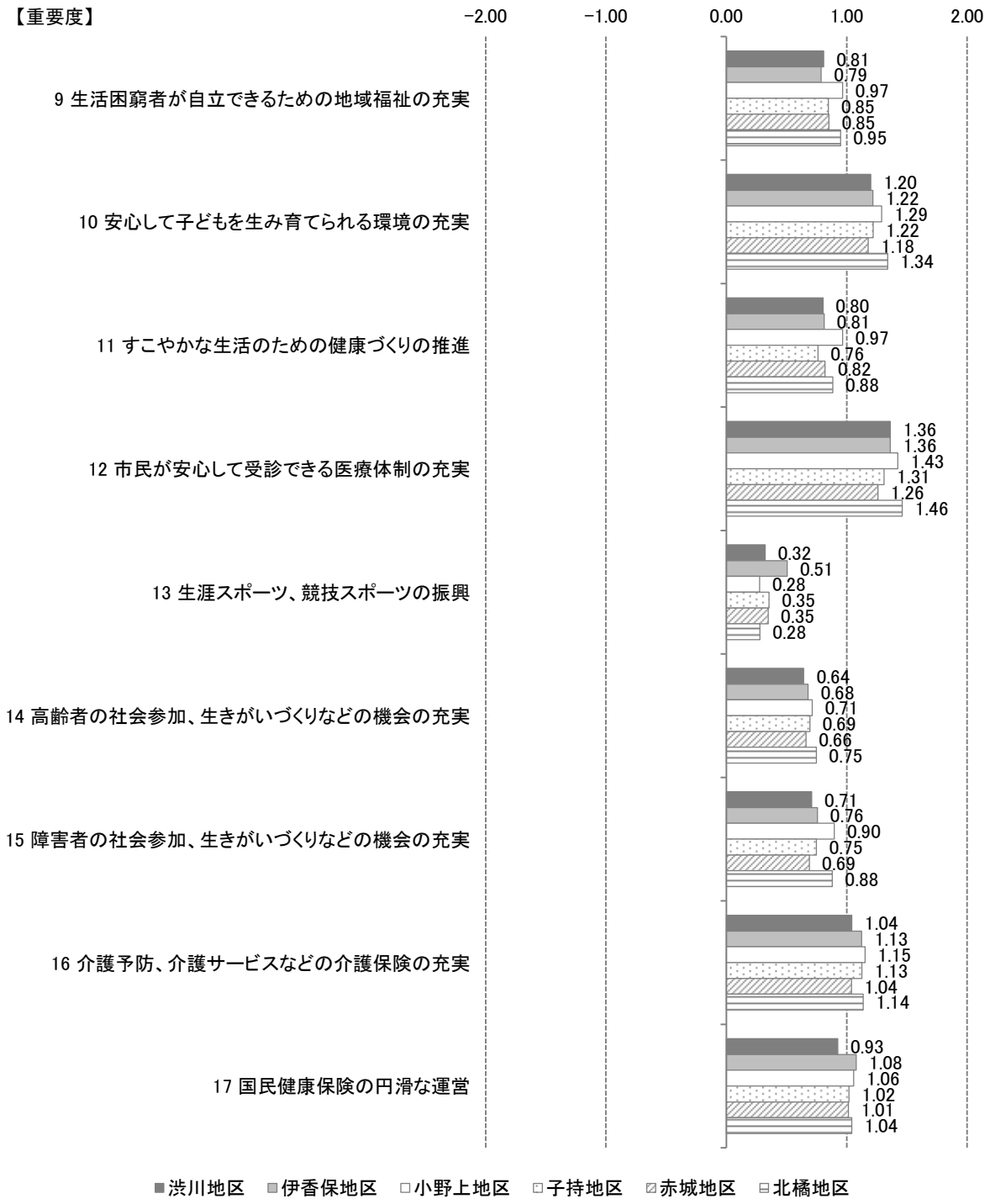
１．４８項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）

（１）安全・安心、暮らし分野

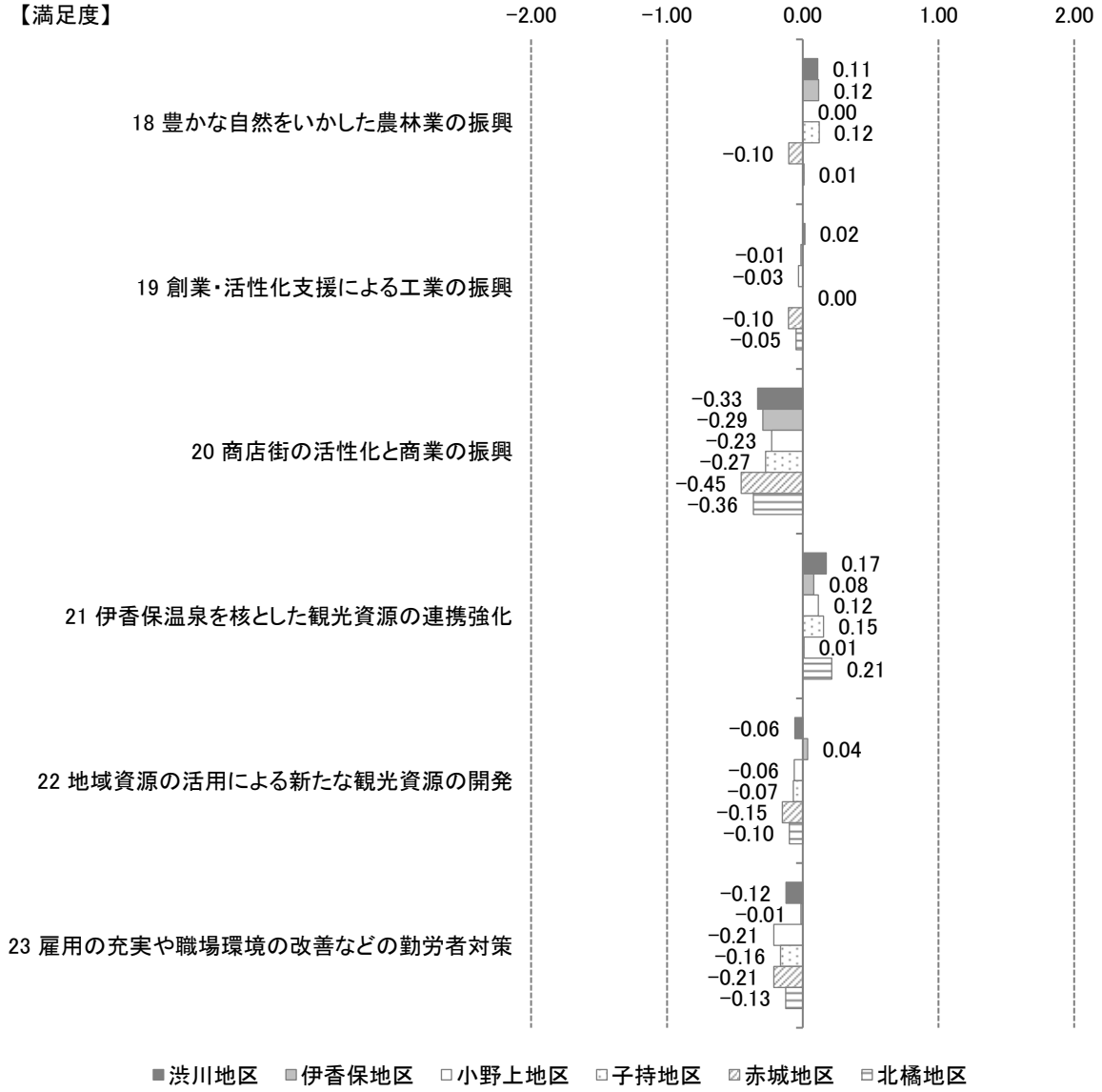


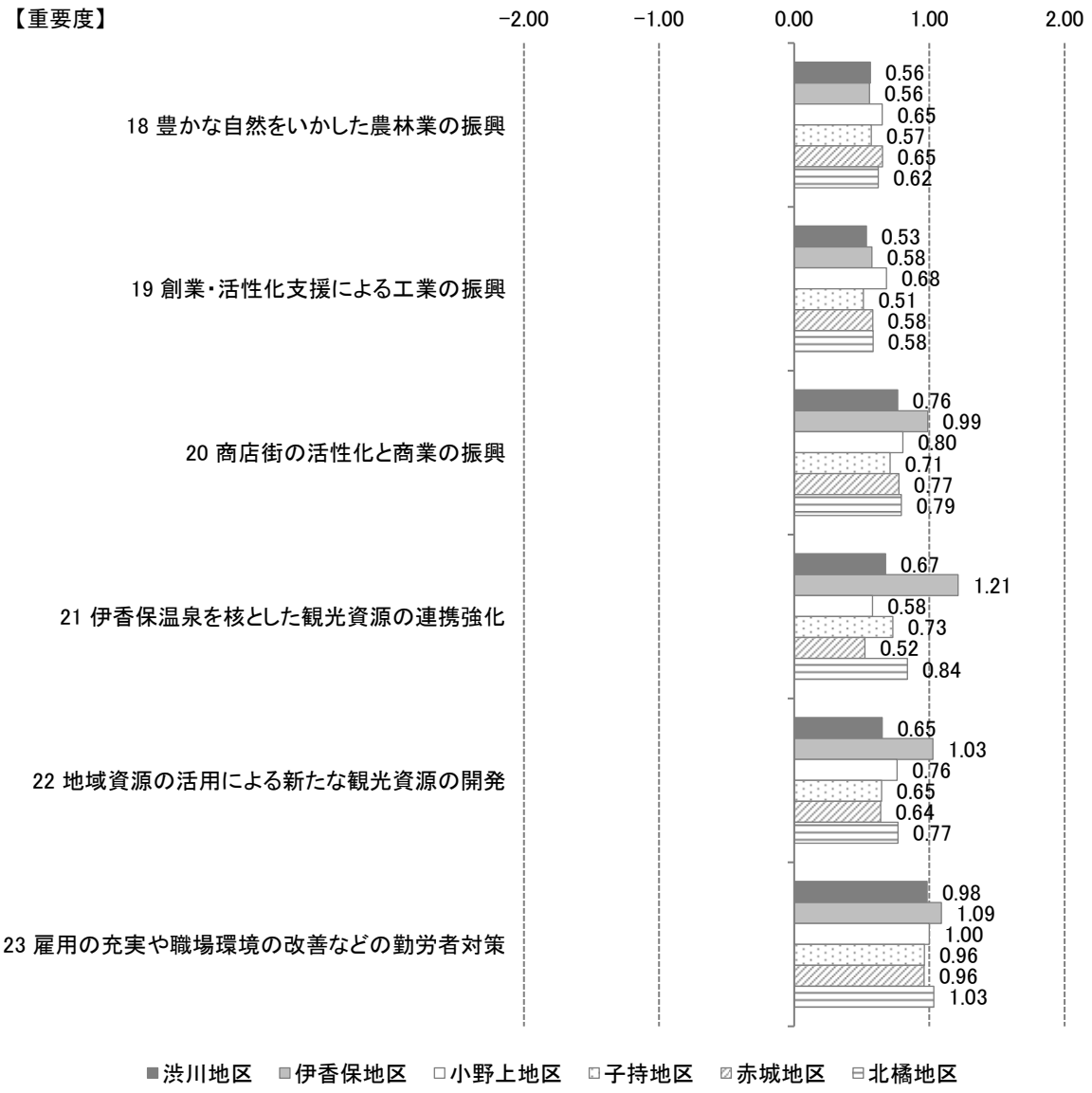

【重要度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化
1.24
1.41
1.24
1.19
1.31
1.35
2 災害などの発生に備える防災機能の強化
1.31
1.33
1.31
1.21
1.35
1.32
3 安心して暮らせる防犯体制の整備
1.29
1.30
1.22
1.24
1.30
1.37
4 交通安全対策の推進
1.15
1.11
1.17
1.15
1.12
1.29
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動
0.81
0.88
1.05
0.79
0.89
0.84
6 移住・定住環境の充実
0.65
0.82
0.82
0.70
0.77
0.71
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給
1.42
1.53
1.23
1.39
1.37
1.49
8 公共下水道整備や水洗化の推進
1.11
1.33
1.15
1.08
1.00
1.16
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

（２）健康、福祉、スポーツ分野

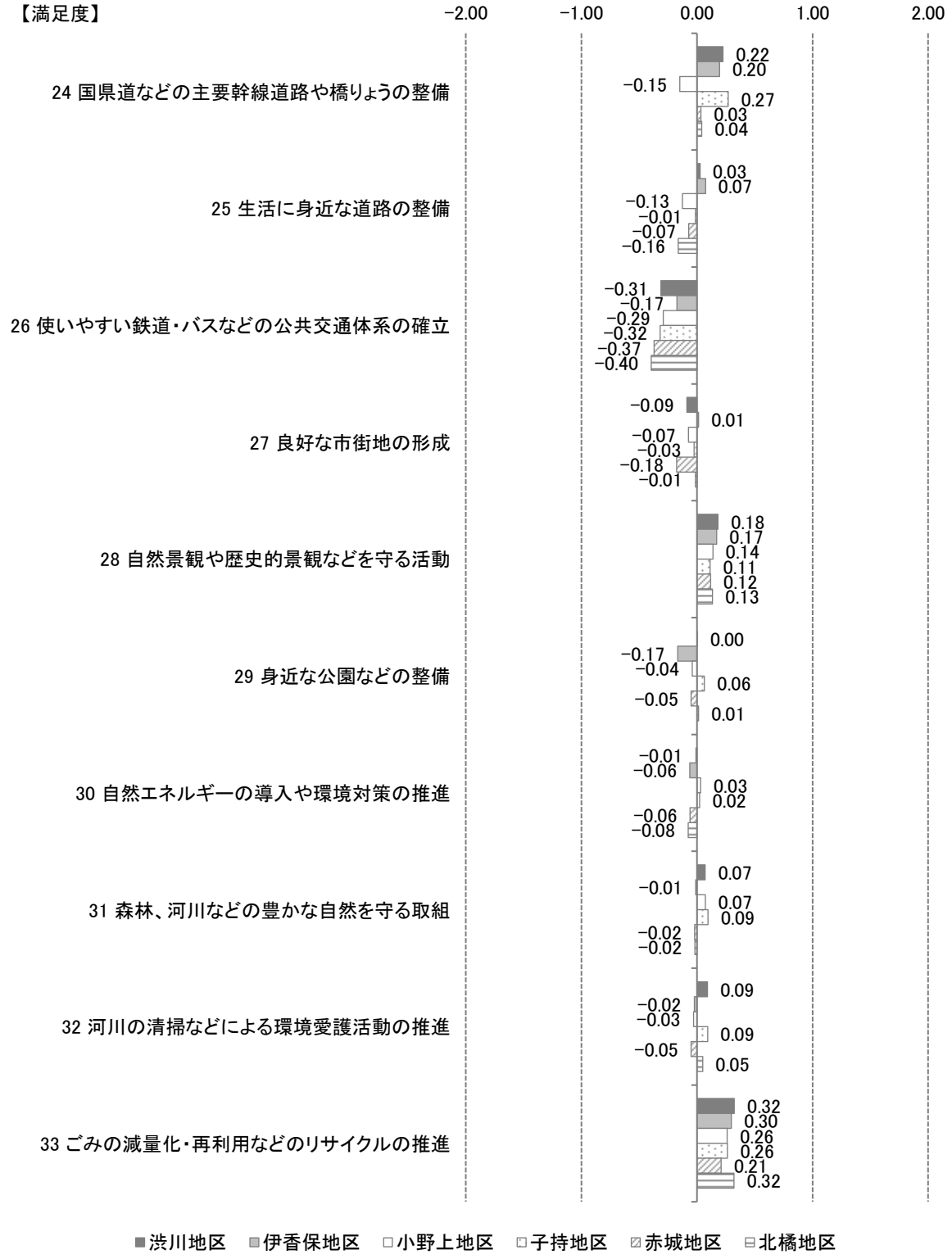

【重要度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実
0.81
0.79
0.97
0.85
0.85
0.95
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実
1.20
1.22
1.29
1.22
1.18
1.34
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進
0.80
0.81
0.97
0.76
0.82
0.88
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実
1.36
1.36
1.43
1.31
1.26
1.46
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興
0.32
0.51
0.28
0.35
0.35
0.28
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
0.64
0.68
0.71
0.69
0.66
0.75
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
0.71
0.76
0.90
0.75
0.69
0.88
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
1.04
1.13
1.15
1.13
1.04
1.14
17 国民健康保険の円滑な運営
0.93
1.08
1.06
1.02
1.01
1.04
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

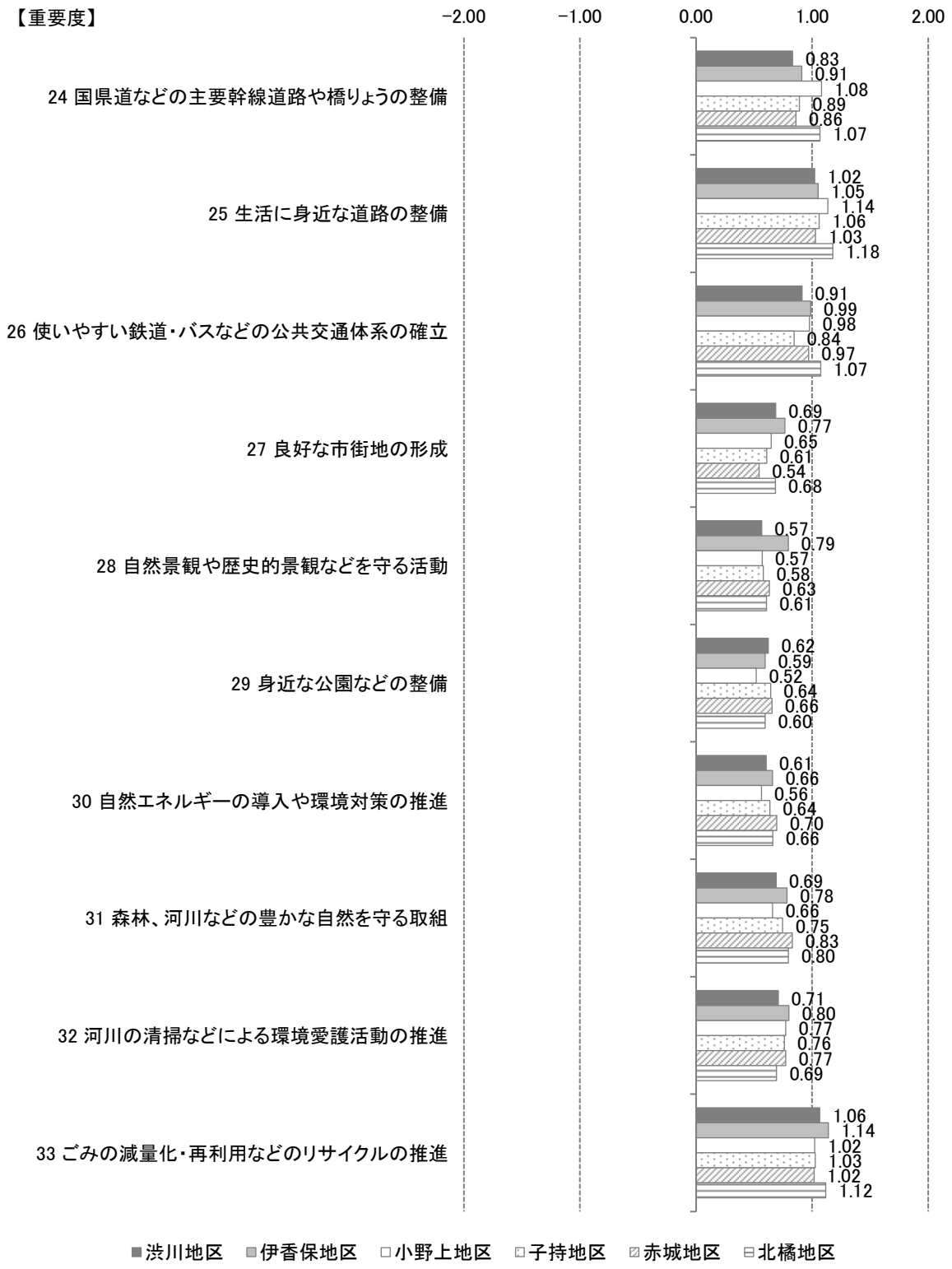
（３）産業分野


【満足度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
18 豊かな自然をいかした農林業の振興
0.11
0.12
0.00
0.12
−0.10
0.01
19 創業・活性化支援による工業の振興
0.02
−0.01
−0.03
0.00
−0.10
−0.05
20 商店街の活性化と商業の振興
−0.33
−0.29
−0.23
−0.27
−0.45
−0.36
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
0.17
0.08
0.12
0.15
0.01
0.21
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発
−0.06
0.04
−0.06
−0.07
−0.15
−0.10
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
−0.12
−0.01
−0.21
−0.16
−0.21
−0.13
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

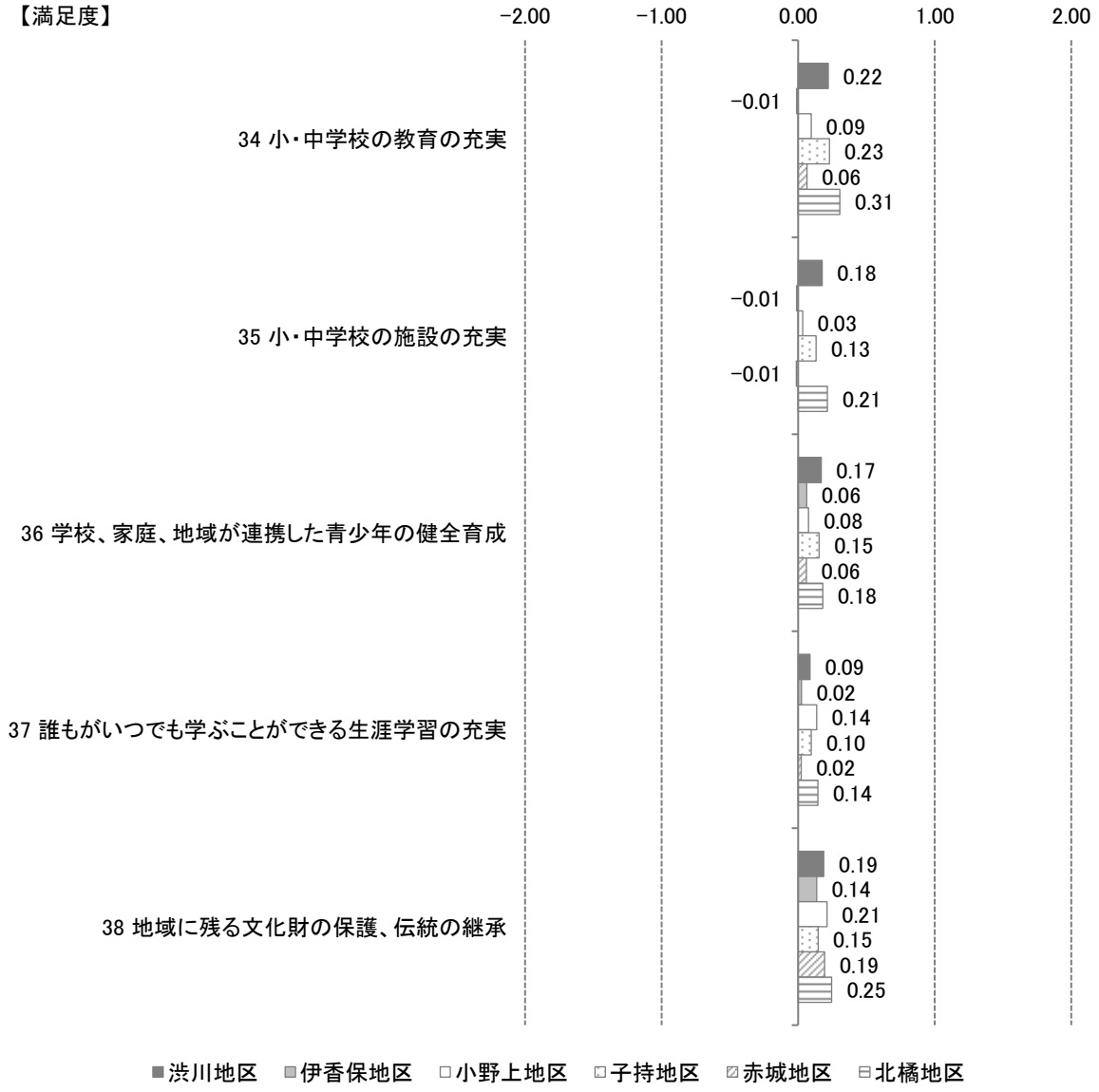

【重要度】
-2.00
-1.00
0.00
1.00
2.00
18 豊かな自然をいかした農林業の振興
0.56
0.56
0.65
0.57
0.65
0.62
19 創業・活性化支援による工業の振興
0.53
0.58
0.68
0.51
0.58
0.58
20 商店街の活性化と商業の振興
0.76
0.99
0.80
0.71
0.77
0.79
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
0.67
1.21
0.58
0.73
0.52
0.84
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発
0.65
1.03
0.76
0.65
0.64
0.77
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
0.98
1.09
1.00
0.96
0.96
1.03
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

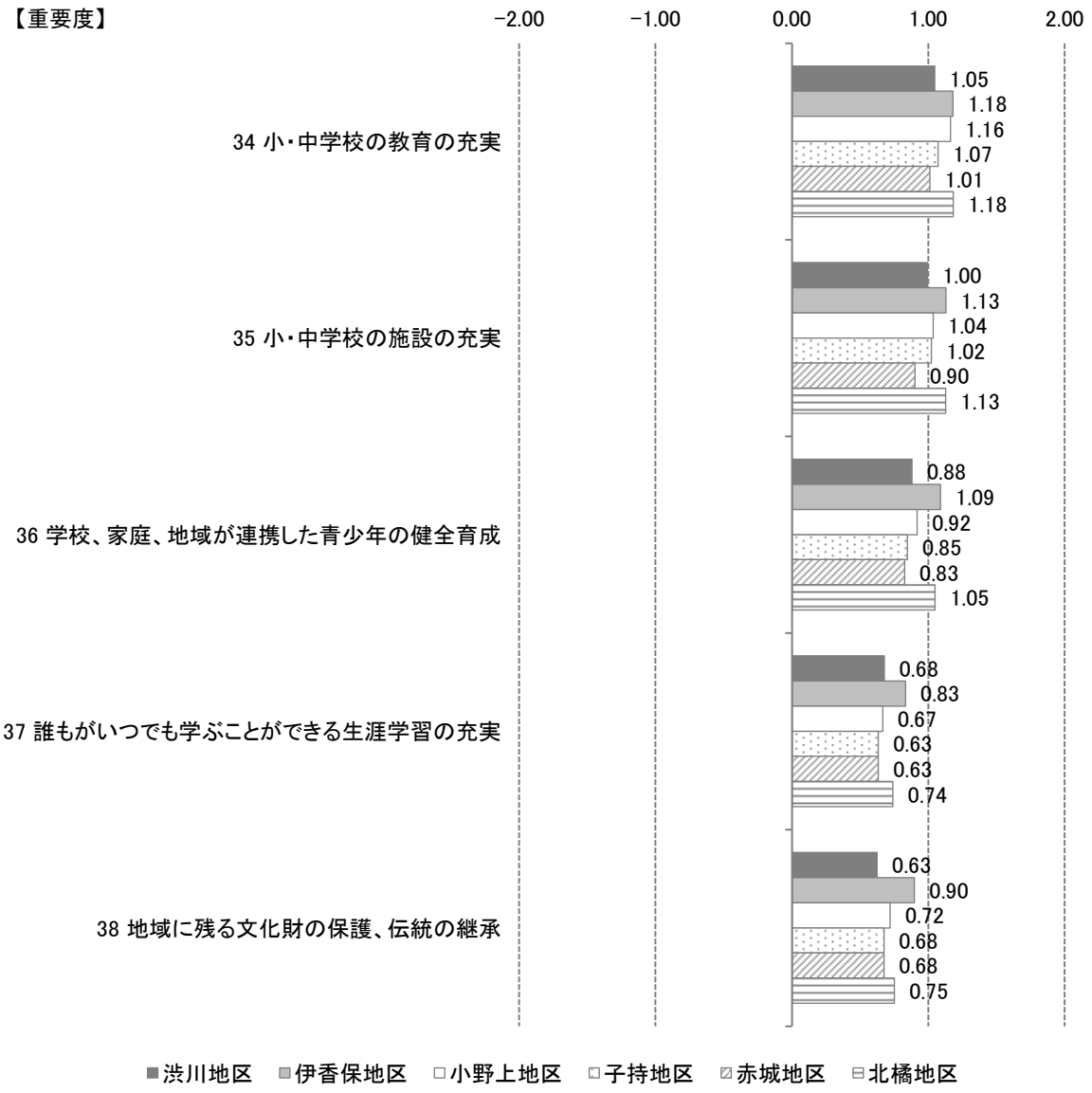
（４）都市基盤・自然環境分野



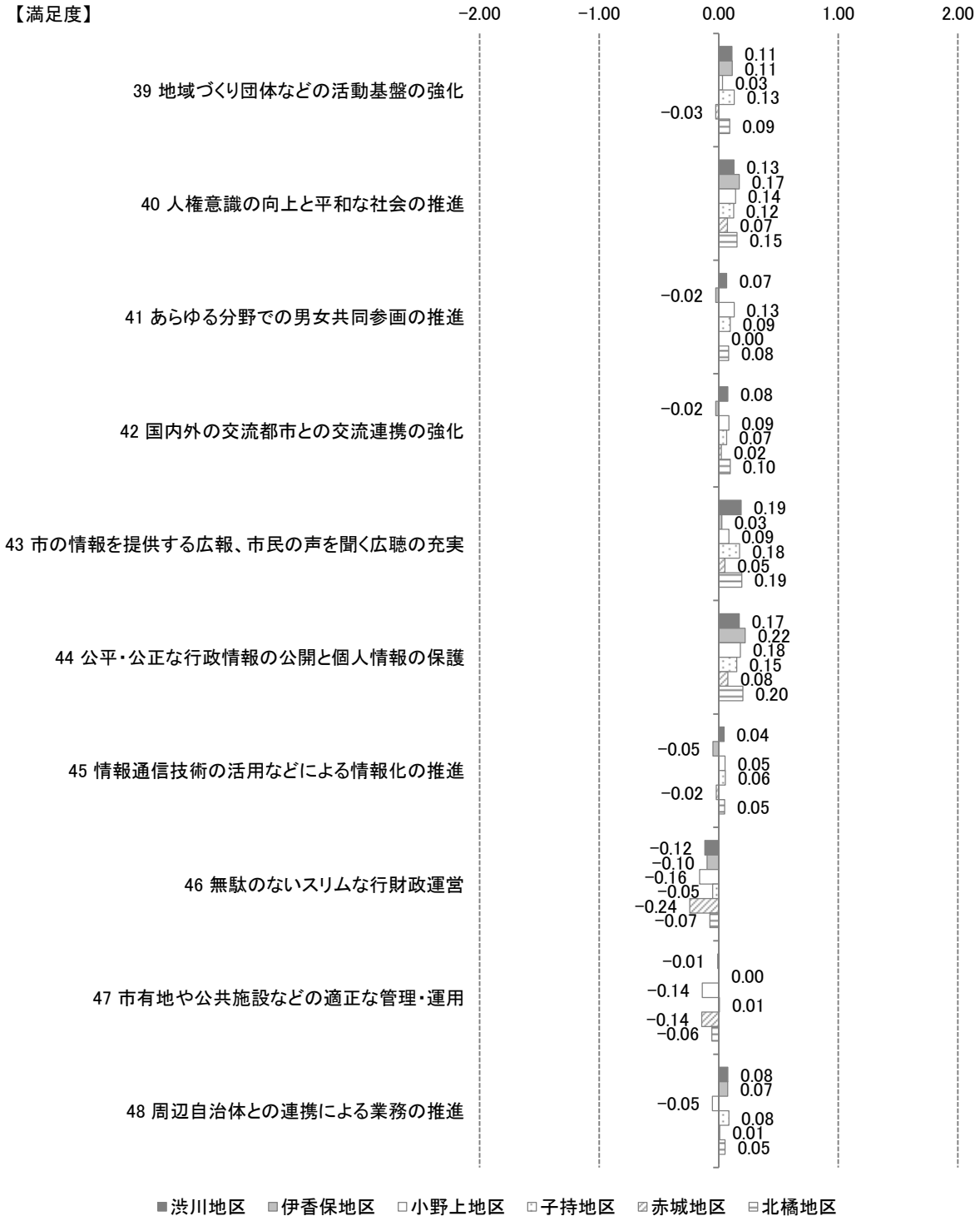

【重要度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備
0.83
0.91
1.08
0.89
0.86
1.07
25 生活に身近な道路の整備
1.02
1.05
1.14
1.06
1.03
1.18
26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
0.91
0.99
0.98
0.84
0.97
1.07
27 良好な市街地の形成
0.69
0.77
0.65
0.61
0.54
0.68
28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
0.57
0.79
0.57
0.58
0.63
0.61
29 身近な公園などの整備
0.62
0.59
0.52
0.64
0.66
0.60
30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
0.61
0.66
0.56
0.64
0.70
0.66
31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
0.69
0.78
0.66
0.75
0.83
0.80
32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
0.71
0.80
0.77
0.76
0.77
0.69
33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
1.06
1.14
1.02
1.03
1.02
1.12
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

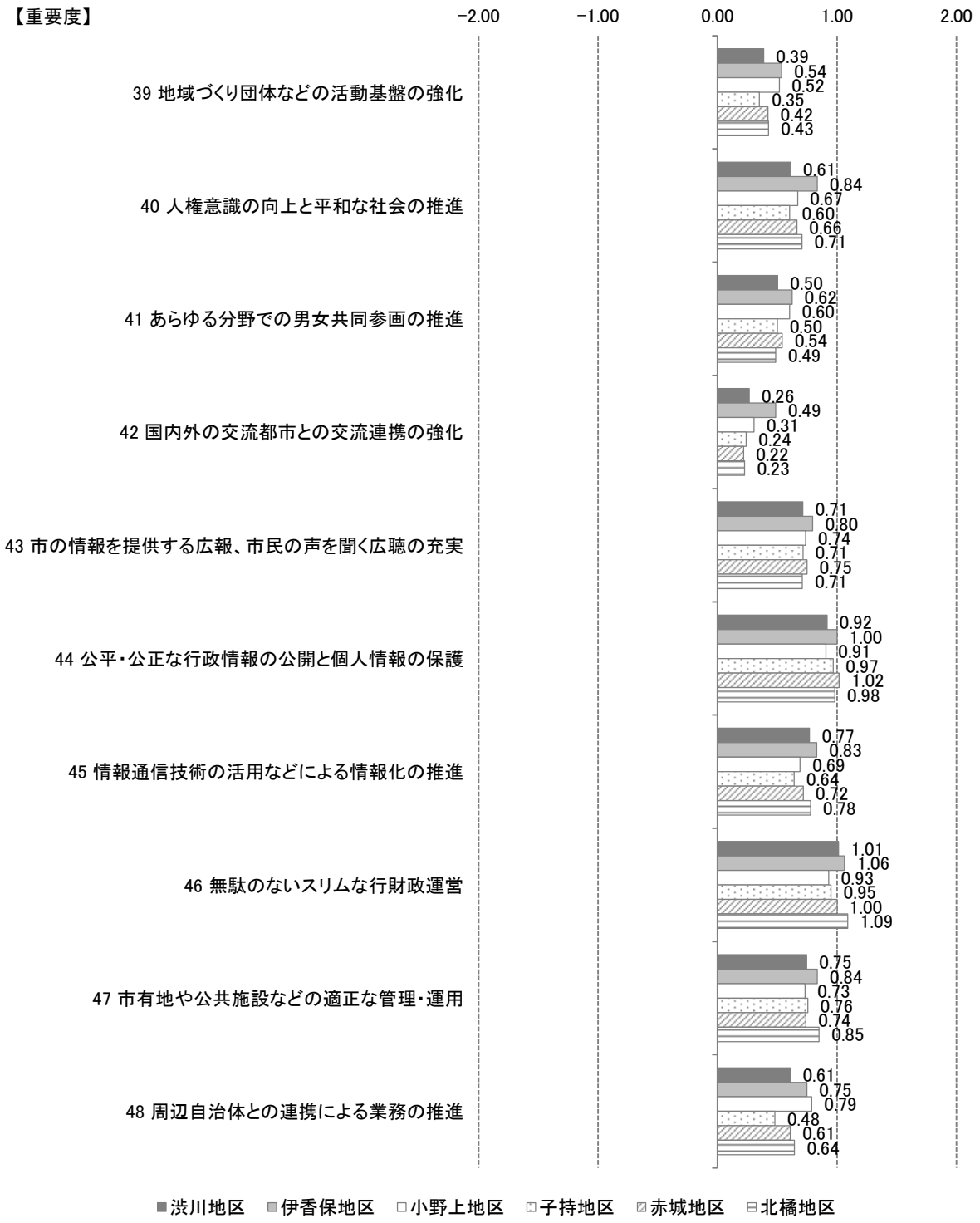
（５）教育、文化分野


【満足度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
34 小・中学校の教育の充実
0.22
−0.01
0.09
0.23
0.06
0.31
35 小・中学校の施設の充実
0.18
−0.01
0.03
0.13
−0.01
0.21
36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
0.17
0.06
0.08
0.15
0.06
0.18
37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
0.09
0.02
0.14
0.10
0.02
0.14
38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
0.19
0.14
0.21
0.15
0.19
0.25
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

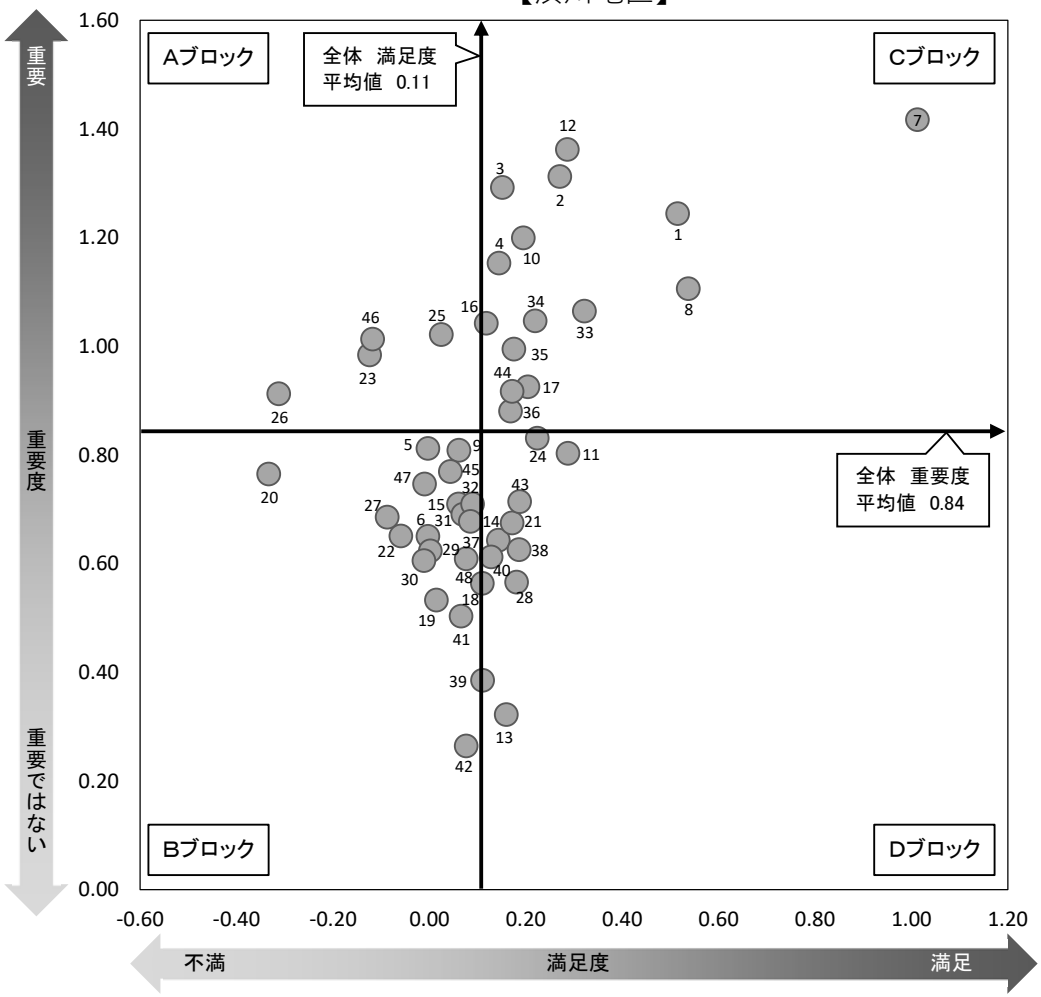

【重要度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
34 小・中学校の教育の充実
1.05
1.18
1.16
1.07
1.01
1.18
35 小・中学校の施設の充実
1.00
1.13
1.04
1.02
0.90
1.13
36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
0.88
1.09
0.92
0.85
0.83
1.05
37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
0.68
0.83
0.67
0.63
0.63
0.74
38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
0.63
0.90
0.72
0.68
0.68
0.75
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

（６） 自治、協働分野


【満足度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
0.11
0.11
0.03
0.13
−0.03
0.09
40 人権意識の向上と平和な社会の推進
0.13
0.17
0.14
0.12
0.07
0.15
41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
0.07
−0.02
0.13
0.09
0.00
0.08
42 国内外の交流都市との交流連携の強化
0.08
−0.02
0.09
0.07
0.02
0.10
43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
0.19
0.03
0.09
0.18
0.05
0.19
44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
0.17
0.22
0.18
0.15
0.08
0.20
45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
0.04
−0.05
0.05
0.06
−0.02
0.05
46 無駄のないスリムな行財政運営
−0.12
−0.10
−0.16
−0.05
−0.24
−0.07
47 市有地や公共施設などの適正な管理・運用
−0.01
0.00
−0.14
0.01
−0.14
−0.06
48 周辺自治体との連携による業務の推進
0.08
0.07
−0.05
0.08
0.01
0.05
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区


【重要度】
−2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
0.39
0.54
0.52
0.35
0.42
0.43
40 人権意識の向上と平和な社会の推進
0.61
0.84
0.67
0.60
0.66
0.71
41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
0.50
0.62
0.60
0.50
0.54
0.49
42 国内外の交流都市との交流連携の強化
0.26
0.49
0.31
0.24
0.22
0.23
43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
0.71
0.80
0.74
0.71
0.75
0.71
44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
0.92
1.00
0.91
0.97
1.02
0.98
45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
0.77
0.83
0.69
0.64
0.72
0.78
46 無駄のないスリムな行財政運営
1.01
1.06
0.93
0.95
1.00
1.09
47 市有地や公共施設などの適正な管理・運用
0.75
0.84
0.73
0.76
0.74
0.85
48 周辺自治体との連携による業務の推進
0.61
0.75
0.79
0.48
0.61
0.64
渋川地区
伊香保地区
小野上地区
子持地区
赤城地区
北橘地区

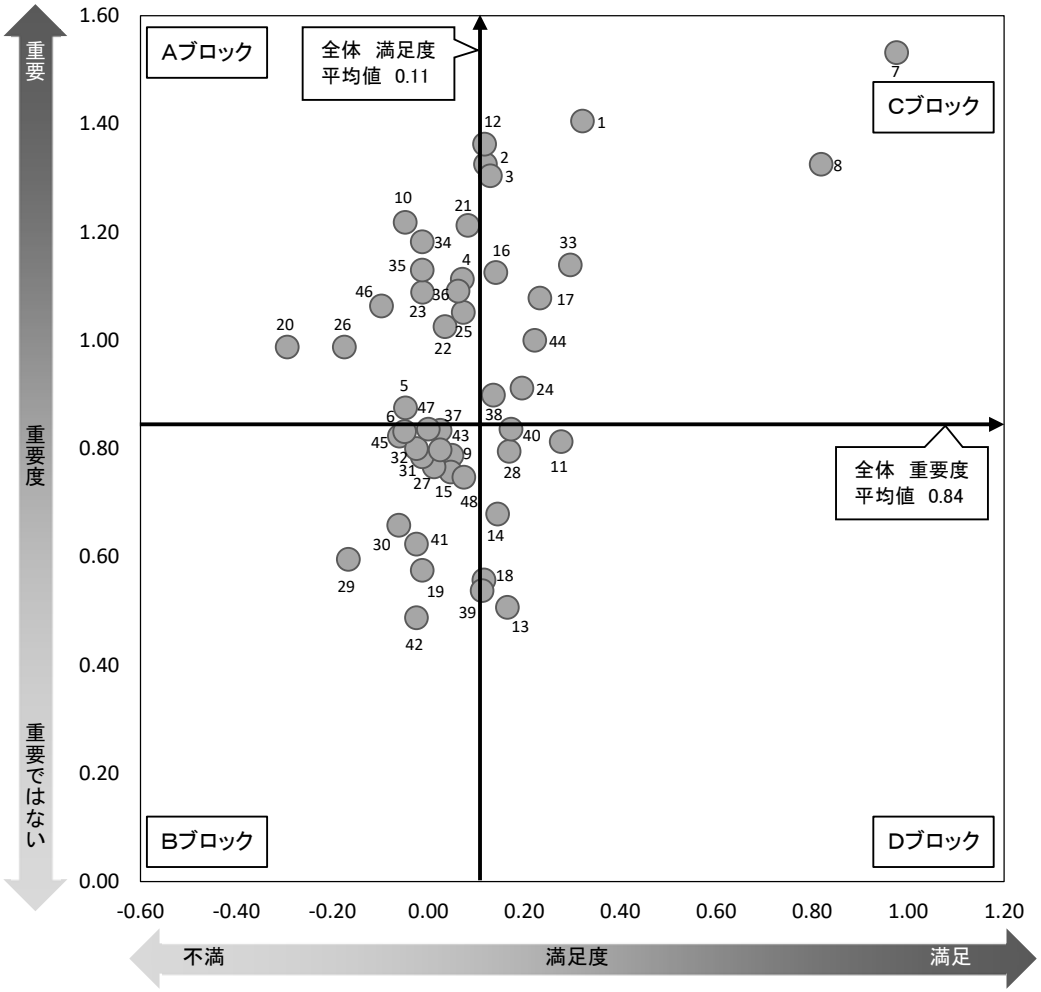
【渋川地区】



渋川地区　　満足度平均値 0.13	重要度平均値 0.82

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

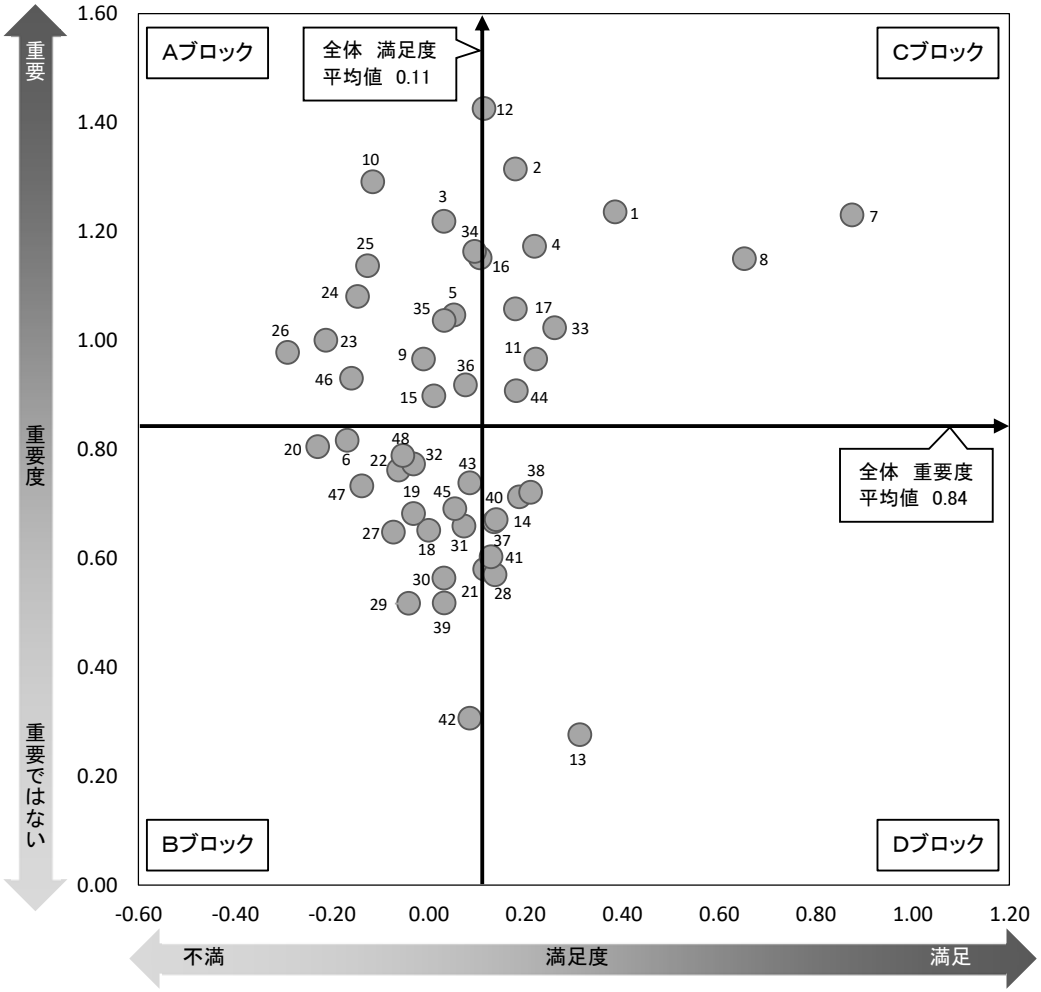
【伊香保地区】



伊香保地区　　満足度平均値　0.09	重要度平均値　0.93

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線　道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

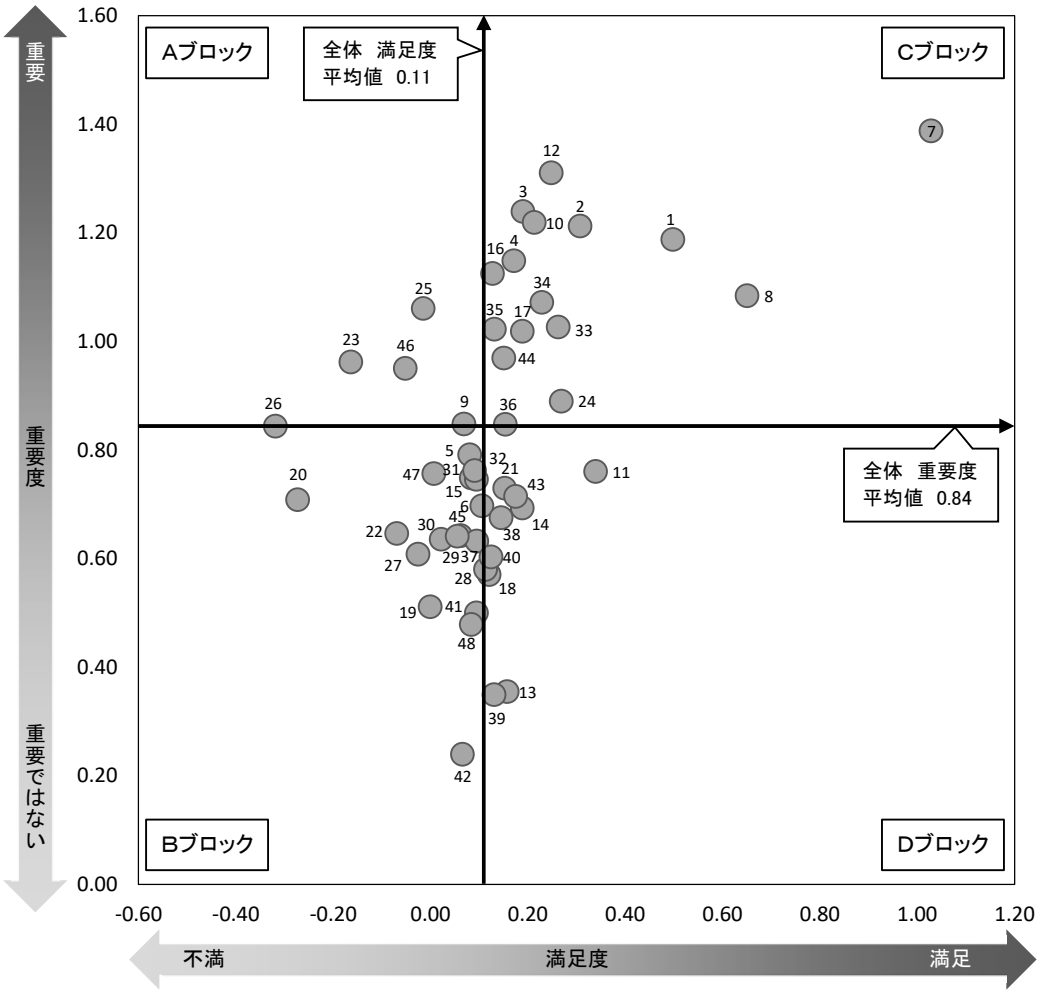
【小野上地区】



小野上地区　　満足度平均値　0.07	重要度平均値　0.87

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

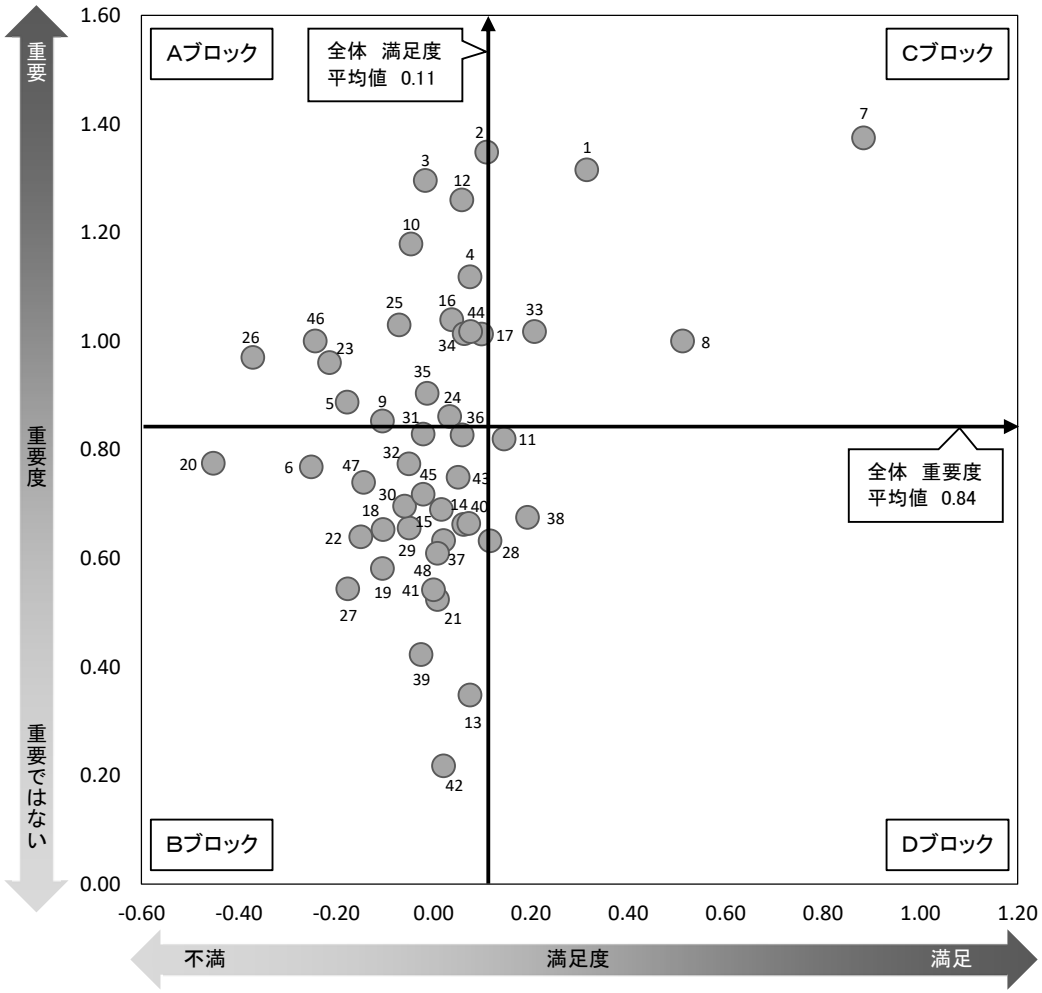
【子持地区】



子持地区　　満足度平均値　0.14	重要度平均値　0.82

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

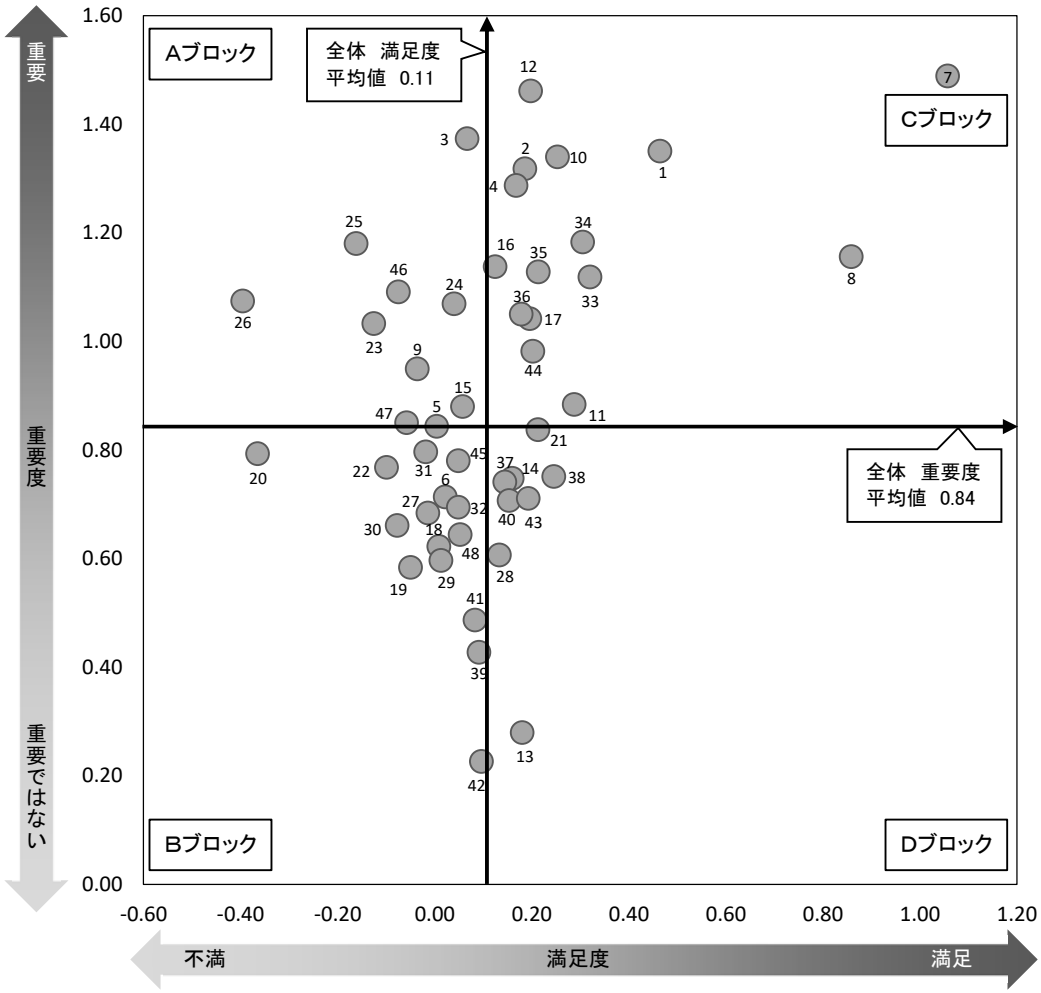
【赤城地区】



赤城地区　　満足度平均値　0.01	重要度平均値　0.83

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

【北橘地区】

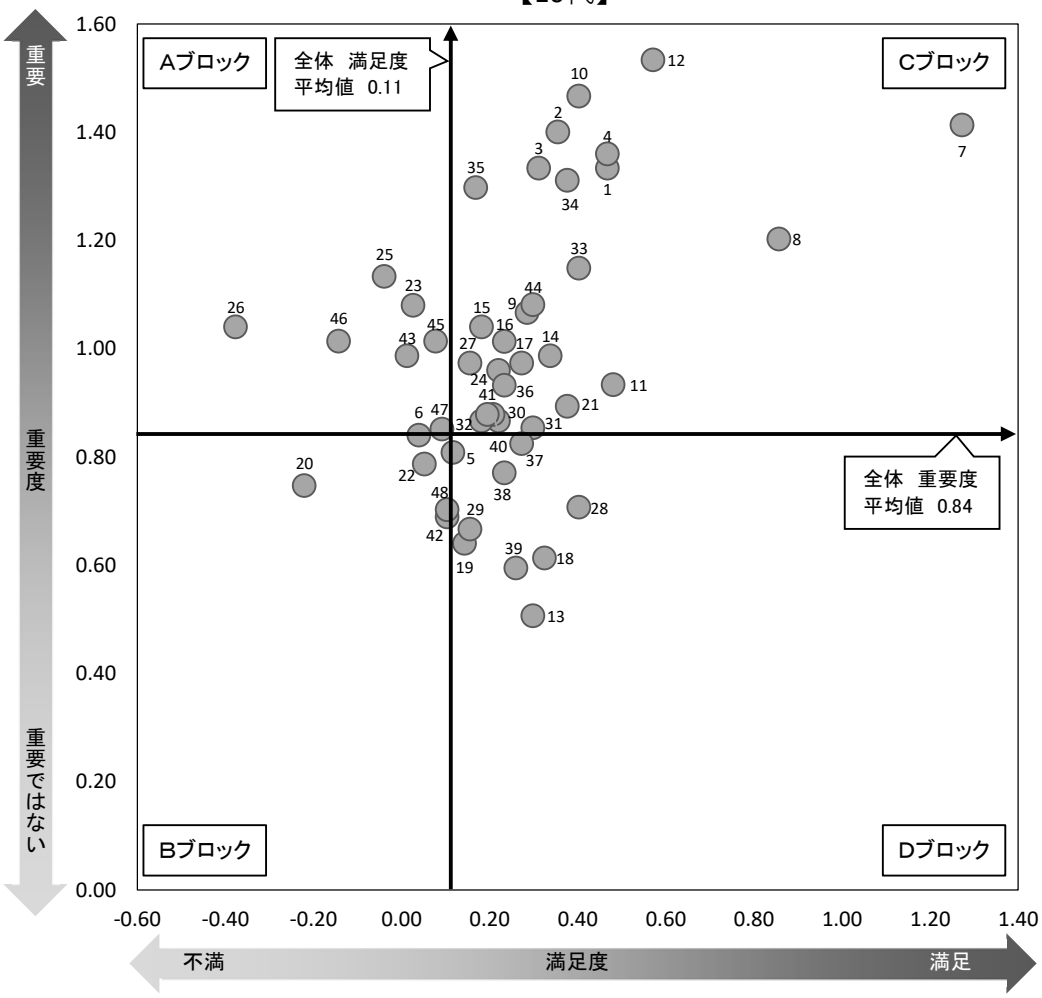


北橘地区　　満足度平均値　0.12	重要度平均値　0.90

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

２．４８項目の年代別満足度・重要度（加重平均値）

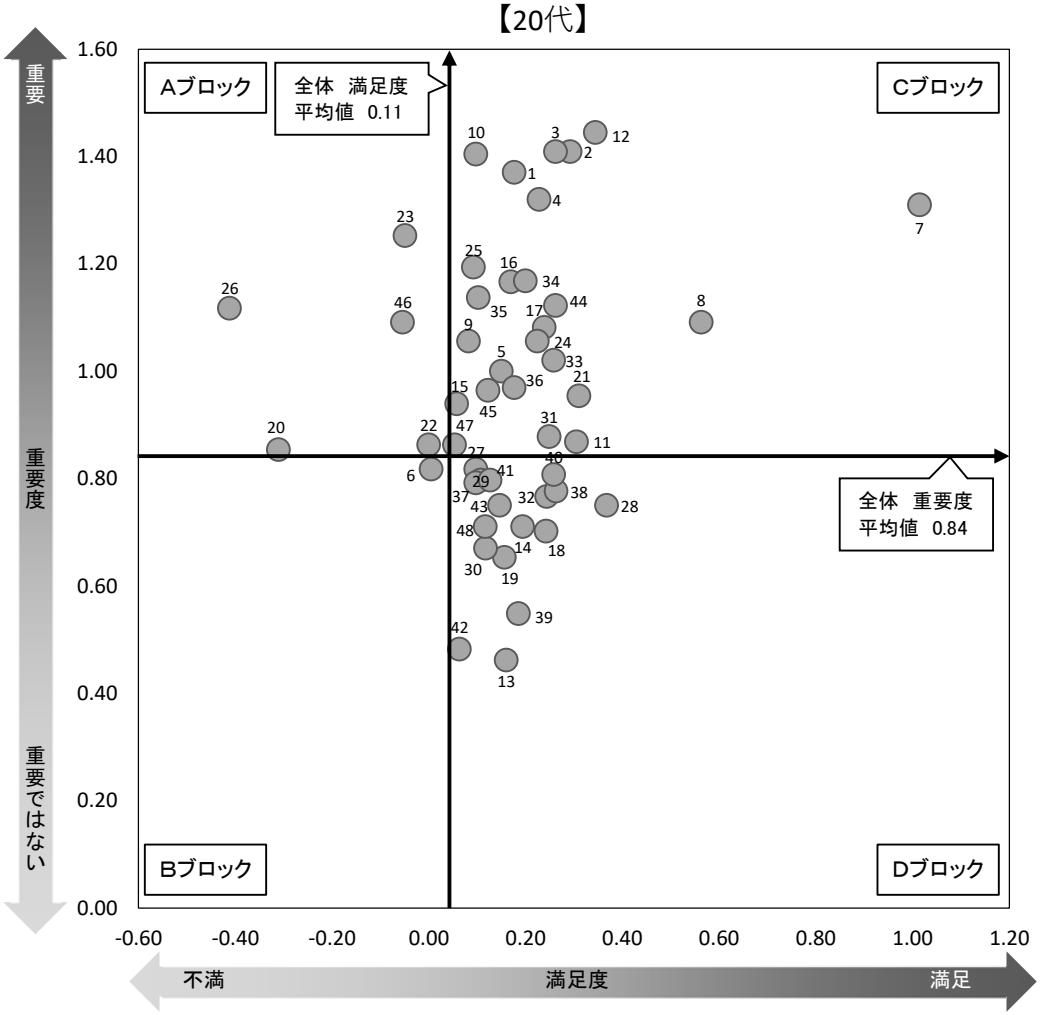
【10代】



10 代　　満足度平均値　0.25	重要度平均値　0.98

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

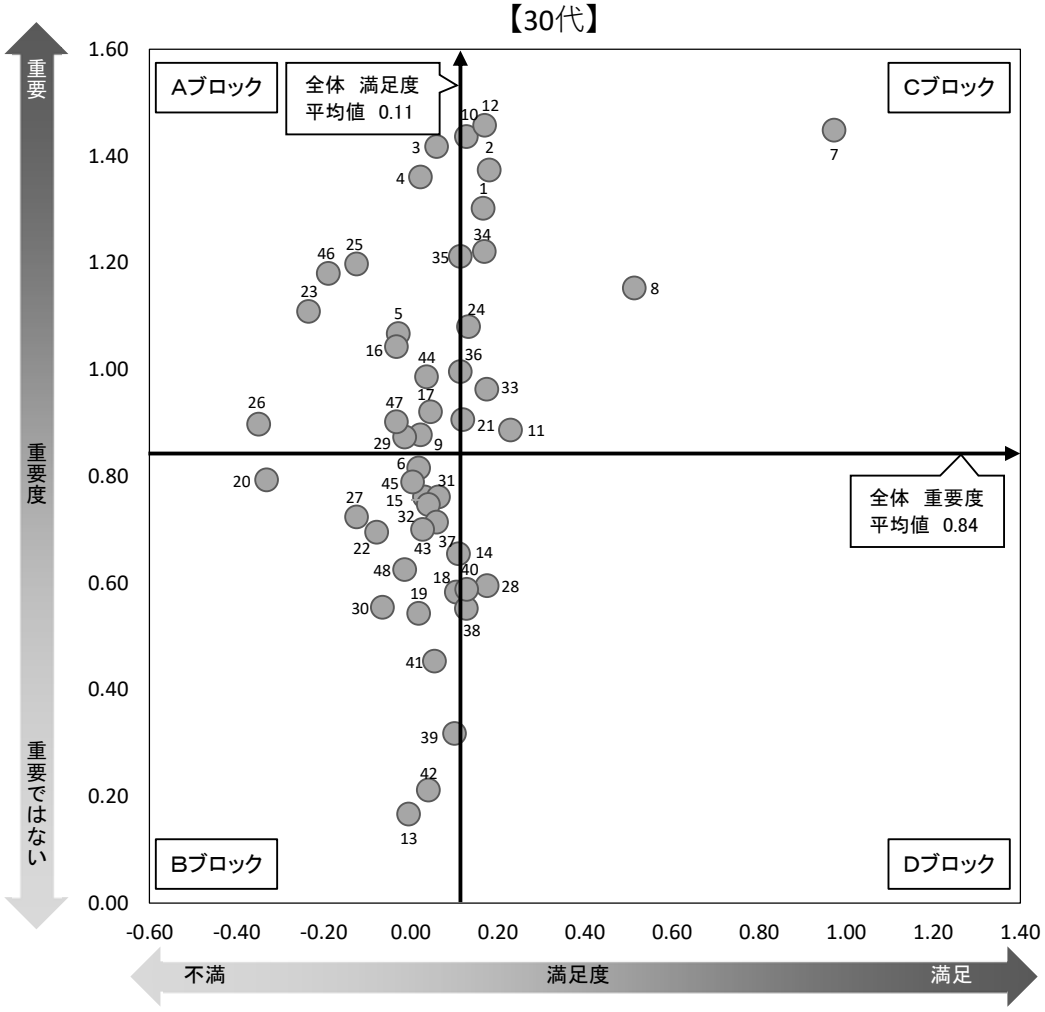
【20代】



20 代　　満足度平均値 0.17	重要度平均値 0.96

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

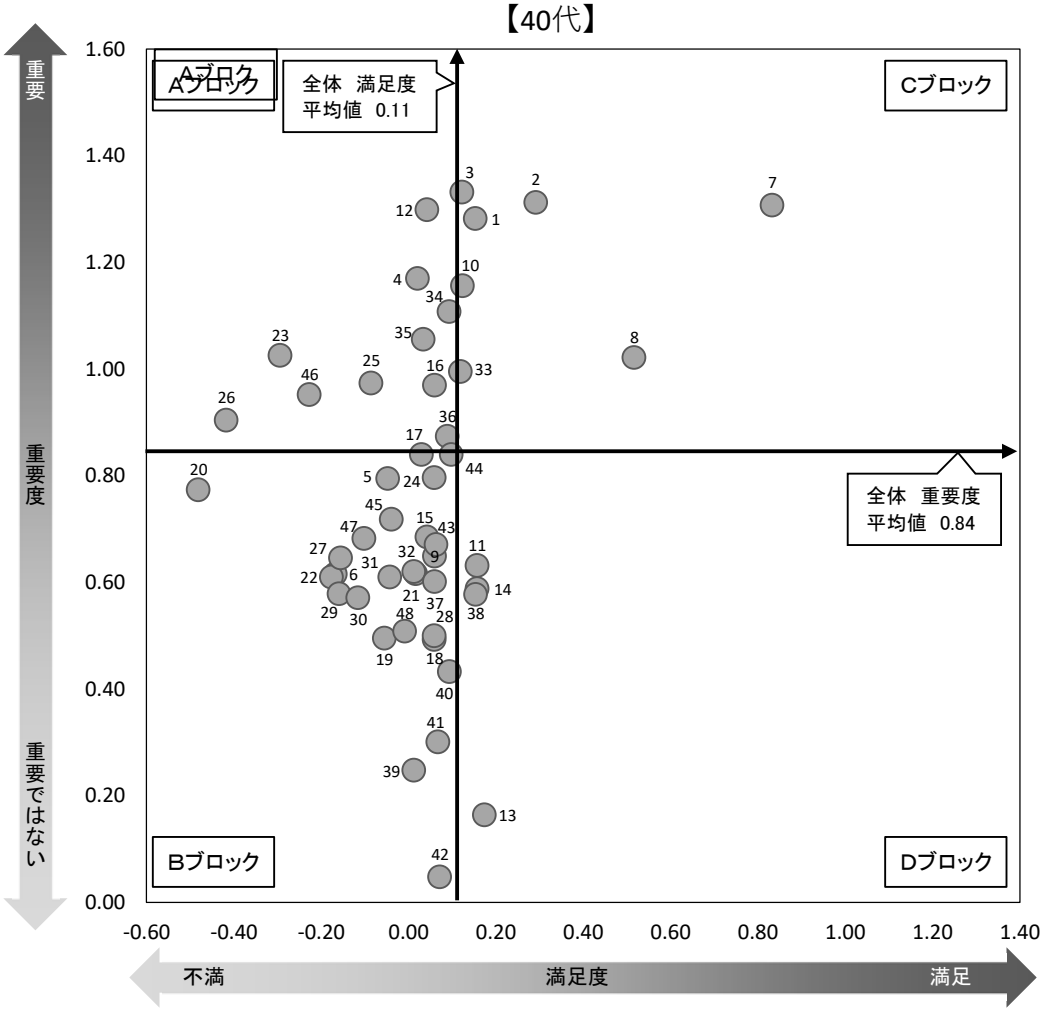
【30代】



30 代	満足度平均値 0.06	重要度平均値 0.89

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

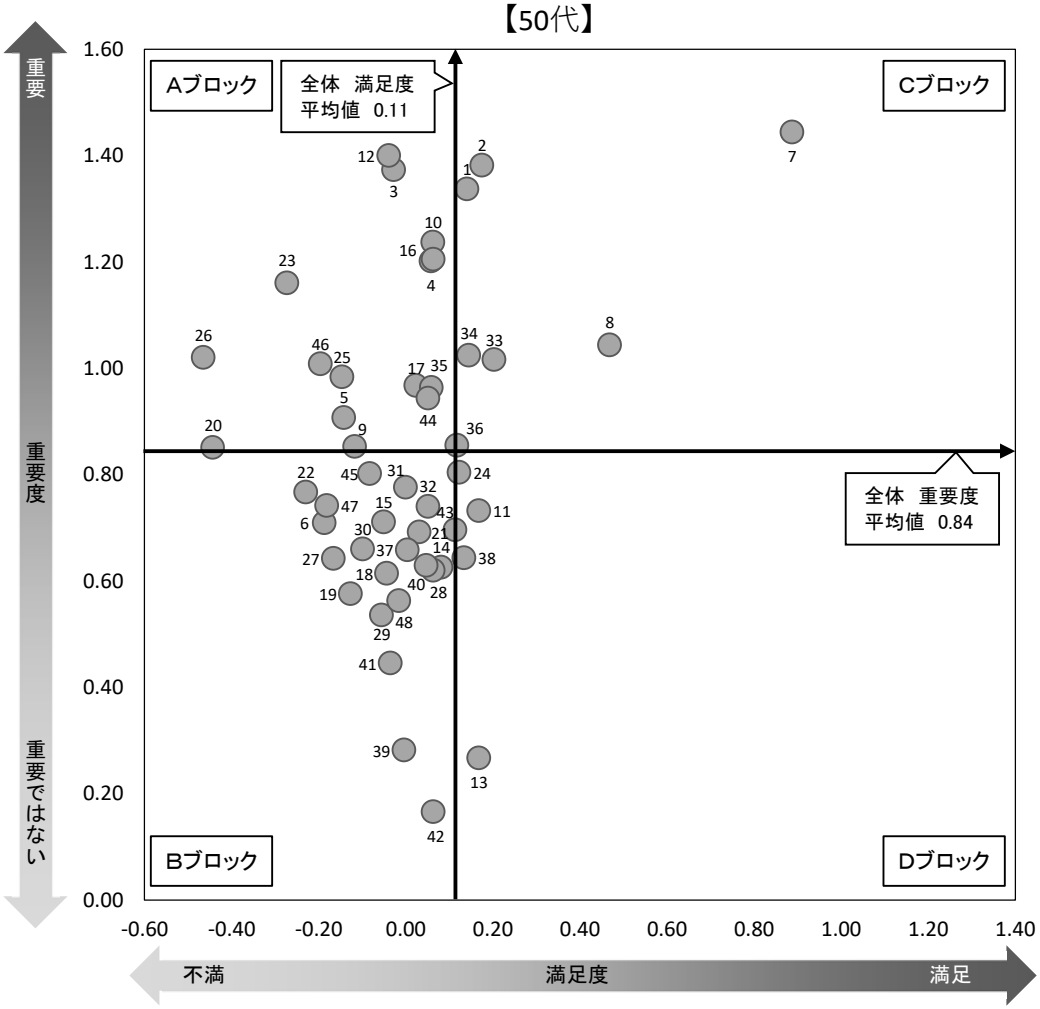
【40代】



40 代	満足度平均値 0.03	重要度平均値 0.76

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

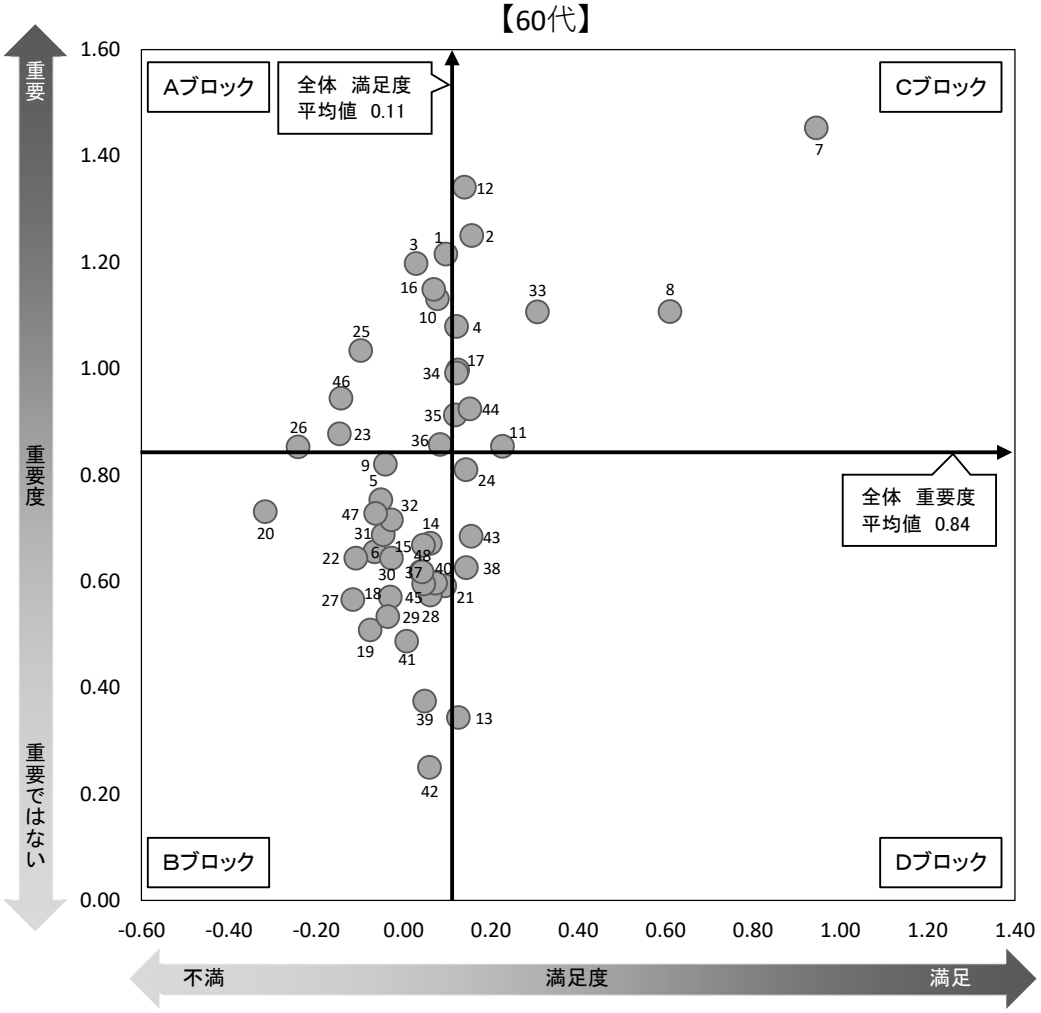
【50代】



50 代	満足度平均値 0.01	重要度平均値 0.84

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

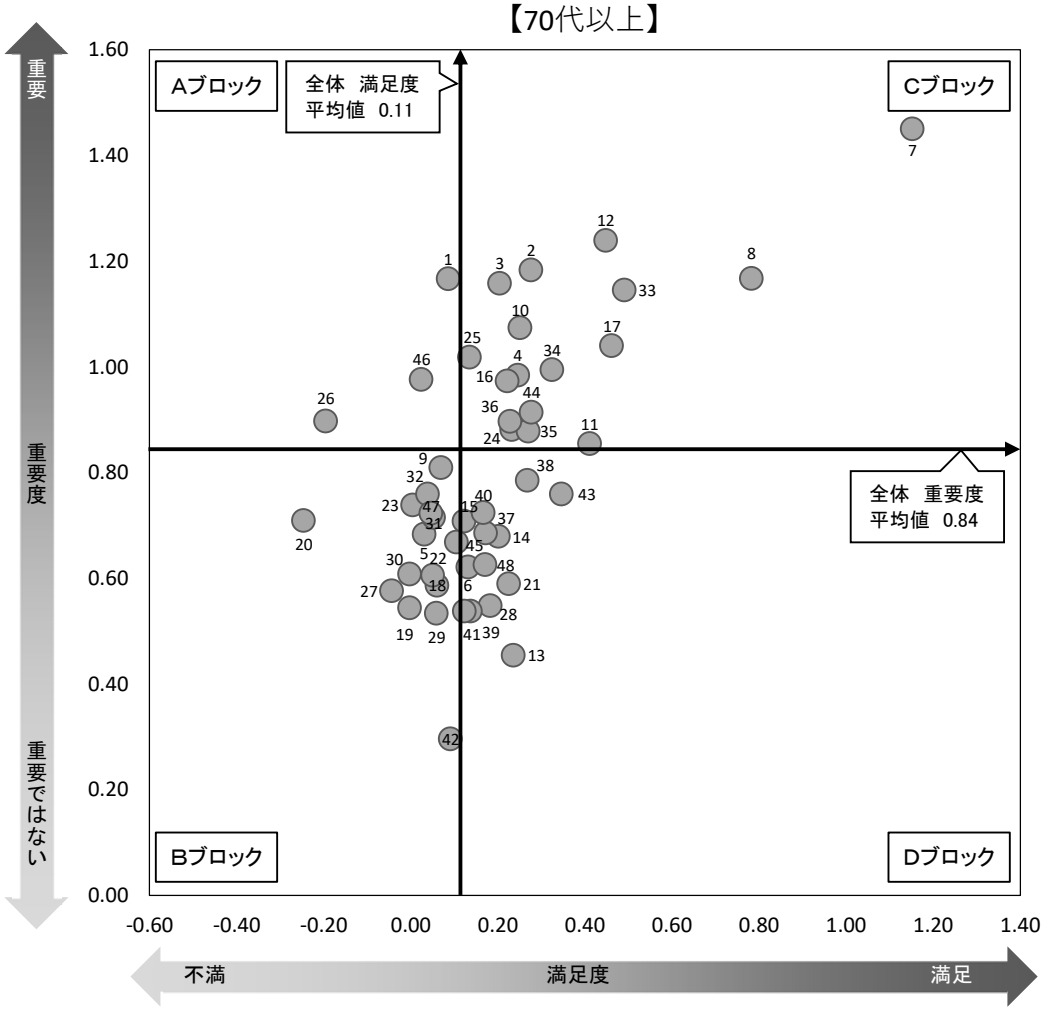
【60代】



60 代	満足度平均値 0.06	重要度平均値 0.80

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

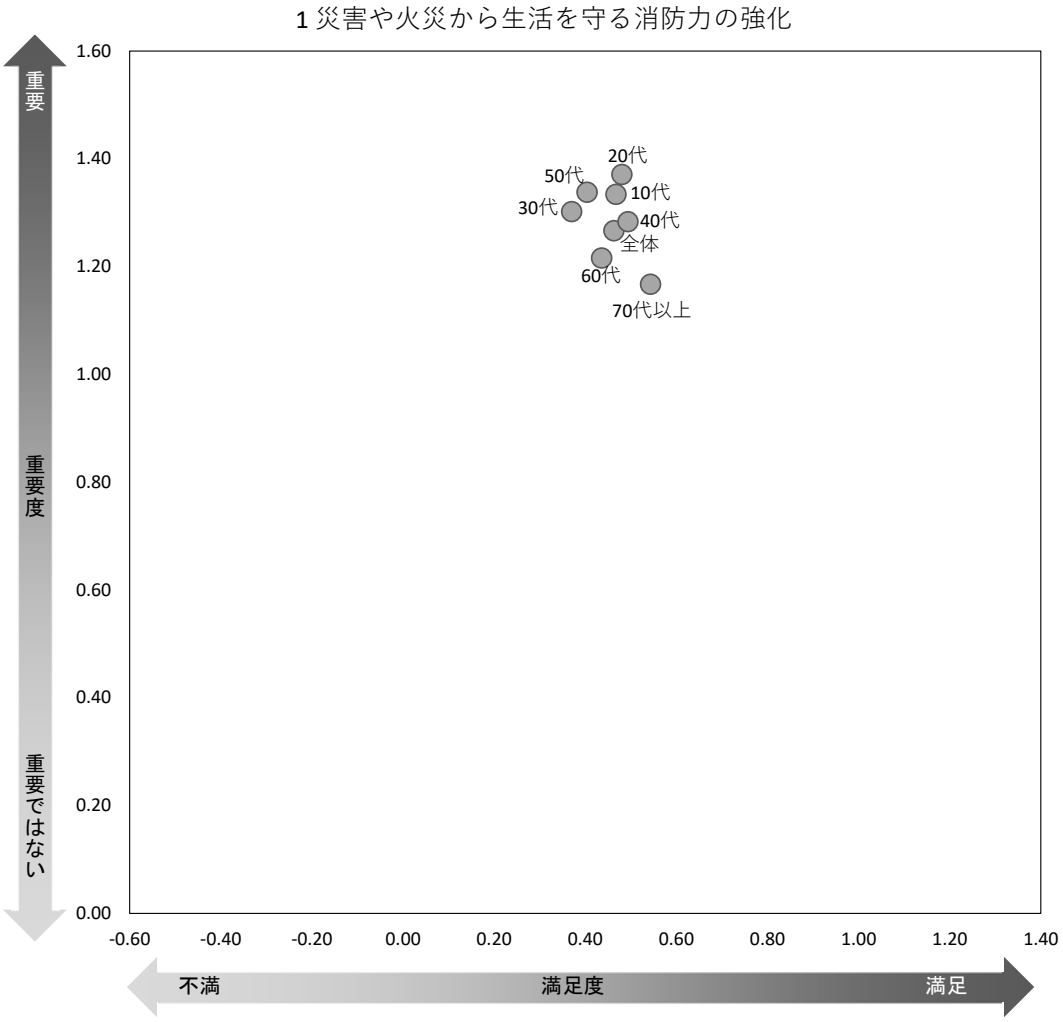
【70代以上】

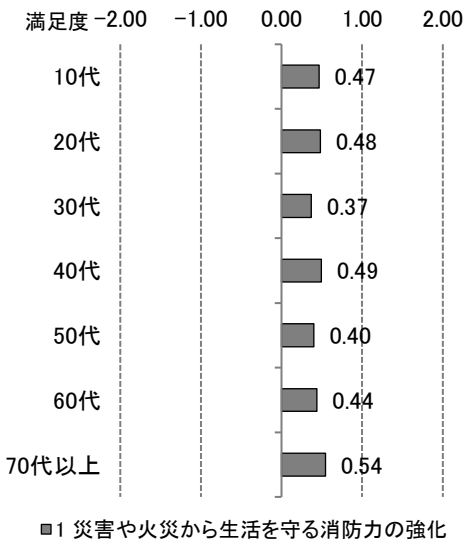


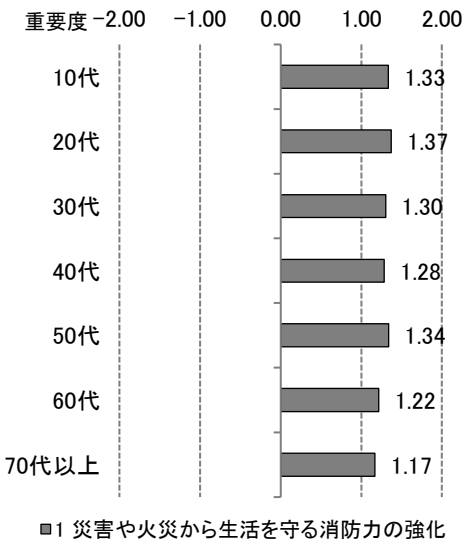
70 代以上　　満足度平均値 0.19	重要度平均値 0.81

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

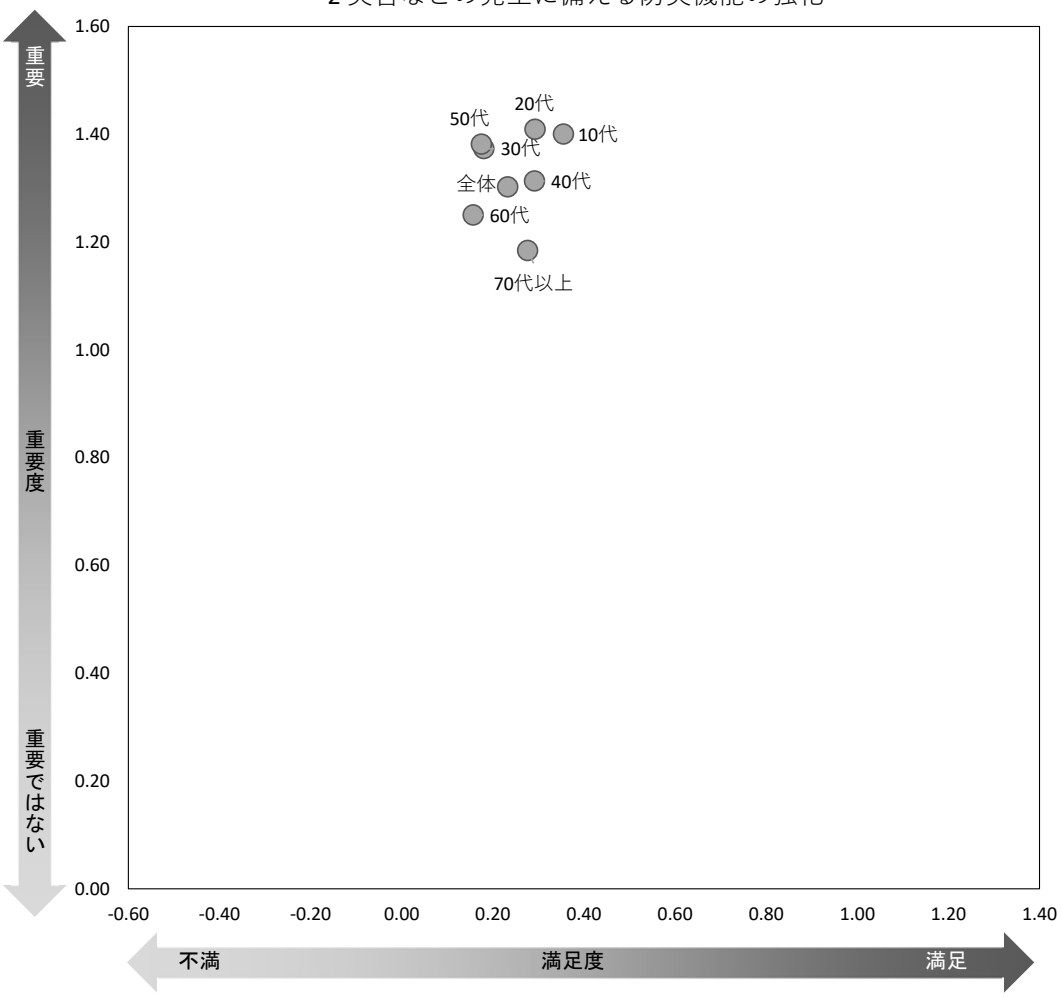
３．４８項目の項目別・年代別満足度・重要度（加重平均値）

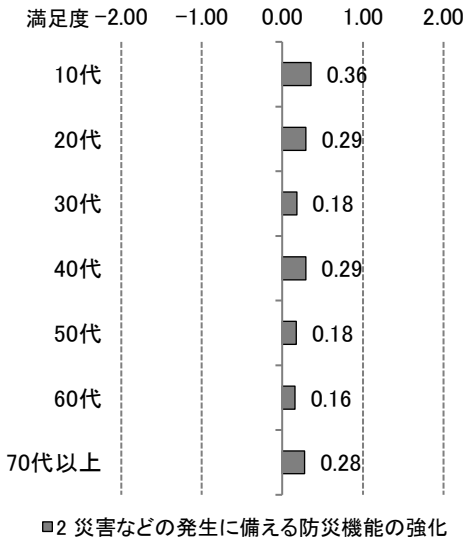


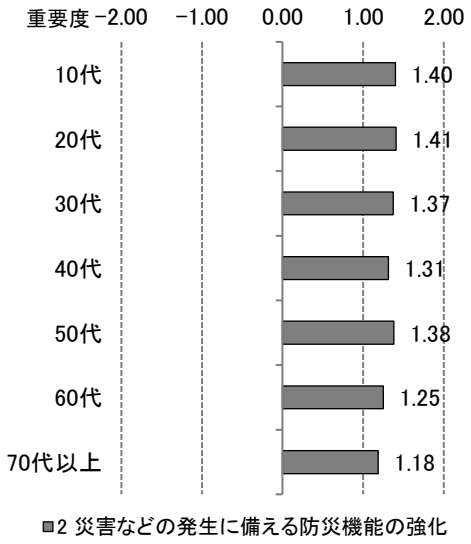




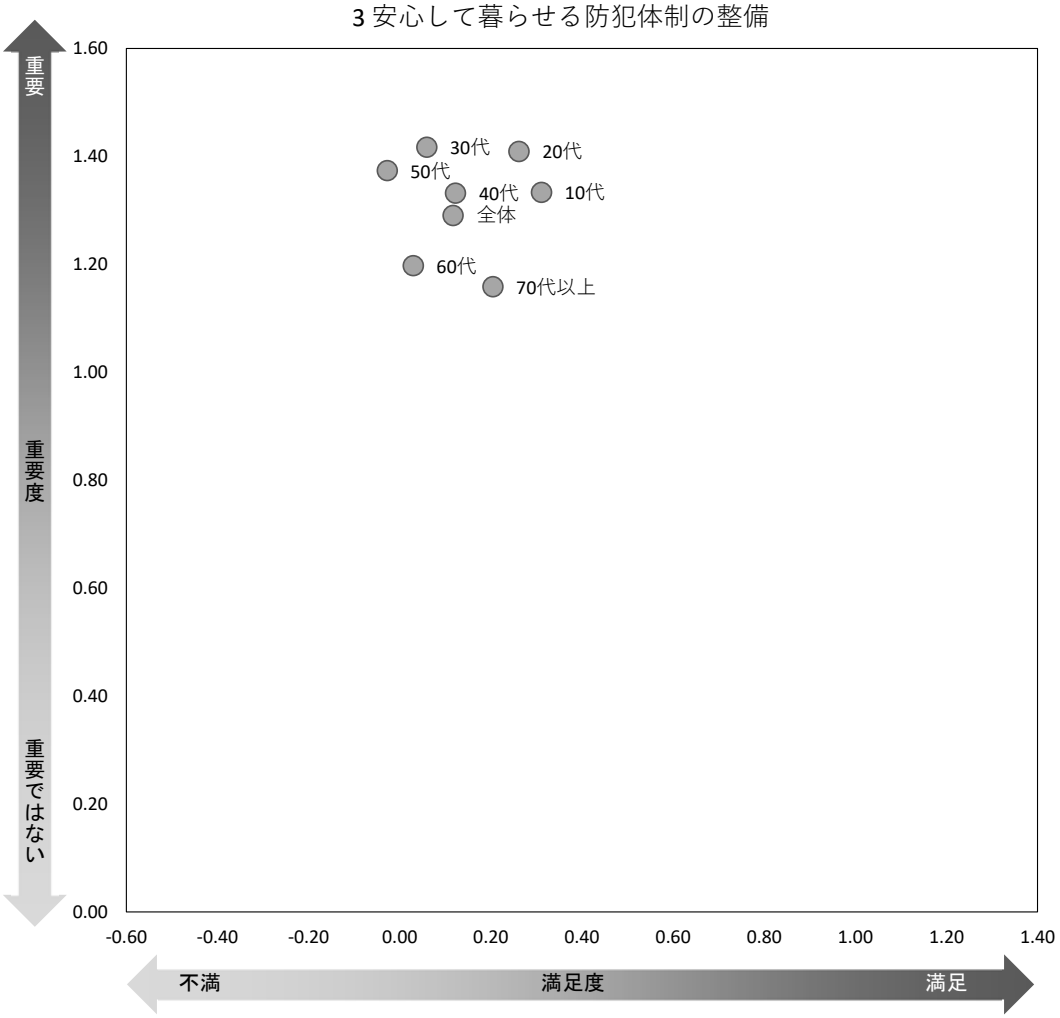
2 災害などの発生に備える防災機能の強化

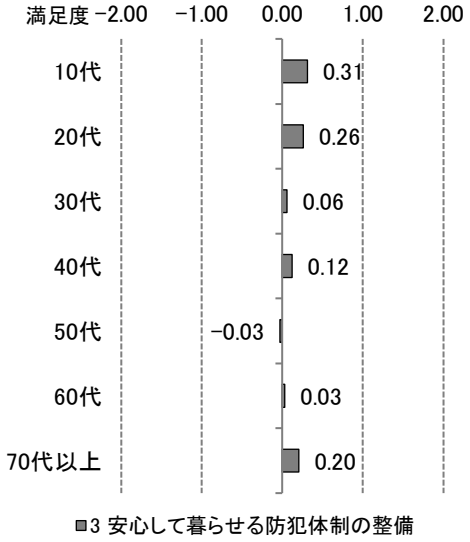


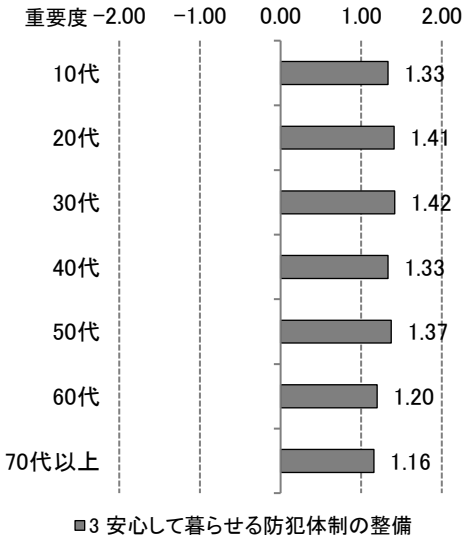


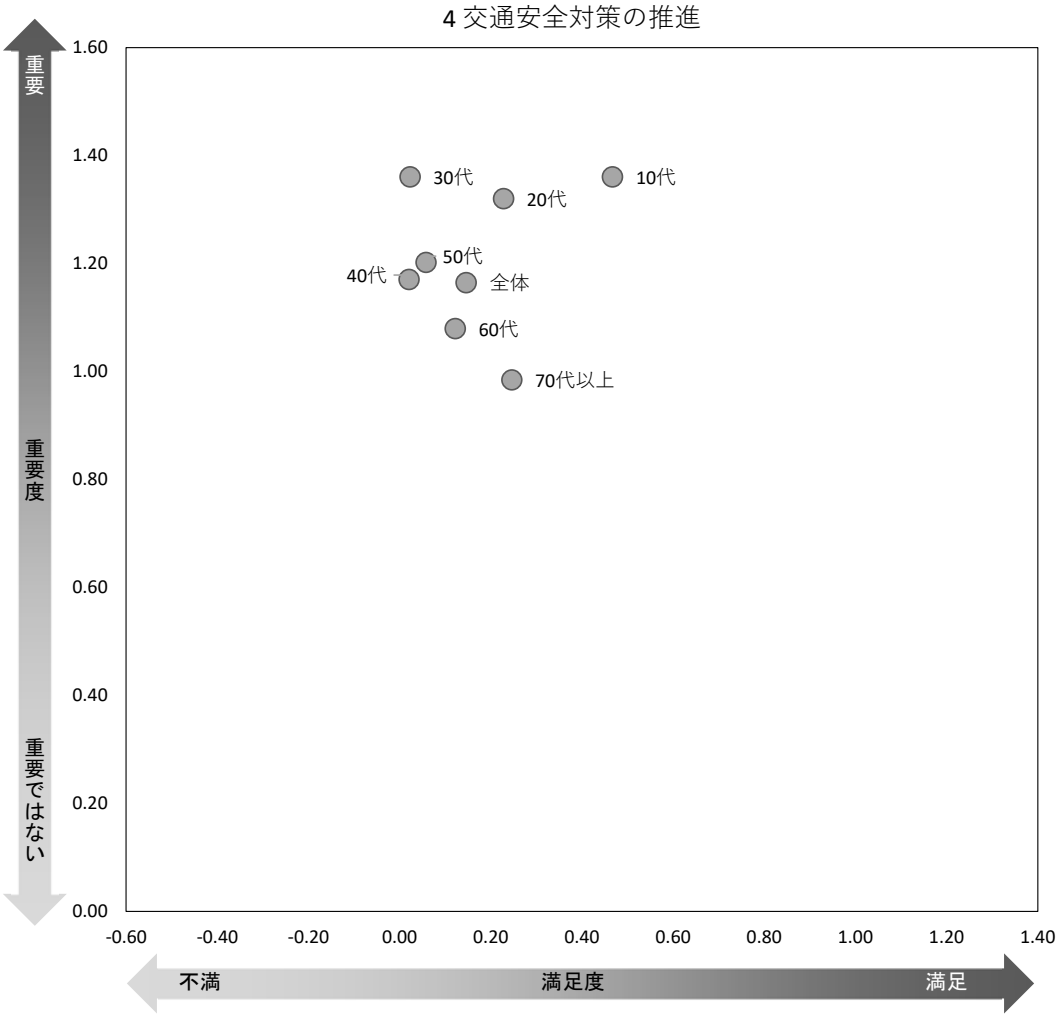


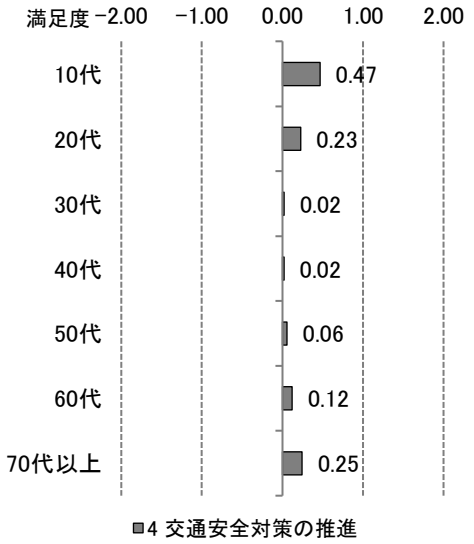
3 安心して暮らせる防犯体制の整備

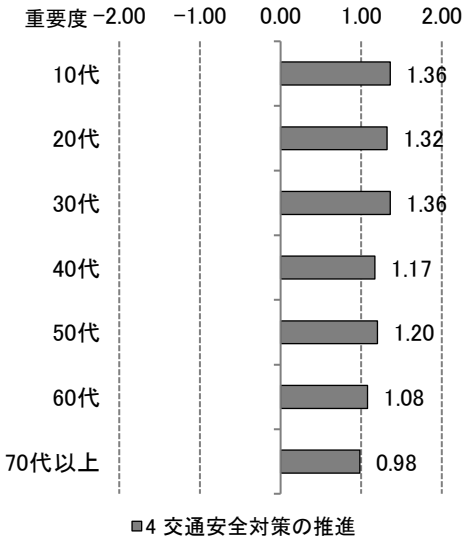




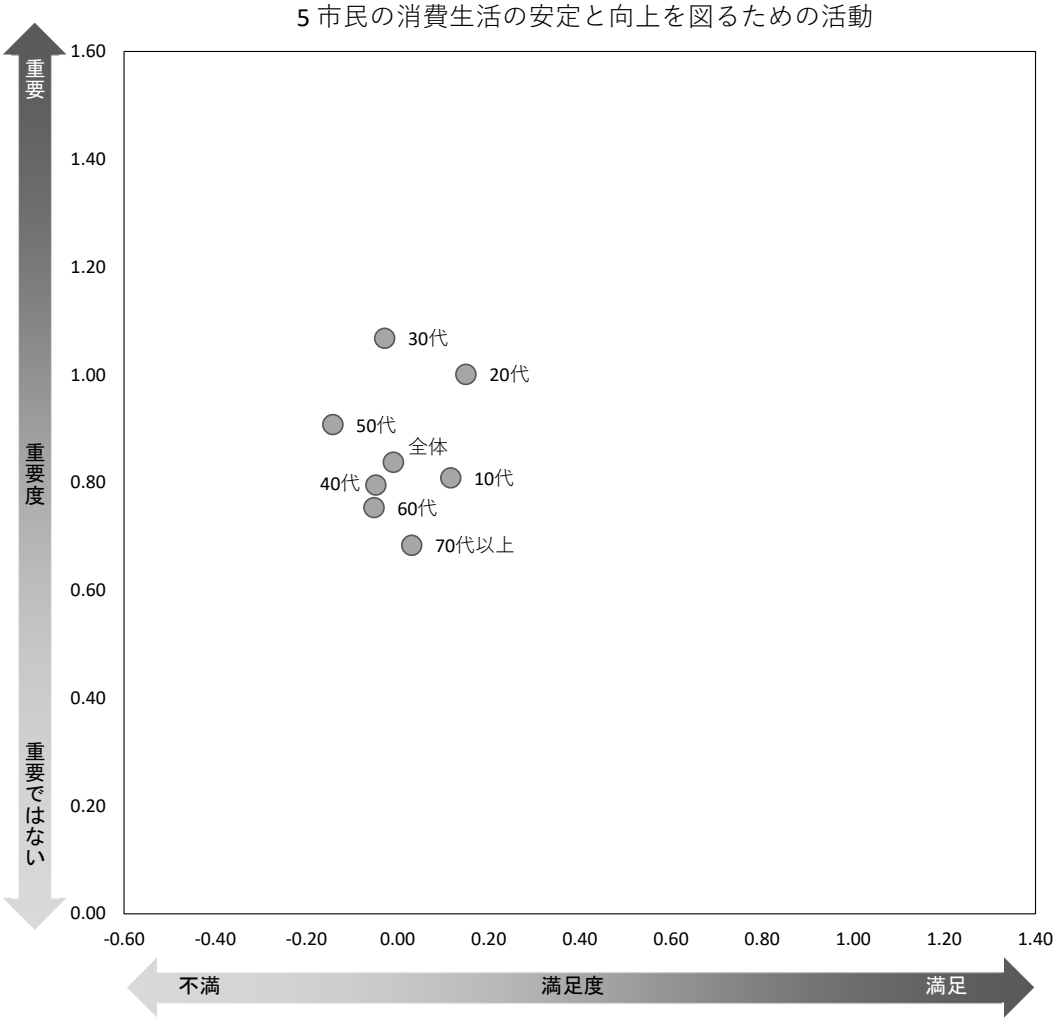


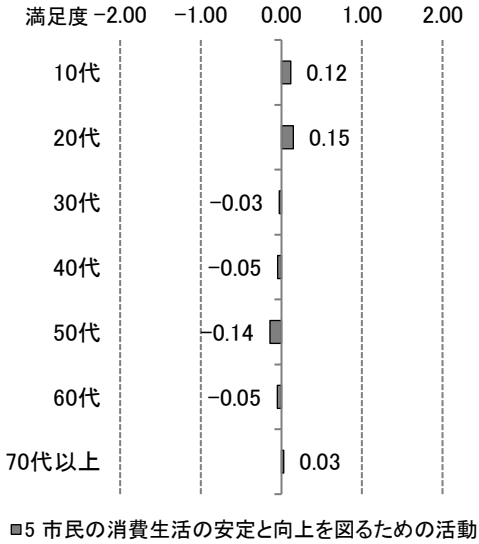

4 交通安全対策の推進
重要
重要度
重要ではない
1.60
1.40
1.20
1.00
0.80
0.60
0.40
0.20
0.00
30代
10代
20代
50代
40代
全体
60代
70代以上
-0.60
-0.40
-0.20
0.00
0.20
0.40
0.60
0.80
1.00
1.20
1.40
不満
満足度
満足

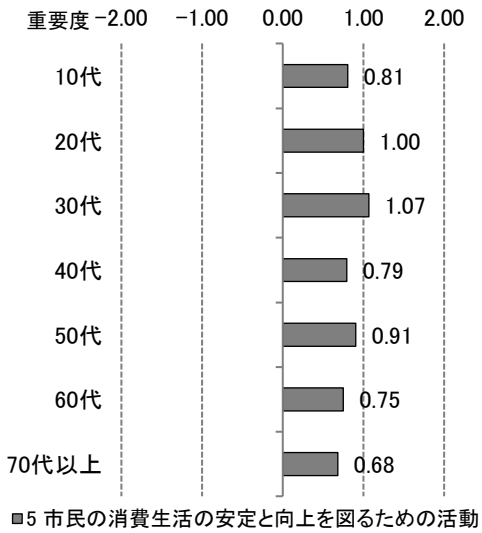

満足度 −2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
10代
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上
0.47
0.23
0.02
0.02
0.06
0.12
0.25
4 交通安全対策の推進


重要度 −2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
10代
20代
30代
40代
50代
60代
70代以上
1.36
1.32
1.36
1.17
1.20
1.08
0.98
4 交通安全対策の推進

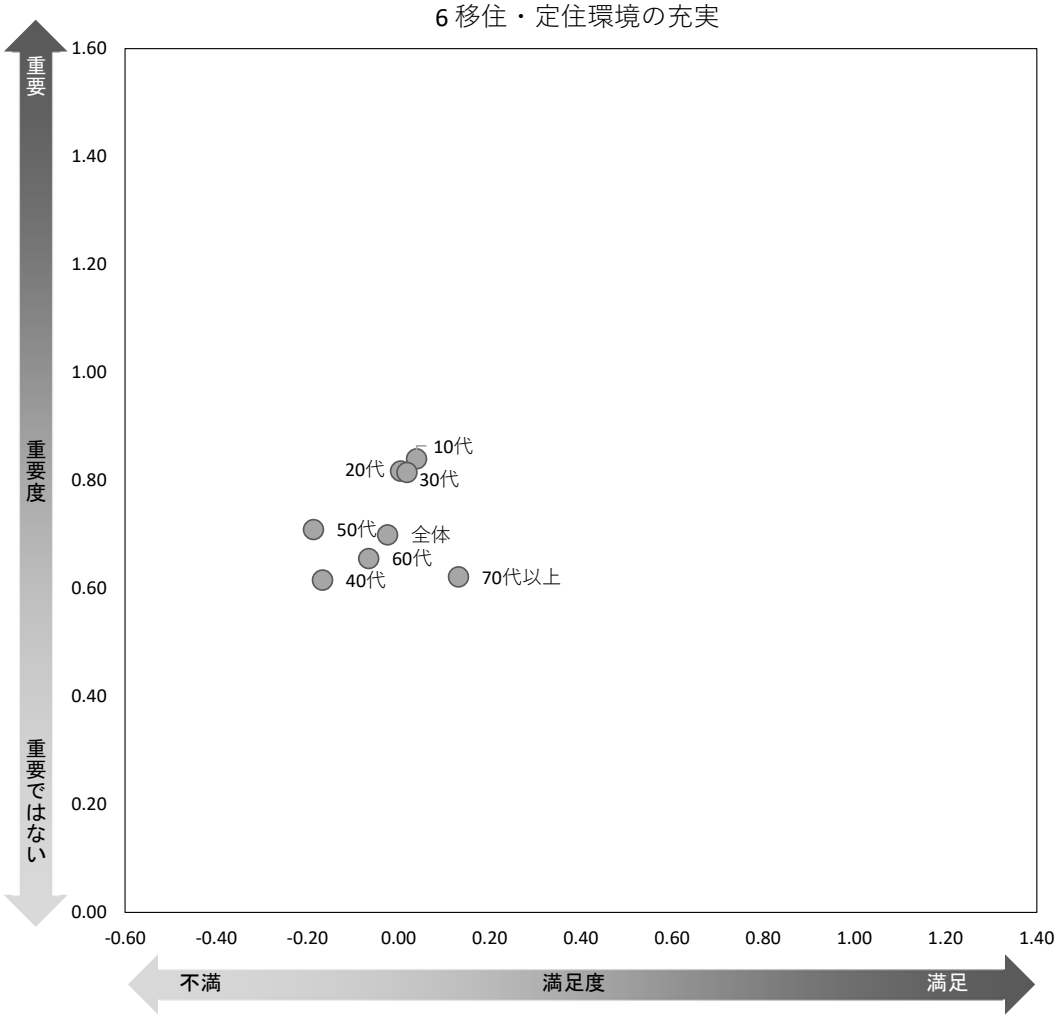
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動

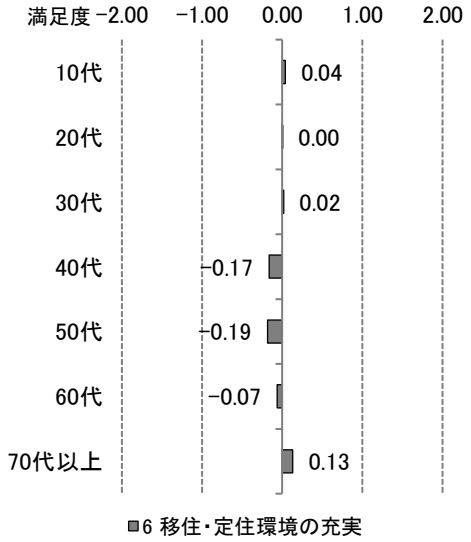


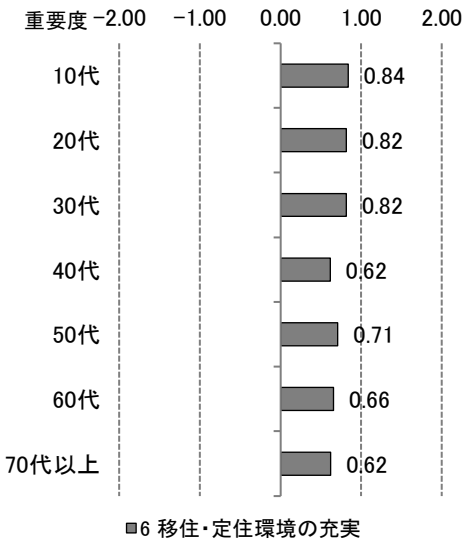




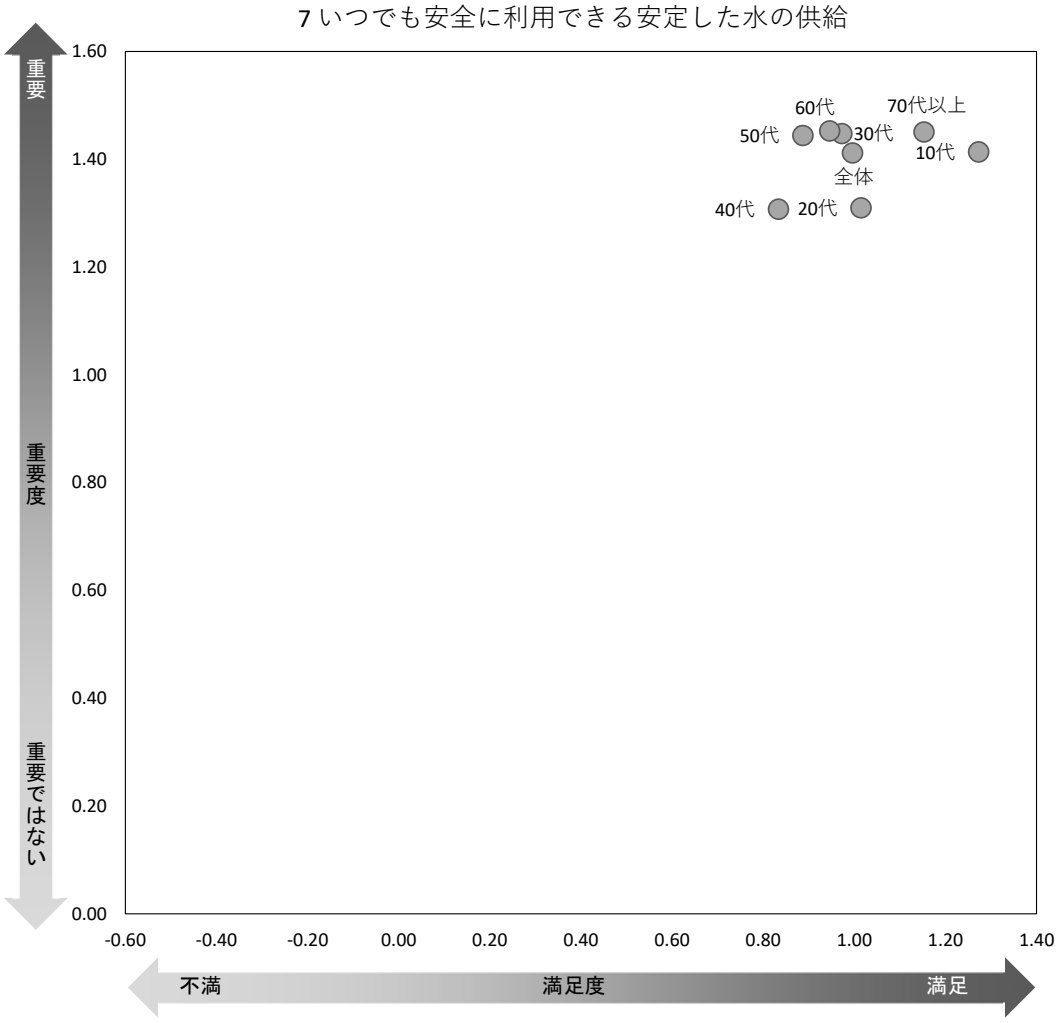
6 移住・定住環境の充実

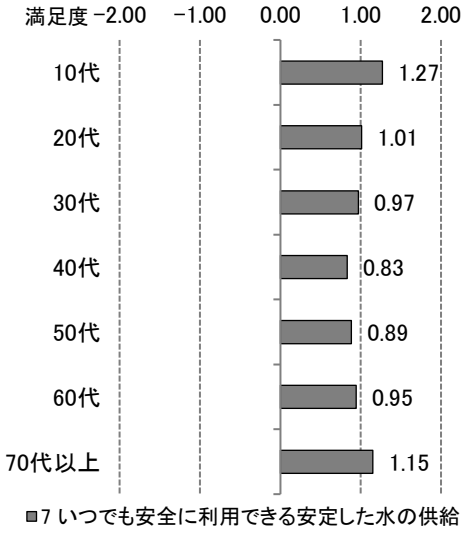

重要
重要度
重要ではない
1.60
1.40
1.20
1.00
0.80
0.60
0.40
0.20
0.00
10代
20代
30代
50代
全体
60代
40代
70代以上
-0.60
-0.40
-0.20
0.00
0.20
0.40
0.60
0.80
1.00
1.20
1.40
不満
満足度
満足

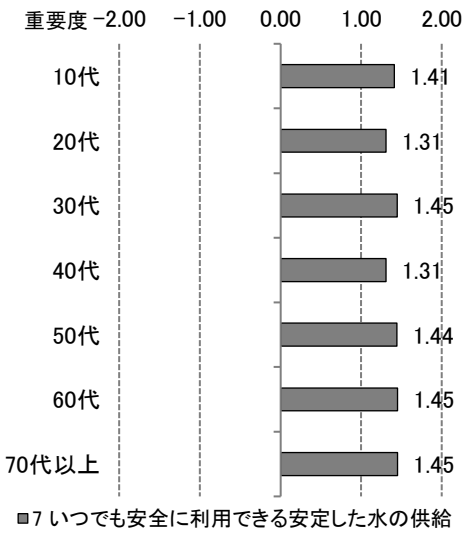

満足度 −2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
10代 0.04
20代 0.00
30代 0.02
40代 −0.17
50代 −0.19
60代 −0.07
70代以上 0.13
6 移住・定住環境の充実


重要度 −2.00
−1.00
0.00
1.00
2.00
10代 0.84
20代 0.82
30代 0.82
40代 0.62
50代 0.71
60代 0.66
70代以上 0.62
6 移住・定住環境の充実

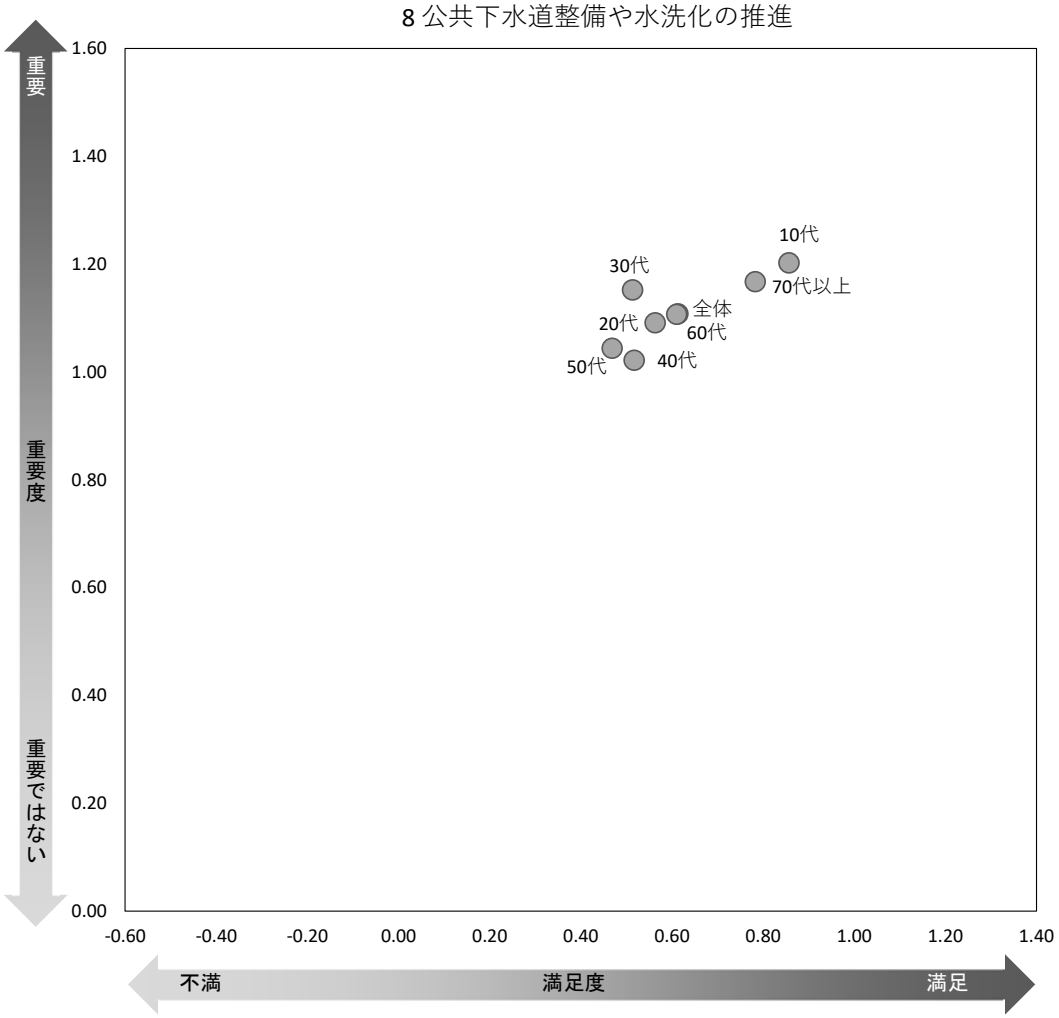
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給

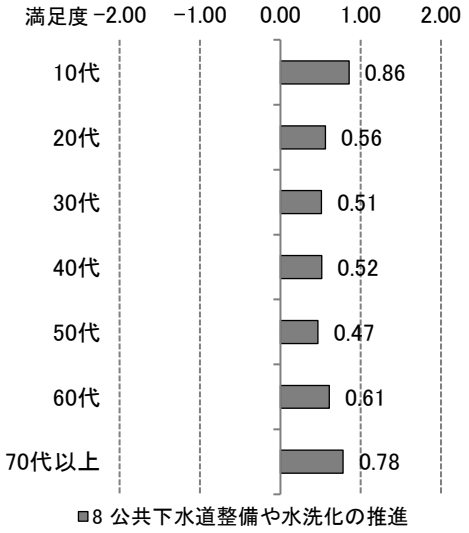


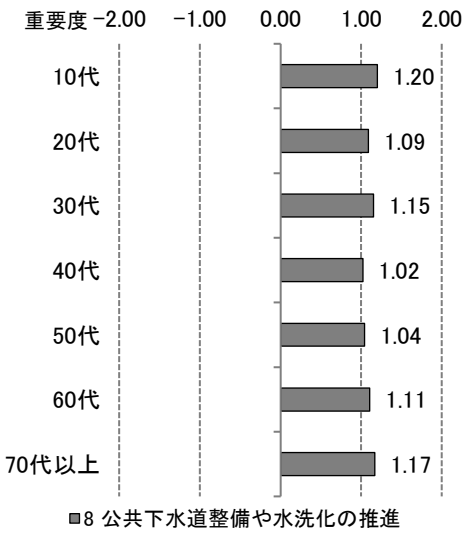




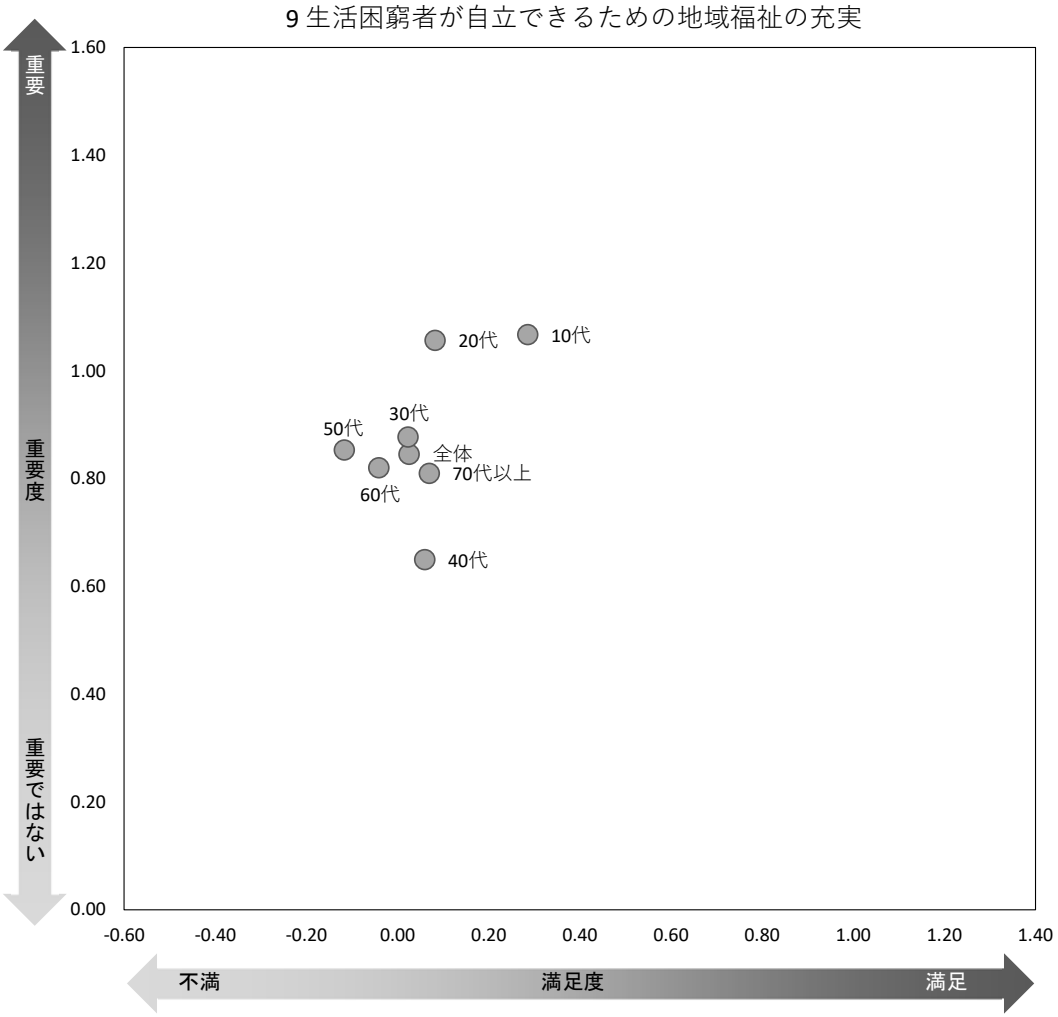
8 公共下水道整備や水洗化の推進

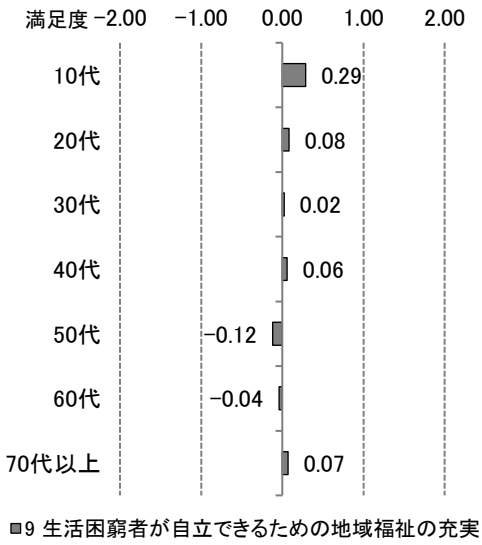


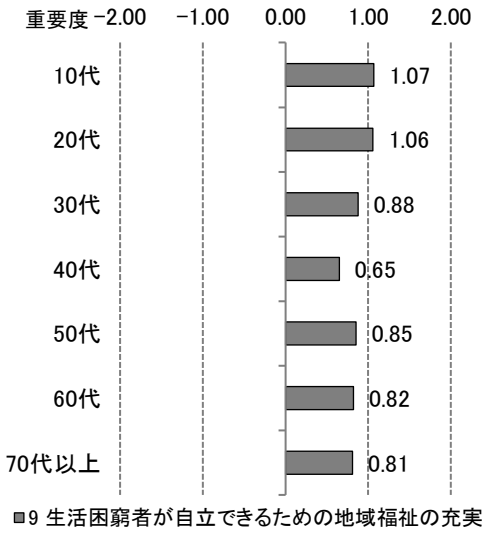




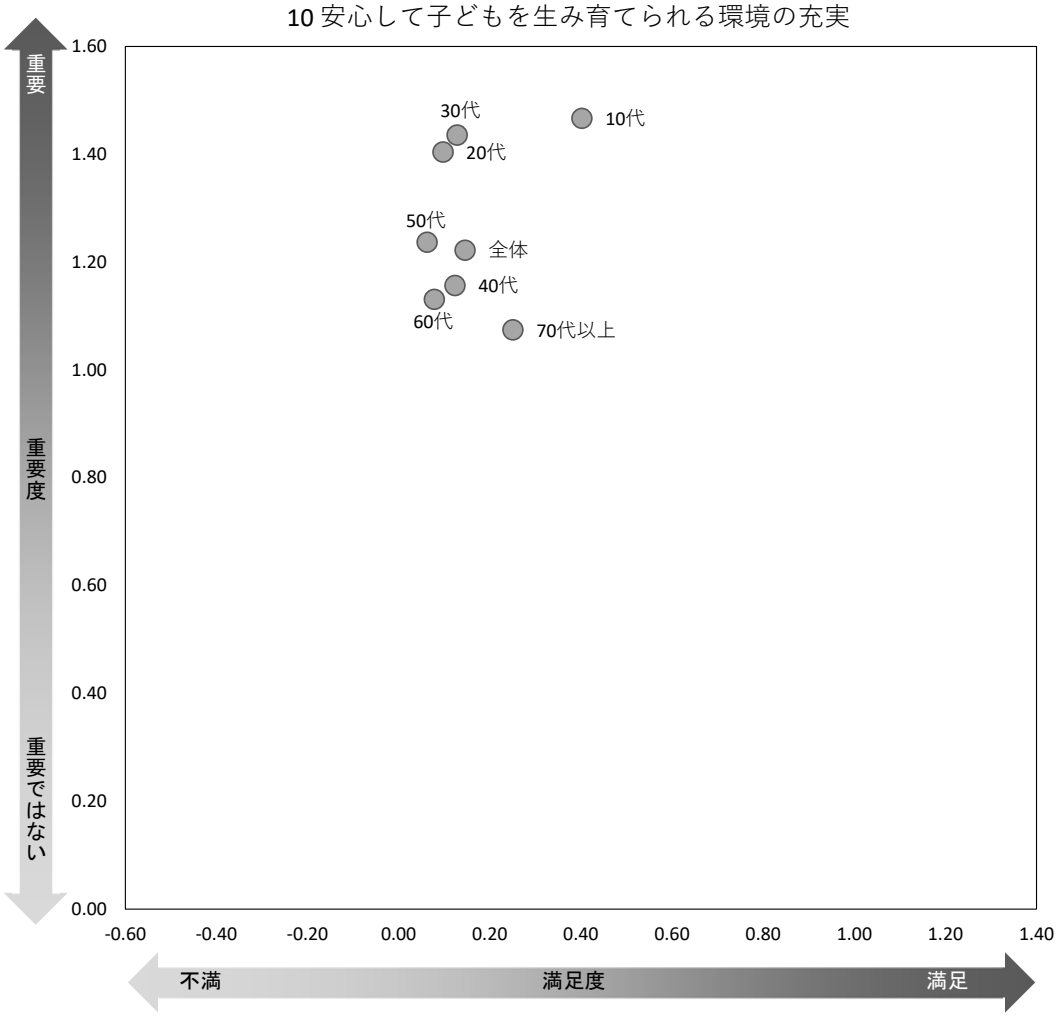
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実

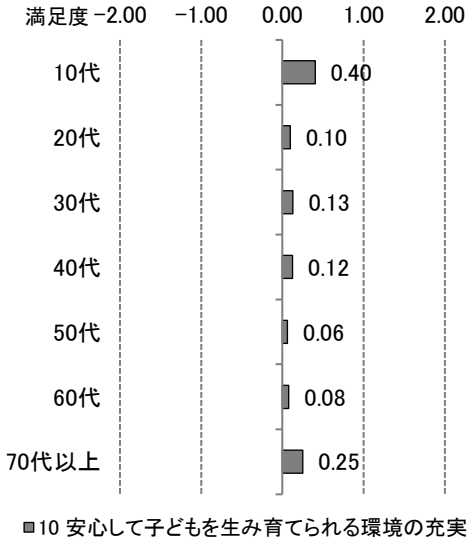


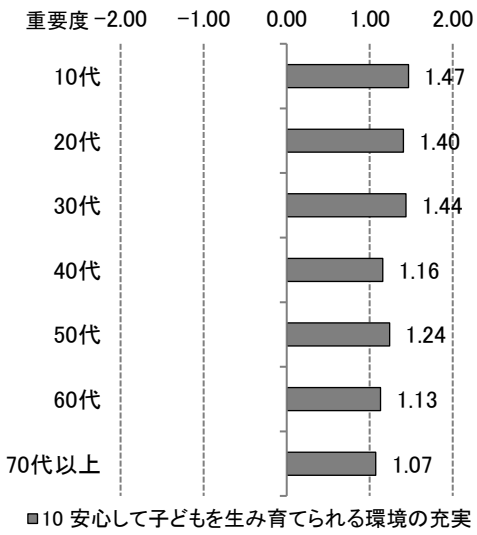




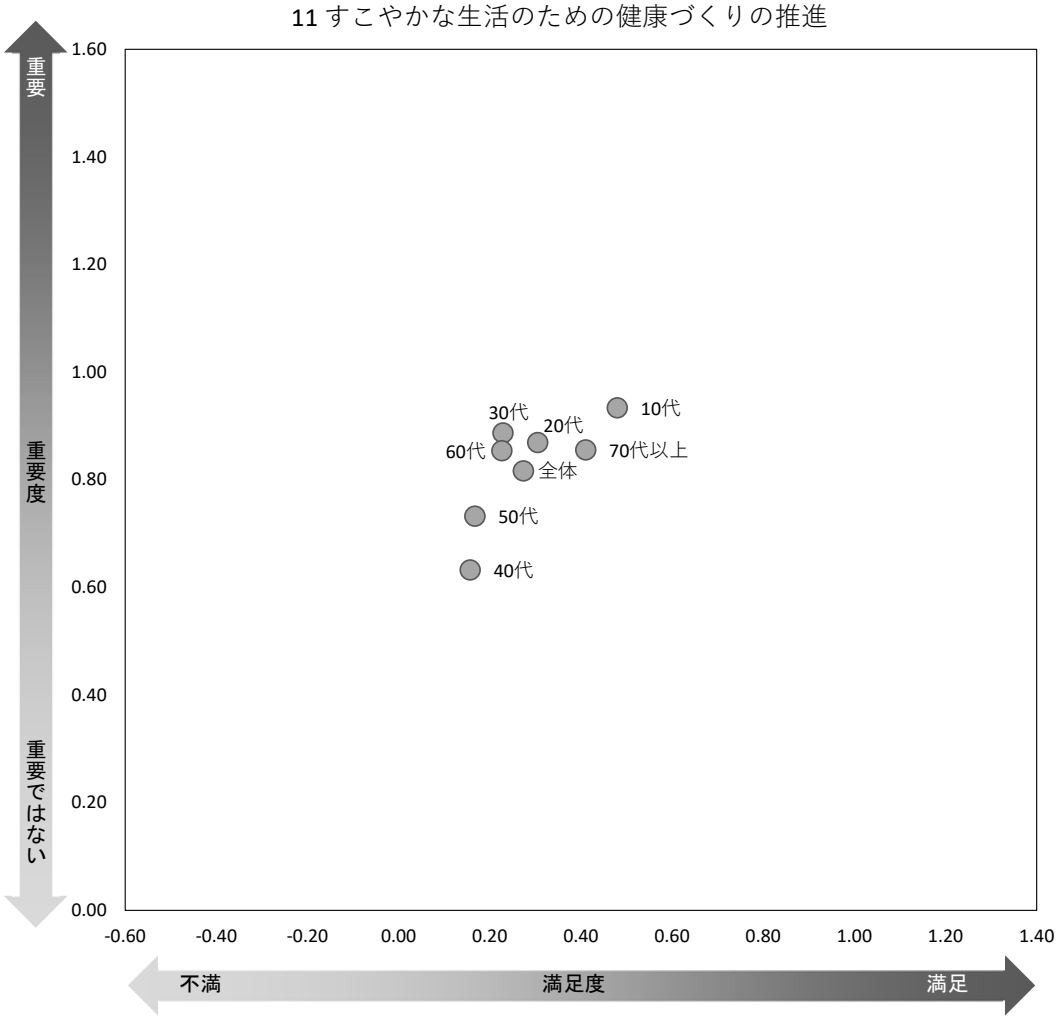
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実

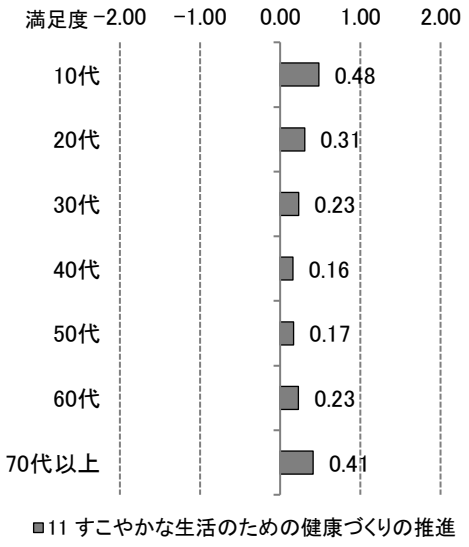


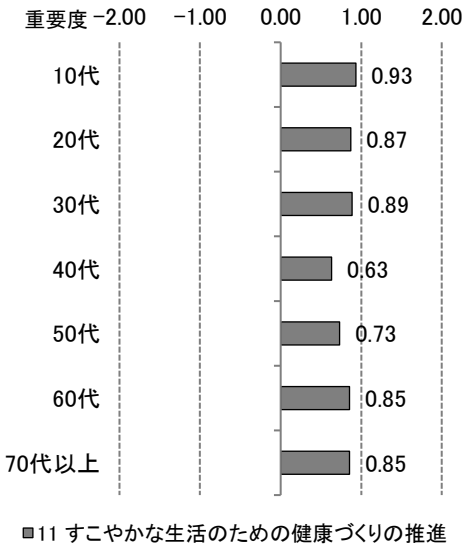




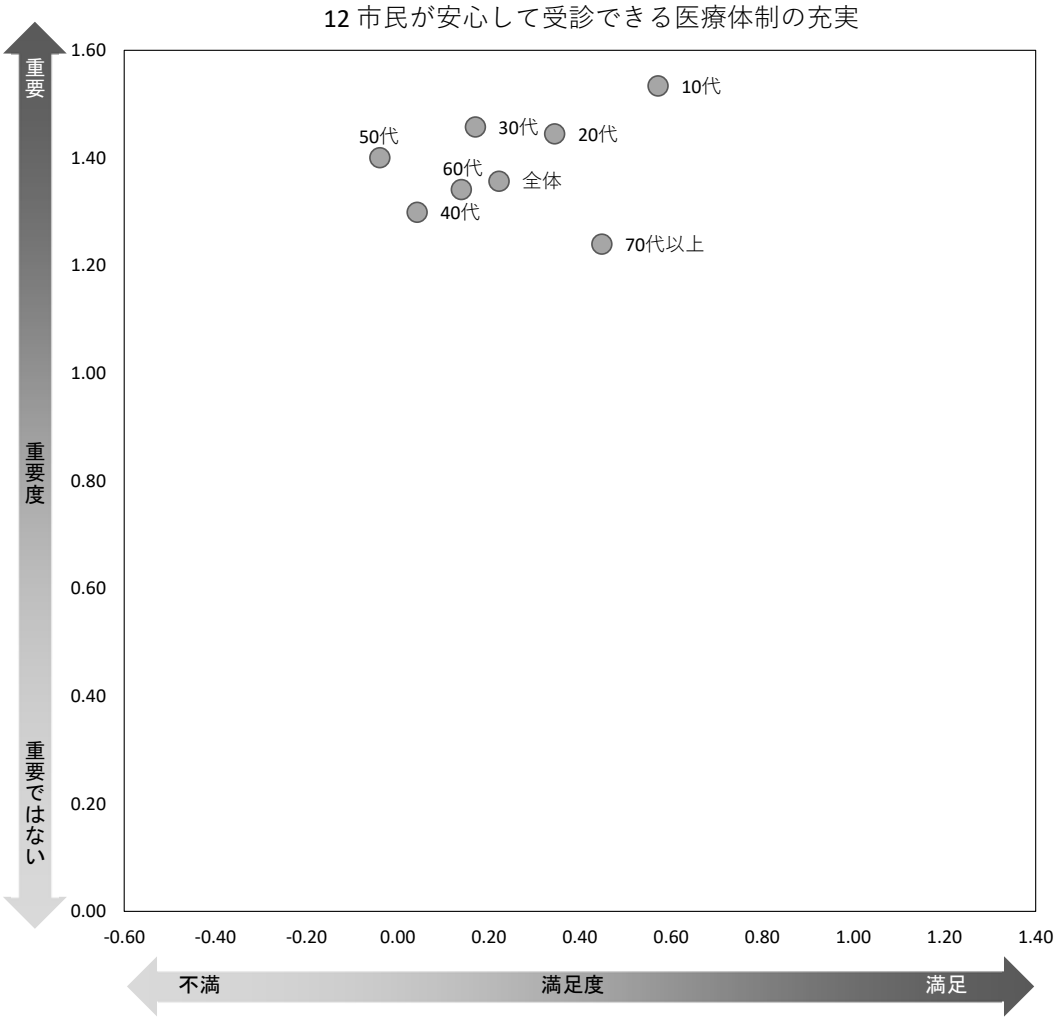
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進

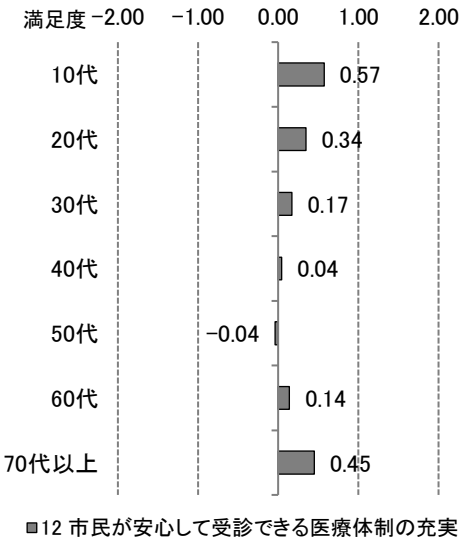


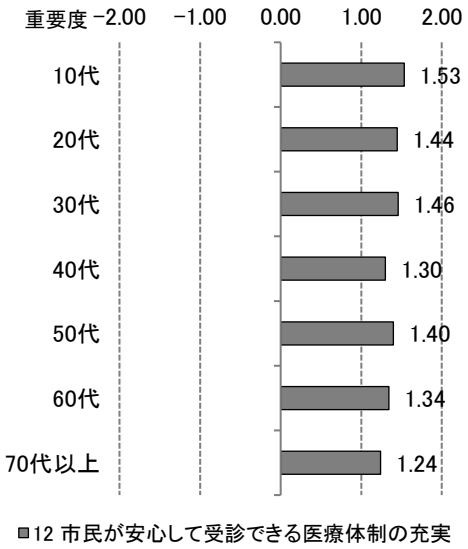




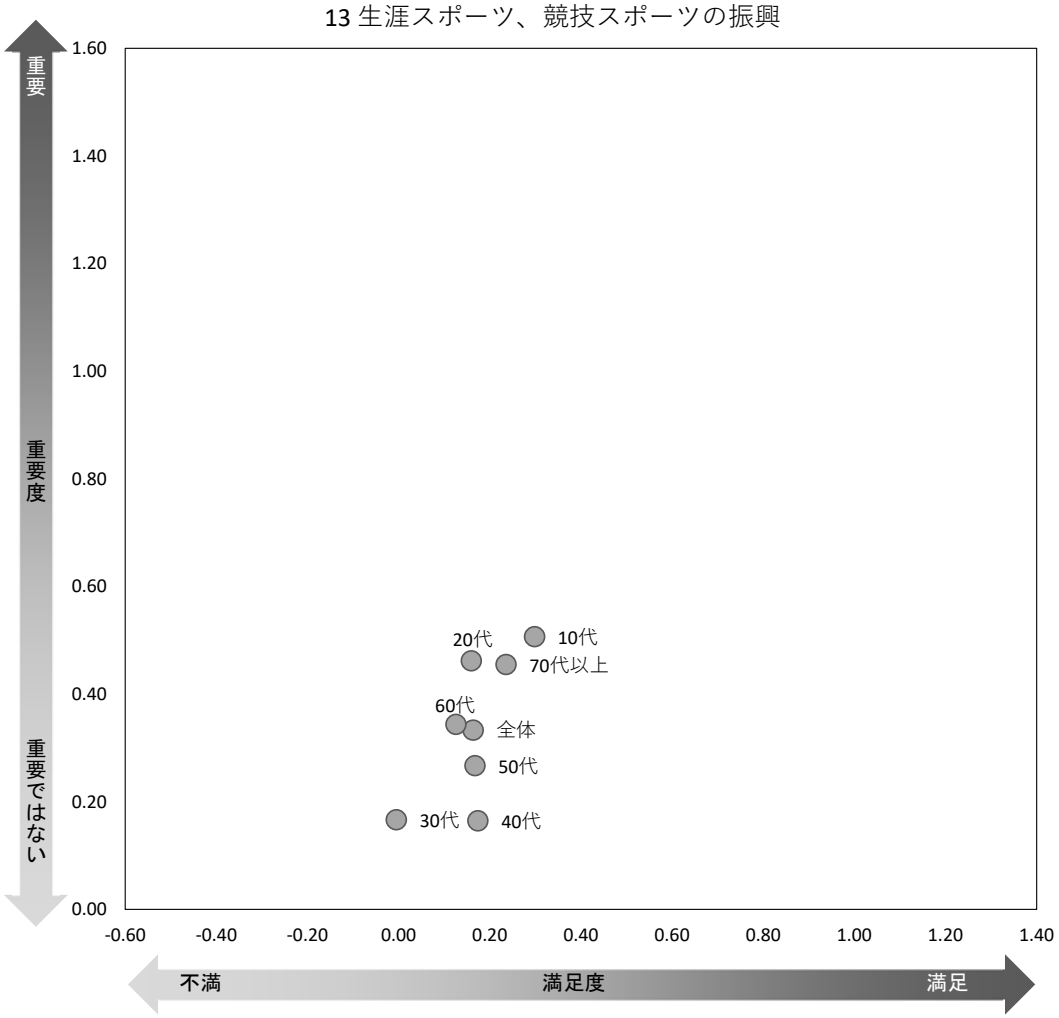
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実

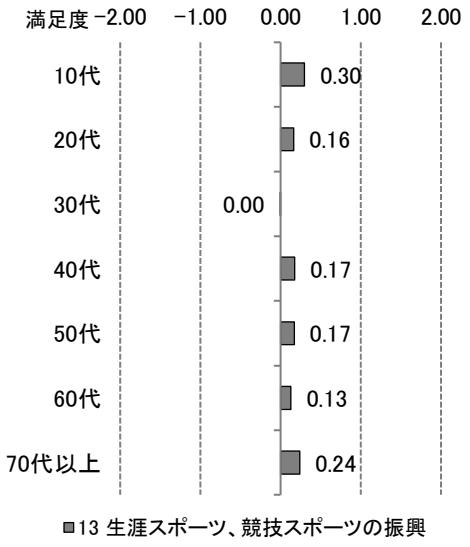


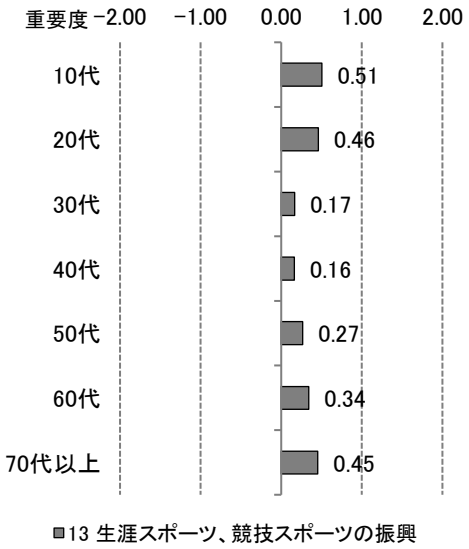




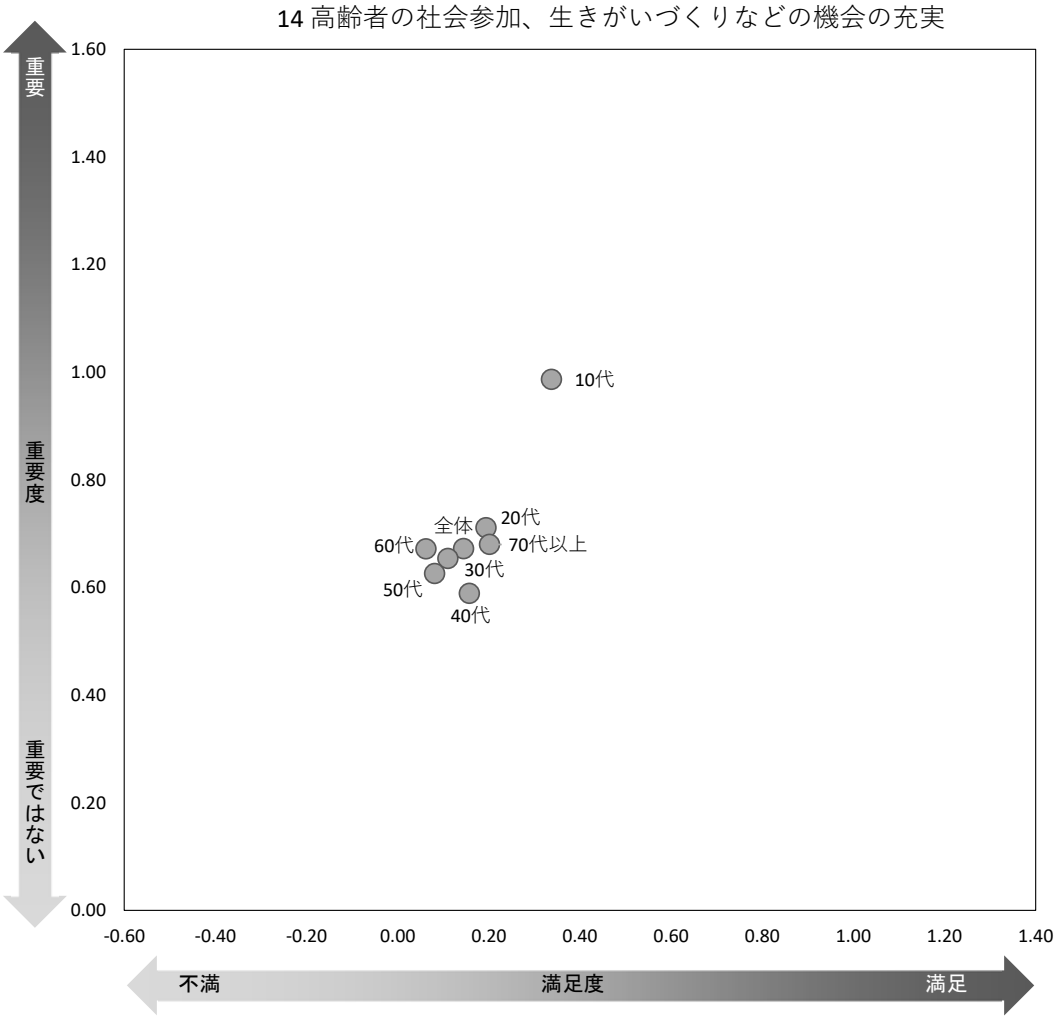
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興

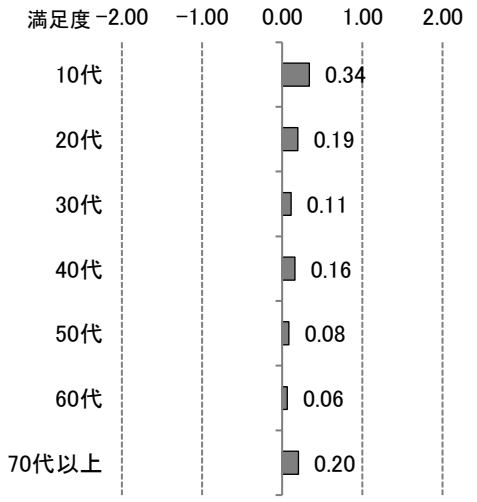




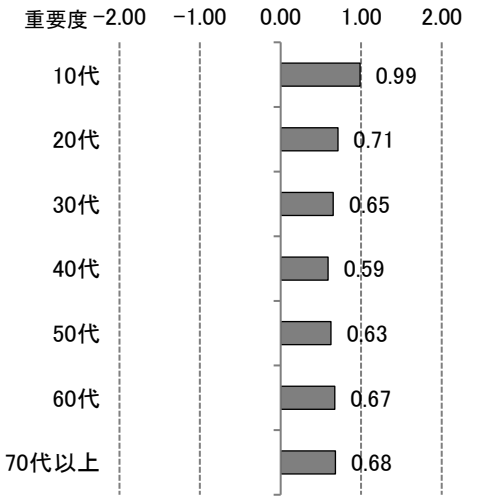


14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実



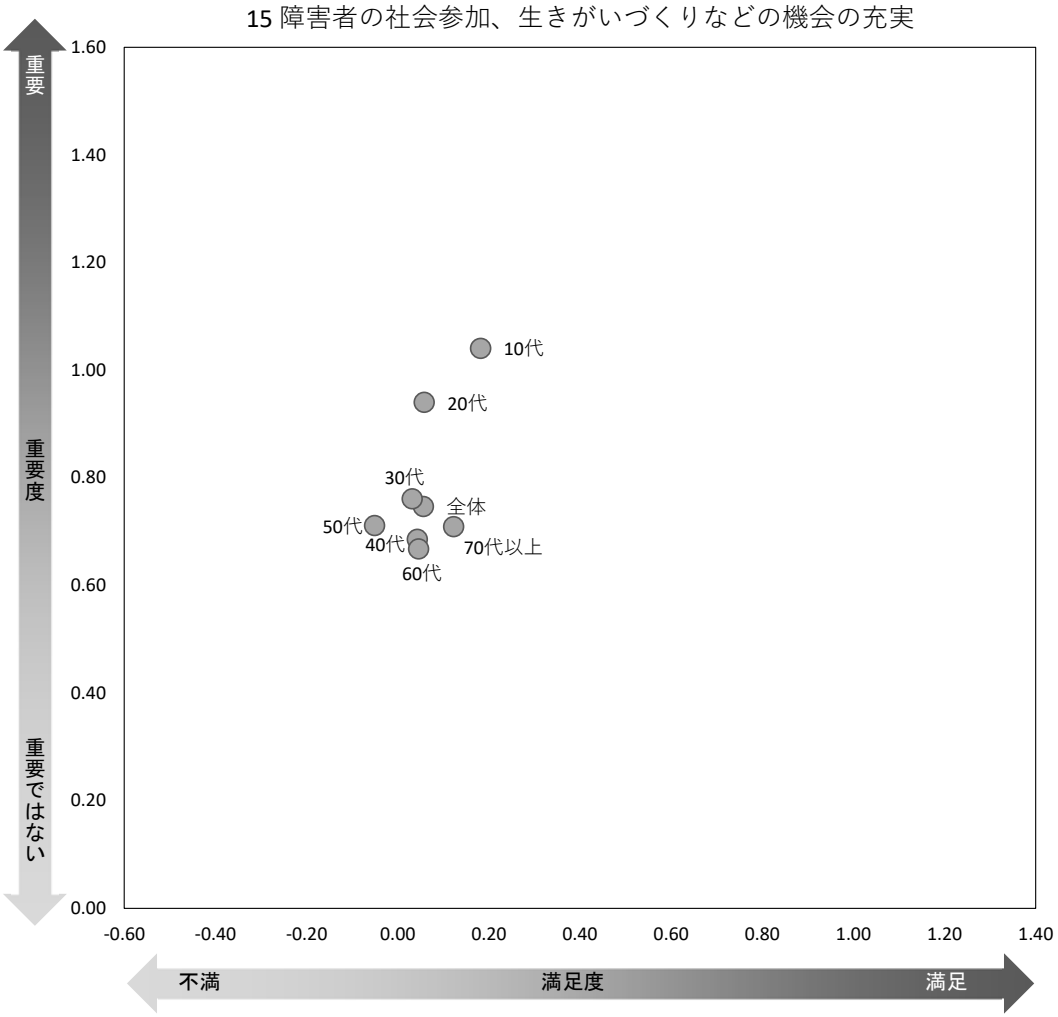


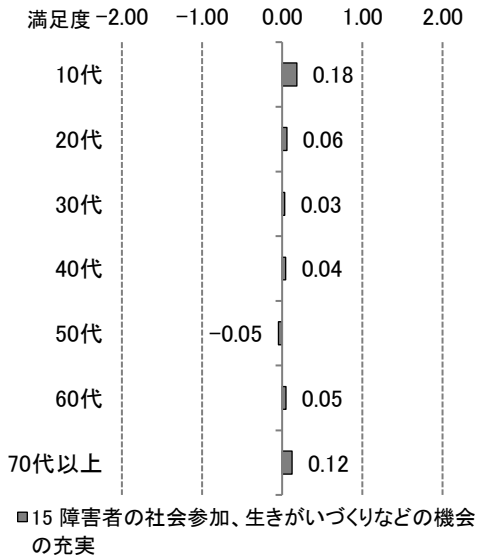
■14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実

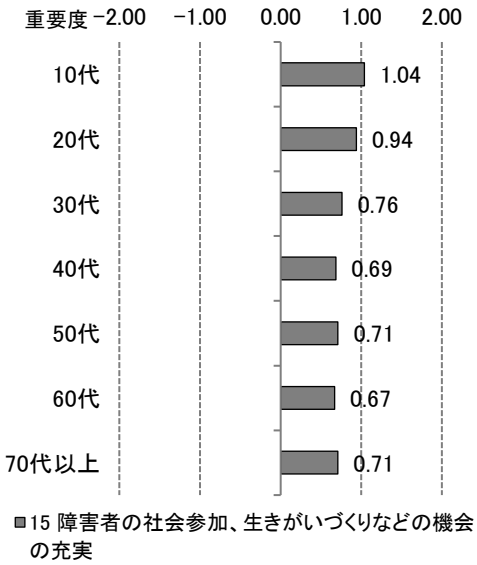


■14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実

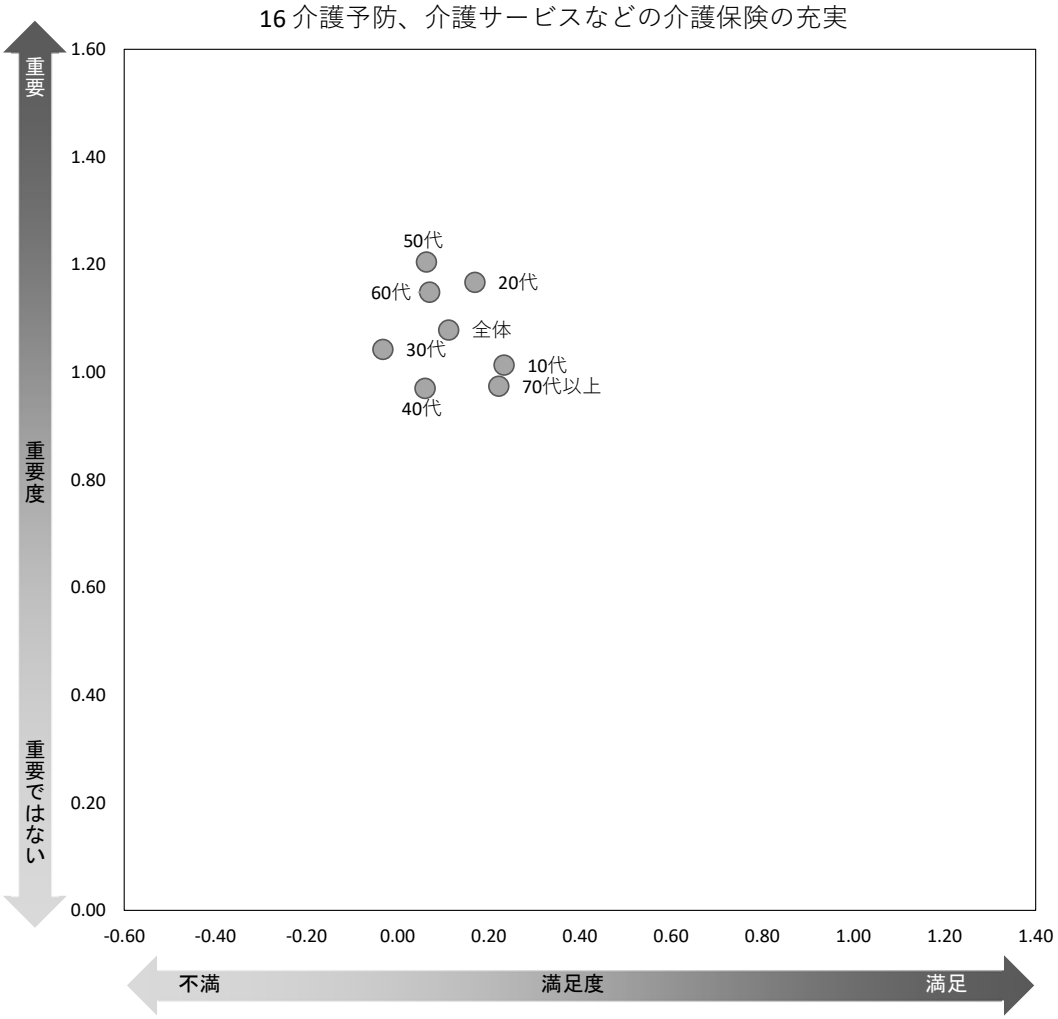
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実

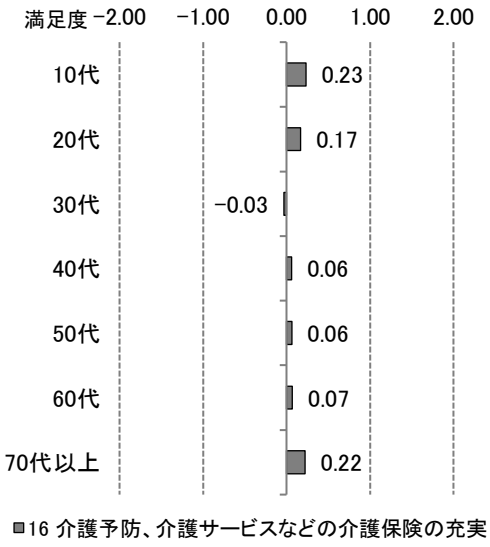


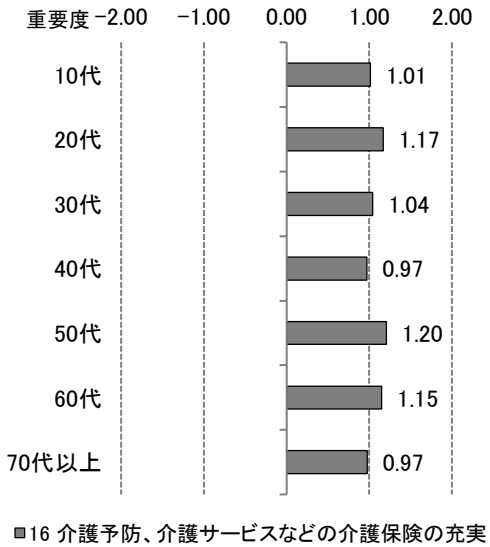




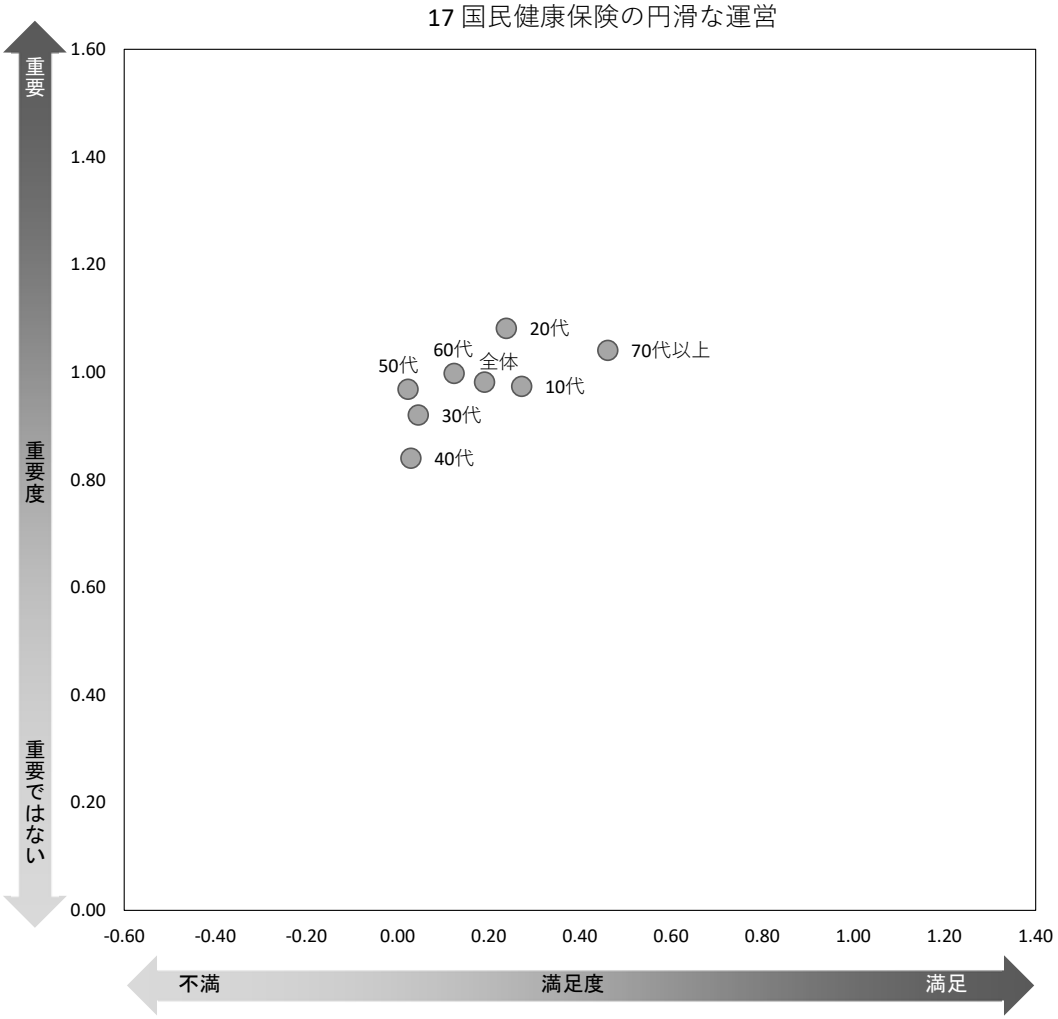
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実

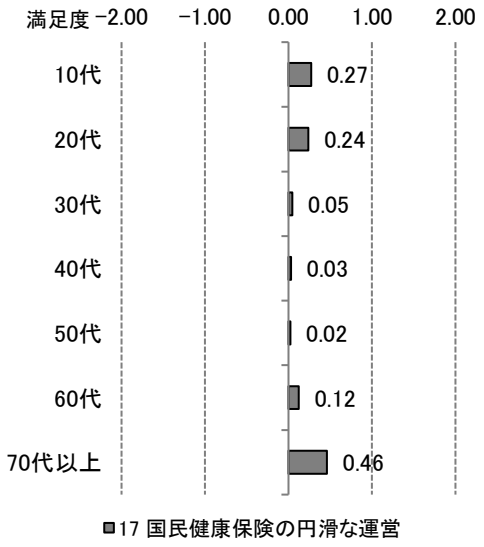




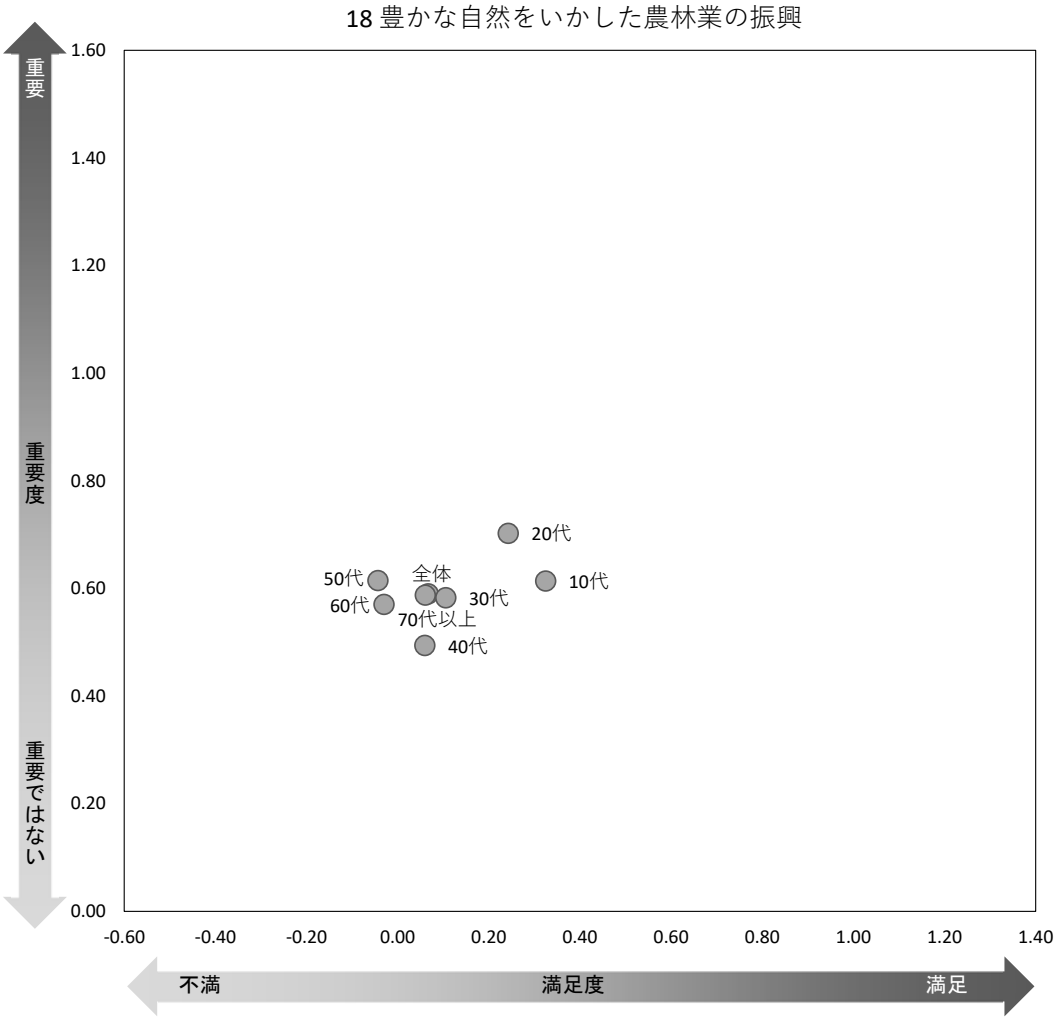


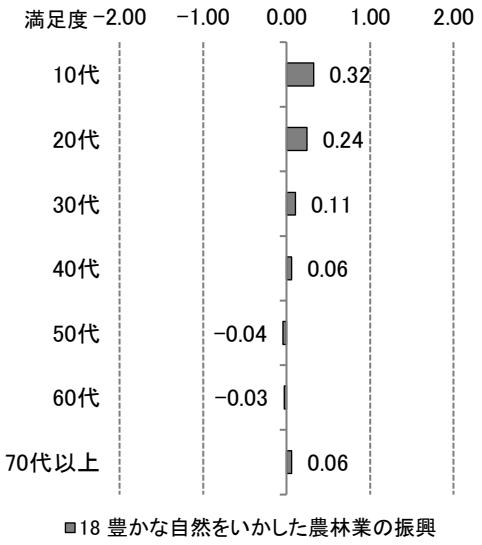
17 国民健康保険の円滑な運営

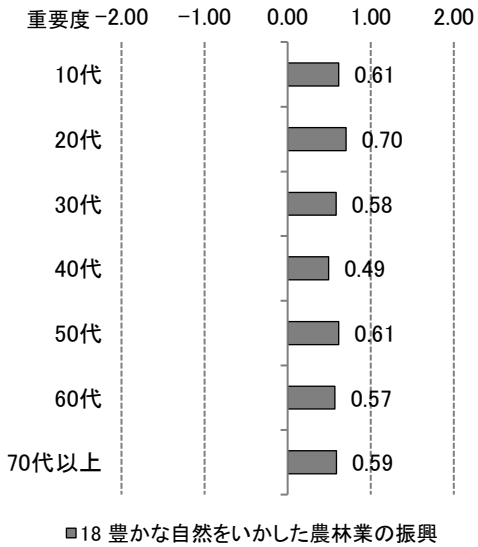




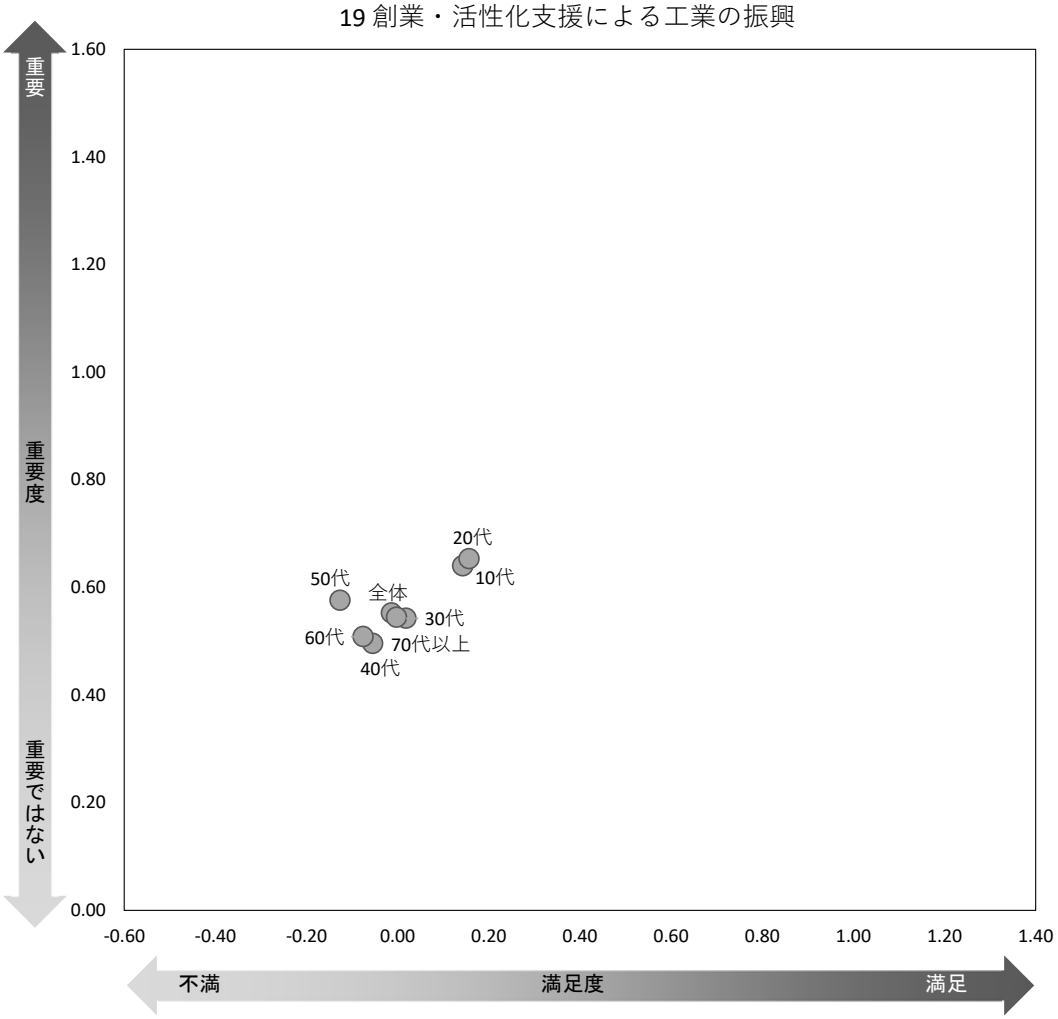
18 豊かな自然をいかした農林業の振興

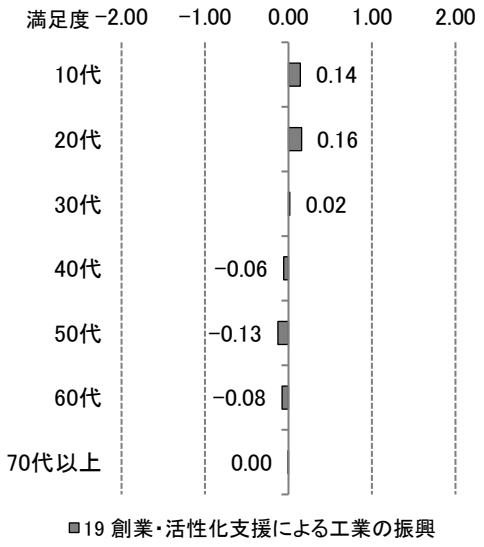


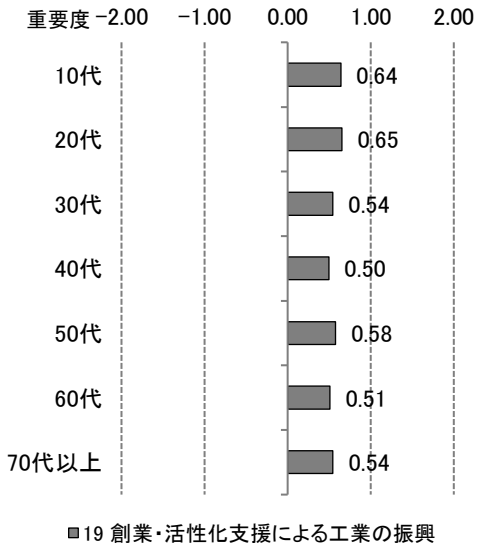




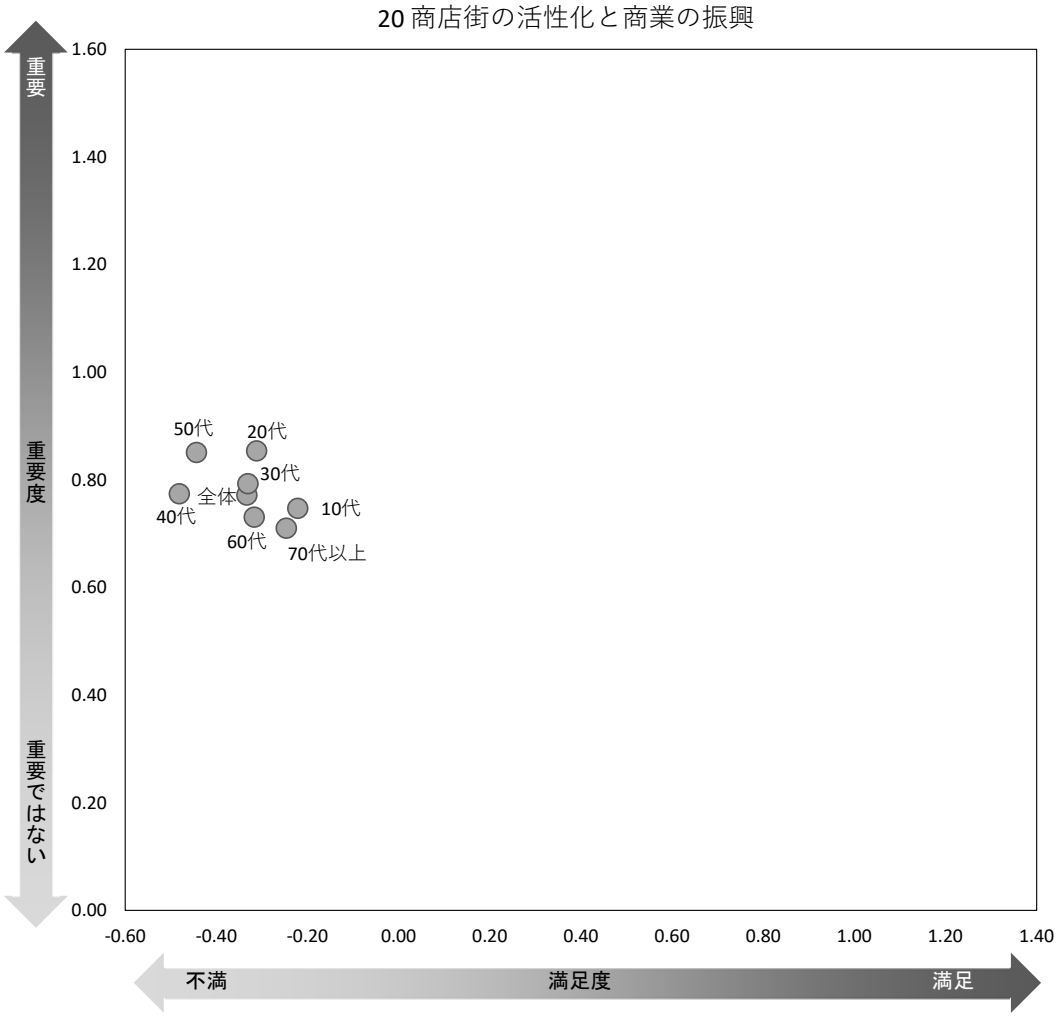
19 創業・活性化支援による工業の振興

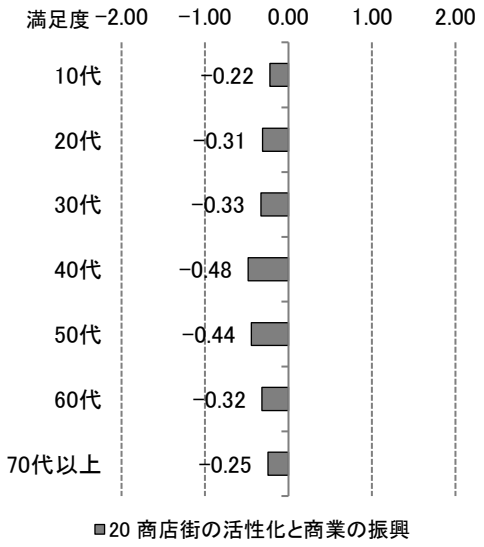


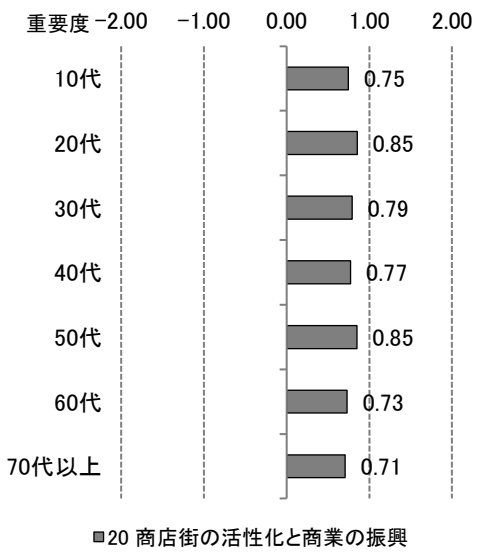




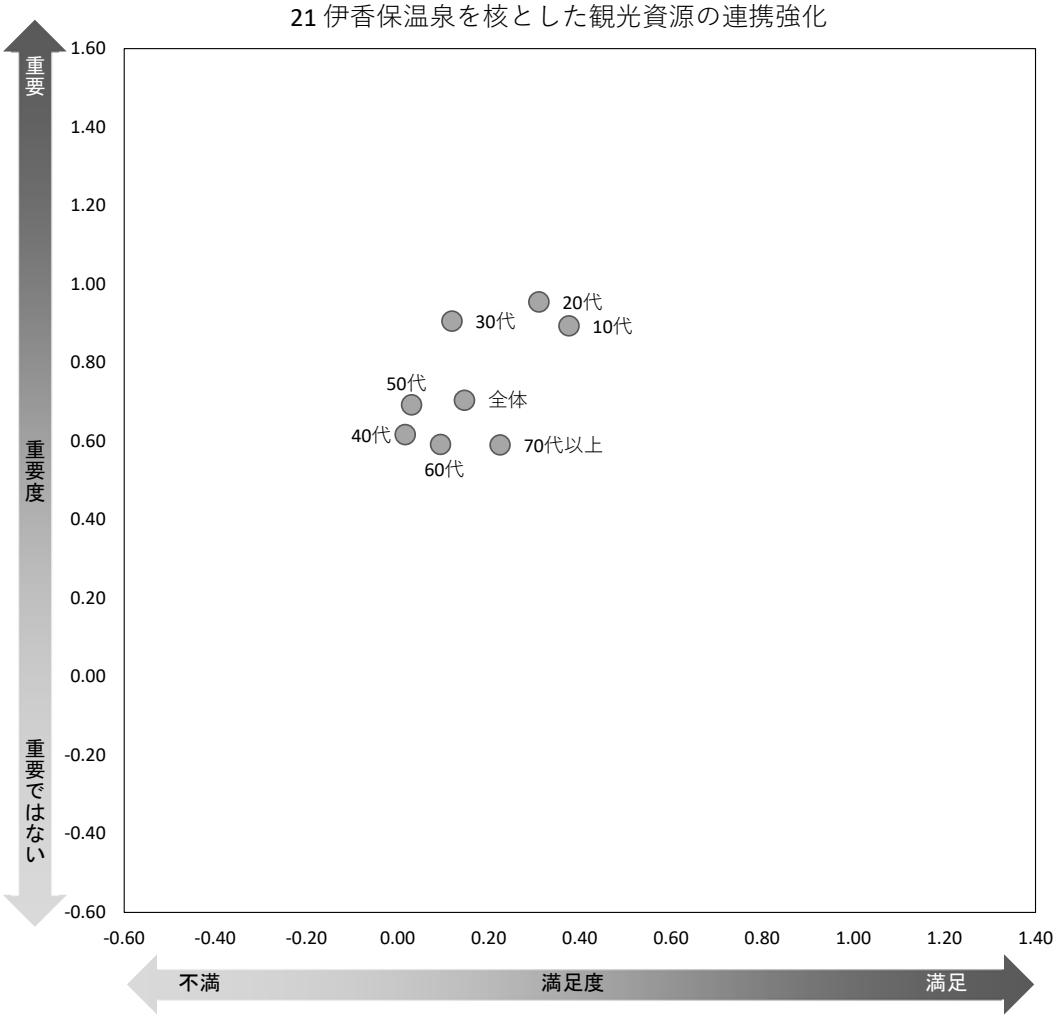
20 商店街の活性化と商業の振興

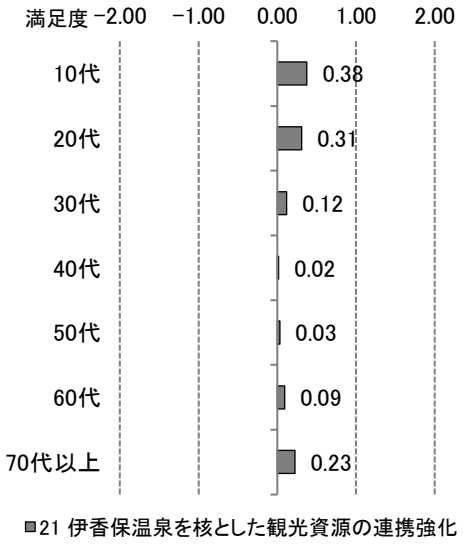


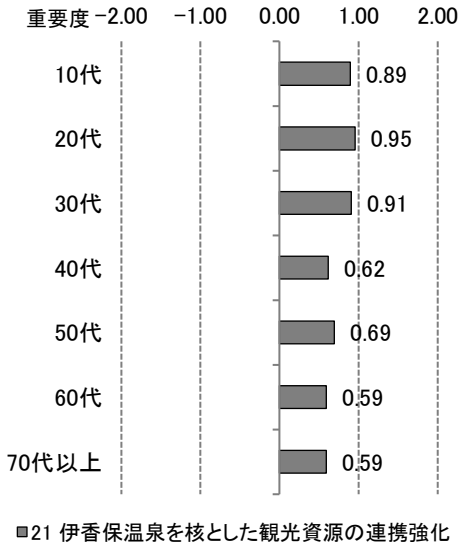




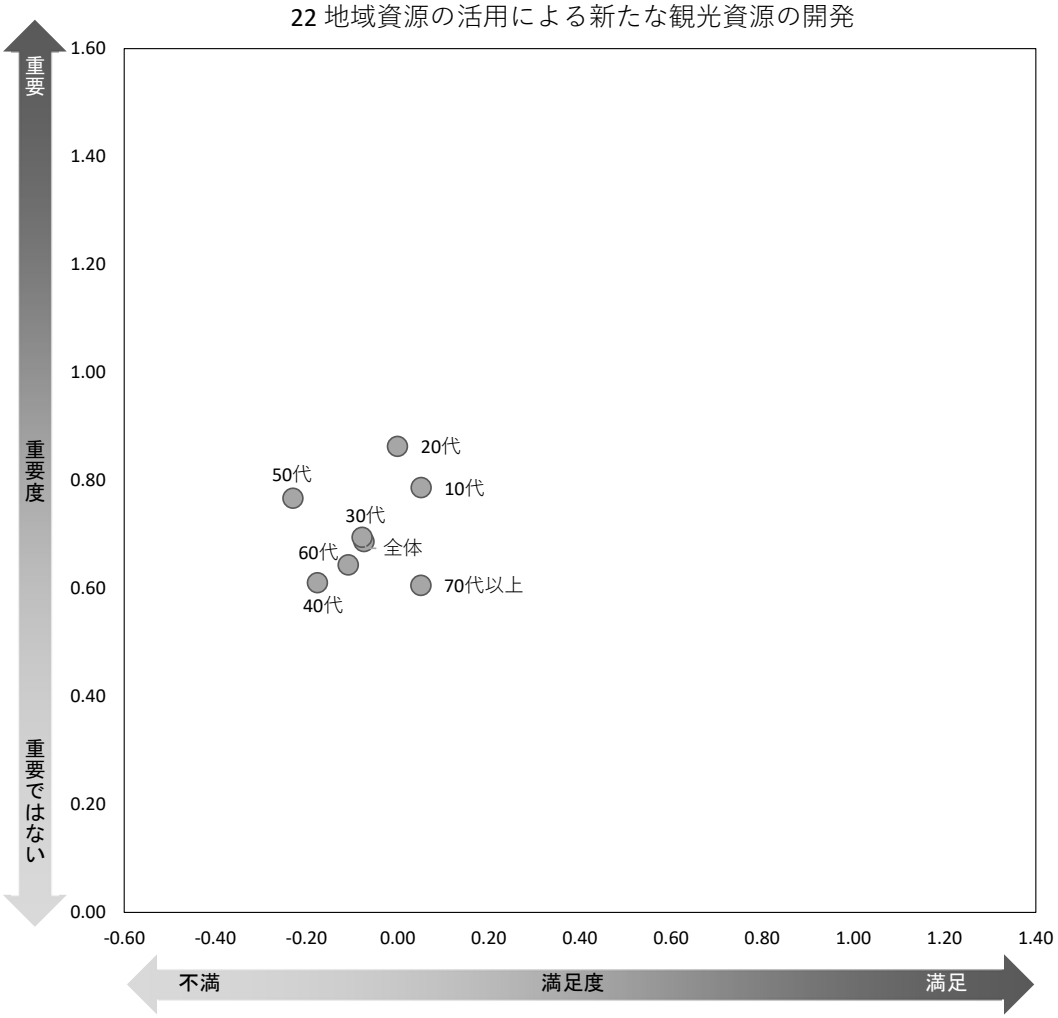
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化

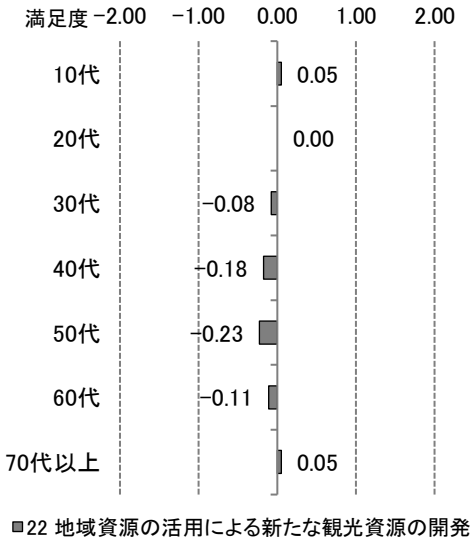


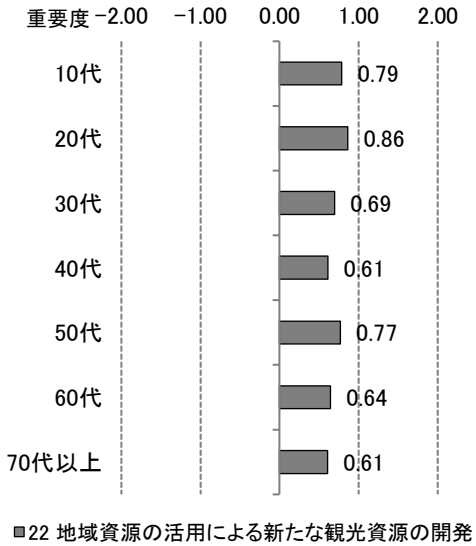




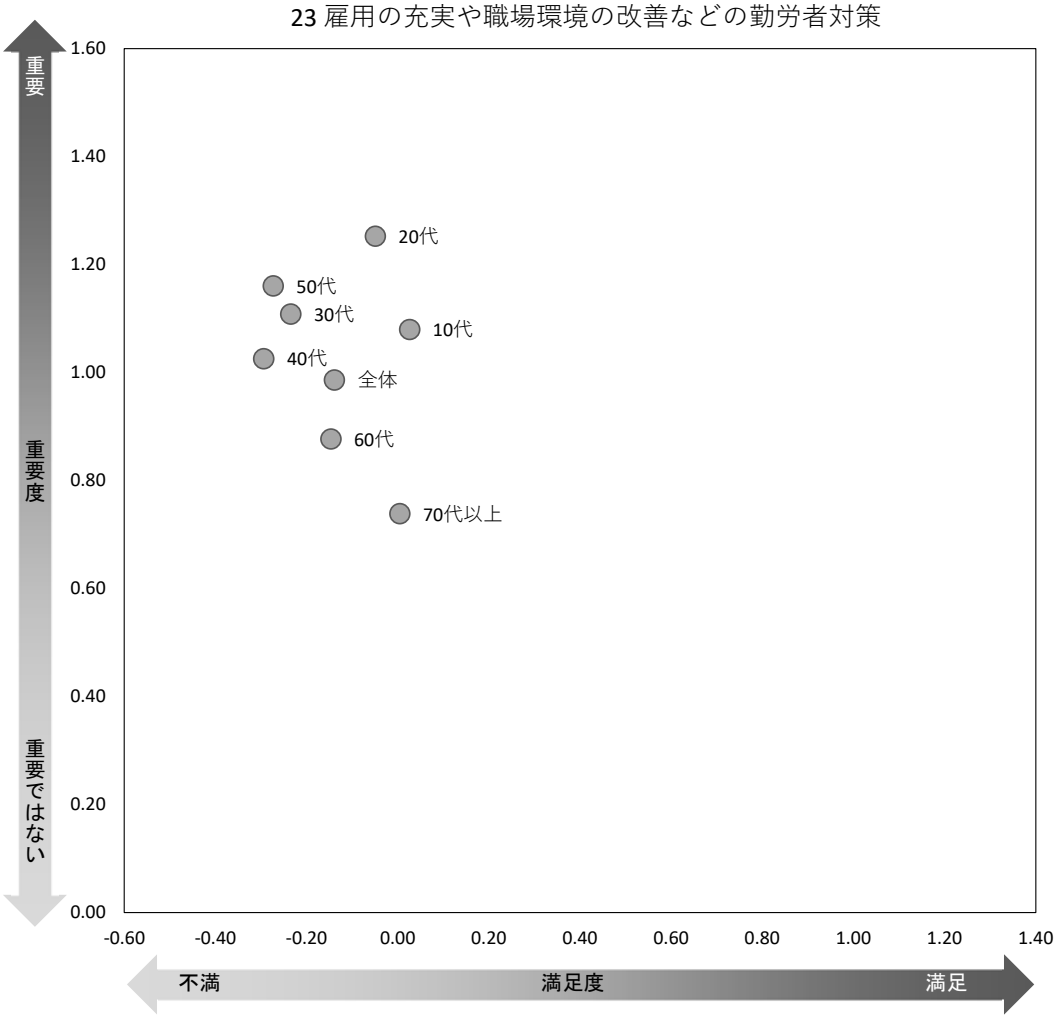
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発

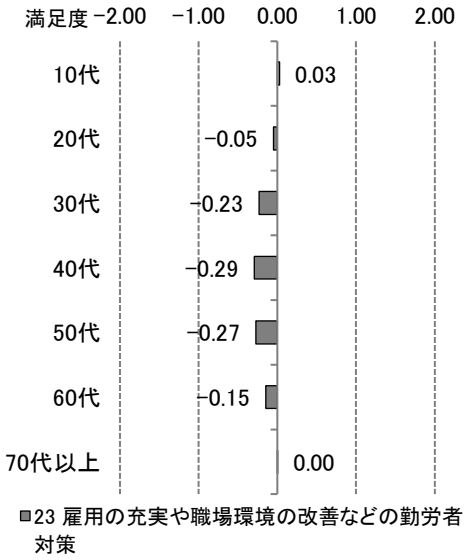


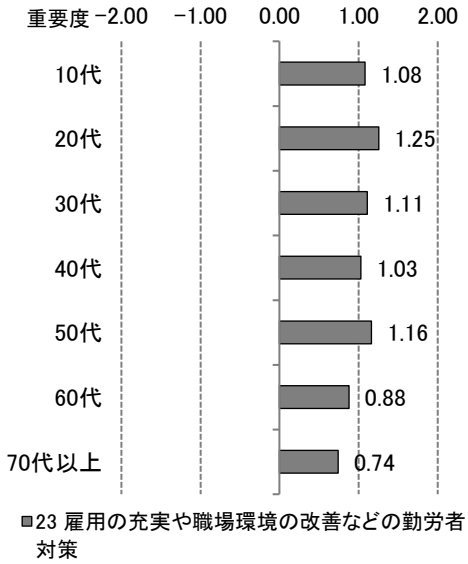




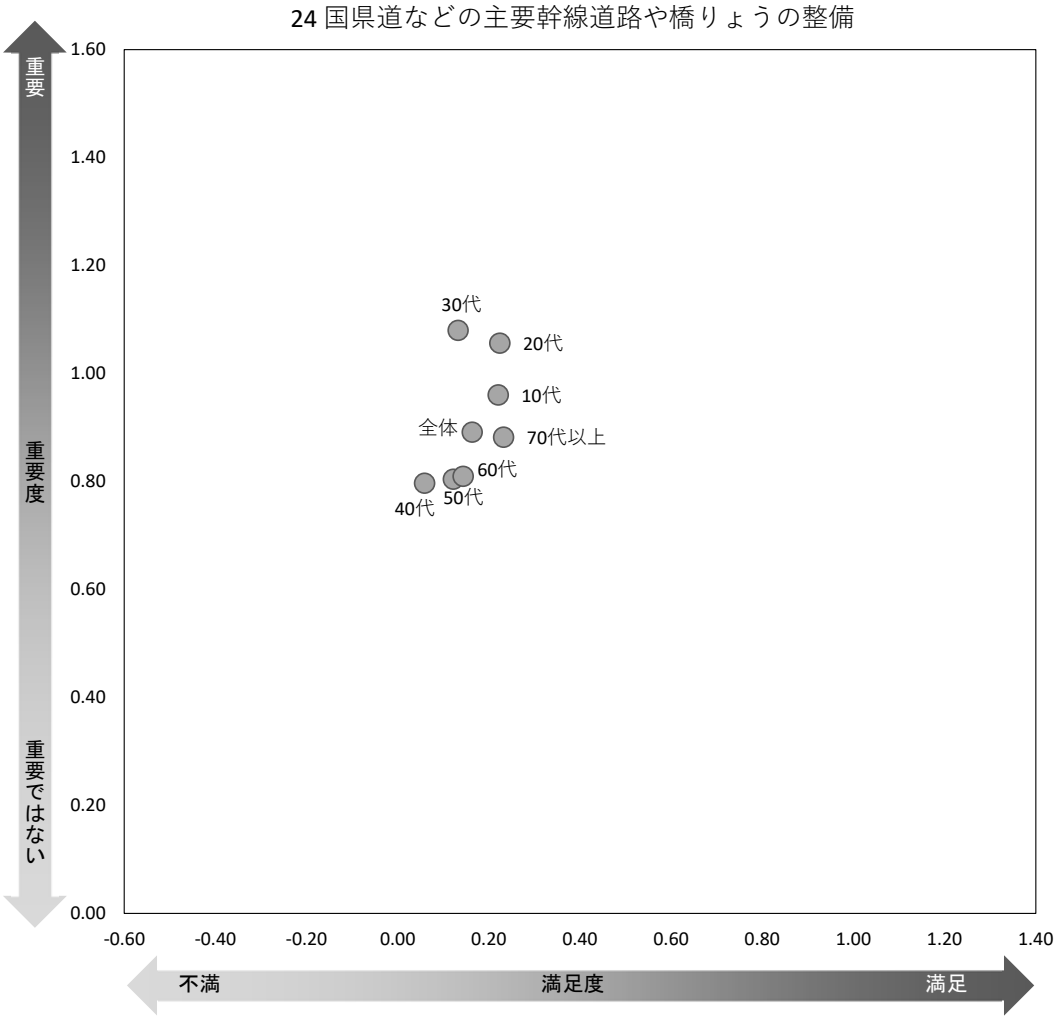
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策

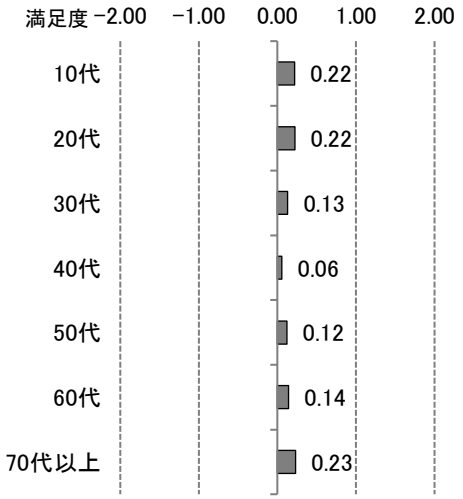




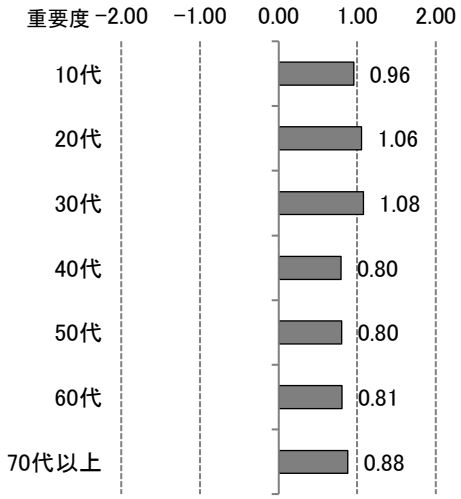


24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備



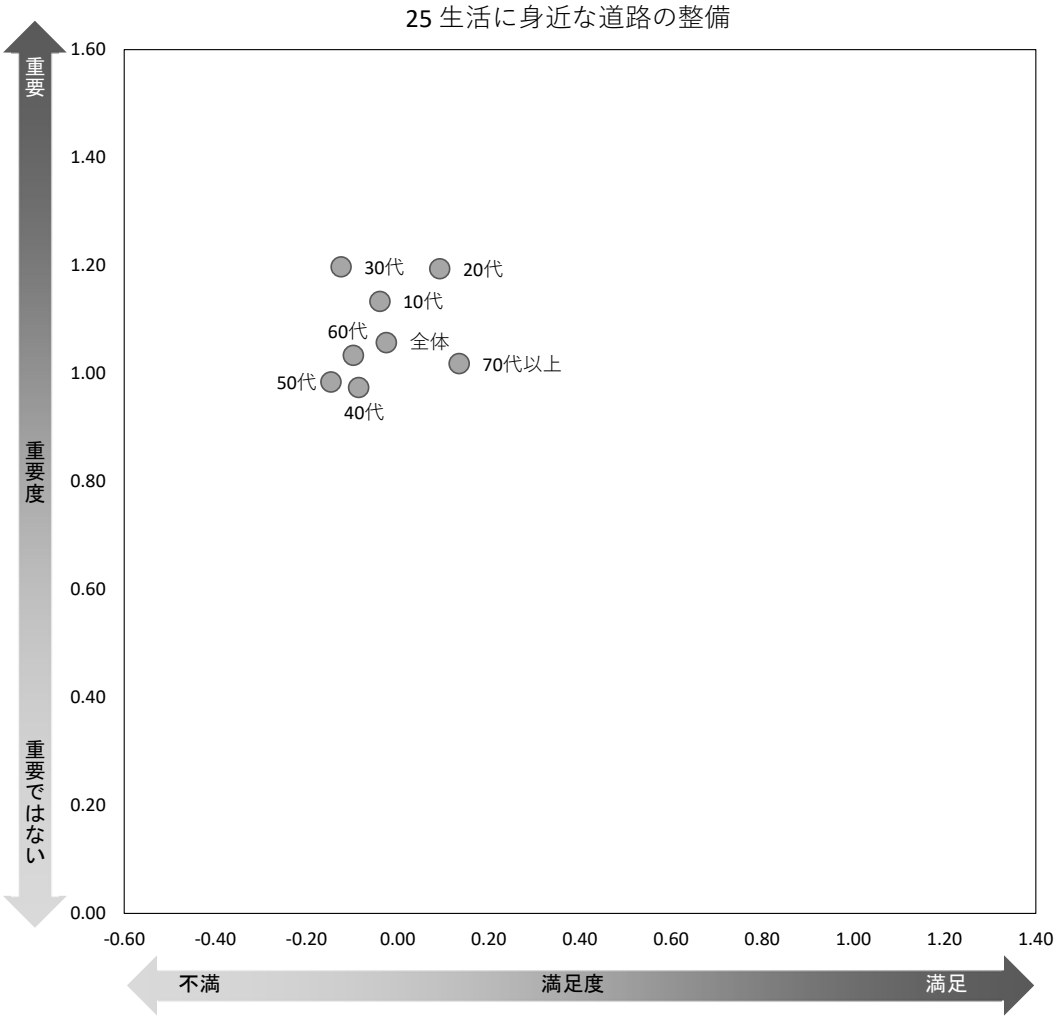


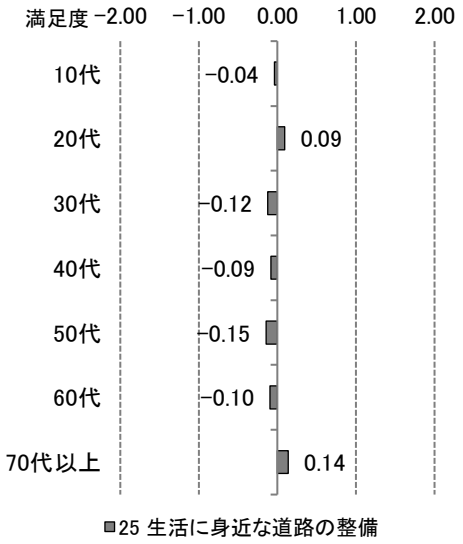
■24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備

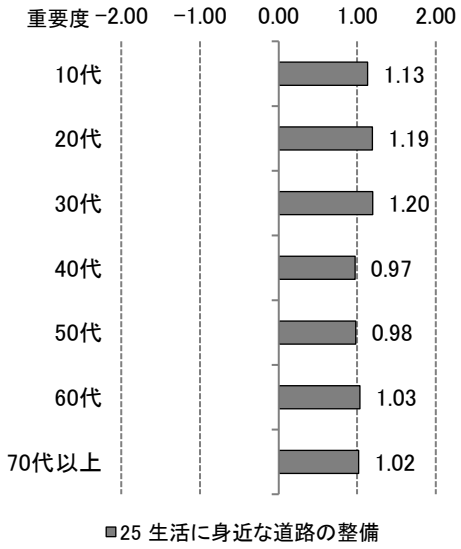


■24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備

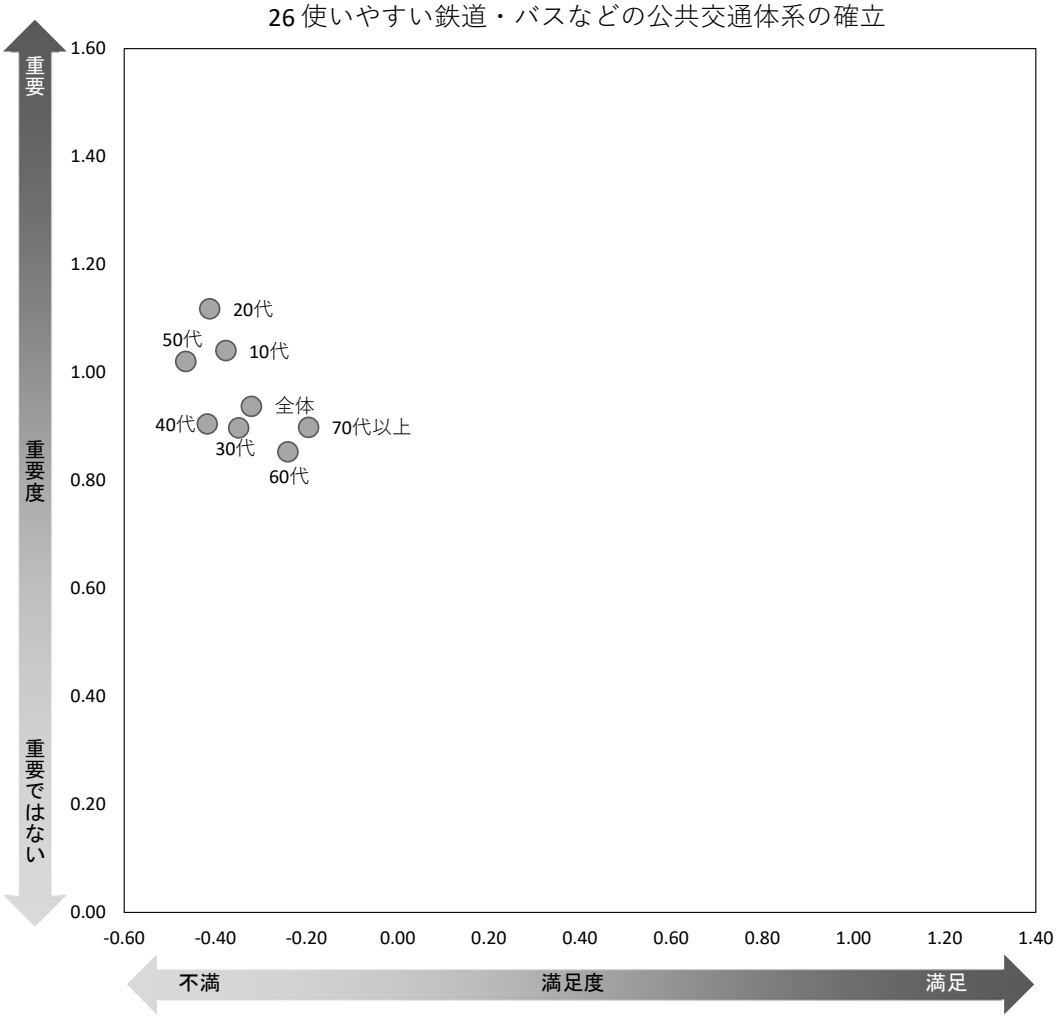
25 生活に身近な道路の整備

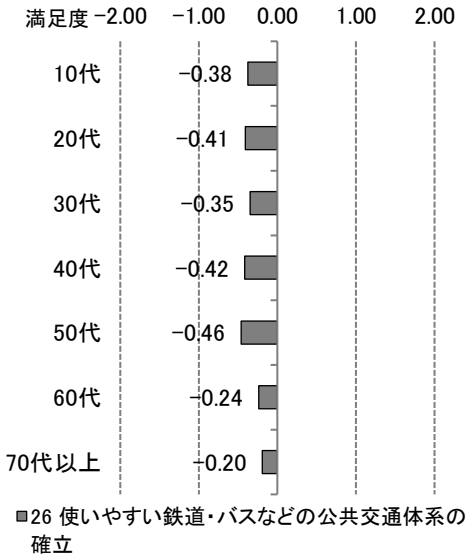


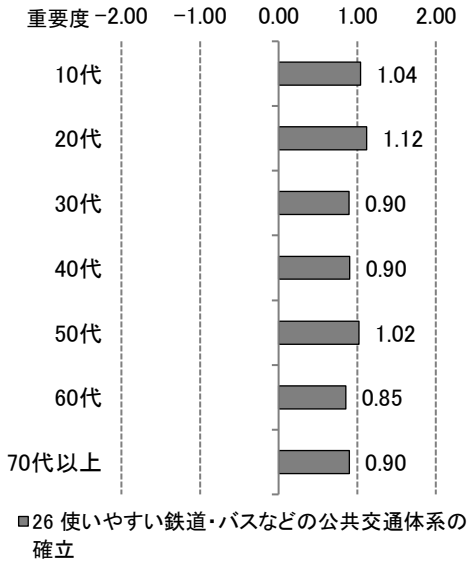




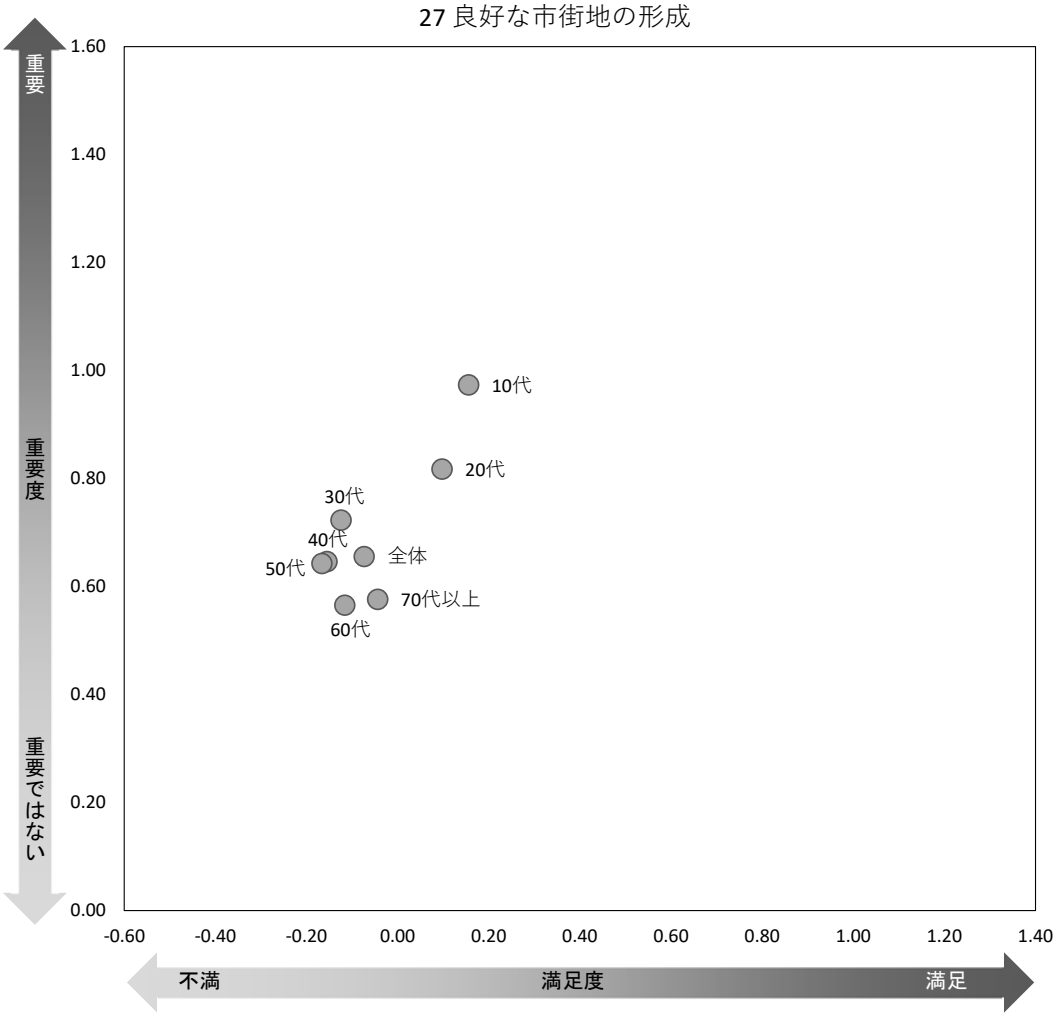
26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立

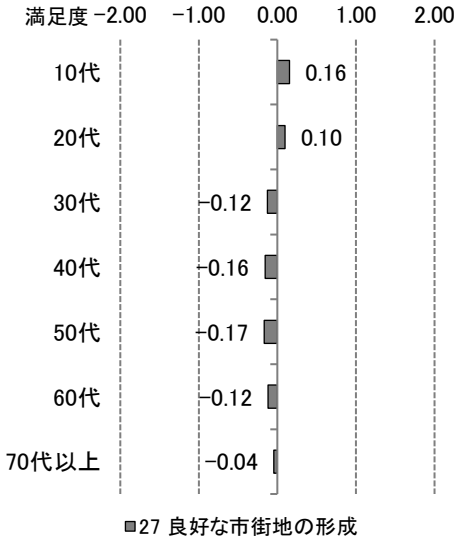


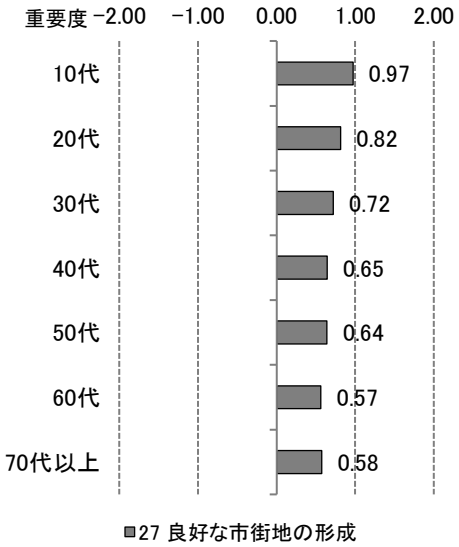




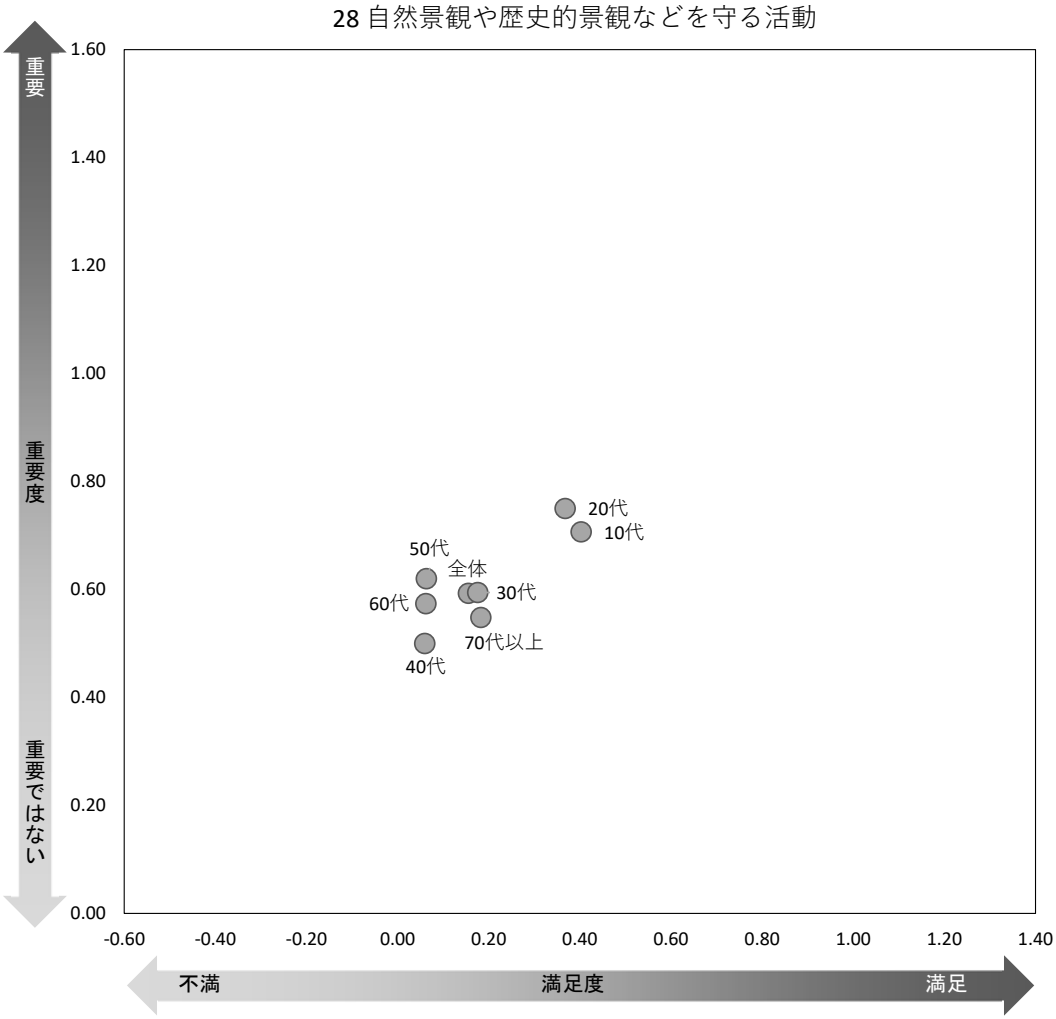
27 良好な市街地の形成

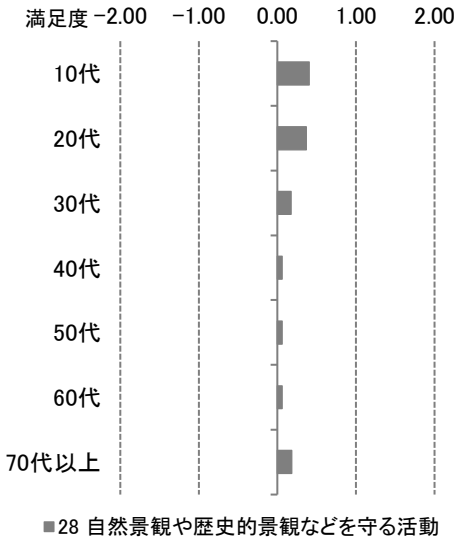


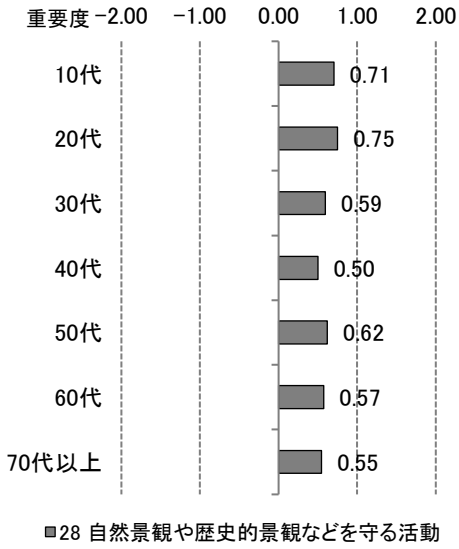




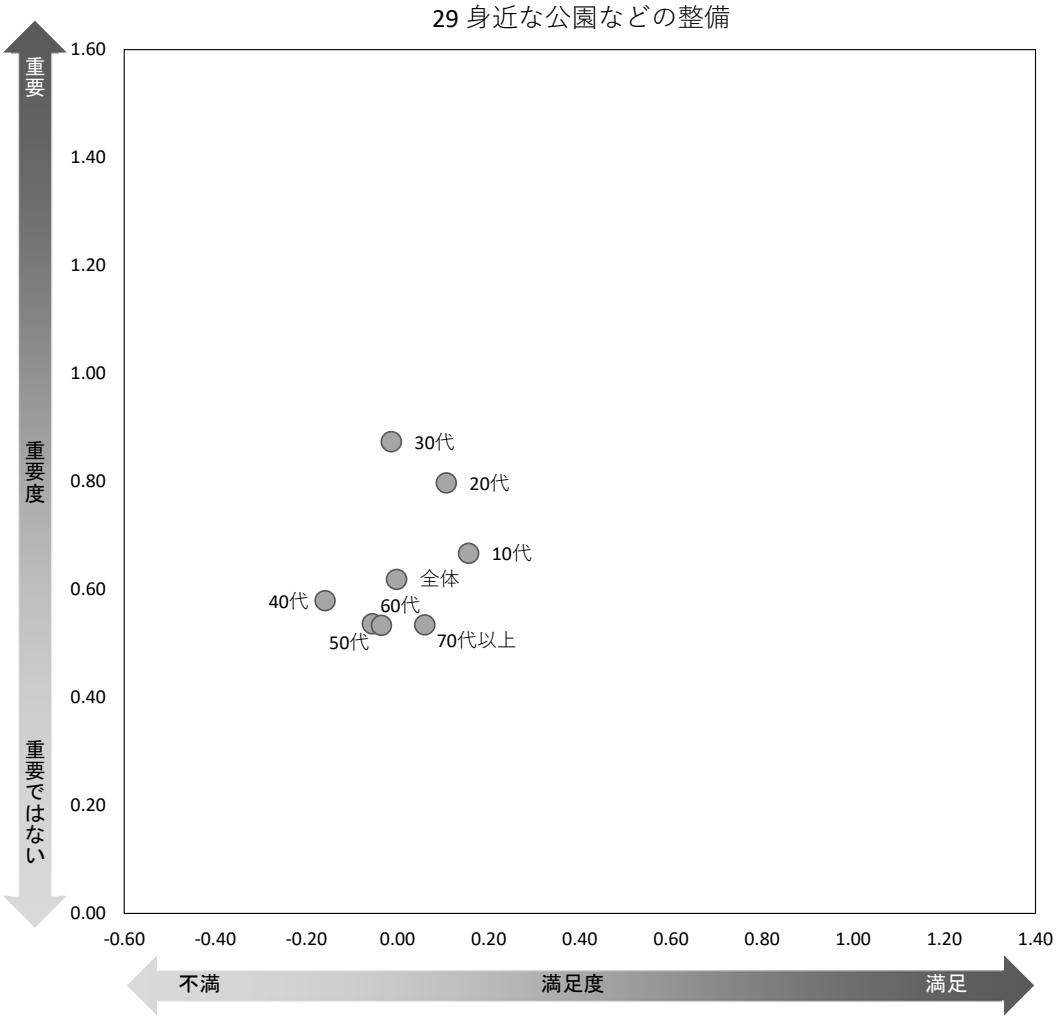
28 自然景観や歴史的景観などを守る活動

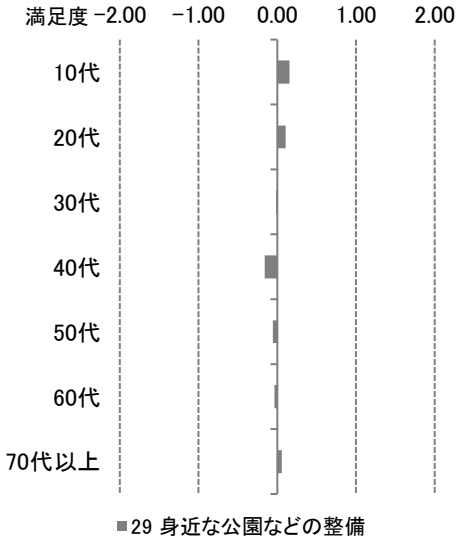


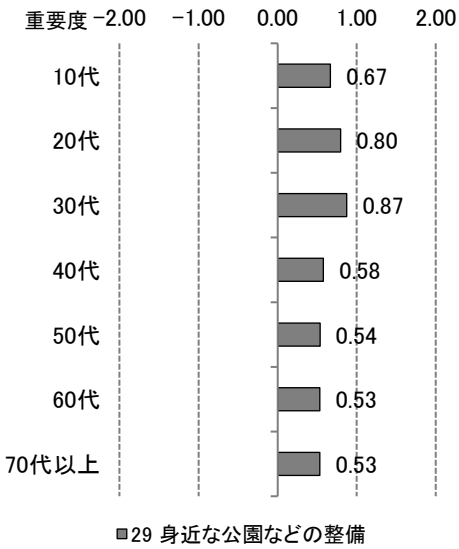




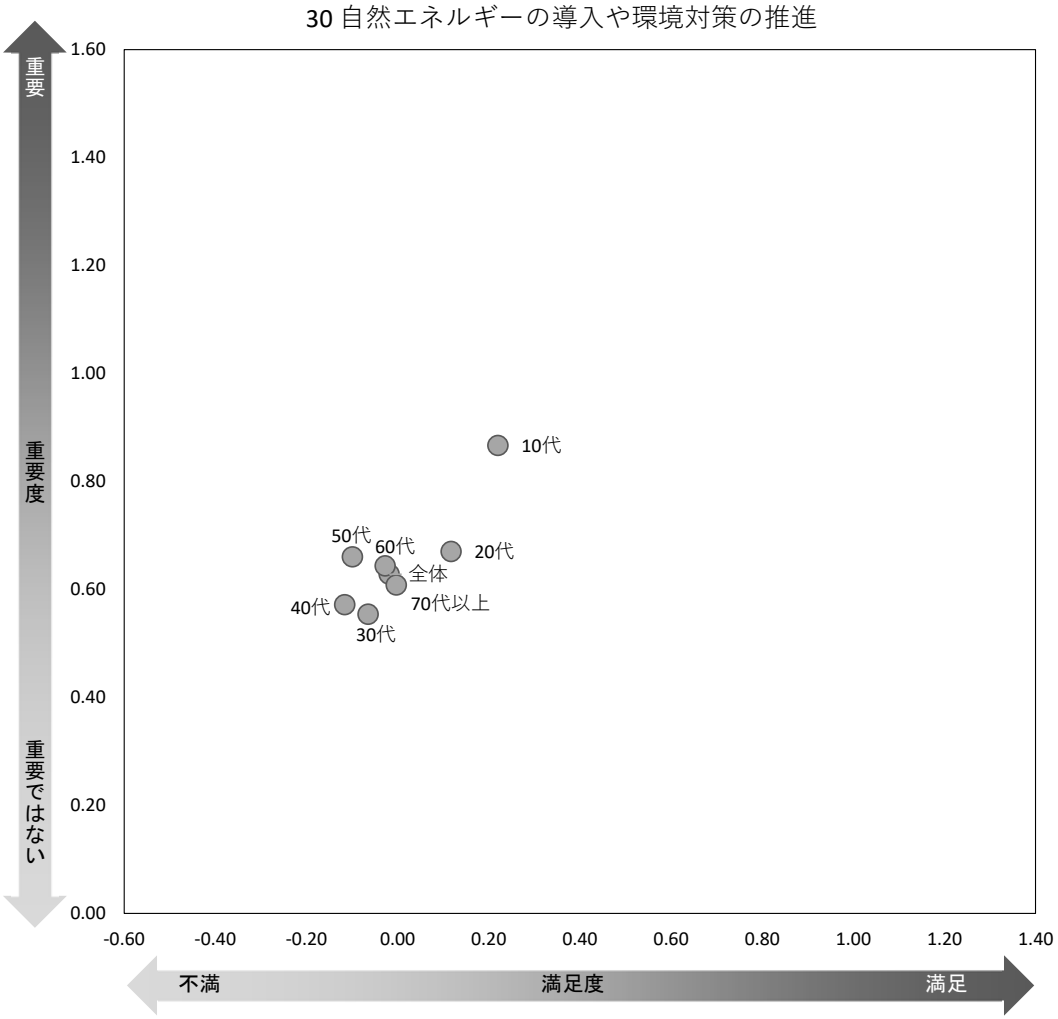
29 身近な公園などの整備

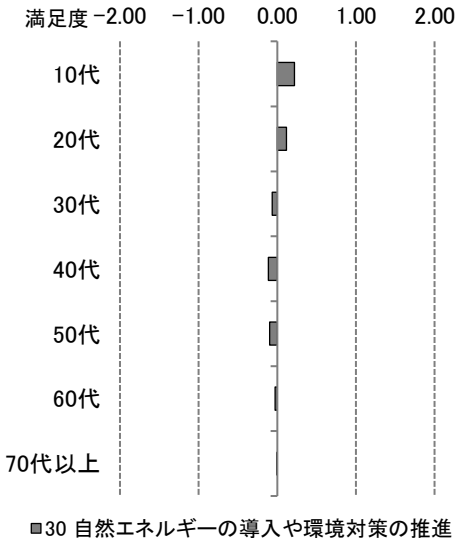


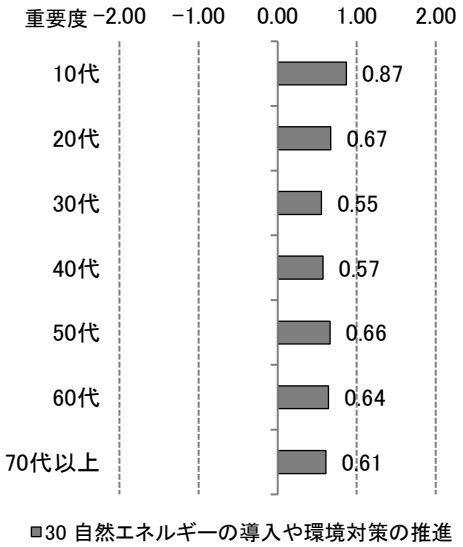




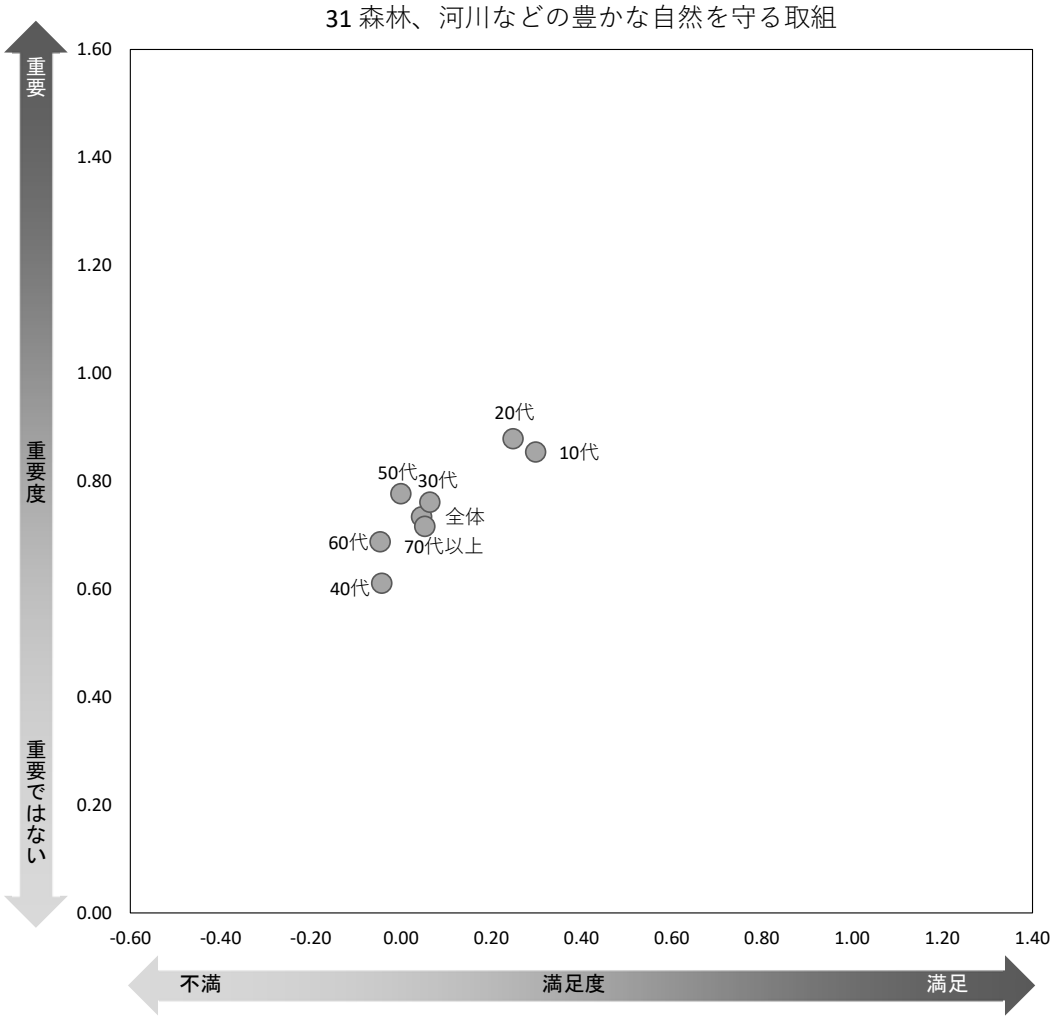
30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進

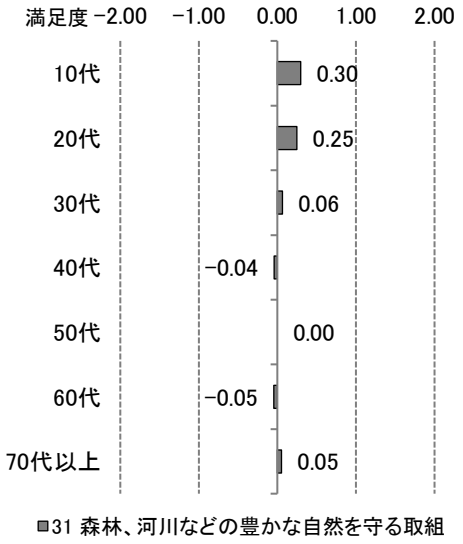


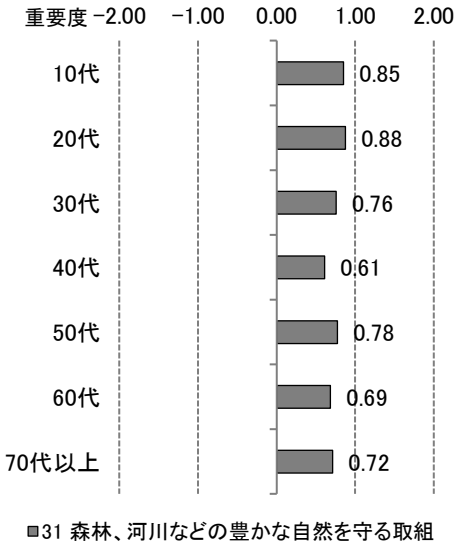




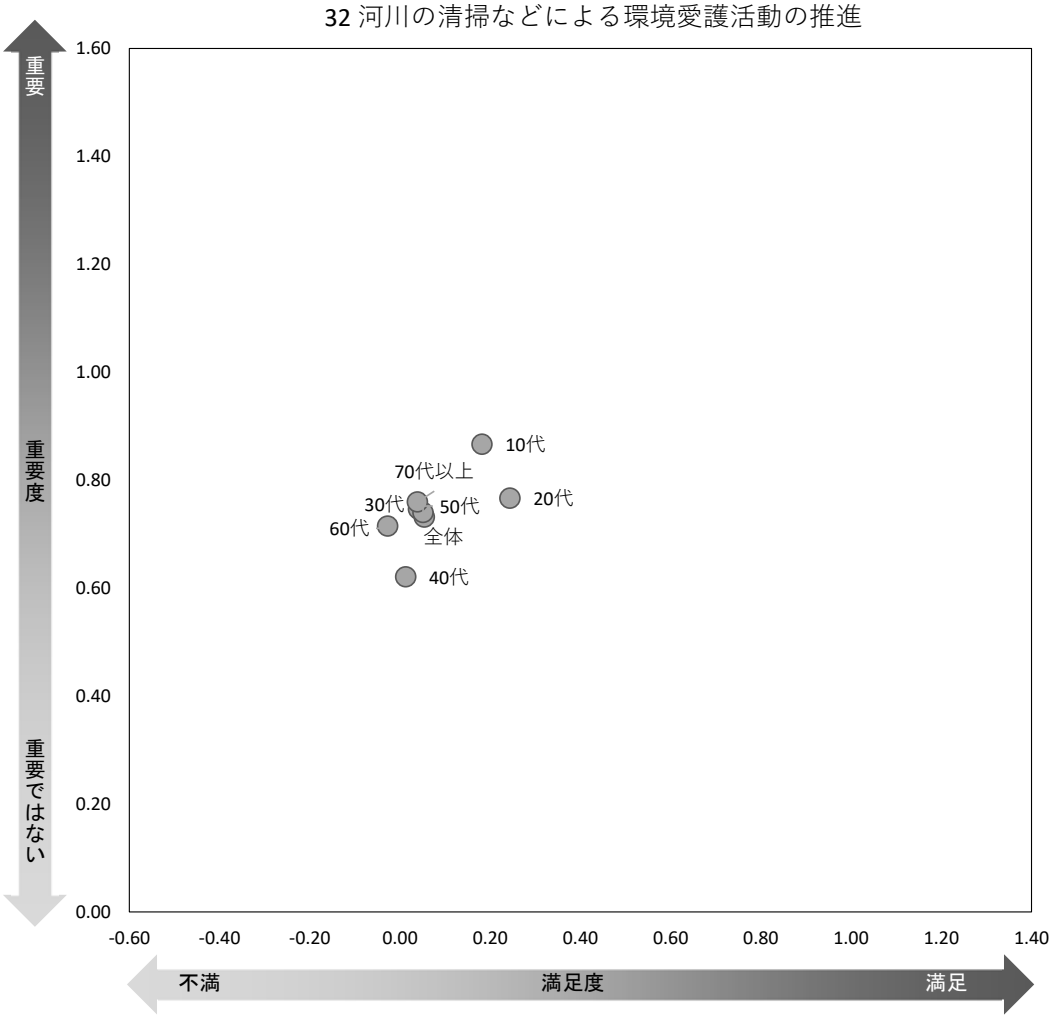
31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組

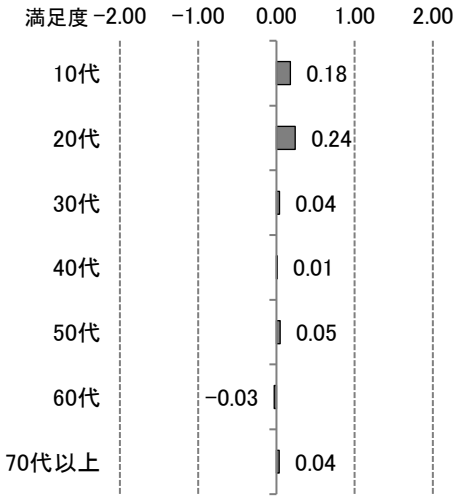




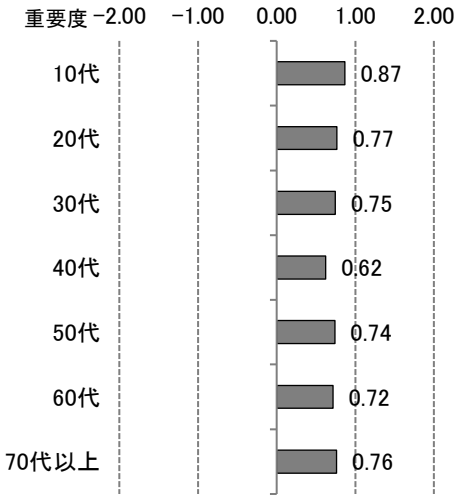


32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進



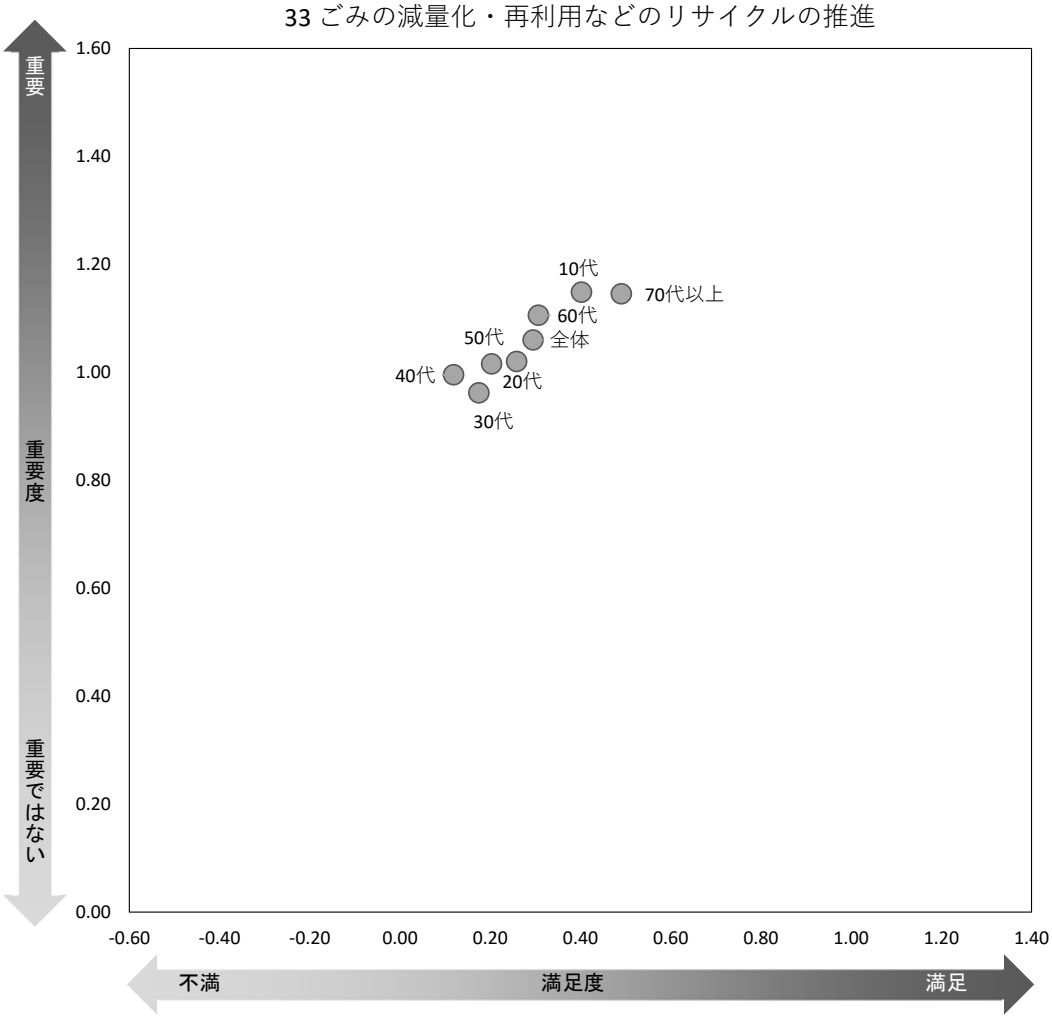


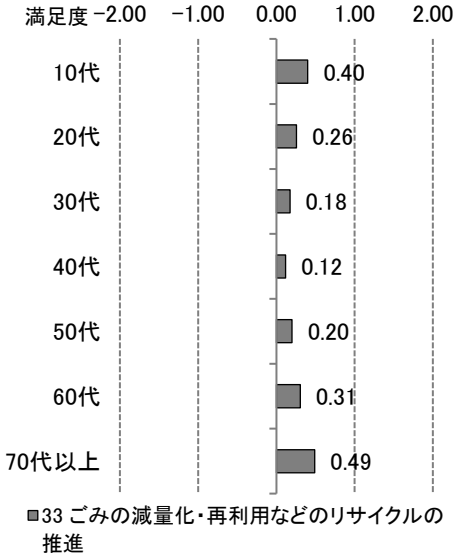
■32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進

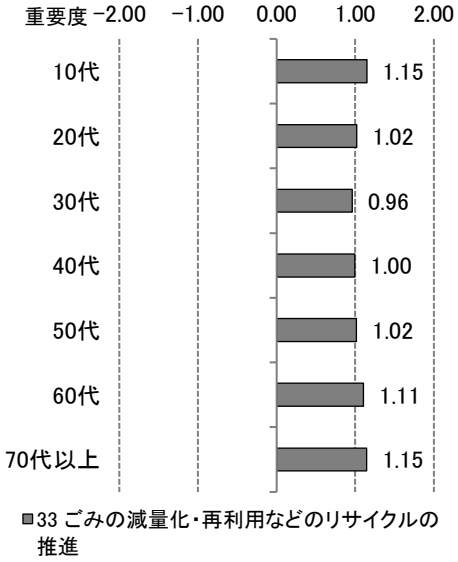


■32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進

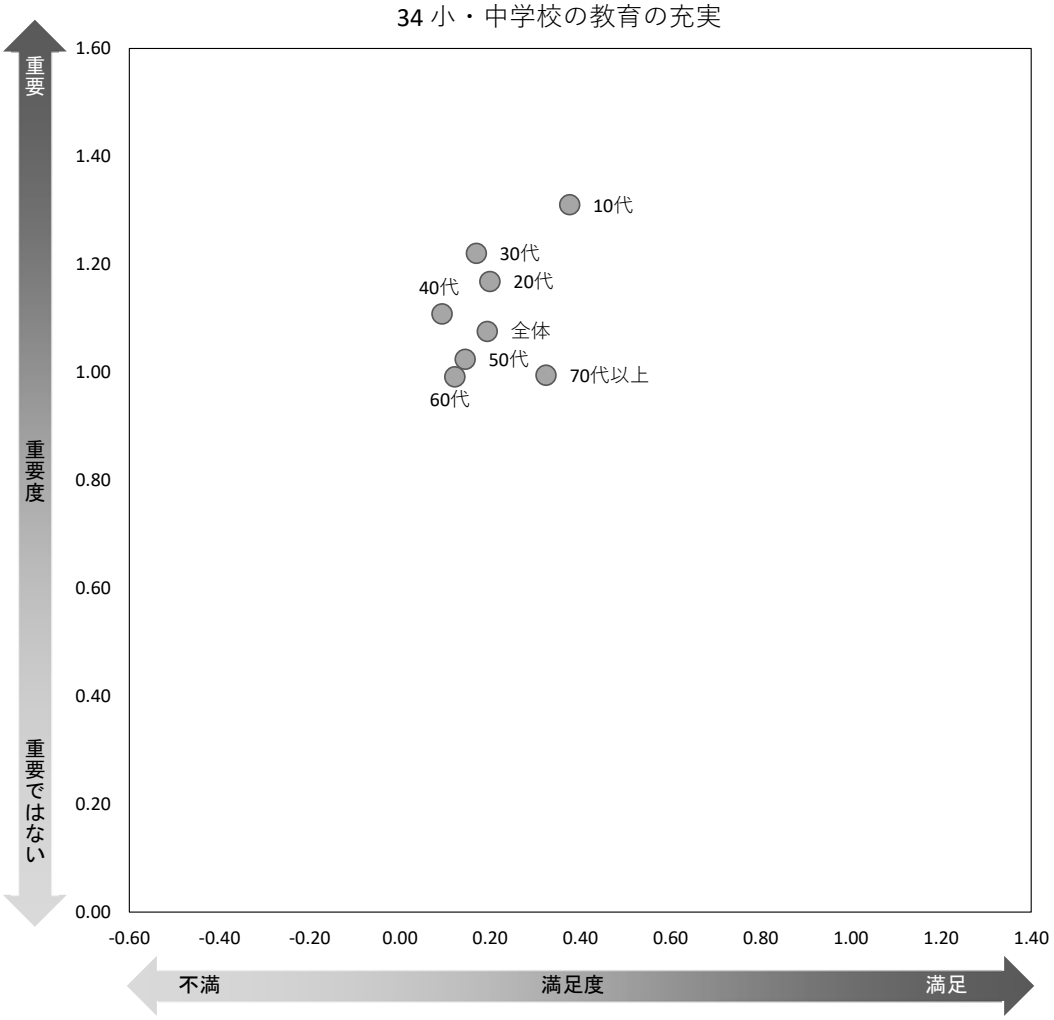
33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進

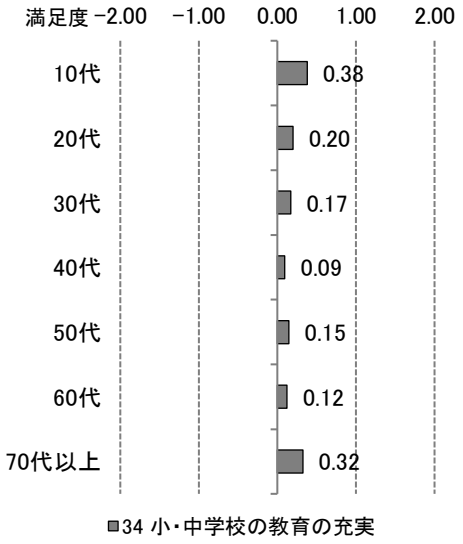


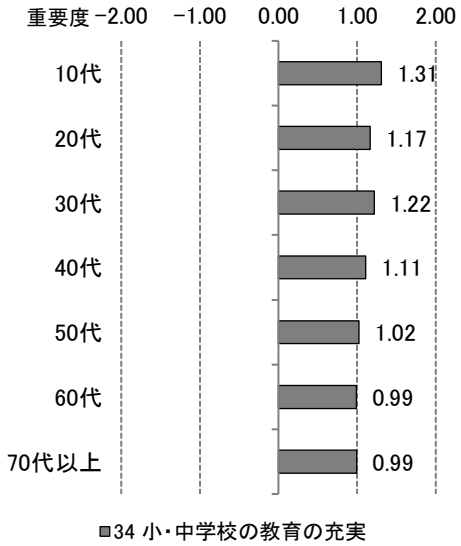




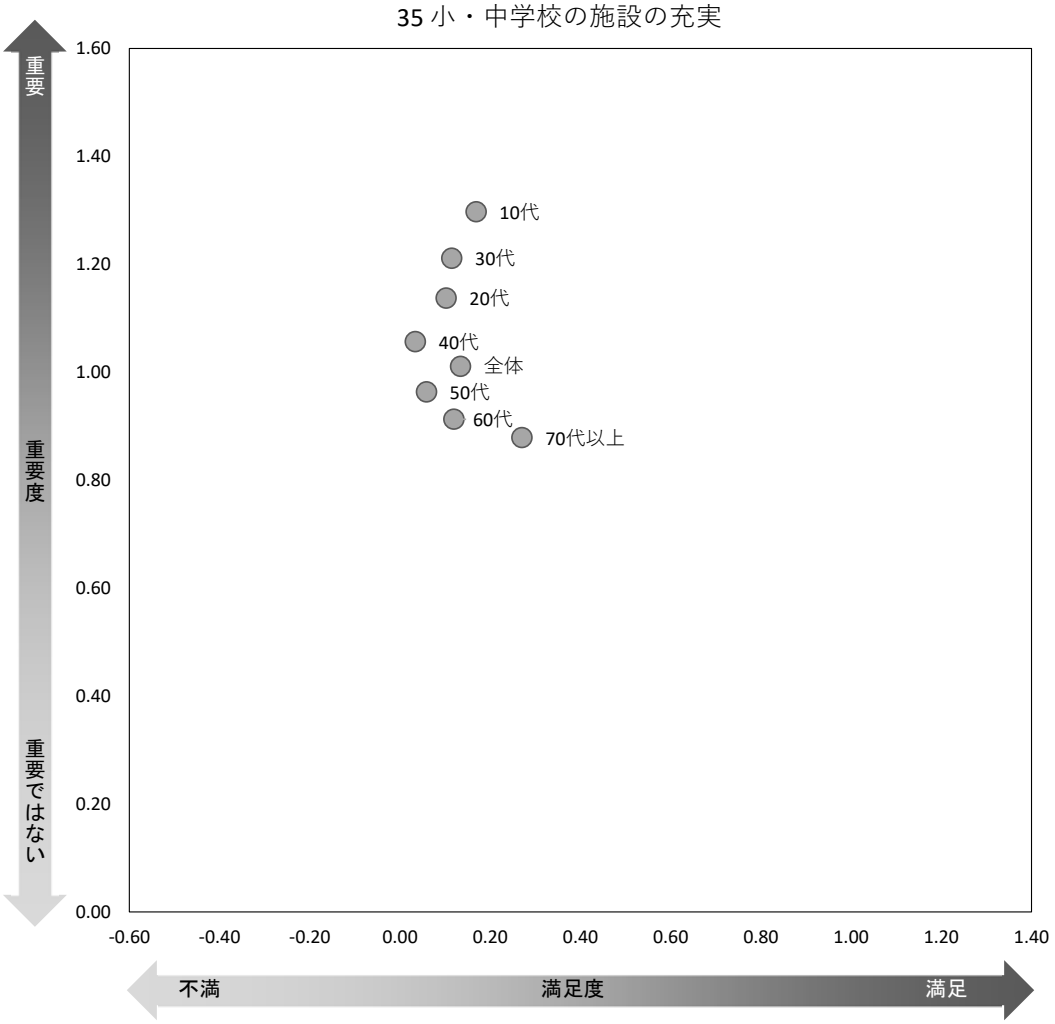
34 小・中学校の教育の充実

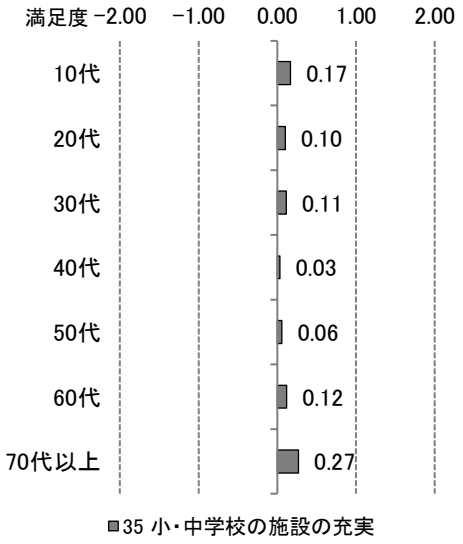


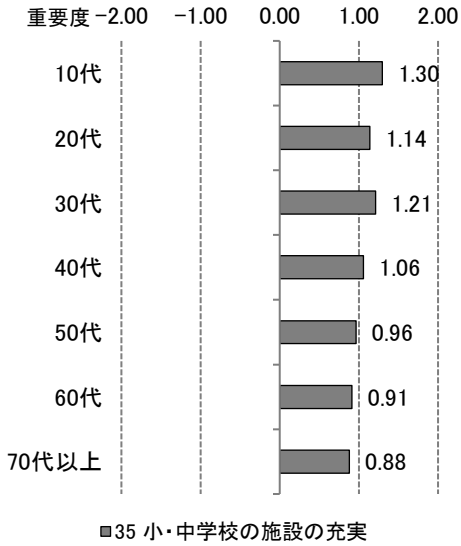




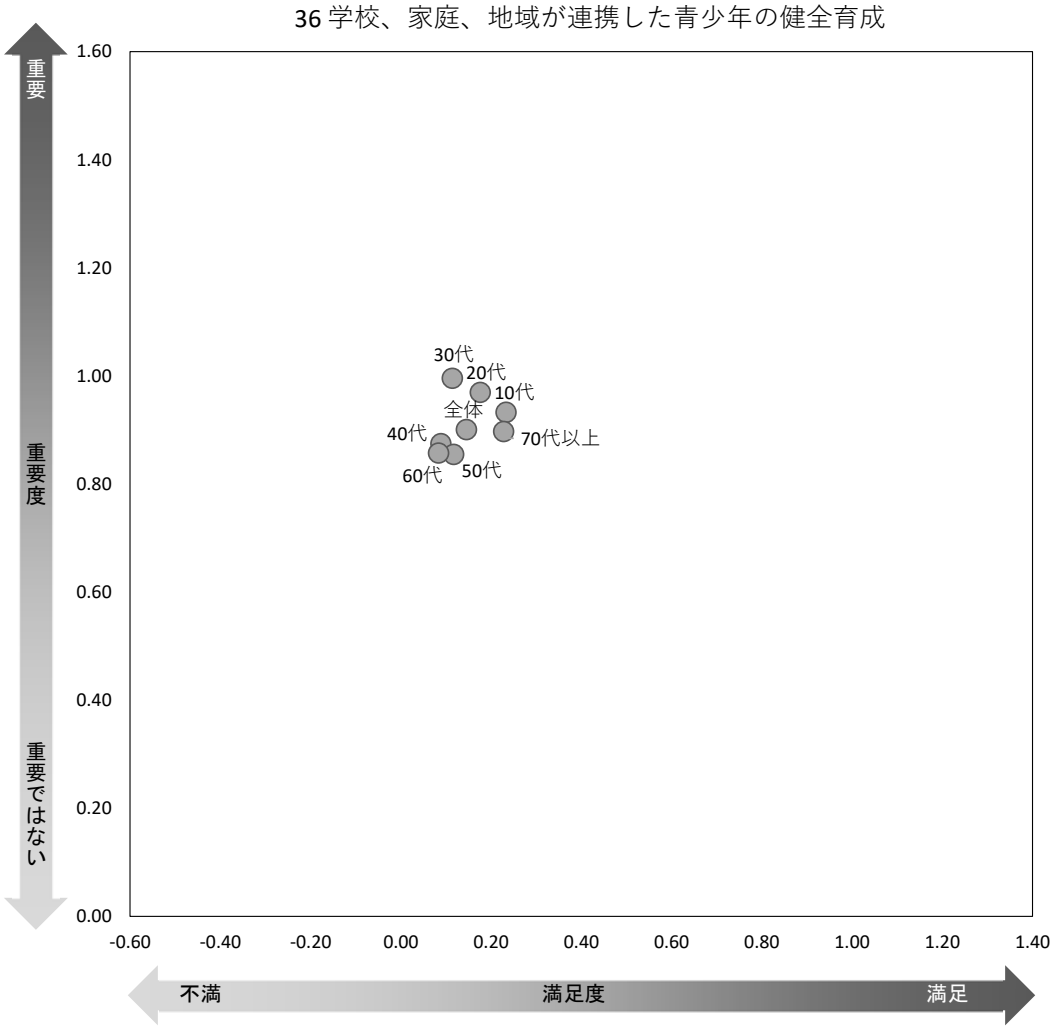
35 小・中学校の施設の充実

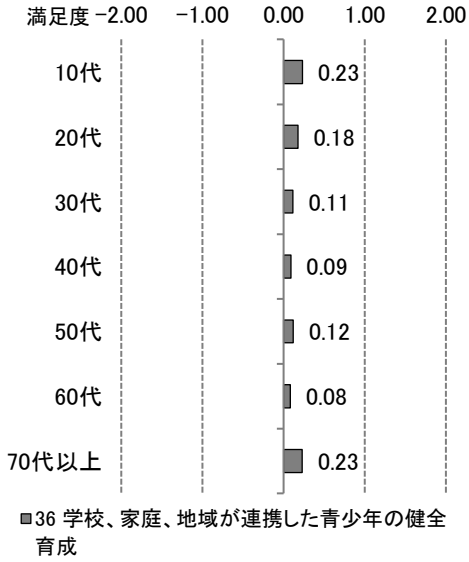


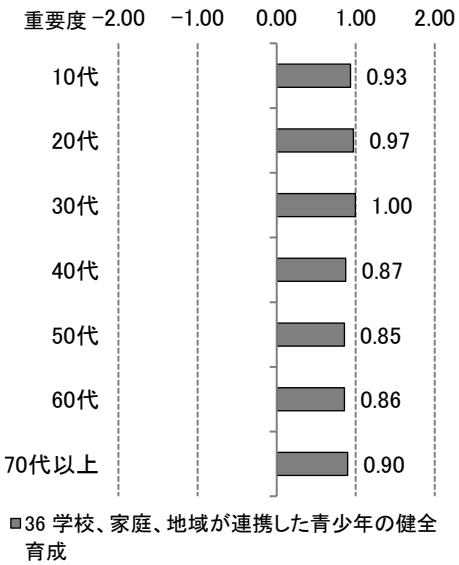




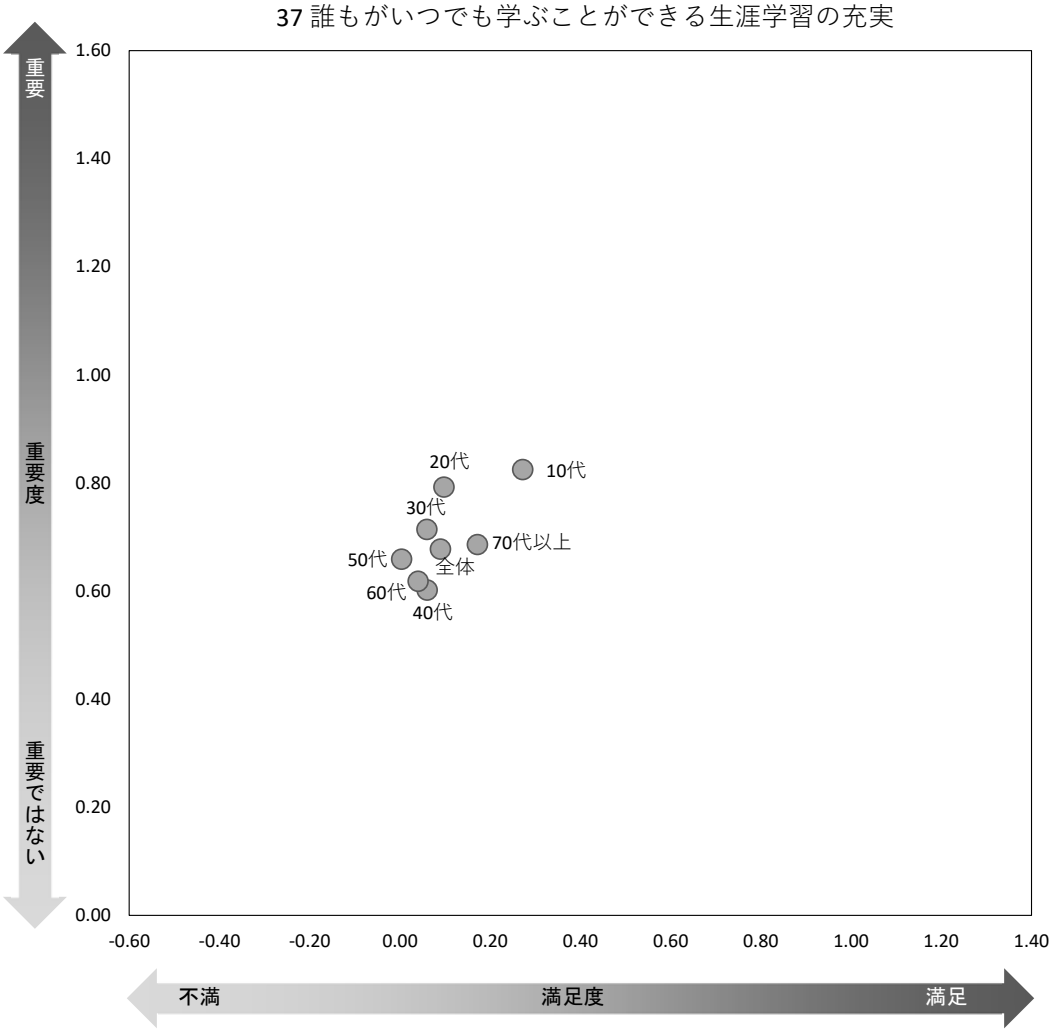
36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成

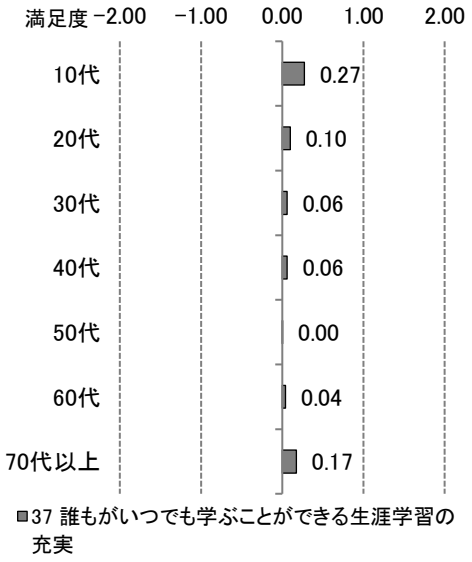


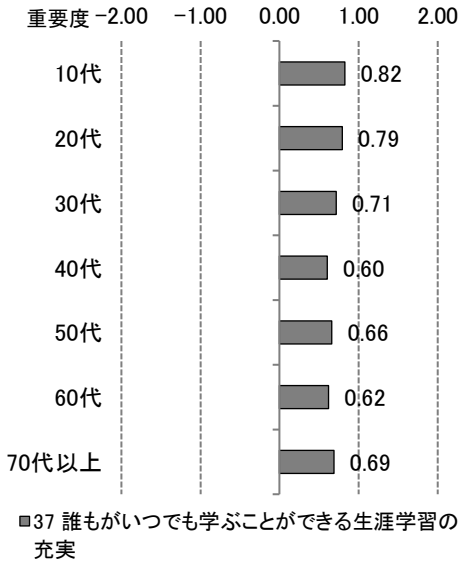




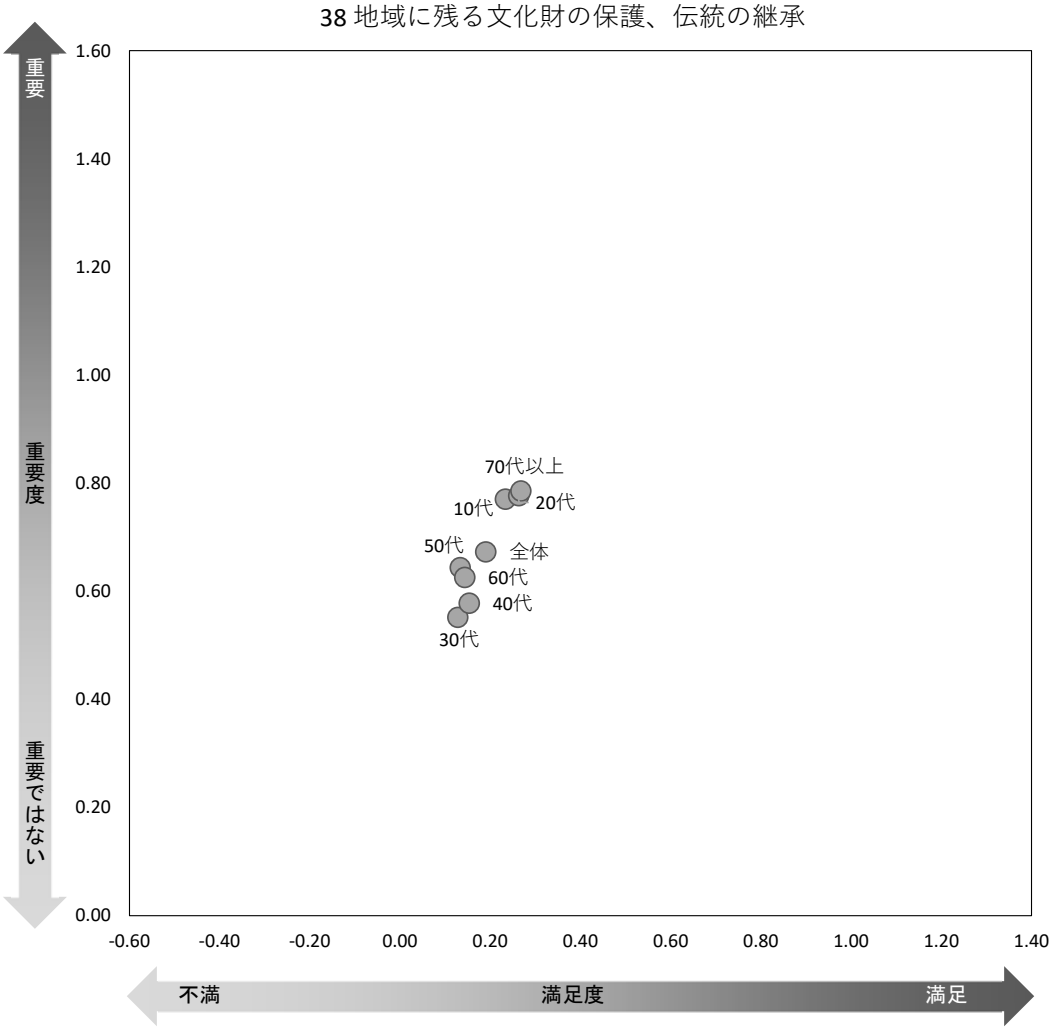
37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実

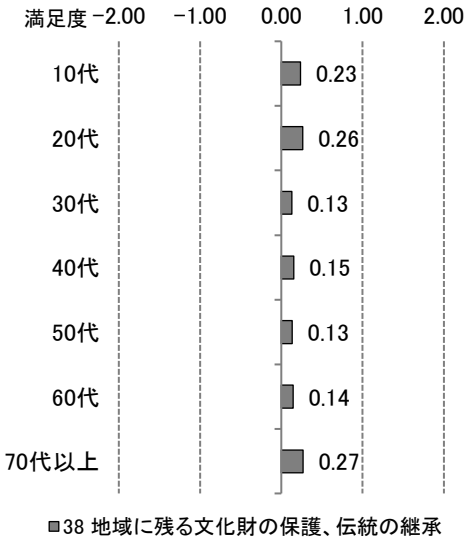


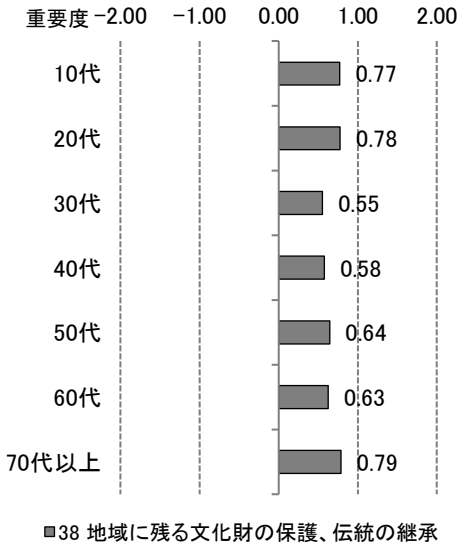




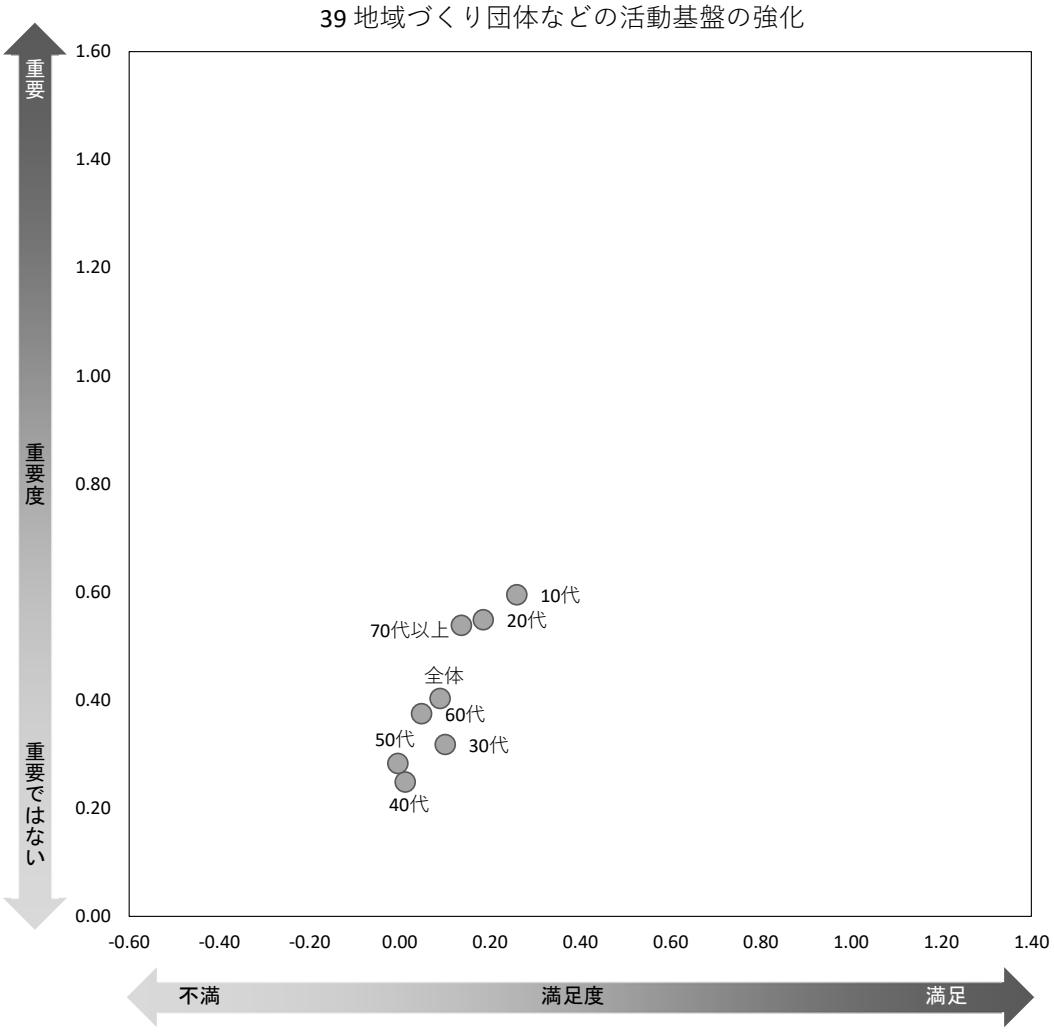
38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承

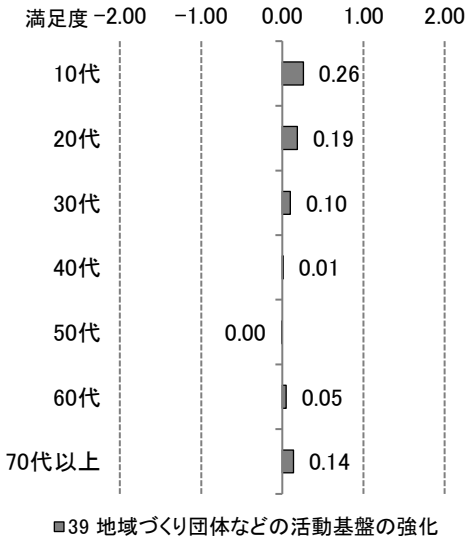


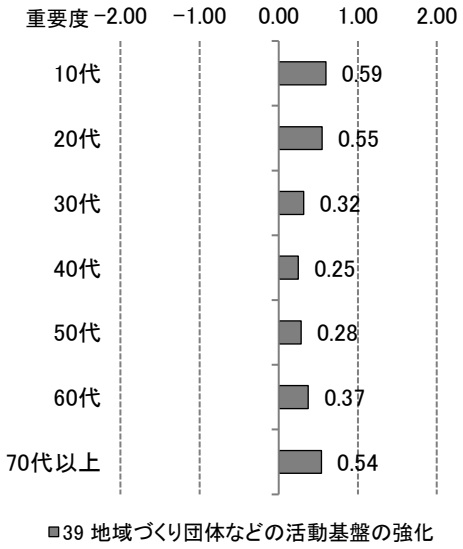




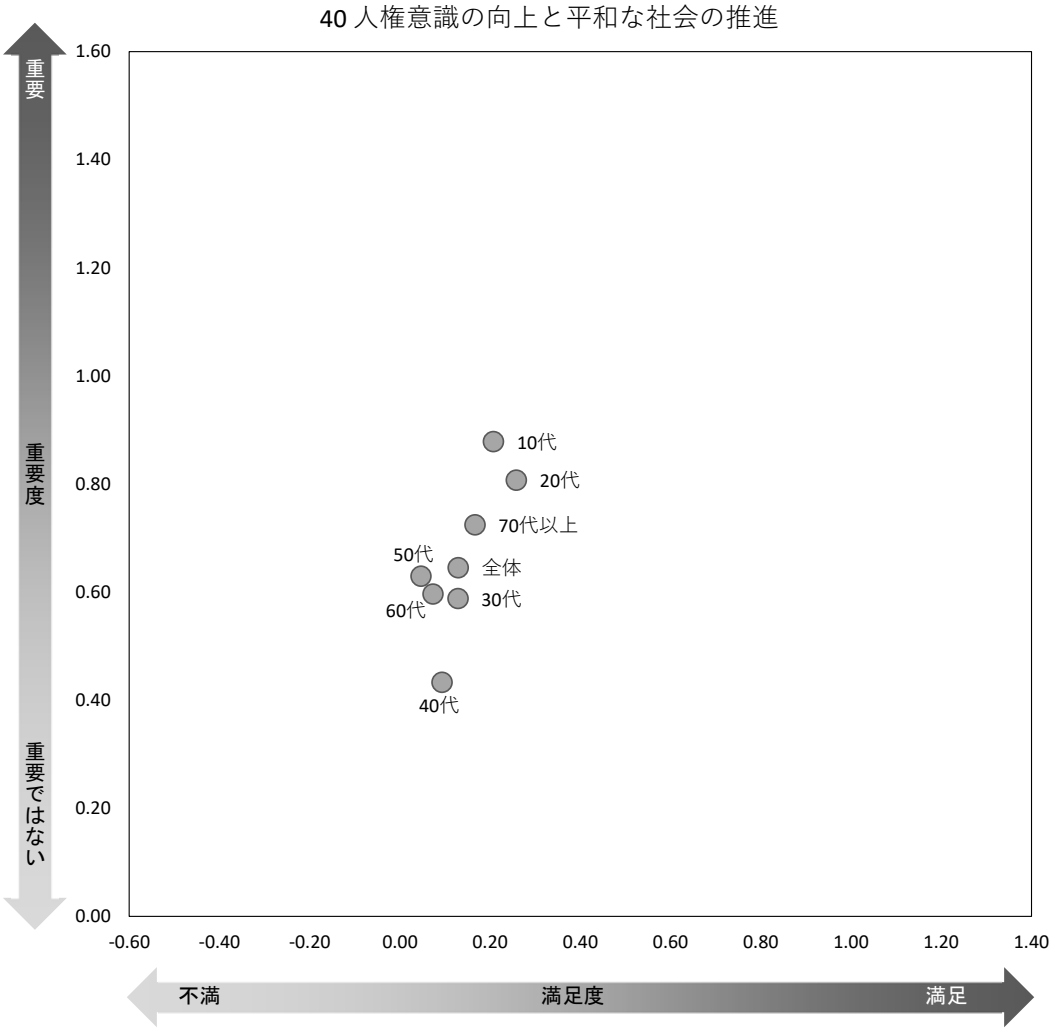
39 地域づくり団体などの活動基盤の強化

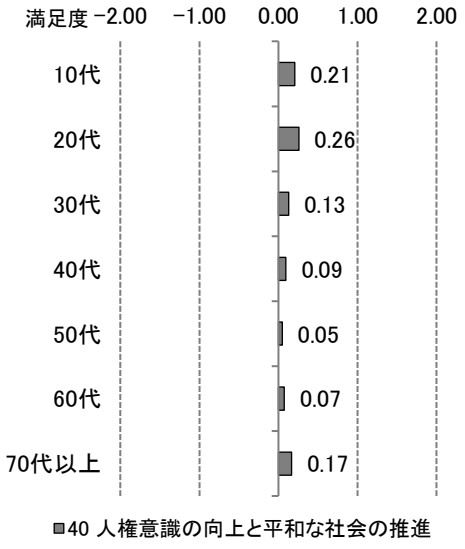


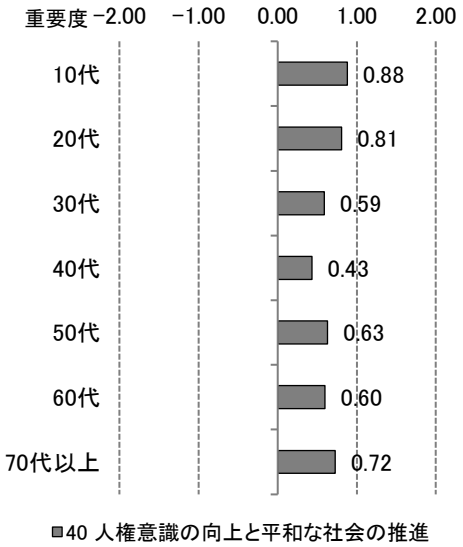




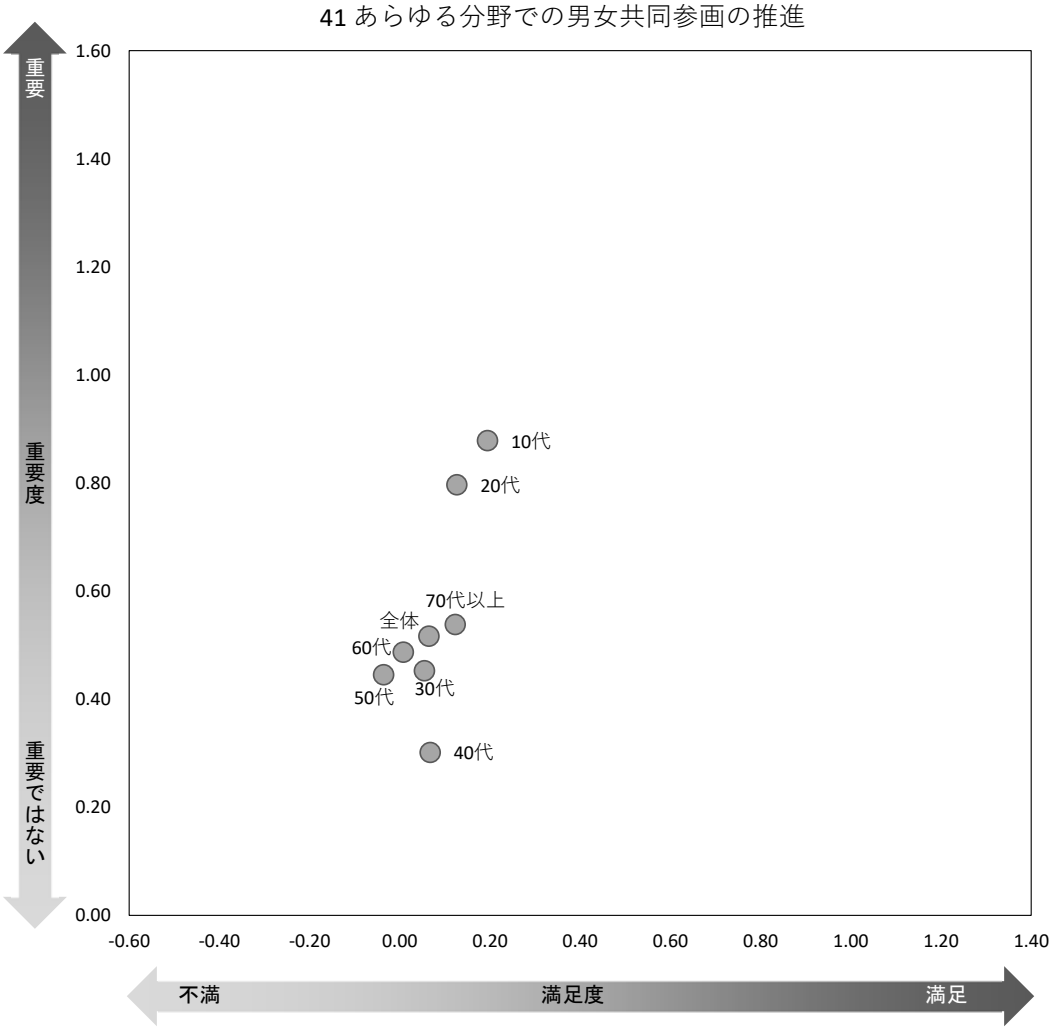
40 人権意識の向上と平和な社会の推進

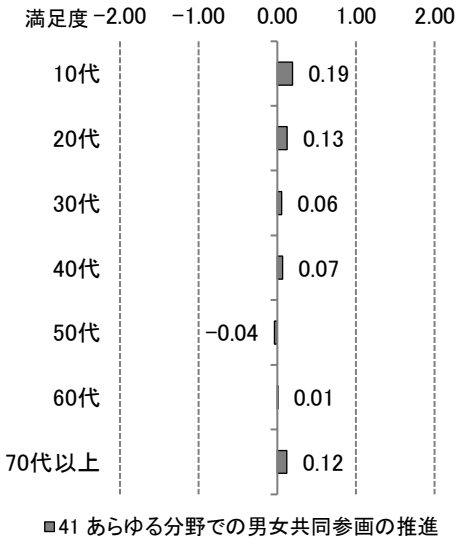


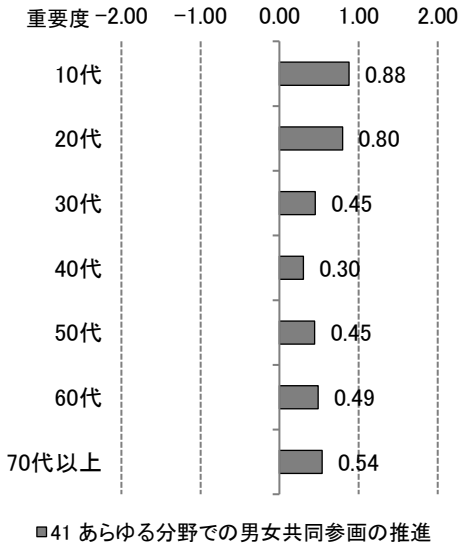




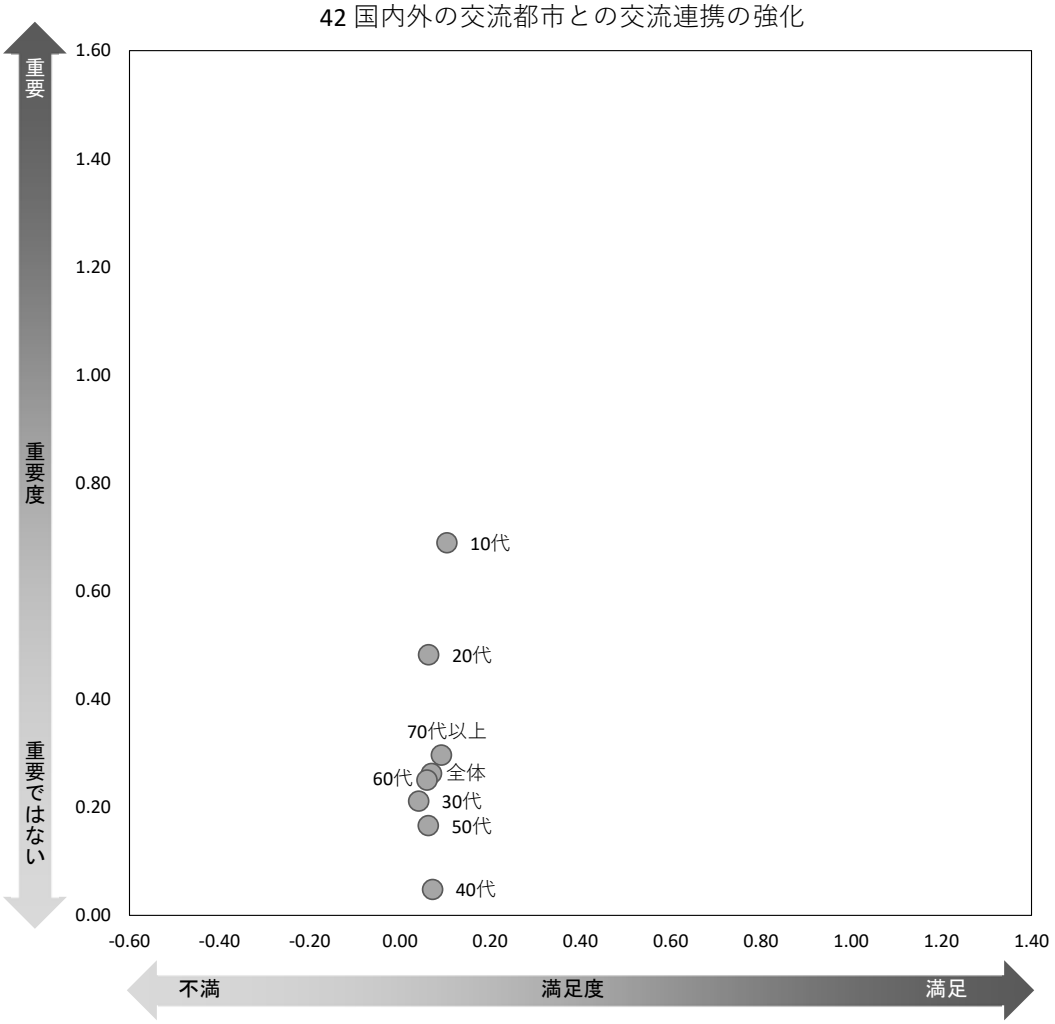
41 あらゆる分野での男女共同参画の推進

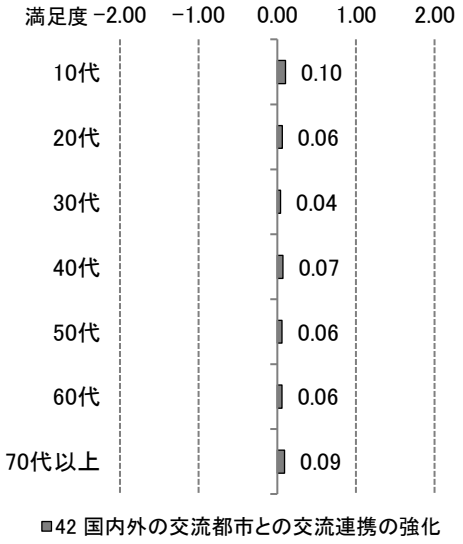


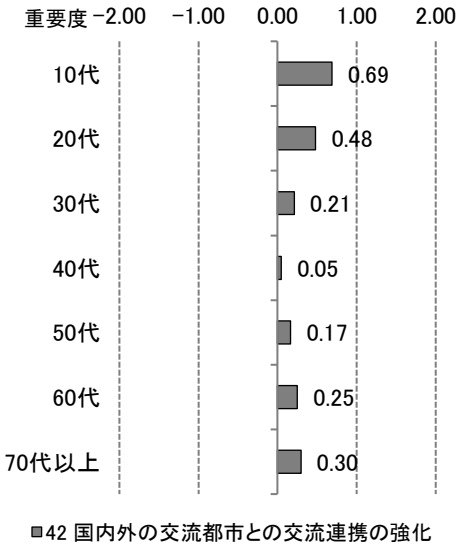




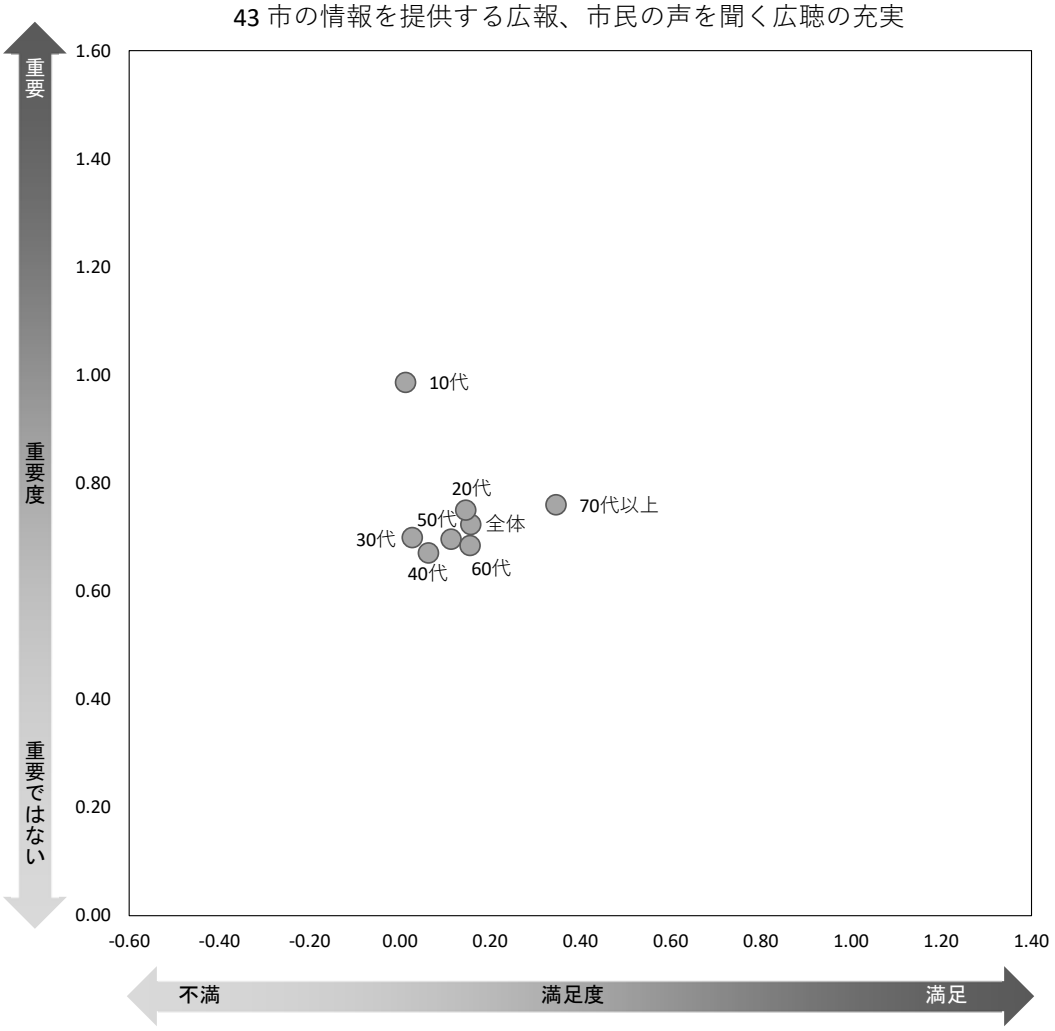
42 国内外の交流都市との交流連携の強化

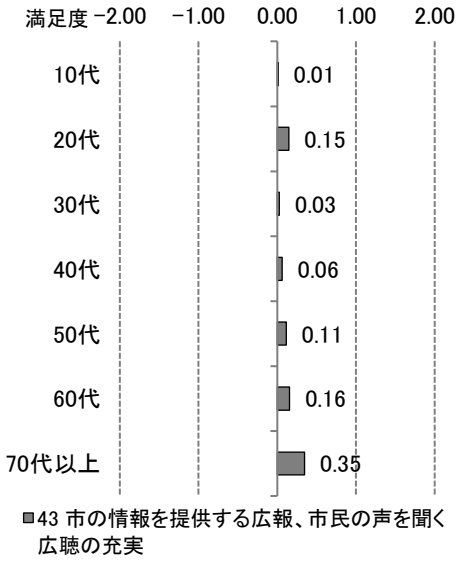


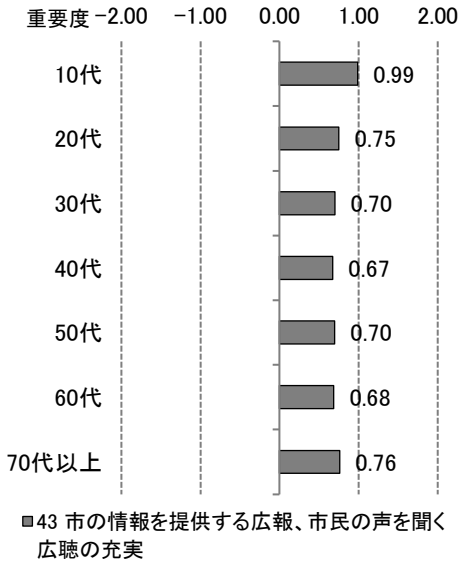




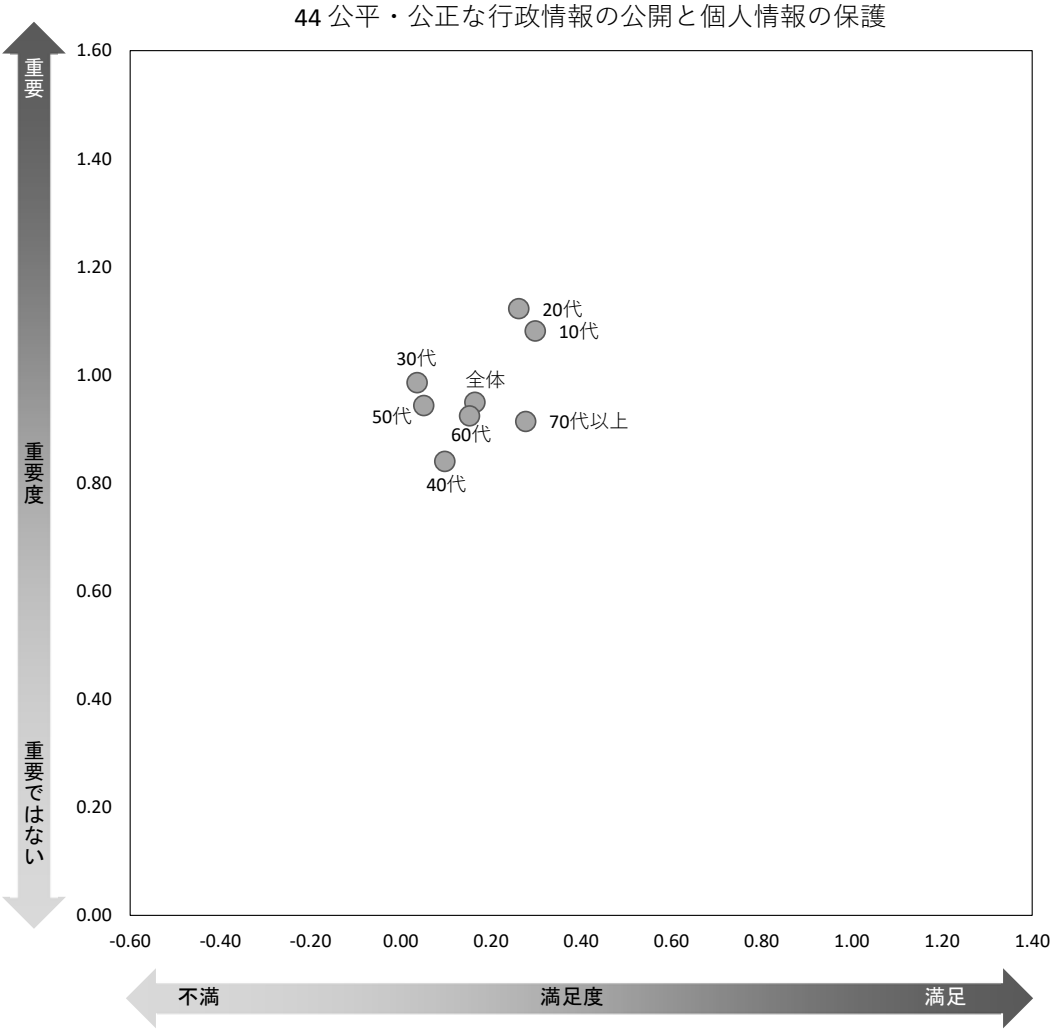
43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実

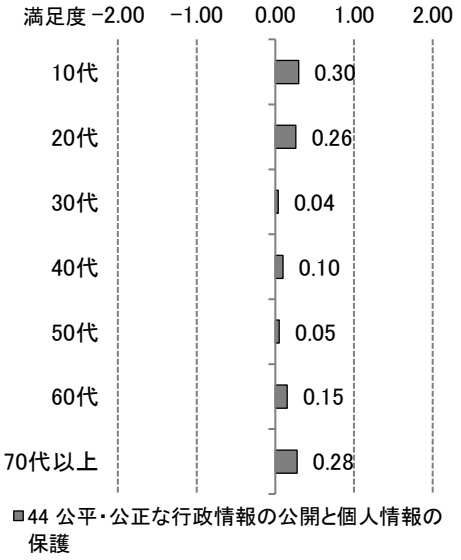


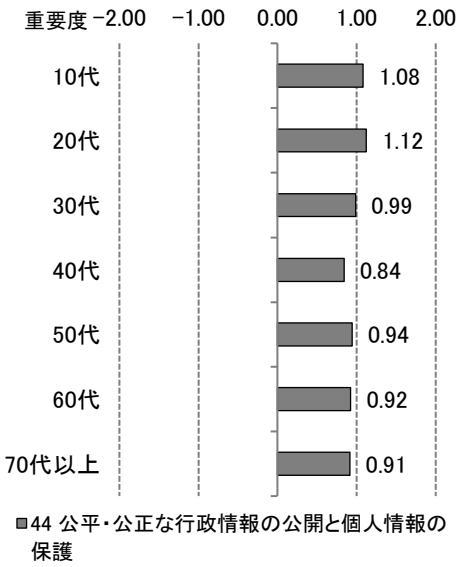




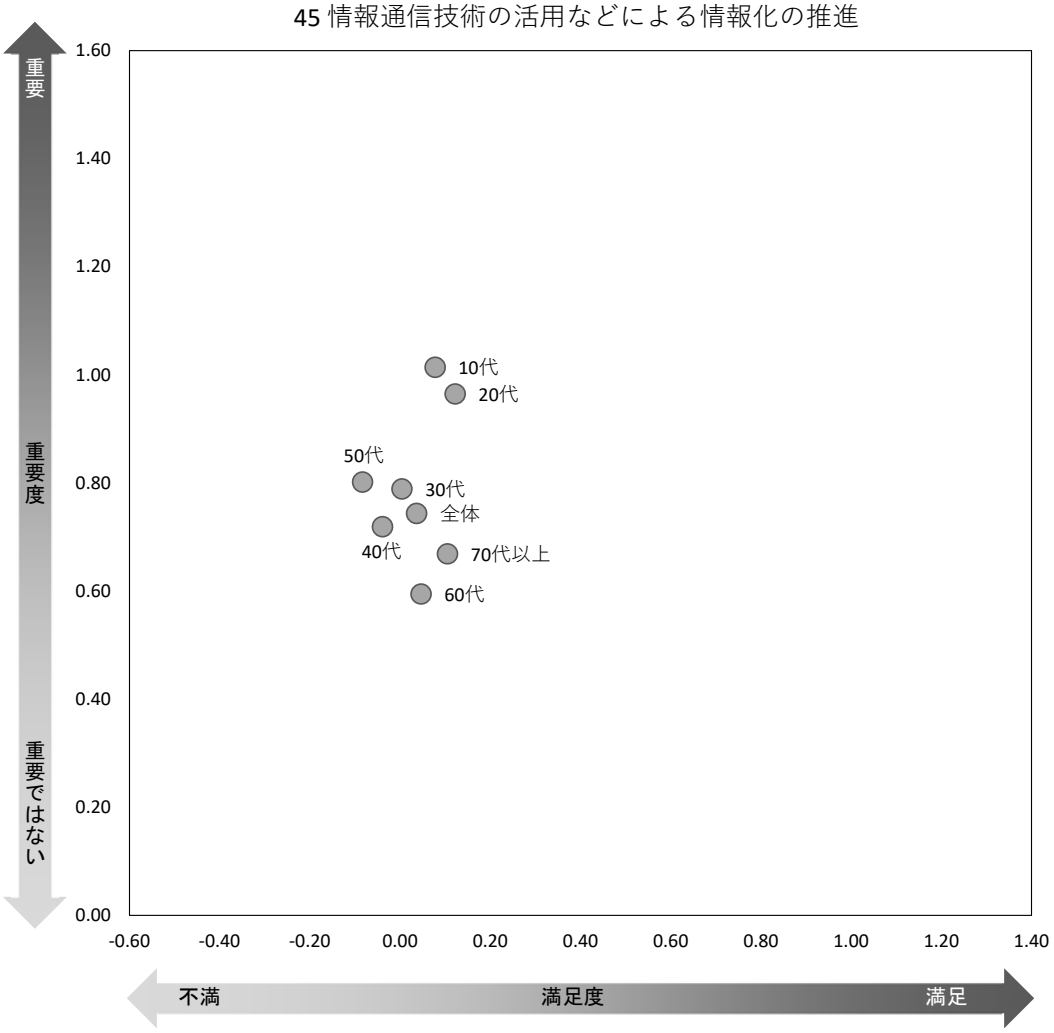
44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護

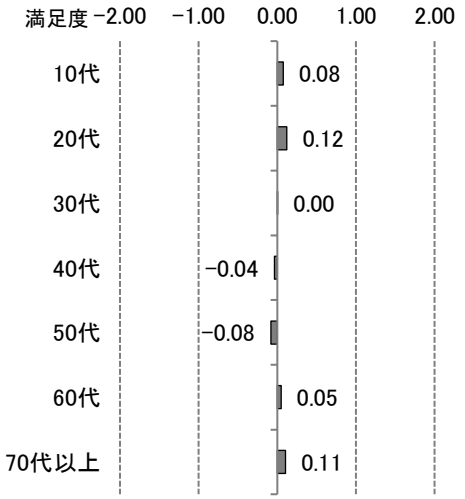




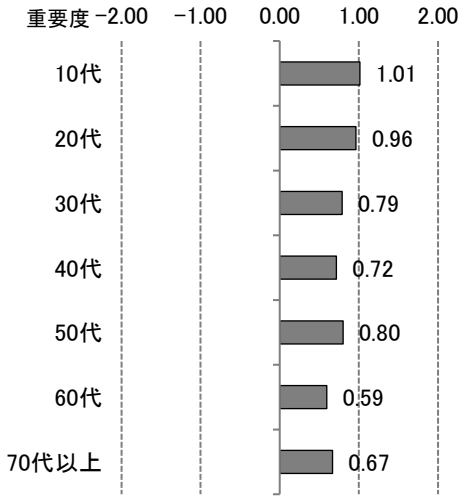


45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進



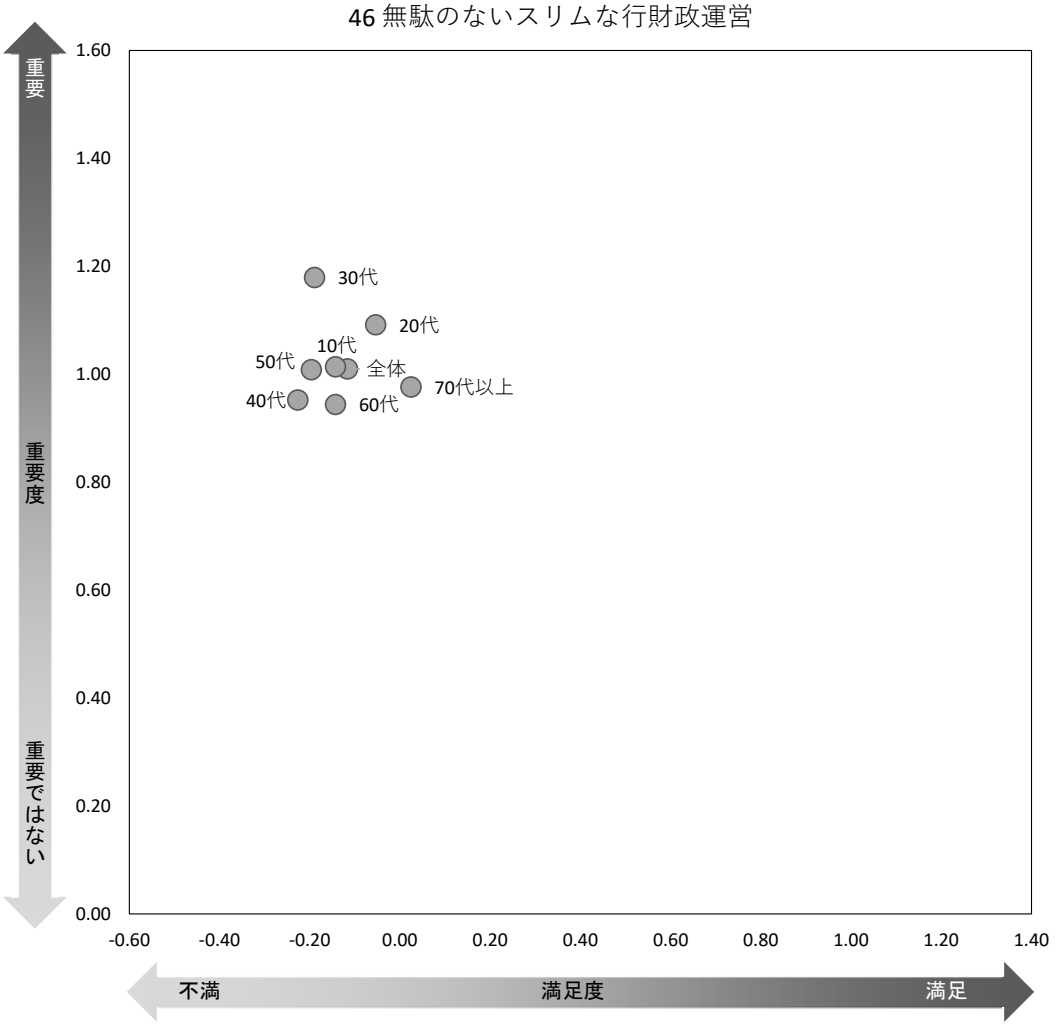


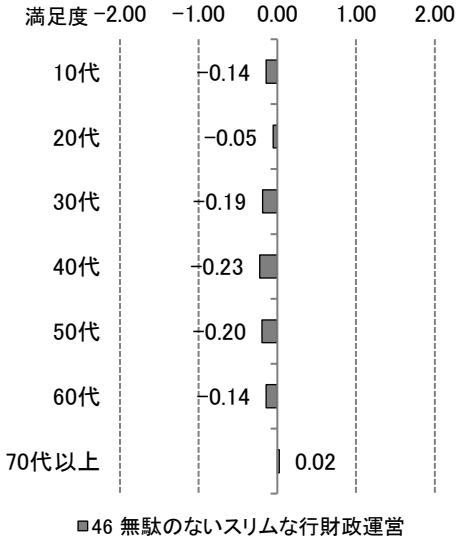
■45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進

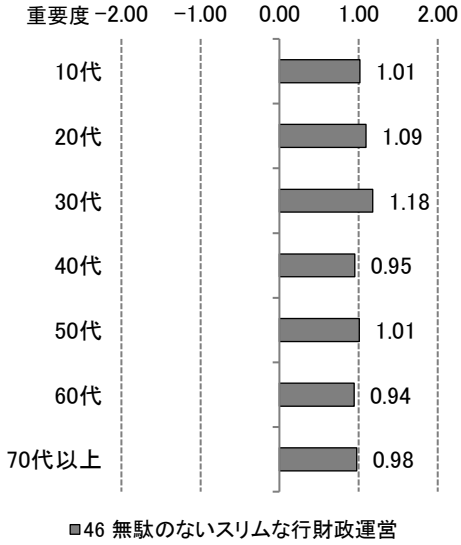


■45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進

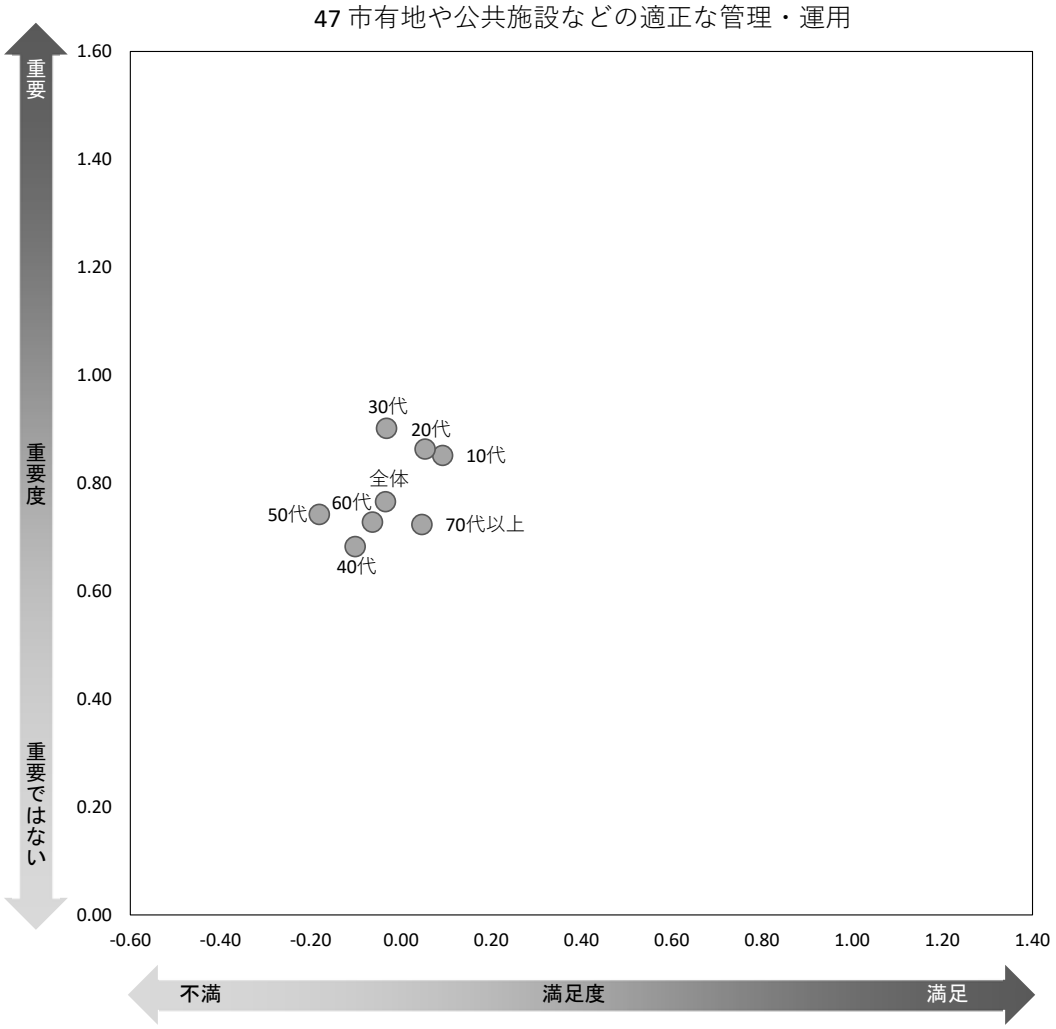
46 無駄のないスリムな行財政運営

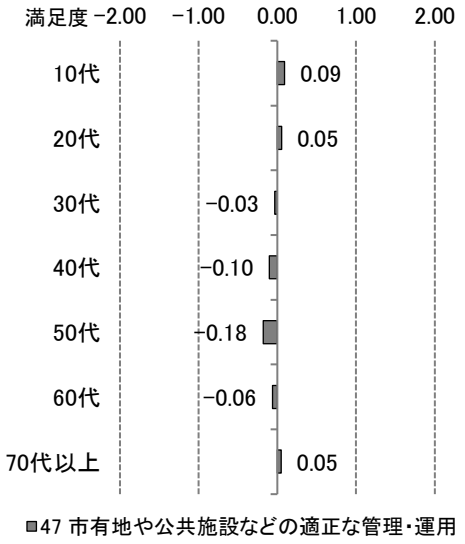


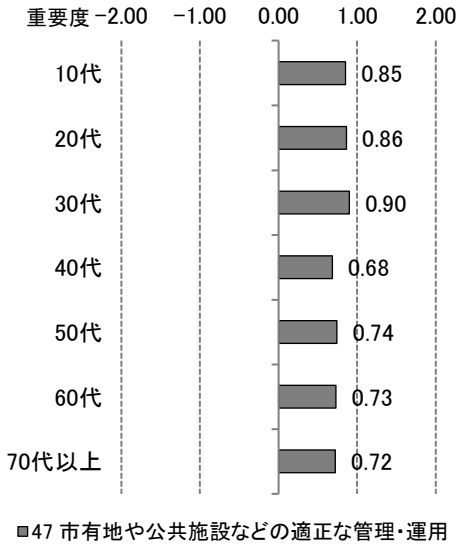




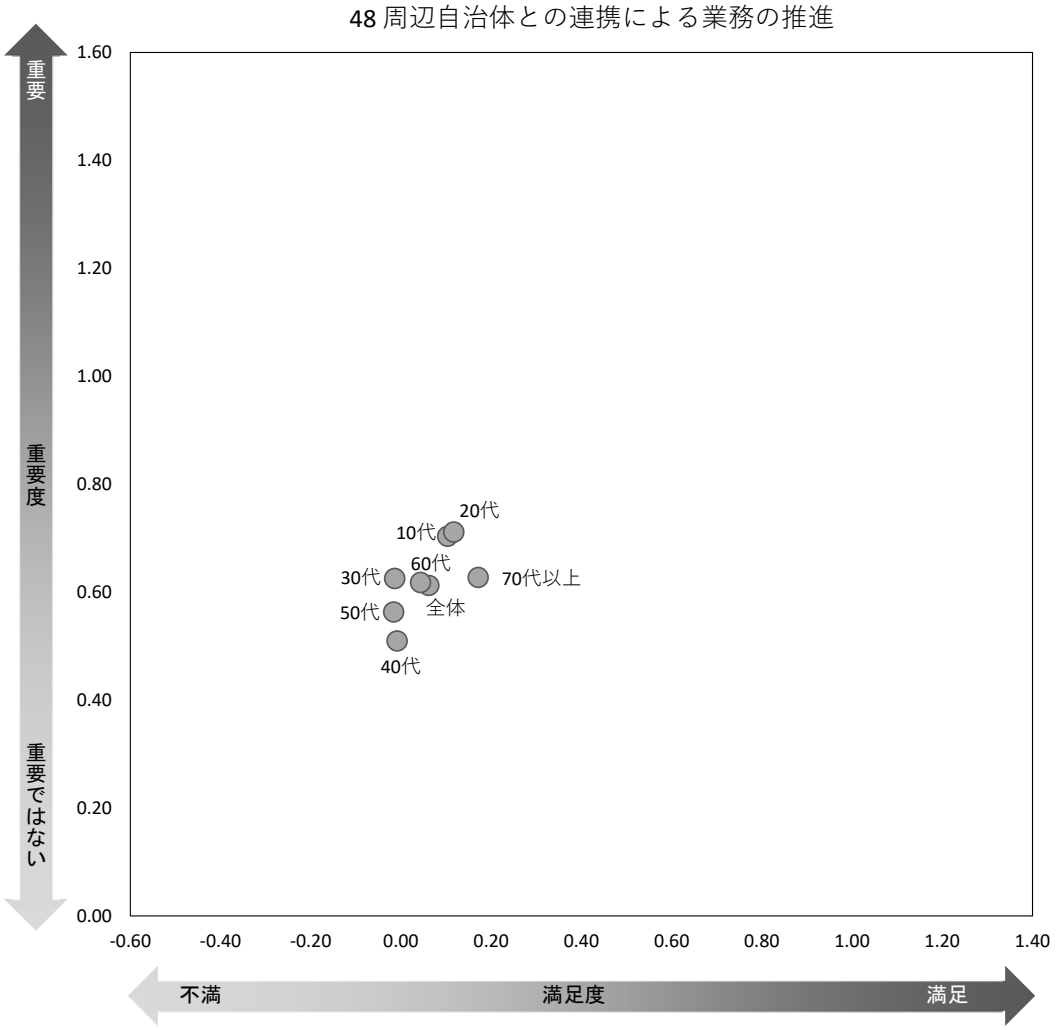
47 市有地や公共施設などの適正な管理・運用

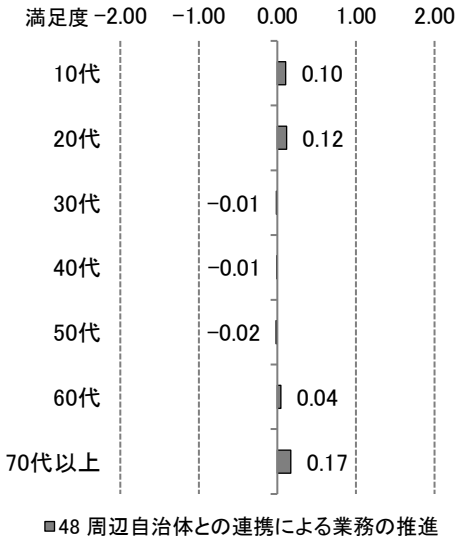


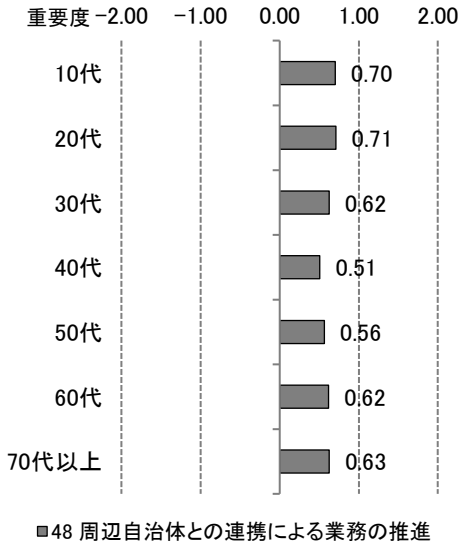




48 周辺自治体との連携による業務の推進

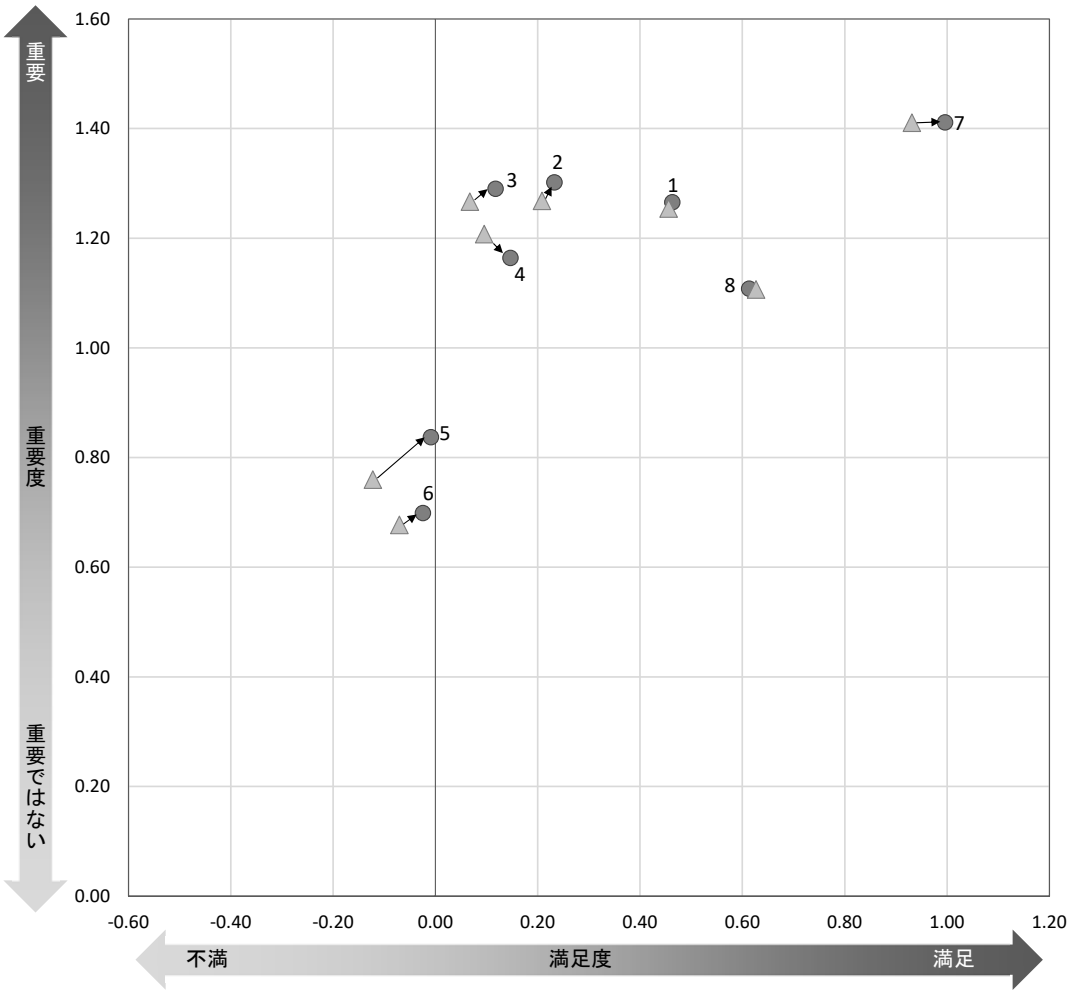






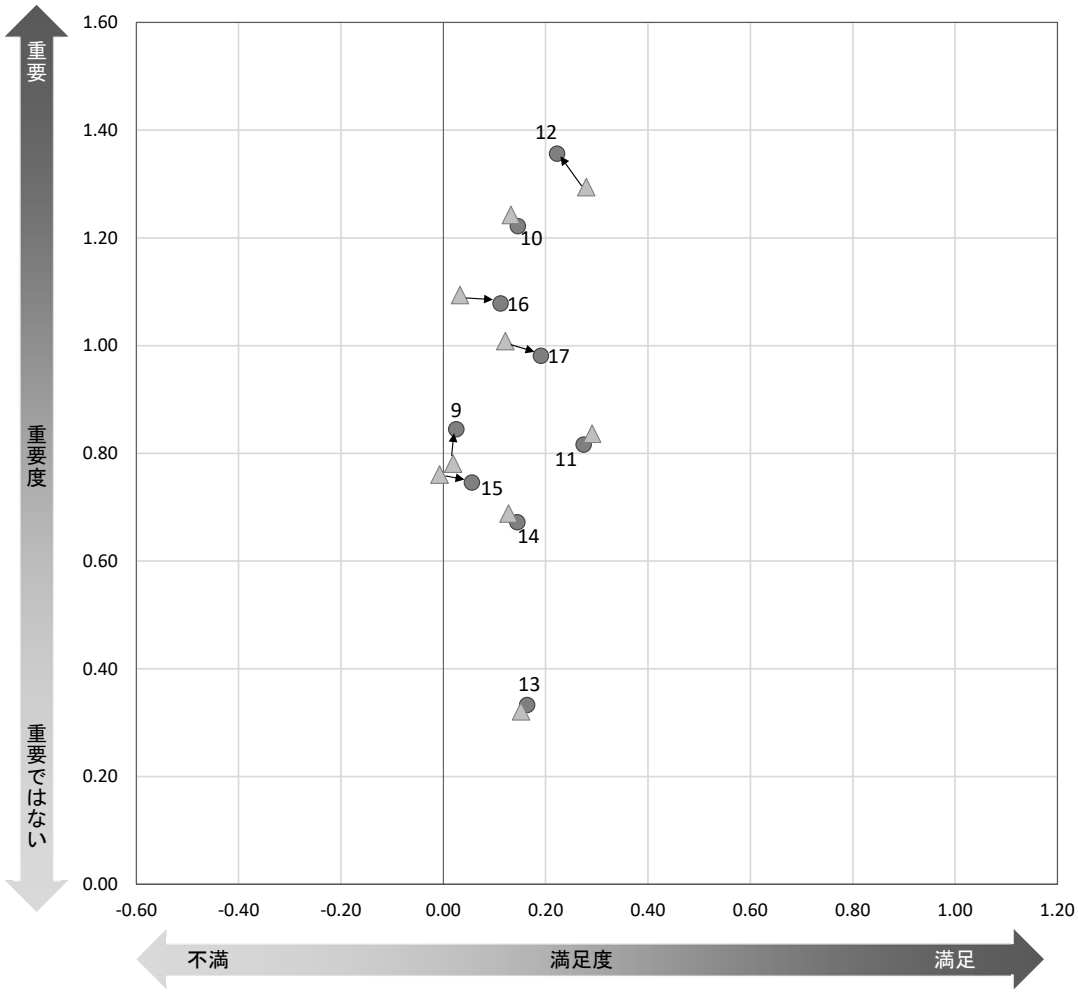
４．分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値）

（１）安全・安心、暮らし分野



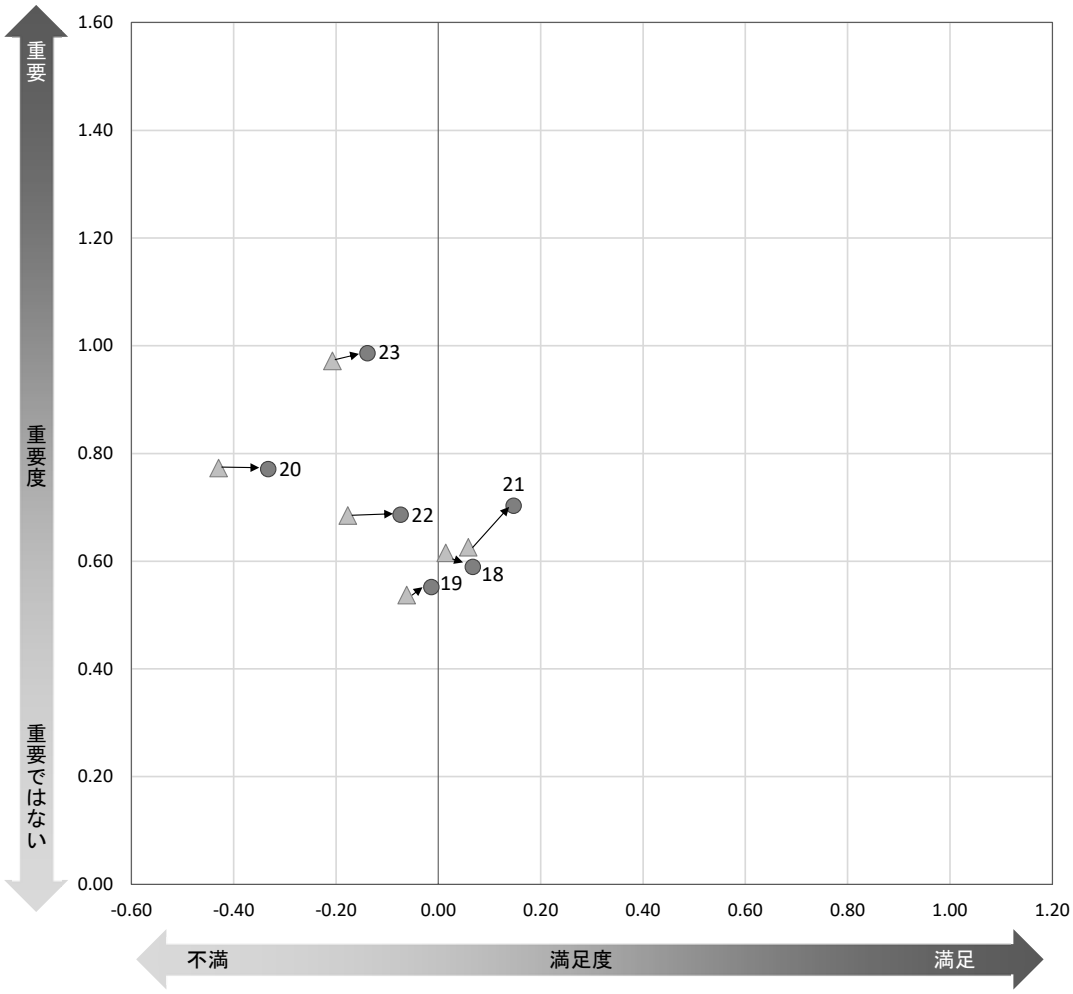
	今回調査 ●		前回（R元年度）調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	0.46	1.27	0.46	1.25
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	0.23	1.30	0.21	1.27
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	0.12	1.29	0.07	1.27
4 交通安全対策の推進	0.15	1.16	0.10	1.21
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	-0.01	0.84	-0.12	0.76
6 移住・定住環境の充実	-0.02	0.70	-0.07	0.68
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	1.00	1.41	0.93	1.41
8 公共下水道整備や水洗化の推進	0.61	1.11	0.63	1.11

（２）健康、福祉、スポーツ分野



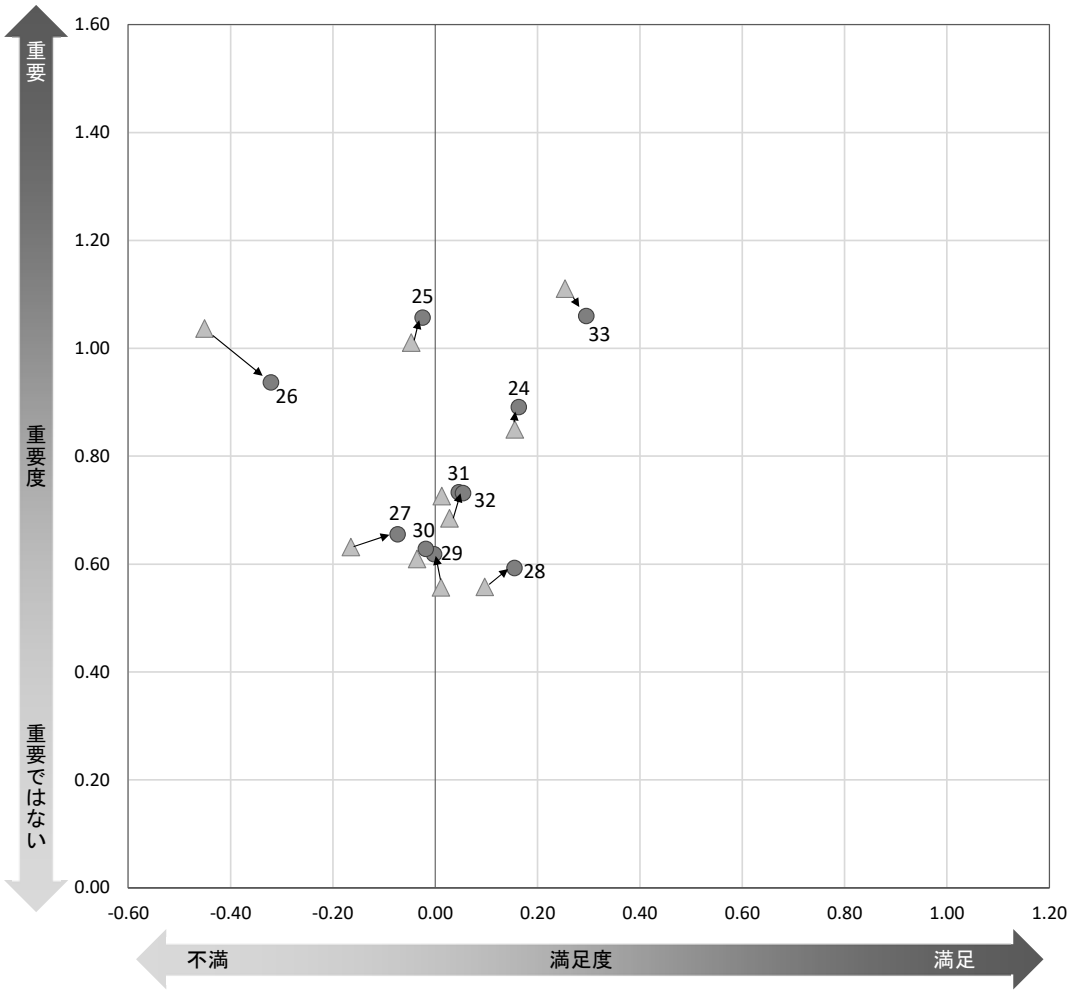
	今回調査 ●		前回（R元年度）調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	0.03	0.84	0.02	0.78
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	0.15	1.22	0.13	1.24
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	0.27	0.82	0.29	0.84
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	0.22	1.36	0.28	1.29
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	0.16	0.33	0.15	0.32
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	0.14	0.67	0.13	0.69
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	0.06	0.75	-0.01	0.76
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	0.11	1.08	0.03	1.09
17 国民健康保険の円滑な運営	0.19	0.98	0.12	1.01

（３）産業分野



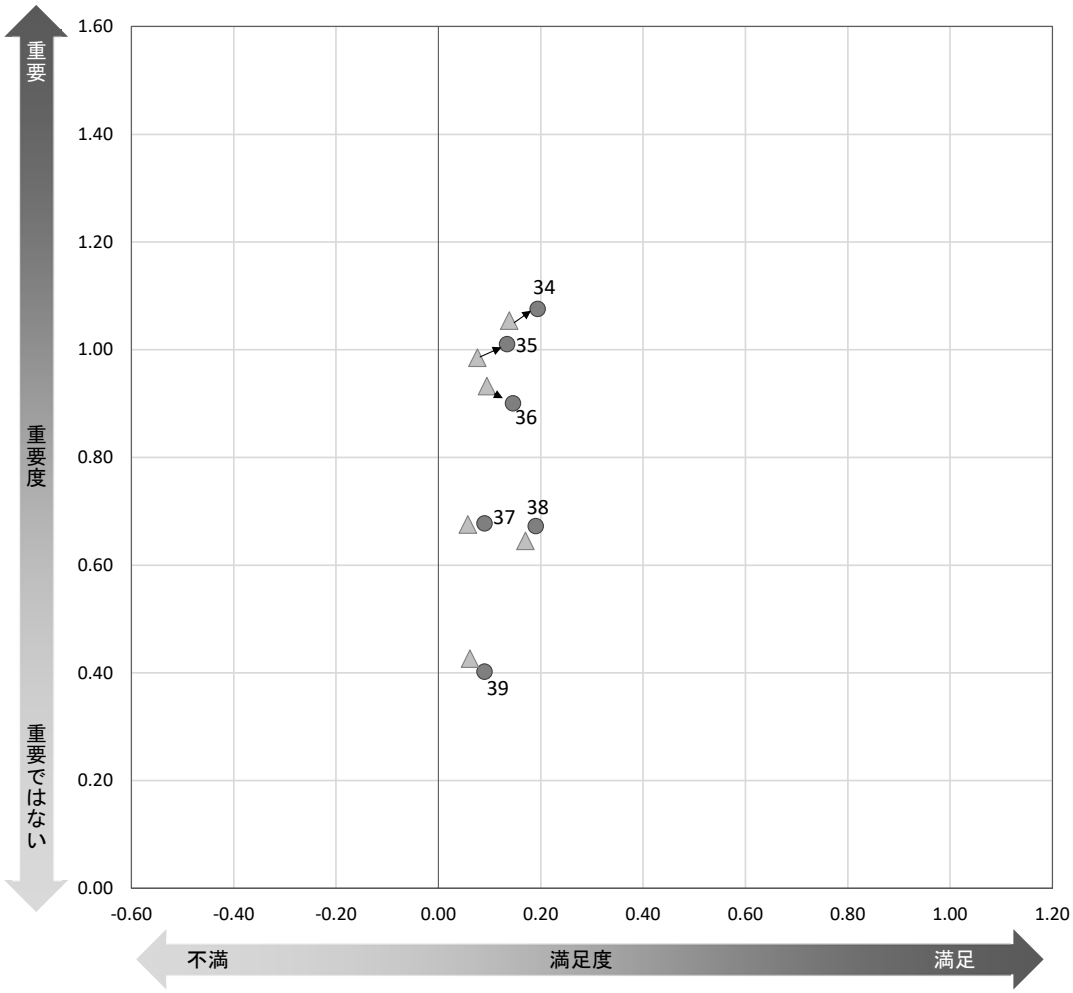
	今回調査 ●		前回（R元年度）調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	0.07	0.59	0.01	0.62
19 創業・活性化支援による工業の振興	-0.01	0.55	-0.06	0.54
20 商店街の活性化と商業の振興	-0.33	0.77	-0.43	0.77
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	0.15	0.70	0.06	0.63
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	-0.07	0.69	-0.18	0.69
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	-0.14	0.99	-0.21	0.97

（４）都市基盤、自然環境分野



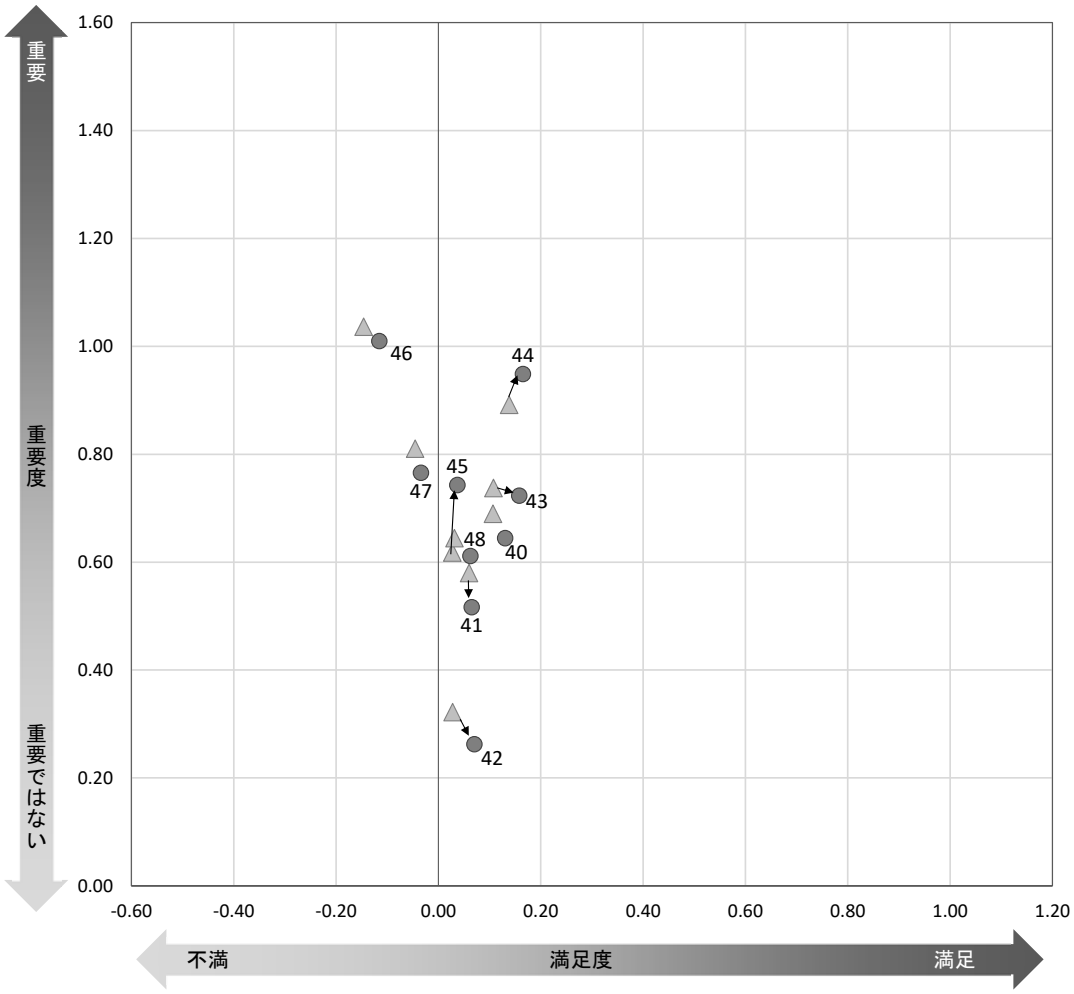
	今回調査 ●		前回（R元年度）調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	0.16	0.89	0.16	0.85
25 生活に身近な道路の整備	-0.02	1.06	-0.05	1.01
26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	-0.32	0.94	-0.45	1.04
27 良好な市街地の形成	-0.07	0.66	-0.16	0.63
28 自然景観や歴史的景観などを守る活動	0.16	0.59	0.10	0.56
29 身近な公園などの整備	0.00	0.62	0.01	0.56
30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	-0.02	0.63	-0.04	0.61
31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	0.05	0.73	0.01	0.73
32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	0.05	0.73	0.03	0.69
33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	0.30	1.06	0.25	1.11

（５）教育、文化分野



	今回調査 ●		前回（R元年度）調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
34 小・中学校の教育の充実	0.19	1.08	0.14	1.05
35 小・中学校の施設の充実	0.13	1.01	0.08	0.99
36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	0.15	0.90	0.09	0.93
37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	0.09	0.68	0.06	0.68
38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	0.19	0.67	0.17	0.65

（６）自治、協働分野



	今回調査 ●		前回（R元年度）調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	0.13	0.64	0.06	0.43
40 人権意識の向上と平和な社会の推進	0.06	0.52	0.11	0.69
41 あらゆる分野での男女共同参画の推進	0.07	0.26	0.06	0.58
42 国内外の交流都市との交流連携の強化	0.16	0.72	0.03	0.32
43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	0.16	0.95	0.11	0.74
44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	0.04	0.74	0.14	0.89
45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	-0.12	1.01	0.03	0.62
46 無駄のないスリムな行財政運営	-0.03	0.77	-0.15	1.04
47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用	0.06	0.61	-0.05	0.81
48 周辺自治体との連携による業務の推進	0.13	0.64	0.03	0.64

５．市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による３区分比較

（１）目的

市民の幅広いニーズや意見を把握するため、市民意識調査及び中学生・高校生意識調査を統合し、「10 代」「20 代から 50 代」「60 代以上」の 3 区分に分け、比較分析を行いました。

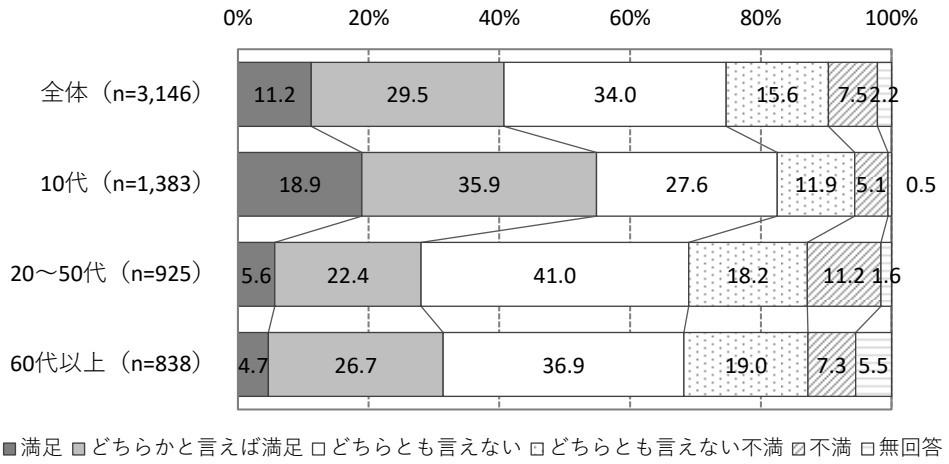
（２）設問比較対照表

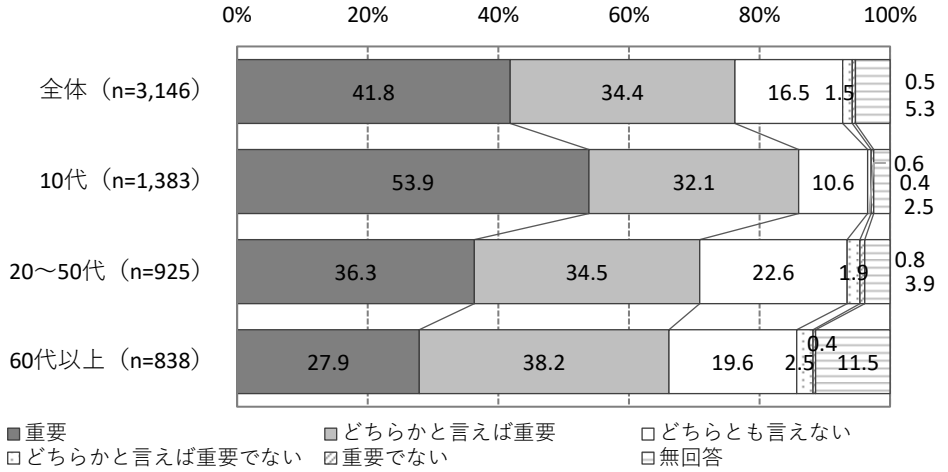
No.	設問内容		
1	市の取組の満足度・重要度		
	No.	市民意識調査　問 4	中学生・高校生意識調査　問 1
	①	25 生活に身近な道路の整備	1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる
	②	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している
	③	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	3 森林や河川などの自然環境が豊かである
	④	27 良好な市街地の形成	4 市街地が整備され、快適に暮らせる
	⑤	2 災害などの発生に備える防災機能の強化	5 災害などに備える防災機能が整備されている
	⑥	3 安心して暮らせる防犯体制の整備	6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている
	⑦	29 身近な公園などの整備	7 身近な公園や広場が整備されている
	⑧	12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	8 病院・診療所などの医療サービスが充実している
	⑨	10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
	⑩	14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	
	⑪	15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	
	⑫	34 小・中学校の教育の充実	10 学校の教育や施設が充実している
	⑬	35 小・中学校の施設の充実	
	⑭	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	11 地域の祭など伝統文化が豊かである
	⑮	20 商店街の活性化と商業の振興	12 日々の買い物が便利である
	⑯	21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	13 観光地やレジャー施設が充実している
	⑰	22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	
	⑱	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	14 地域のボランティア団体などが充実している
	⑲	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	15 市からの情報が充実している
2	インターネットの利用環境について		
		市民意識調査　問 11	中学生・高校生意識調査　問 2
3	環境問題について		
		市民意識調査　問 12	中学生・高校生意識調査　問 3
		市民意識調査　問 13	中学生・高校生意識調査　問 4
		市民意識調査　問 14	中学生・高校生意識調査　問 5
4	公民館について		
		市民意識調査　問 22	中学生・高校生意識調査　問 8
		市民意識調査　問 23	中学生・高校生意識調査　問 9
		市民意識調査　問 24	中学生・高校生意識調査　問 10

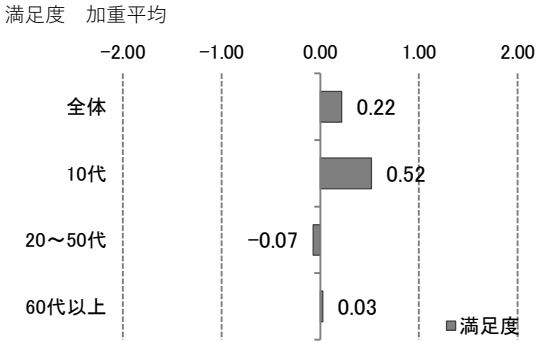
（３）比較結果

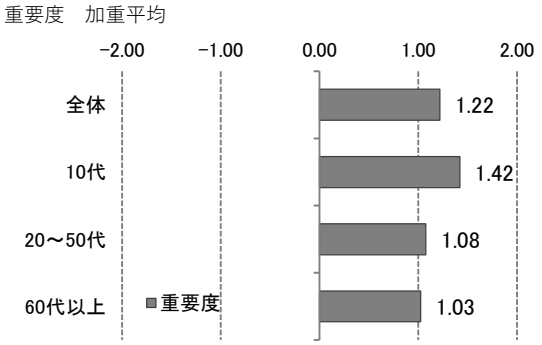
No.1　市の取組の満足度・重要度

1－①　市　民_　25 生活に身近な道路の整備
　　中高生_　 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる

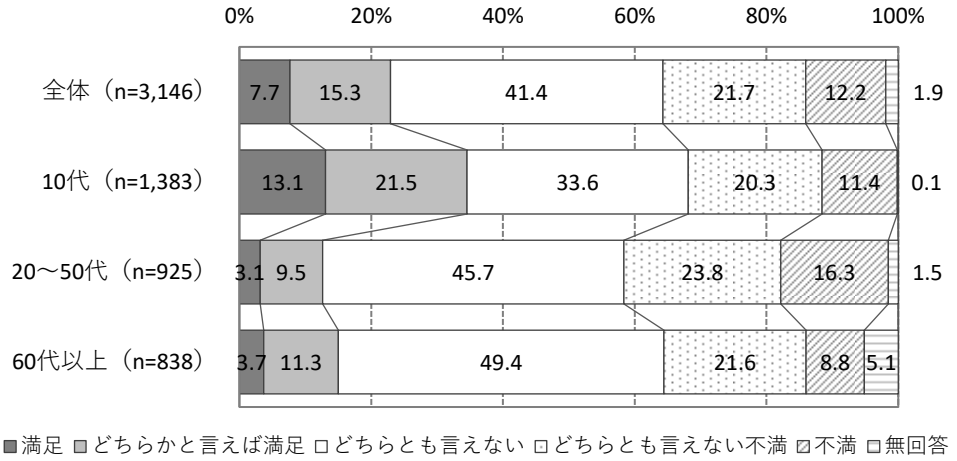


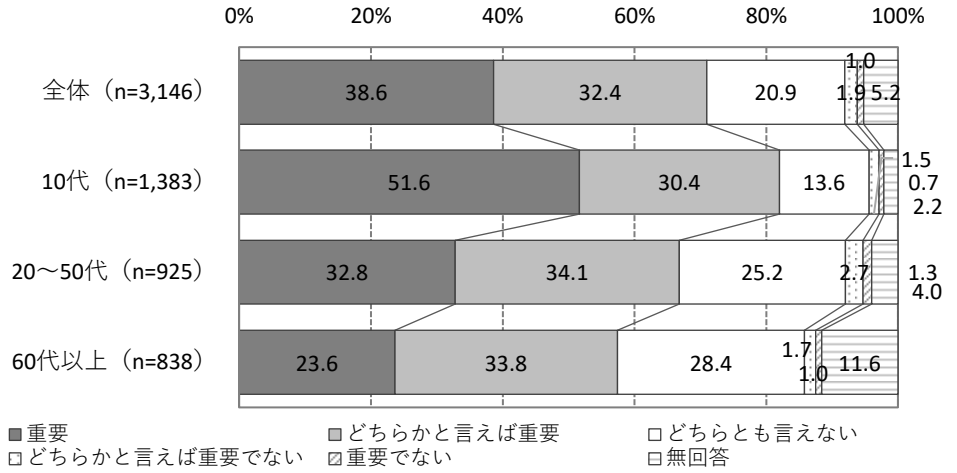


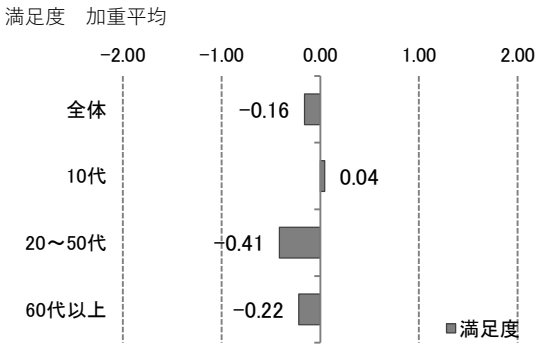


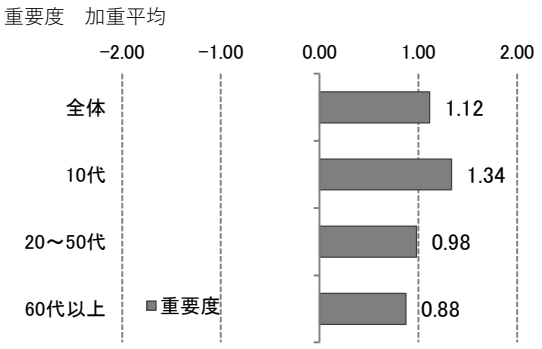


1ー②　市　民_　26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
　　中高生_　 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している

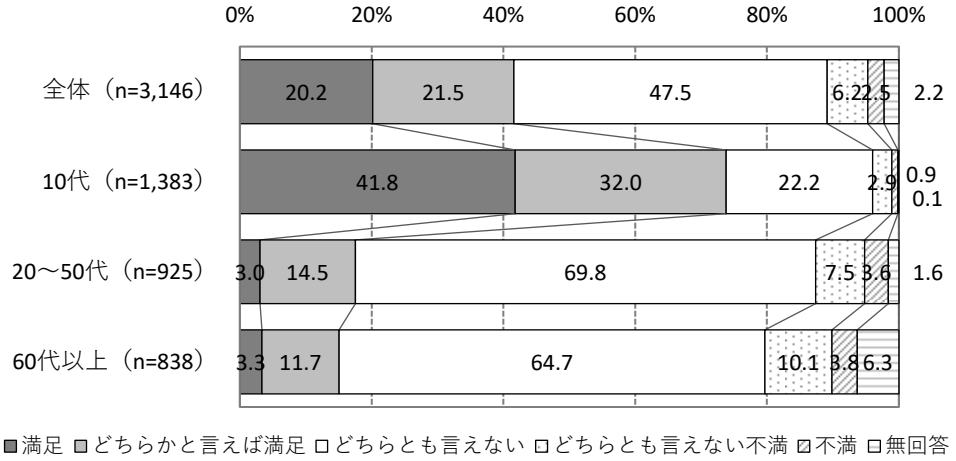


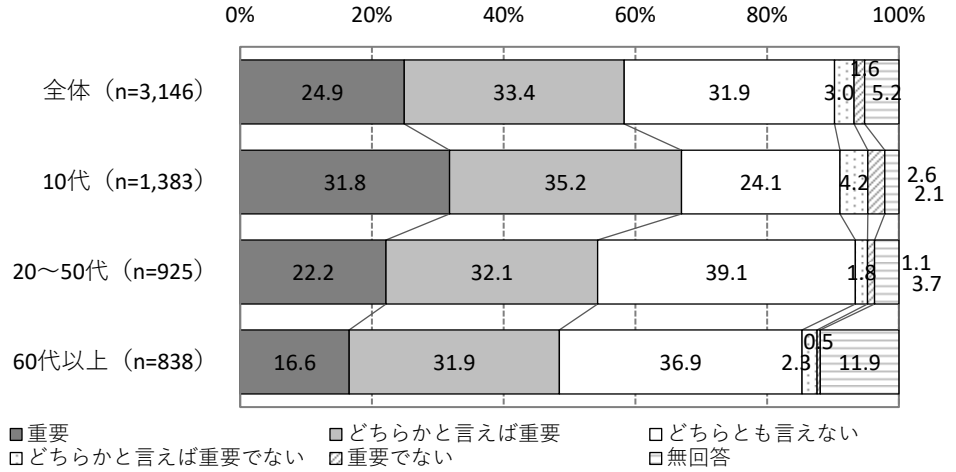


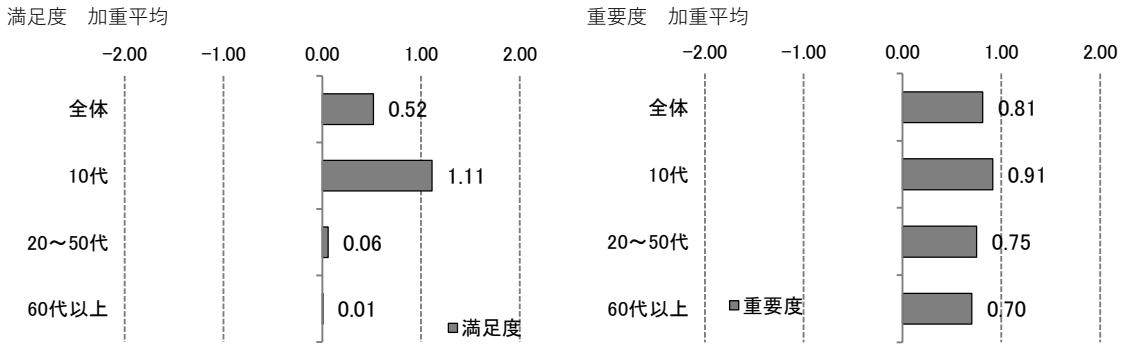




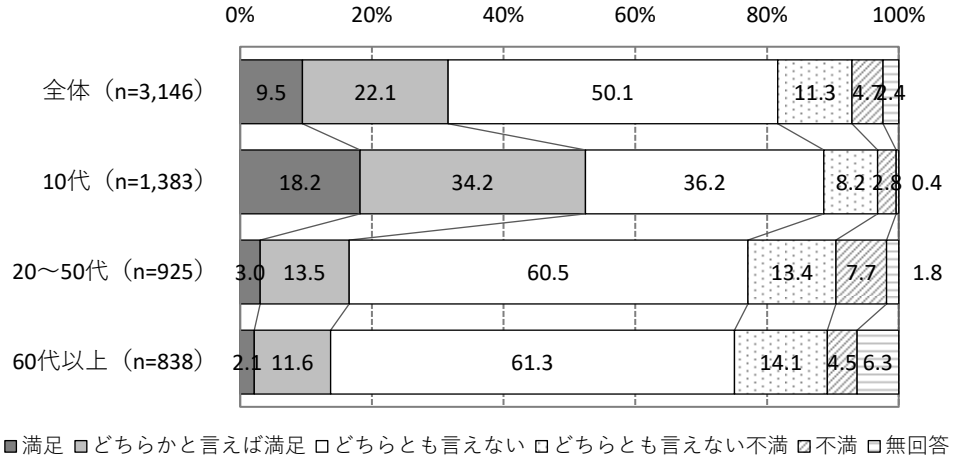
1ー③　市　民_　31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
　　中高生_　 3 森林や河川などの自然環境が豊かである

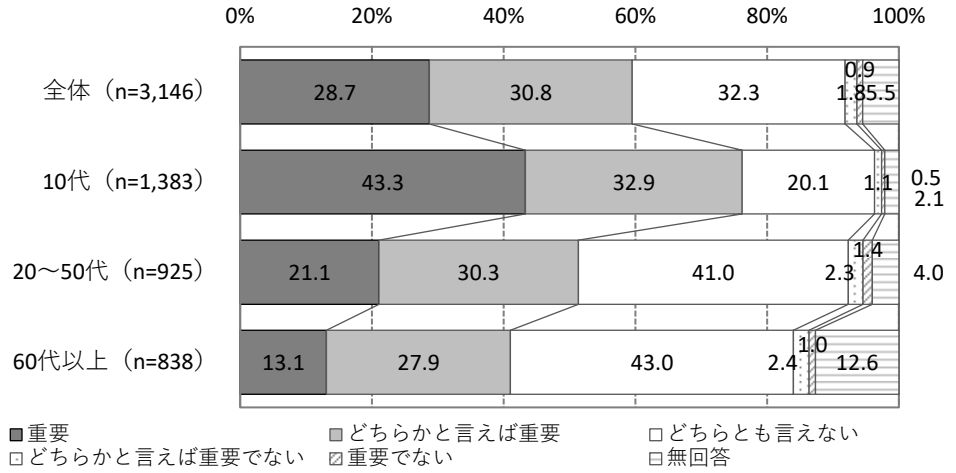


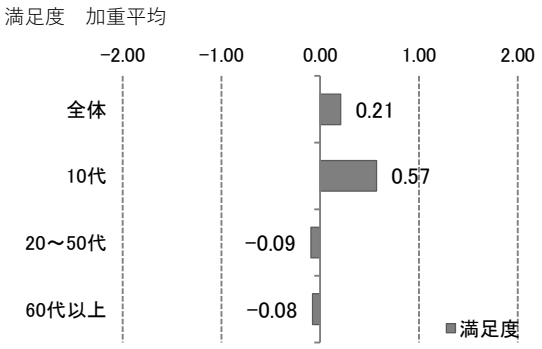


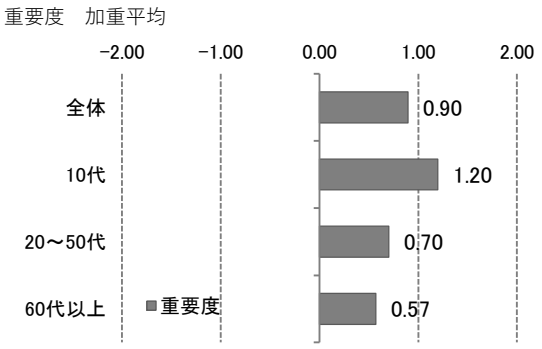


1ー④　市　民_　27 良好な市街地の形成
　　中高生_　 4 市街地が整備され、快適に暮らせる

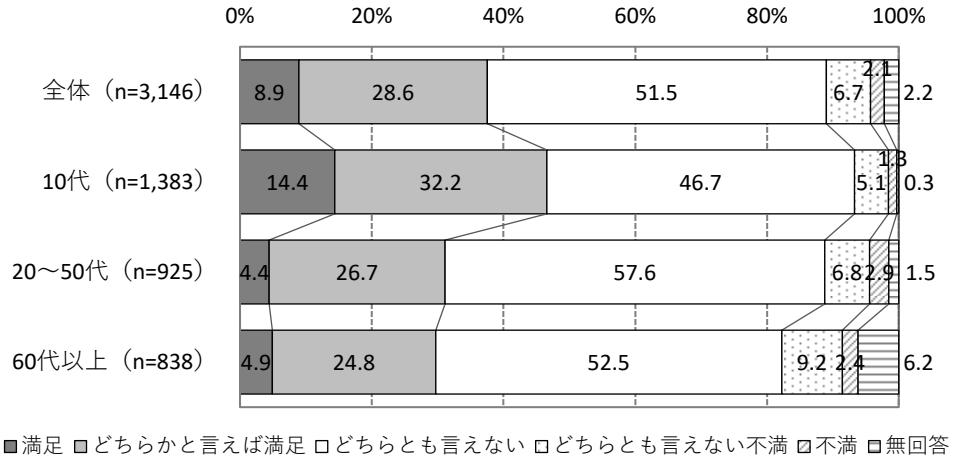


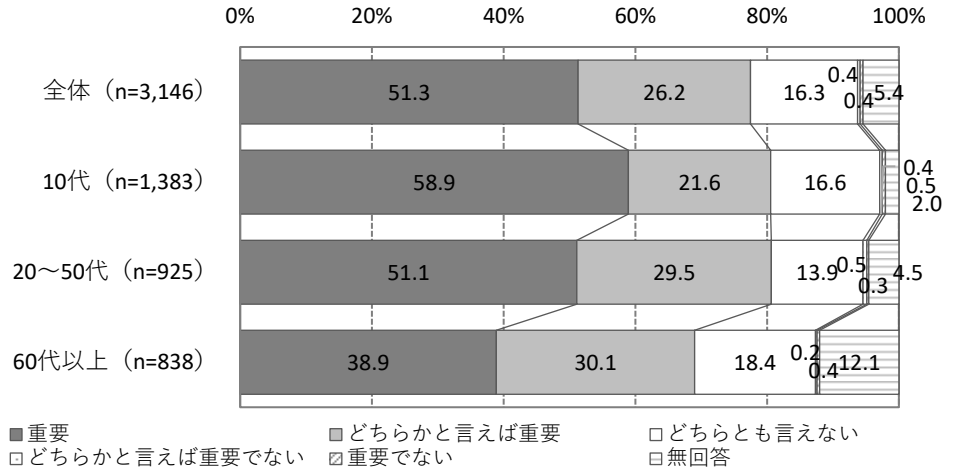


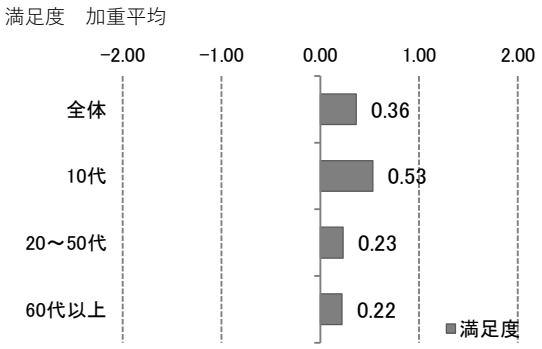


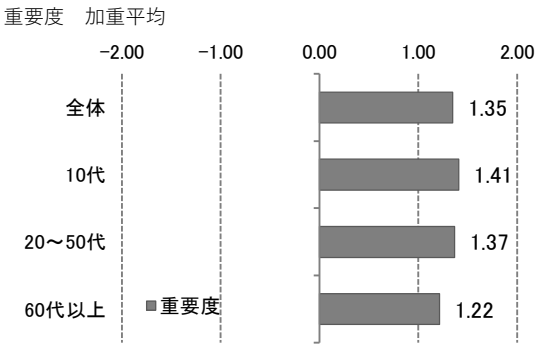


1ー⑤　市　民_　2 災害などの発生に備える防災機能の強化
　　中高生_　5 災害などに備える防災機能が整備されている

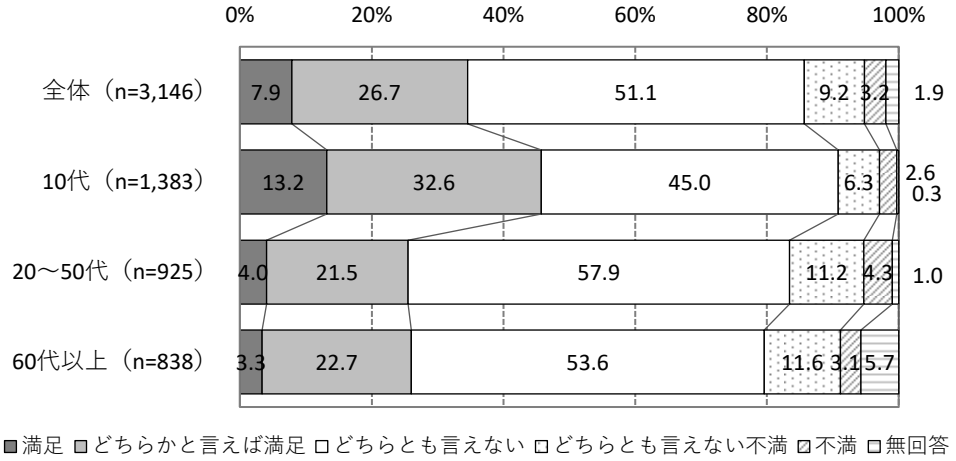


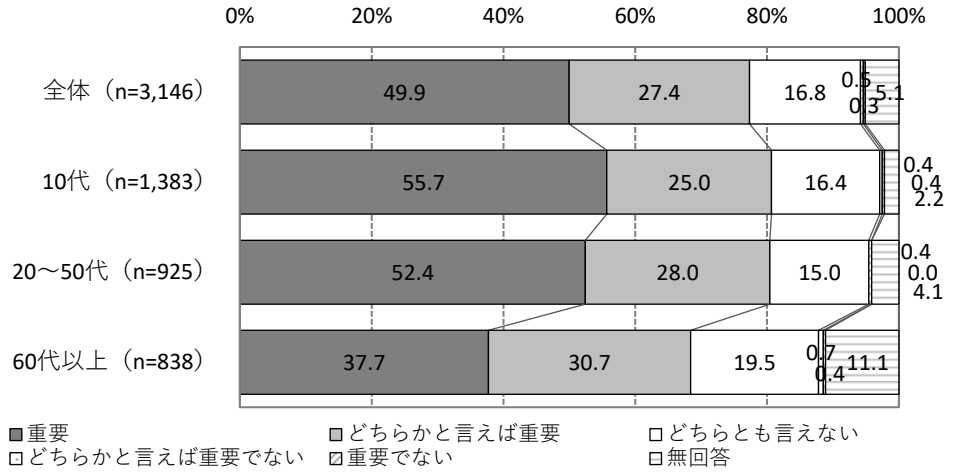


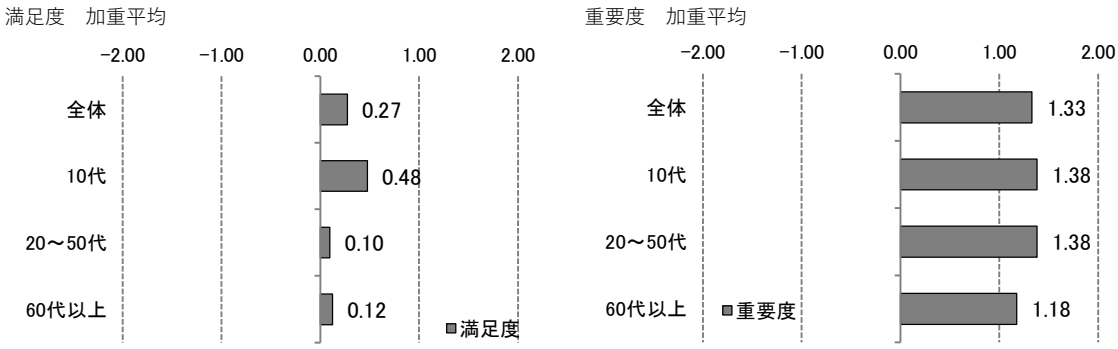




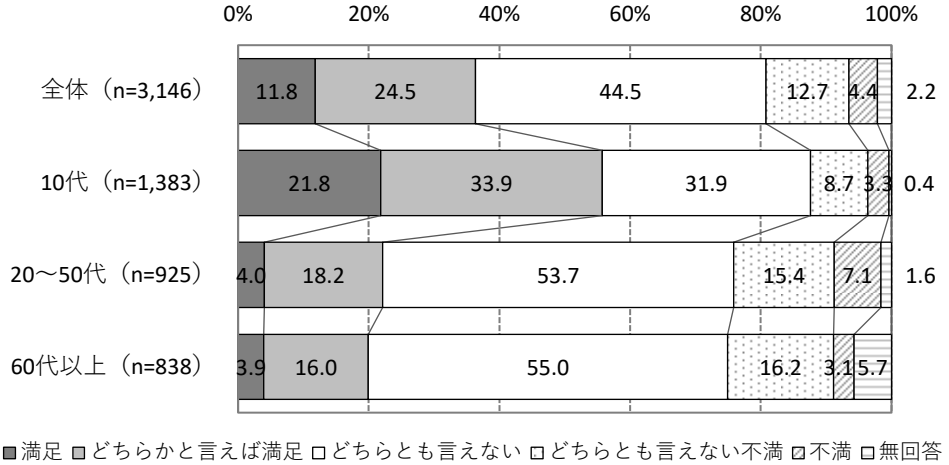
1ー⑥　市　民_　3 安心して暮らせる防犯体制の整備
　　中高生_　6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている

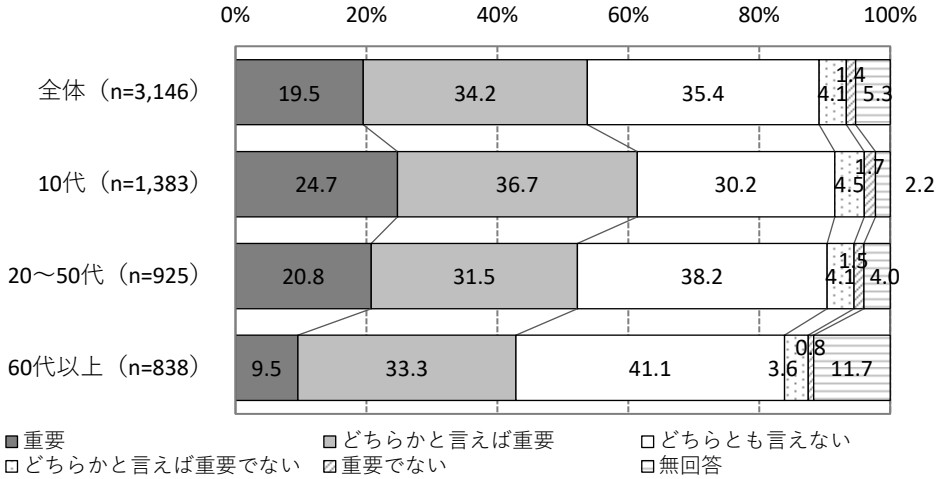


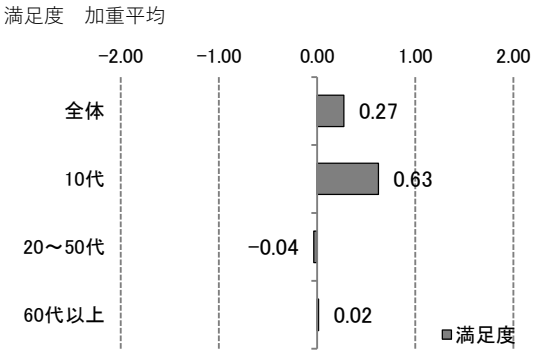


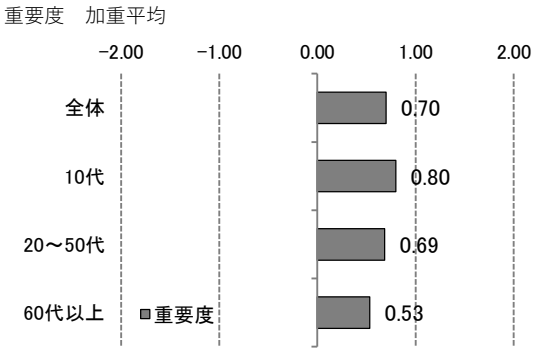


1ー⑦　市　民_　29 身近な公園などの整備
　　中高生_　 7 身近な公園や広場が整備されている

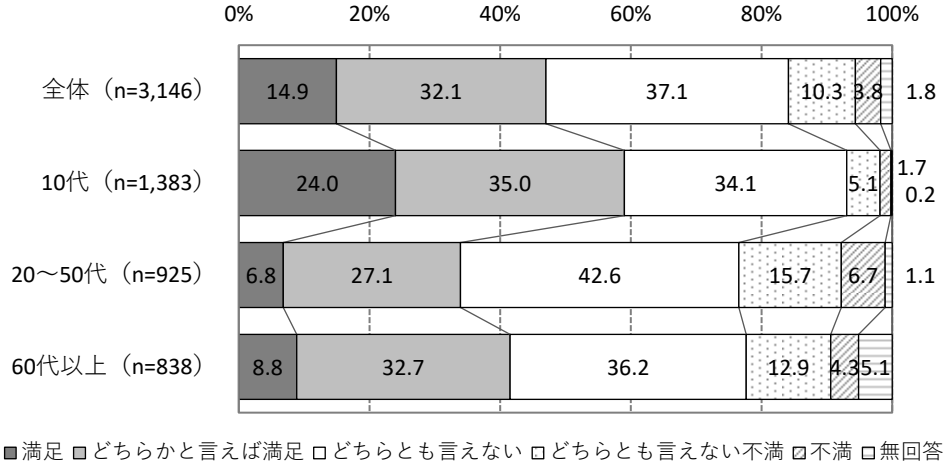


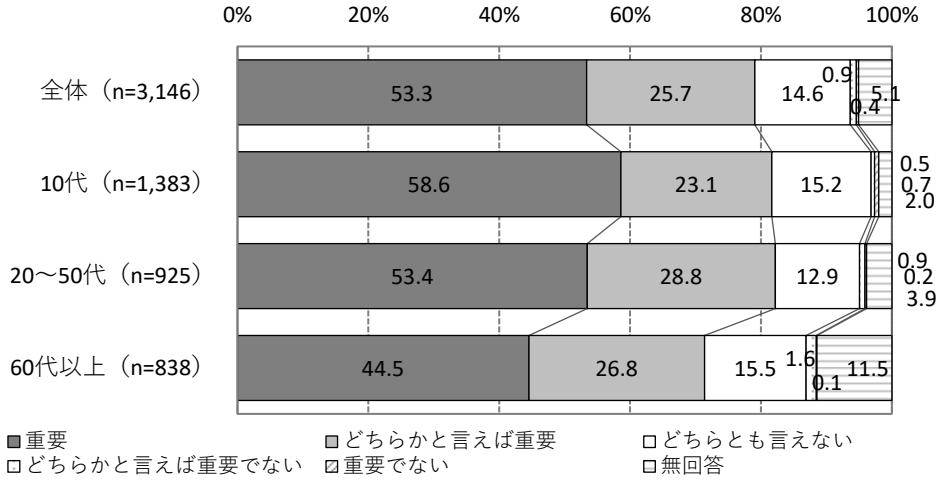


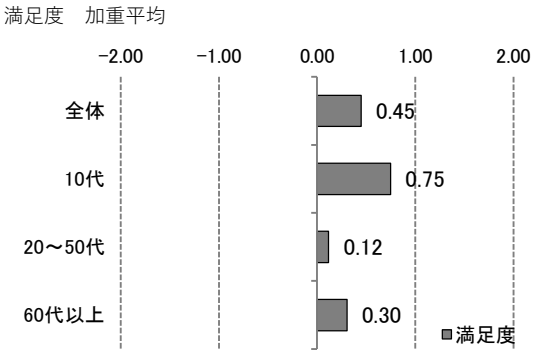


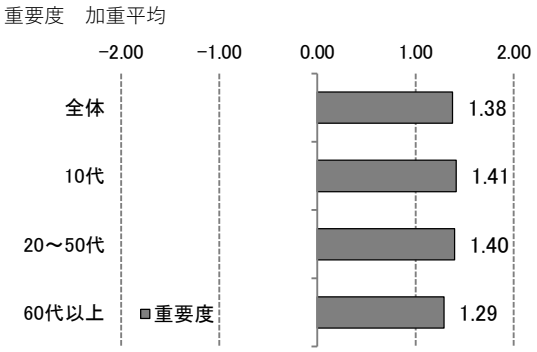


1ー⑧　市　民_　12 市民が安心して受診できる医療体制の充実
　　中高生_　 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している

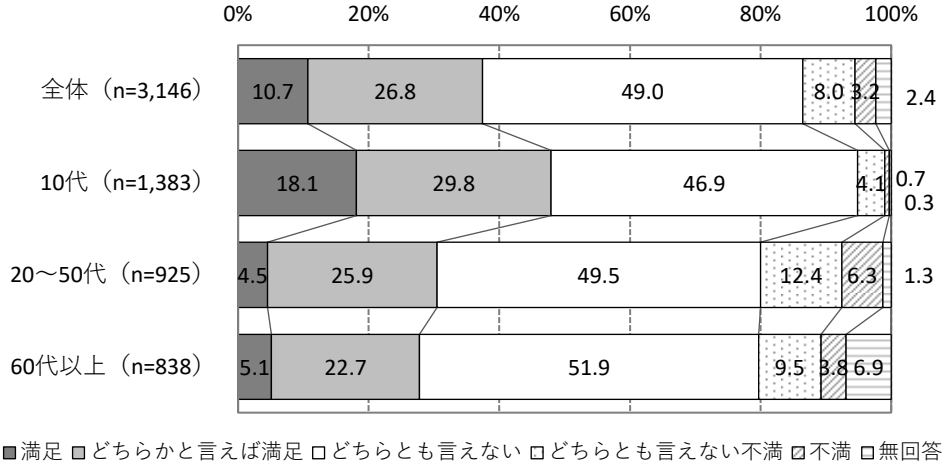


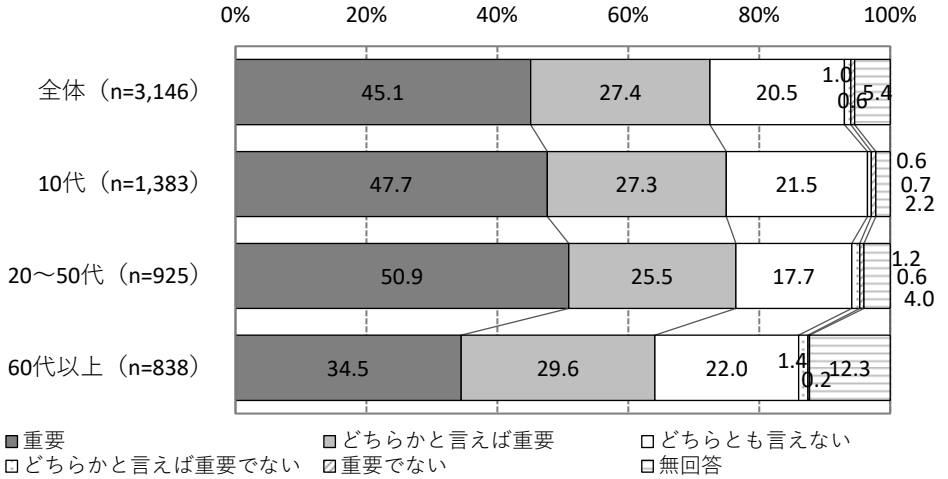


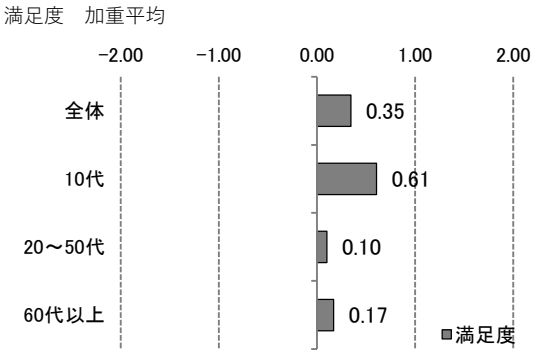


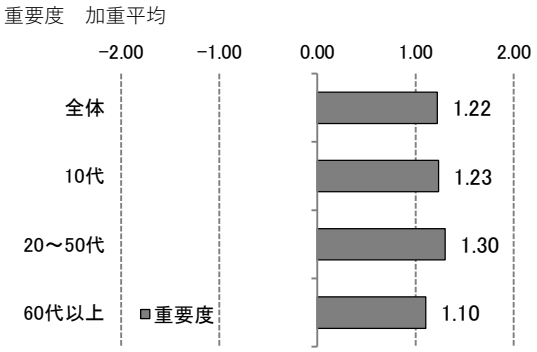


1ー⑨　市　民_　10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実
　　中高生_　 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している

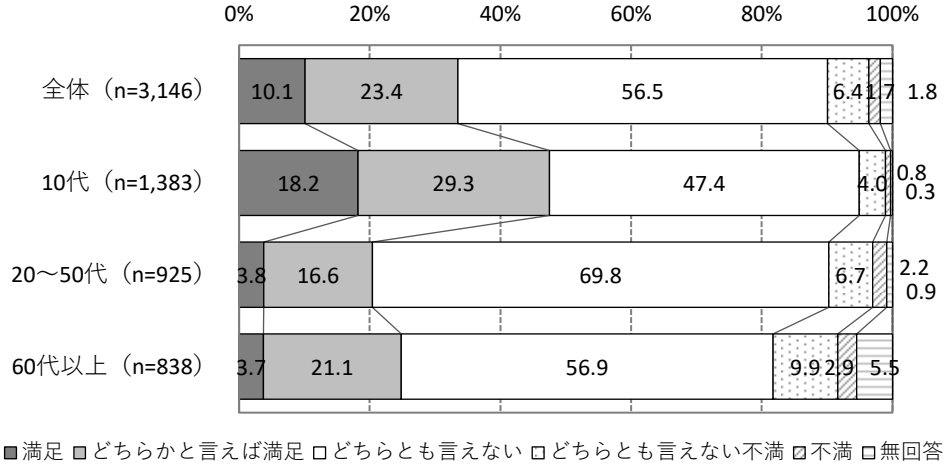


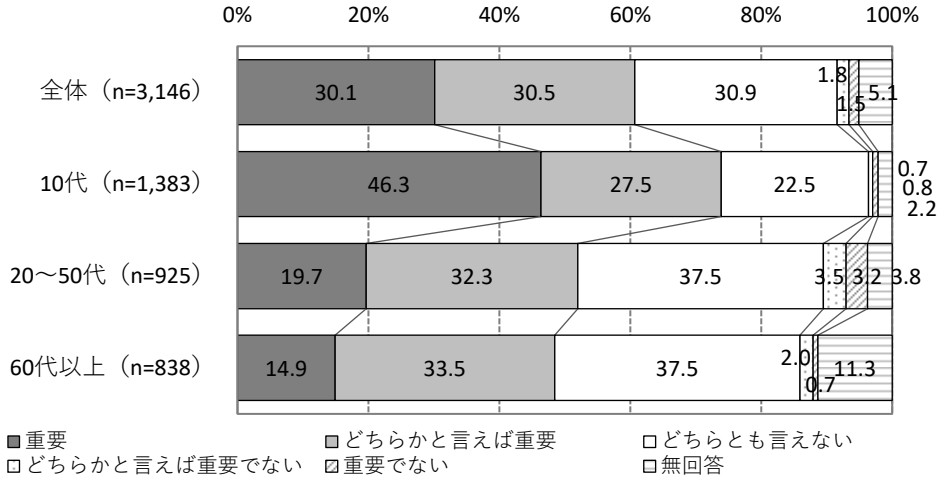


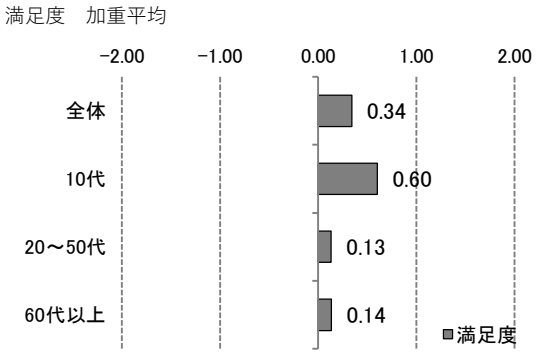


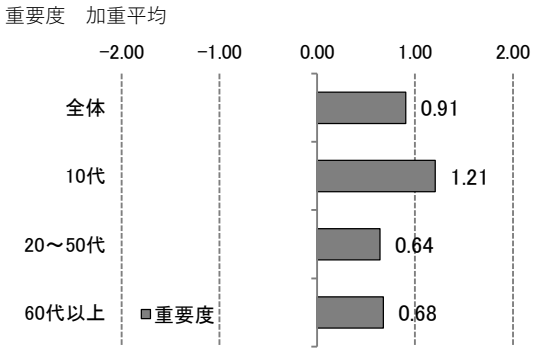


1ー⑩　市　民_　14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
　　中高生_　 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している

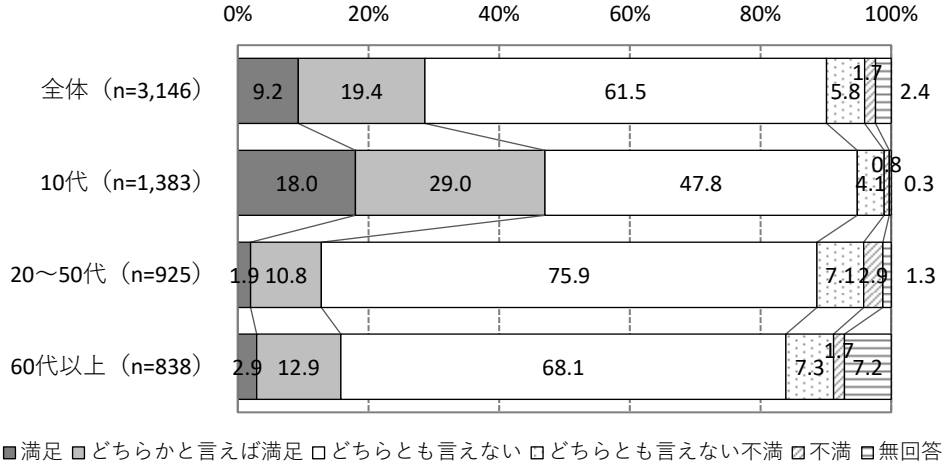


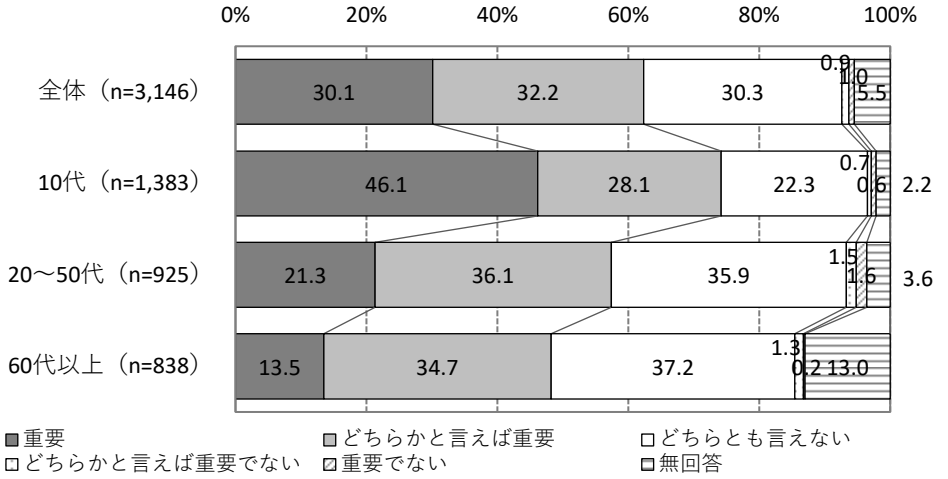


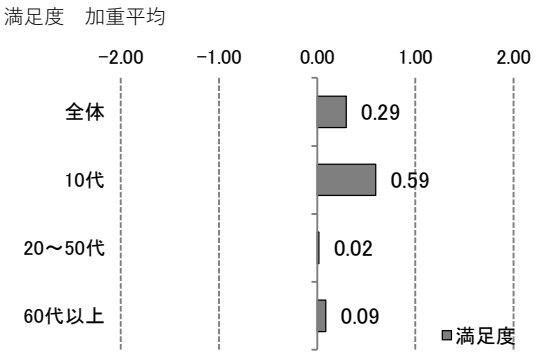


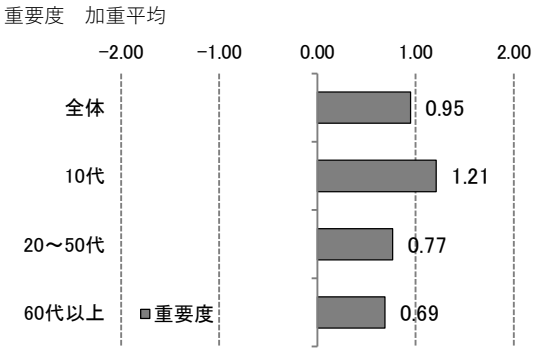


1ー⑪　市　民_　15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
　　中高生_　 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している

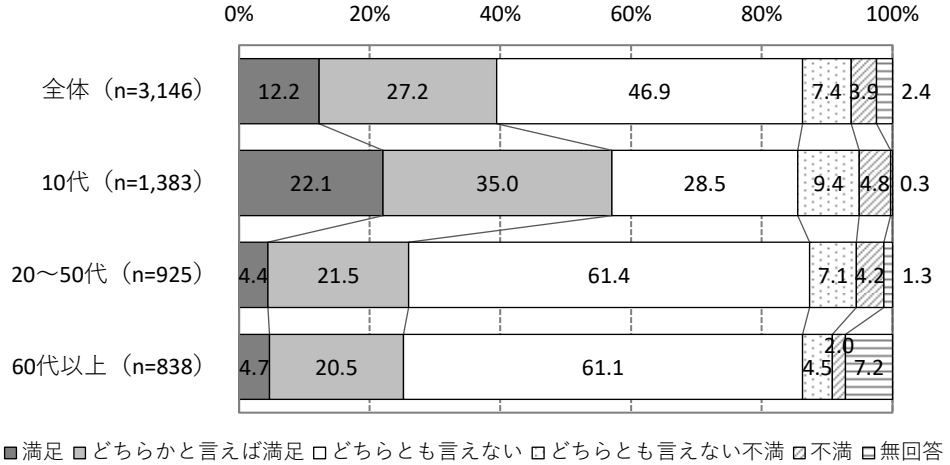


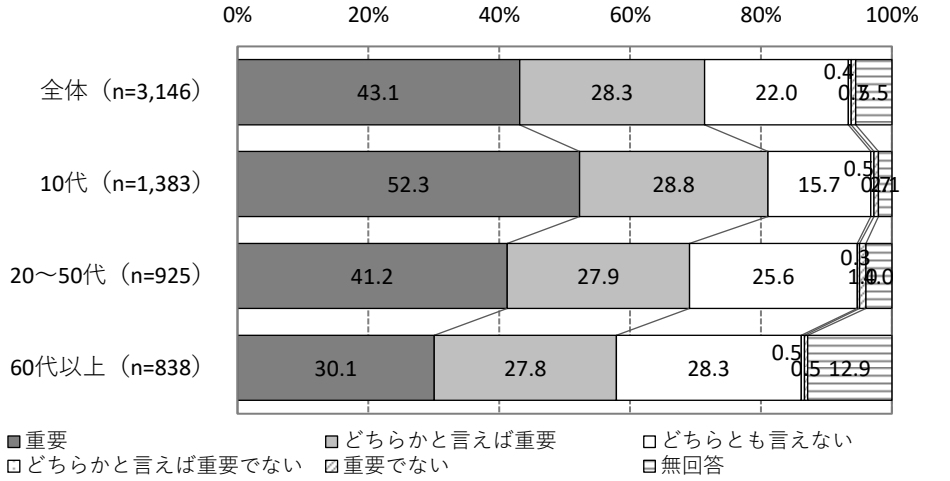


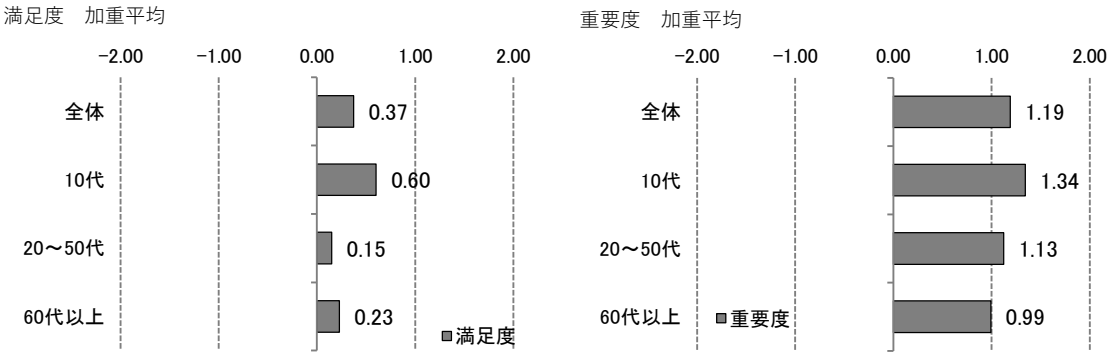




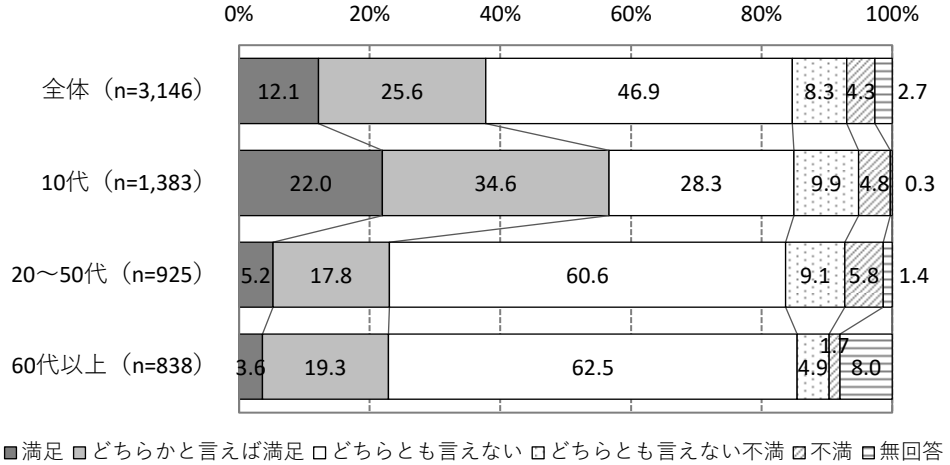
1ー⑫　市　民_　34 小・中学校の教育の充実
　　中高生_　10 学校の教育や施設が充実している

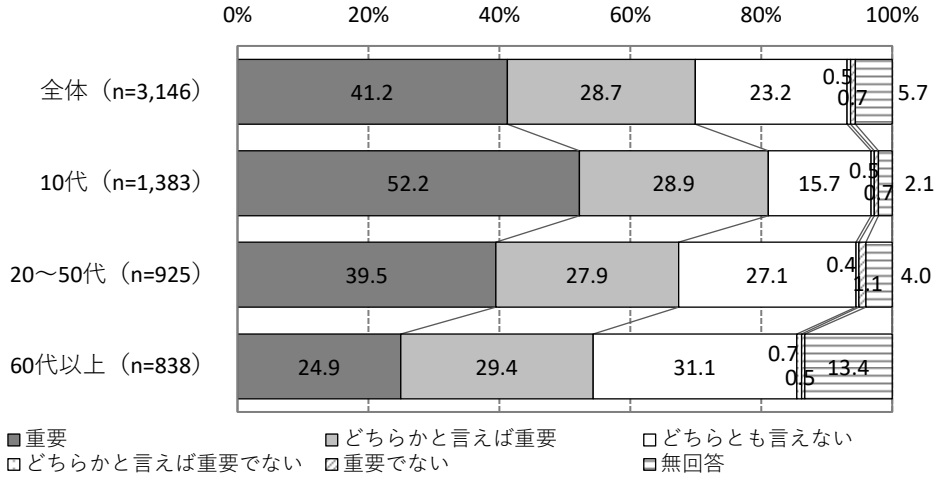


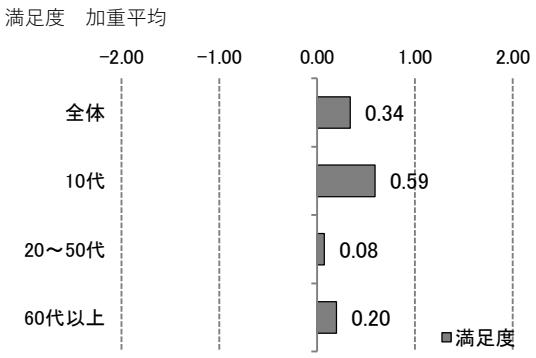


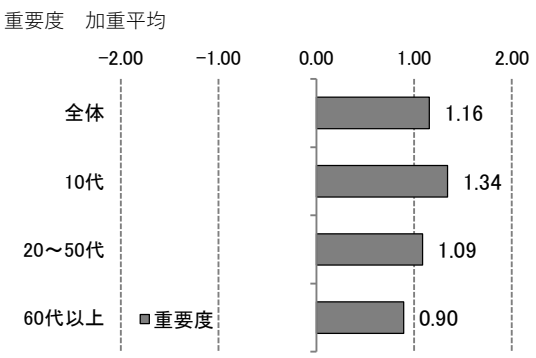


1ー⑬　市　民_　35 小・中学校の施設の充実
　　中高生_　10 学校の教育や施設が充実している

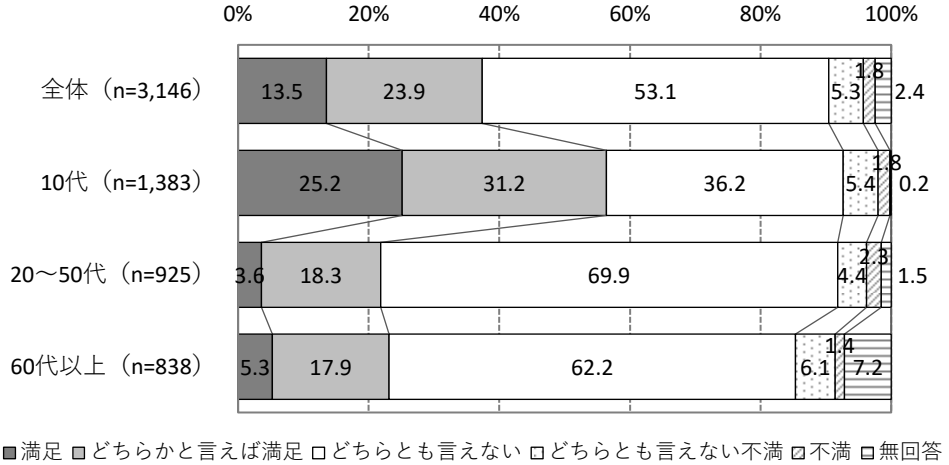


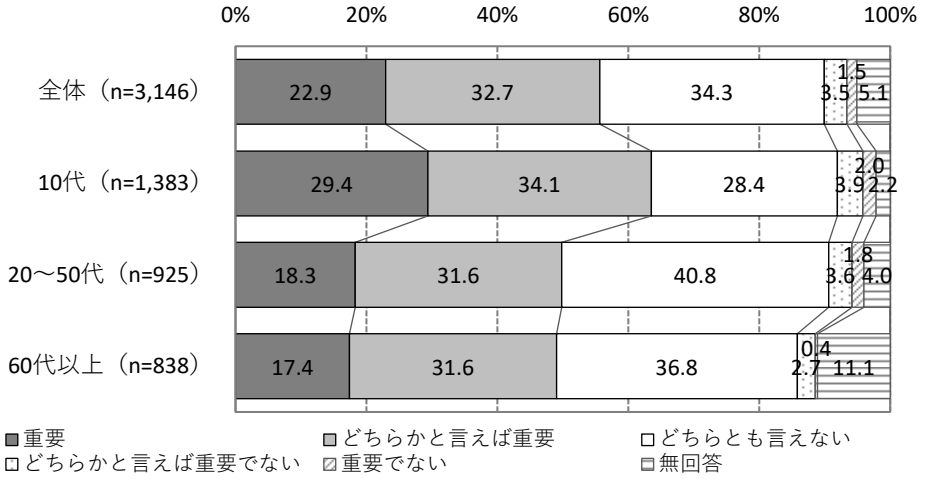


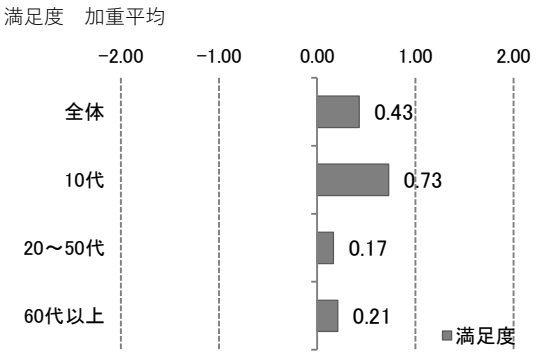


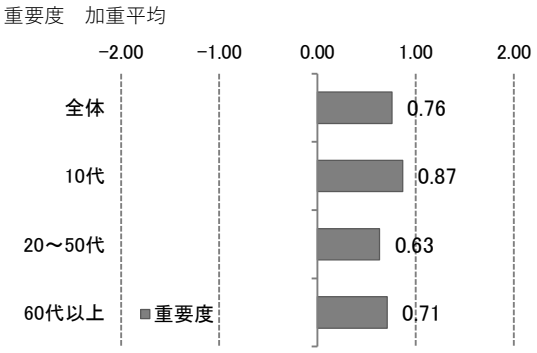


1ー⑭　市　民_　38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
中高生_　11 地域の祭など伝統文化が豊かである

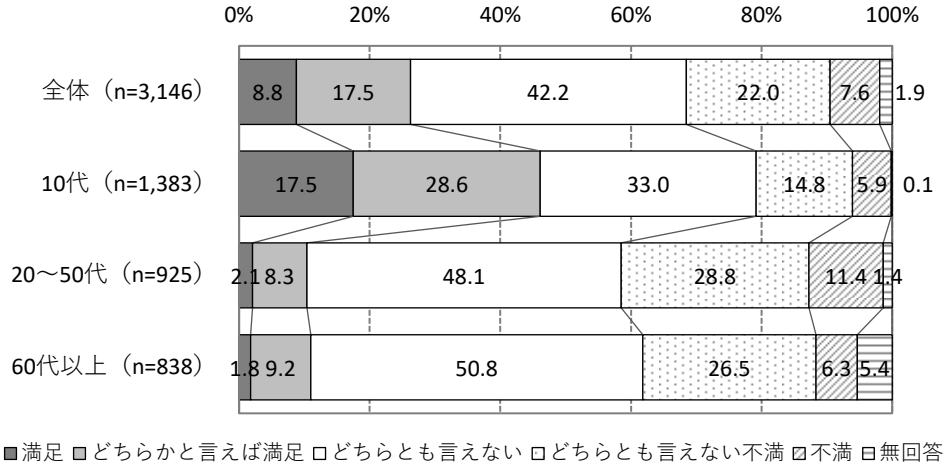


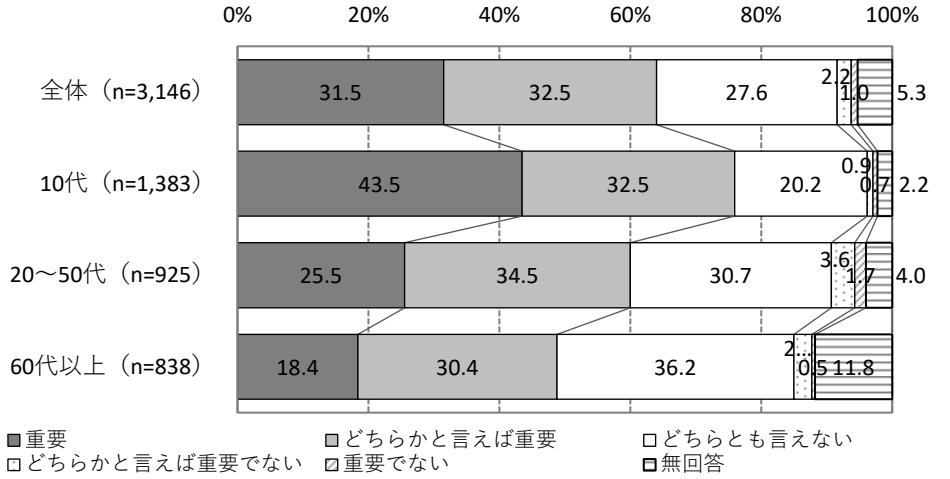


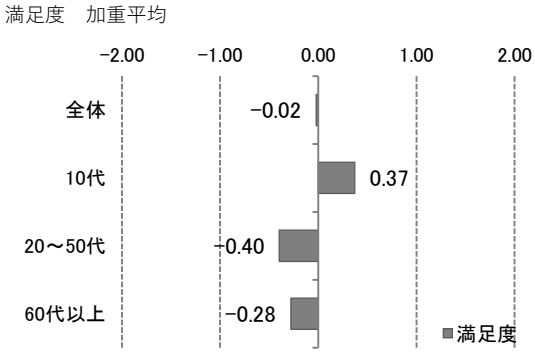


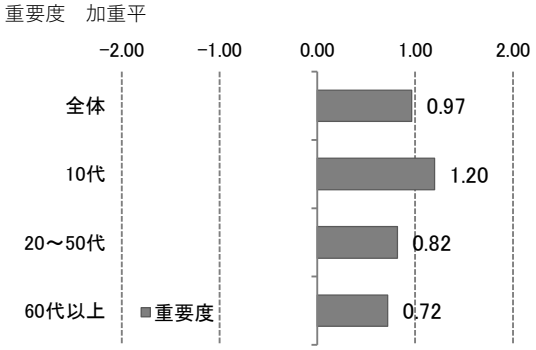


1ー⑮　市　民_　20 商店街の活性化と商業の振興
中高生_　12 日々の買い物が便利である

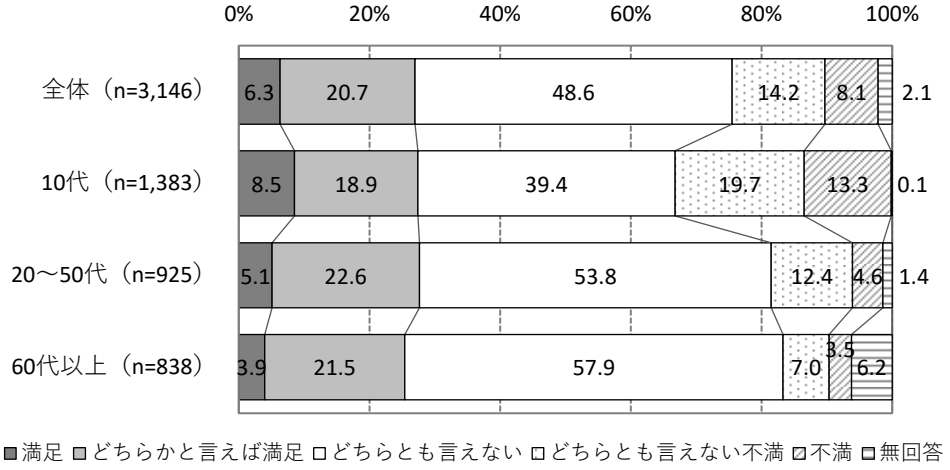


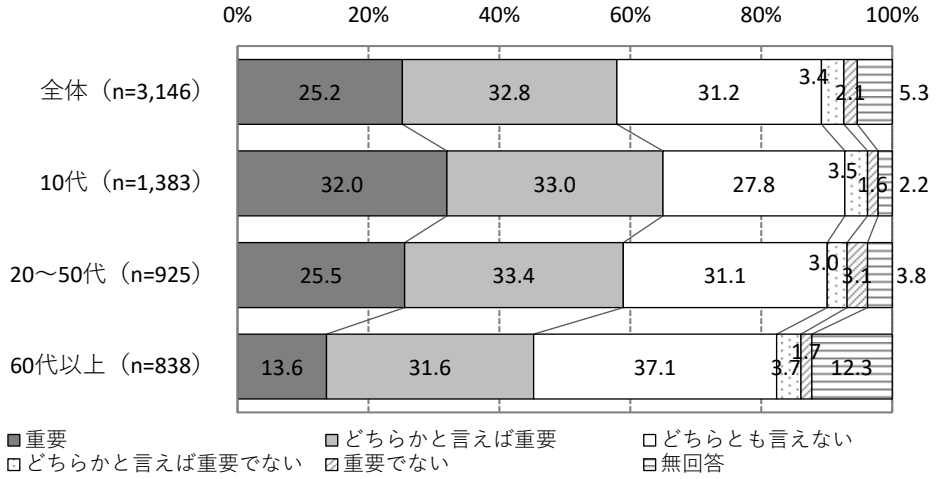


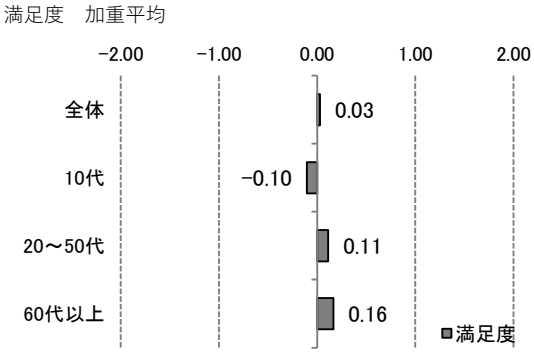


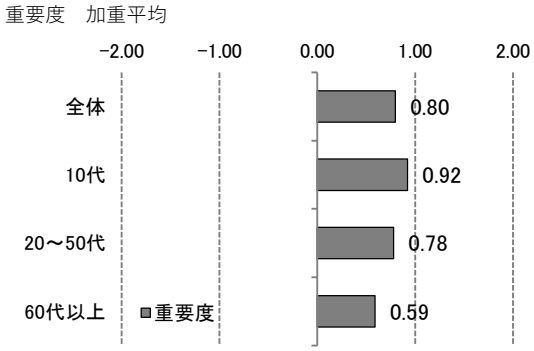


1ー⑯　市　民_　21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
　　中高生_　13 観光地やレジャー施設が充実している

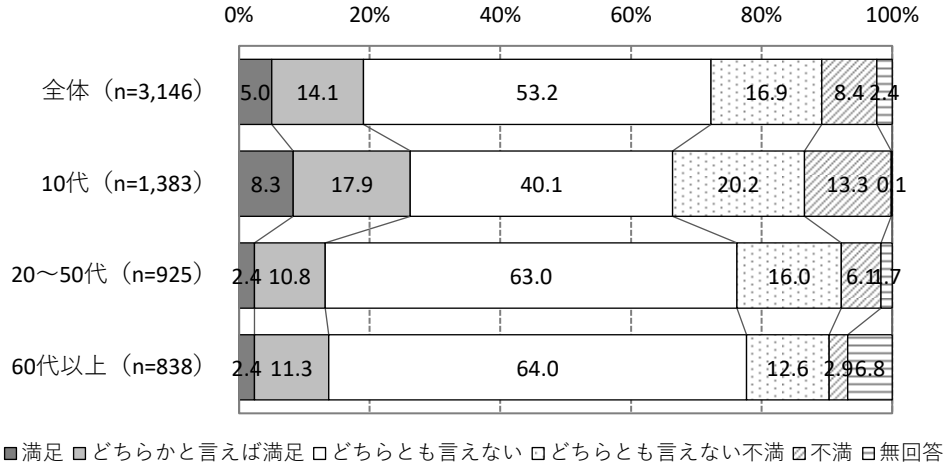


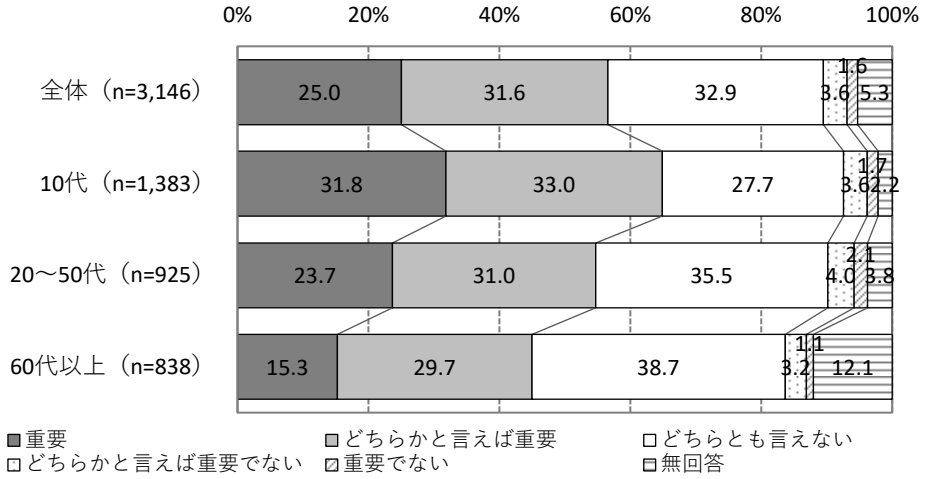


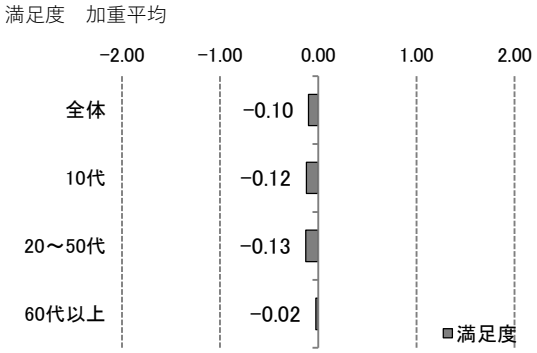


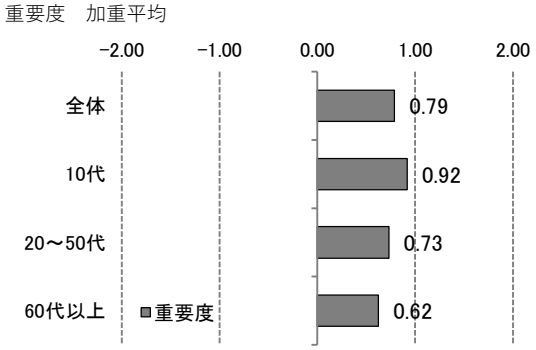


1ー⑰　市　民_　22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発
　　中高生_　13 観光地やレジャー施設が充実している

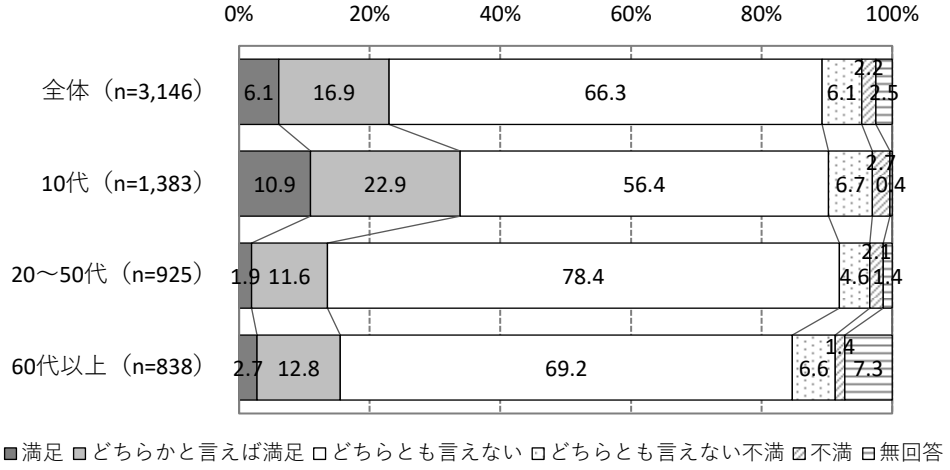


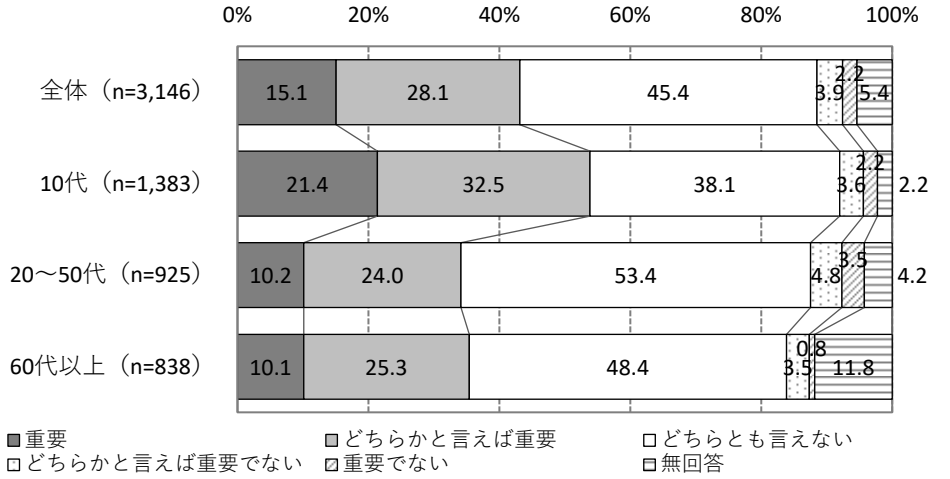


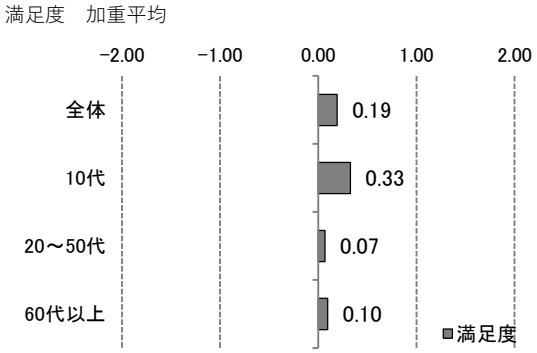


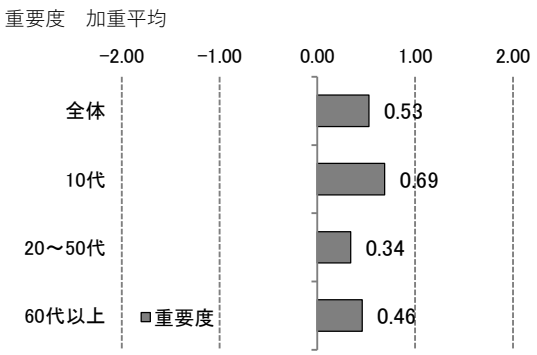


1ー⑱　市　民_　39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
中高生_　14 地域のボランティア団体などが充実している

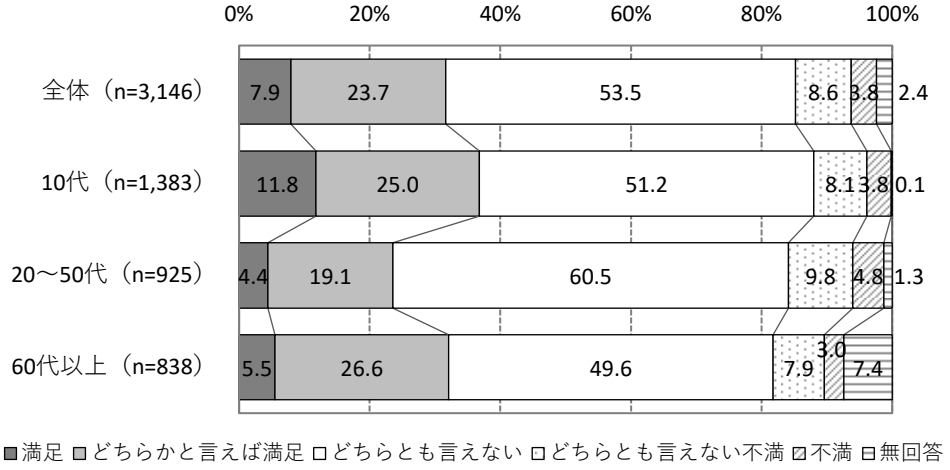


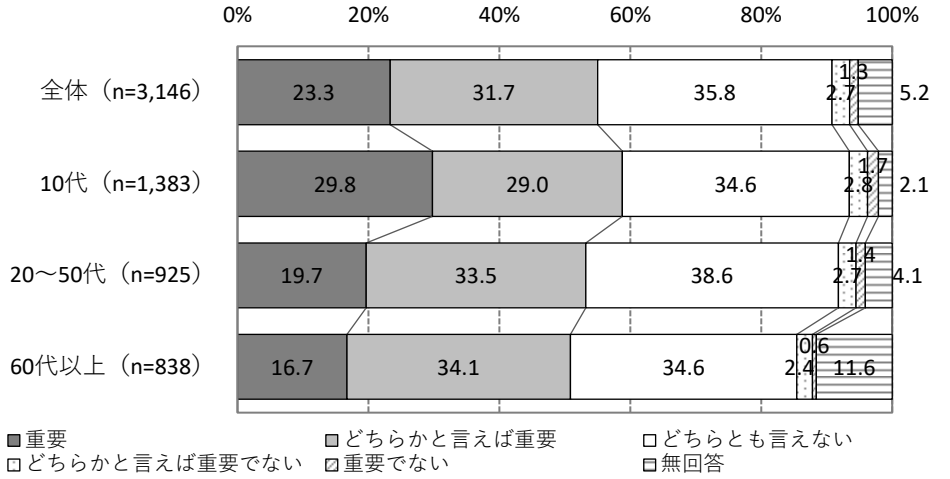


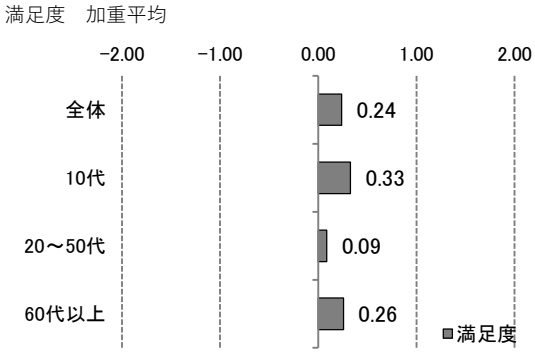


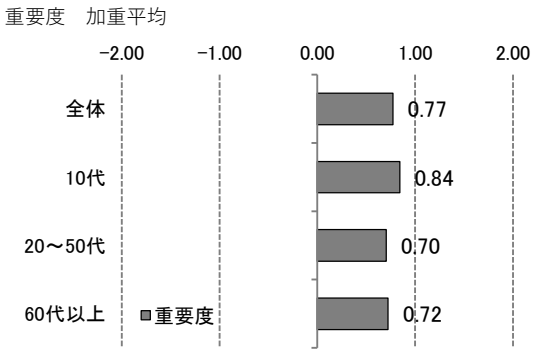


1ー⑲　市　民_　43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
　　中高生_　15 市からの情報が充実している

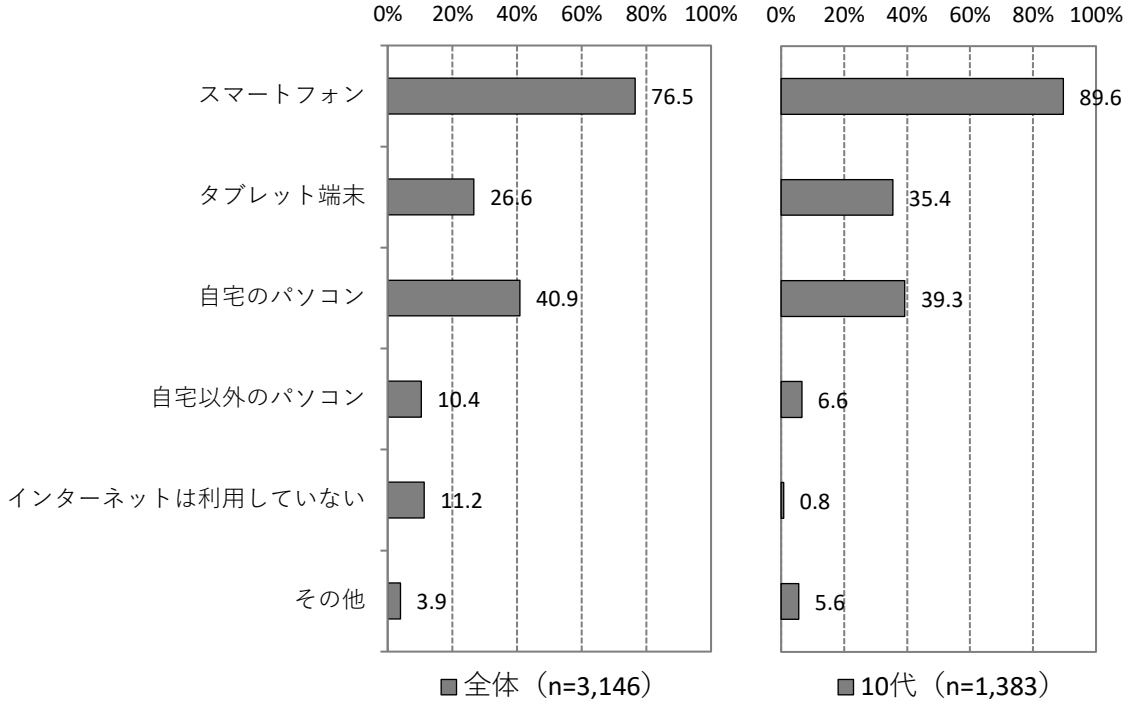


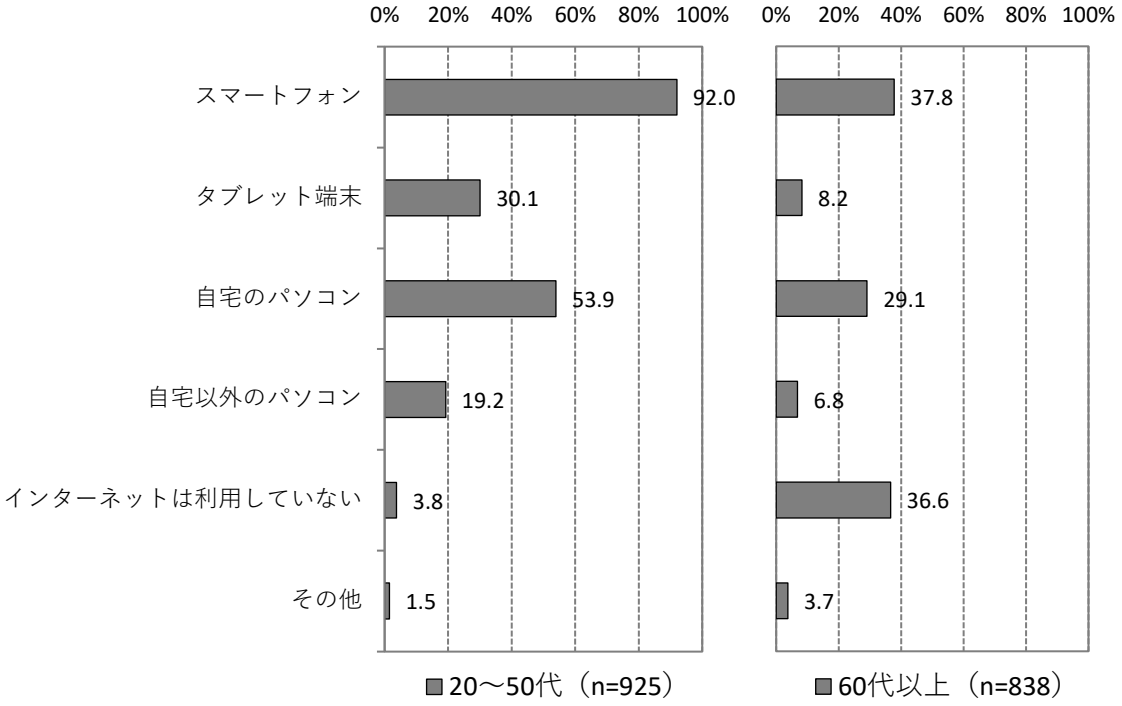






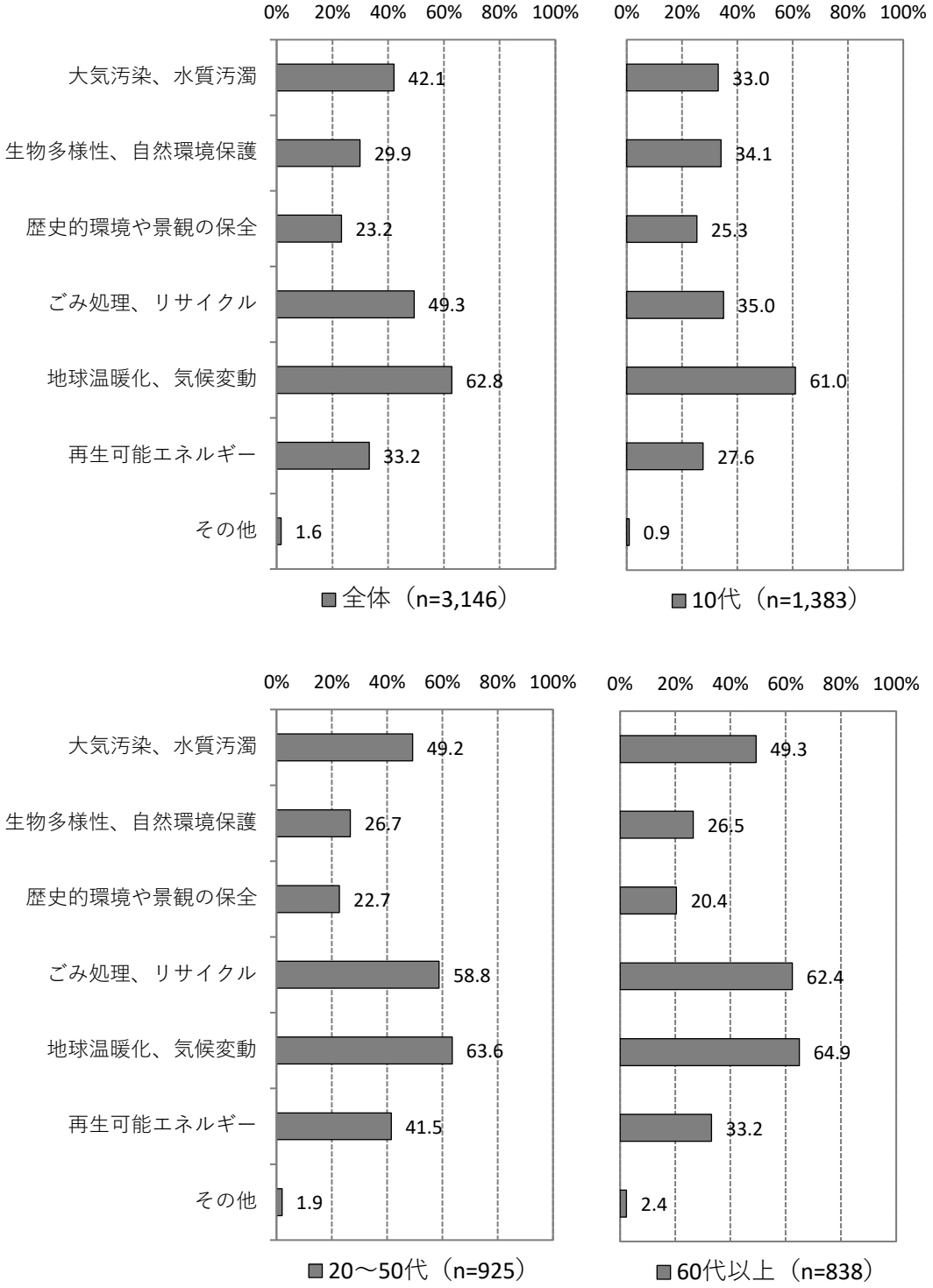
2　インターネットについて
インターネットの利用手段



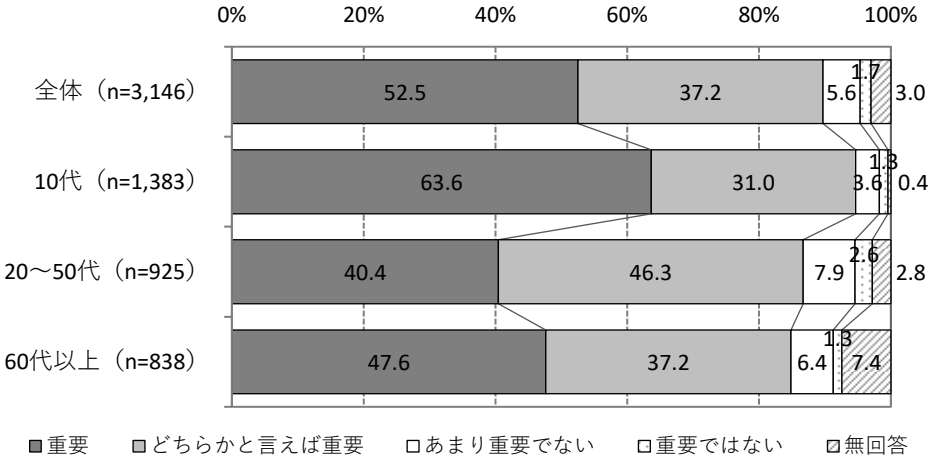


3　環境問題について

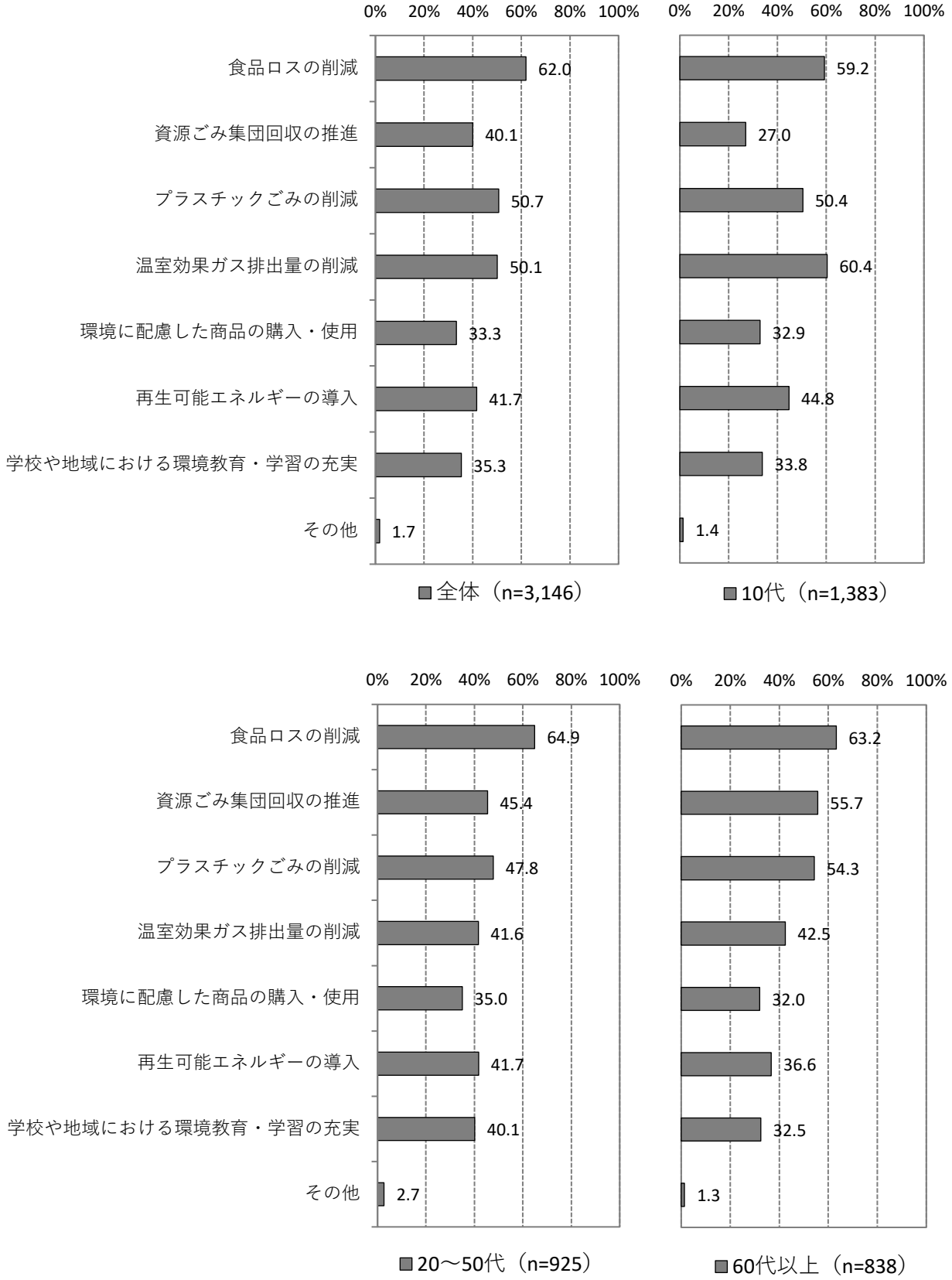
関心のある環境問題



低炭素社会・循環型社会への取組

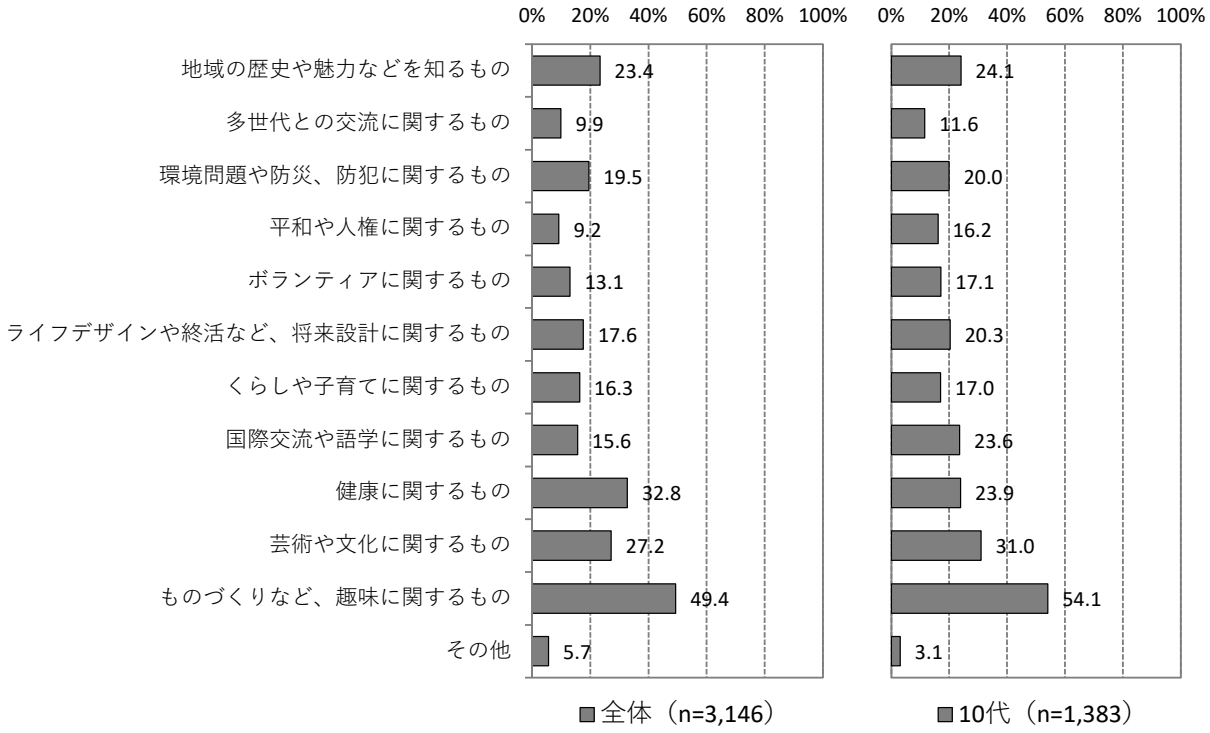


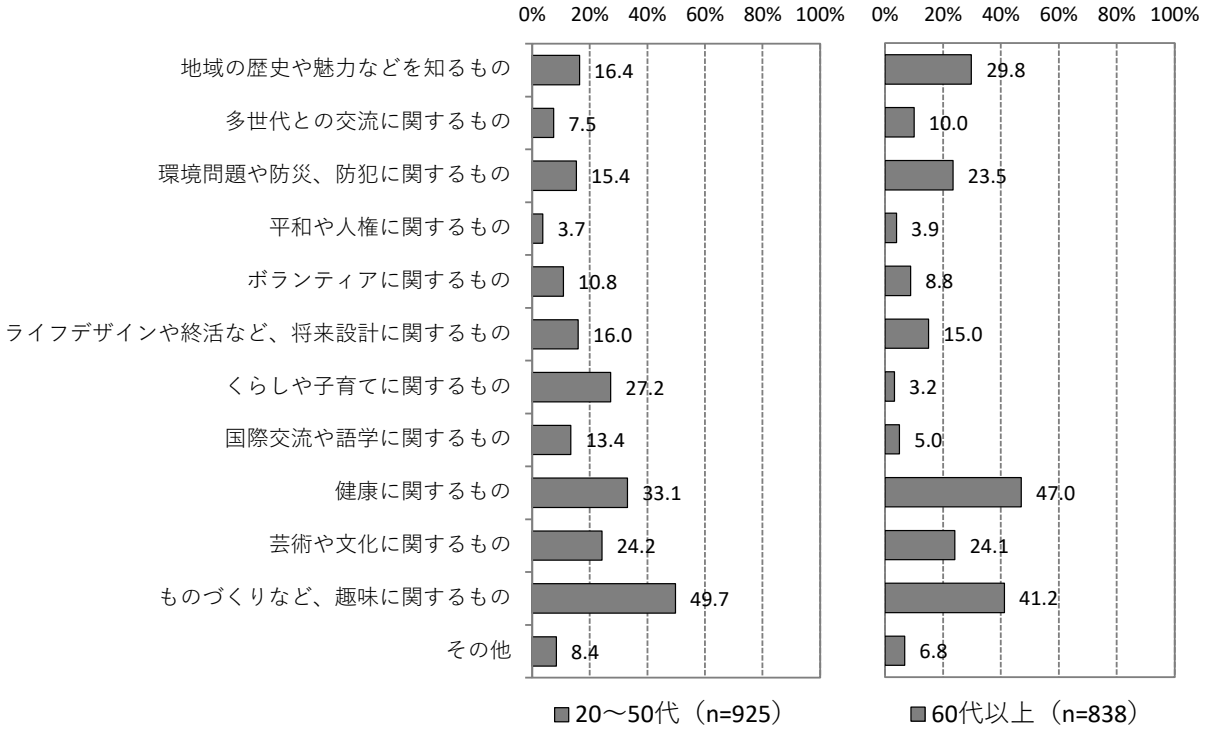
持続可能な社会の実現に向けた取組



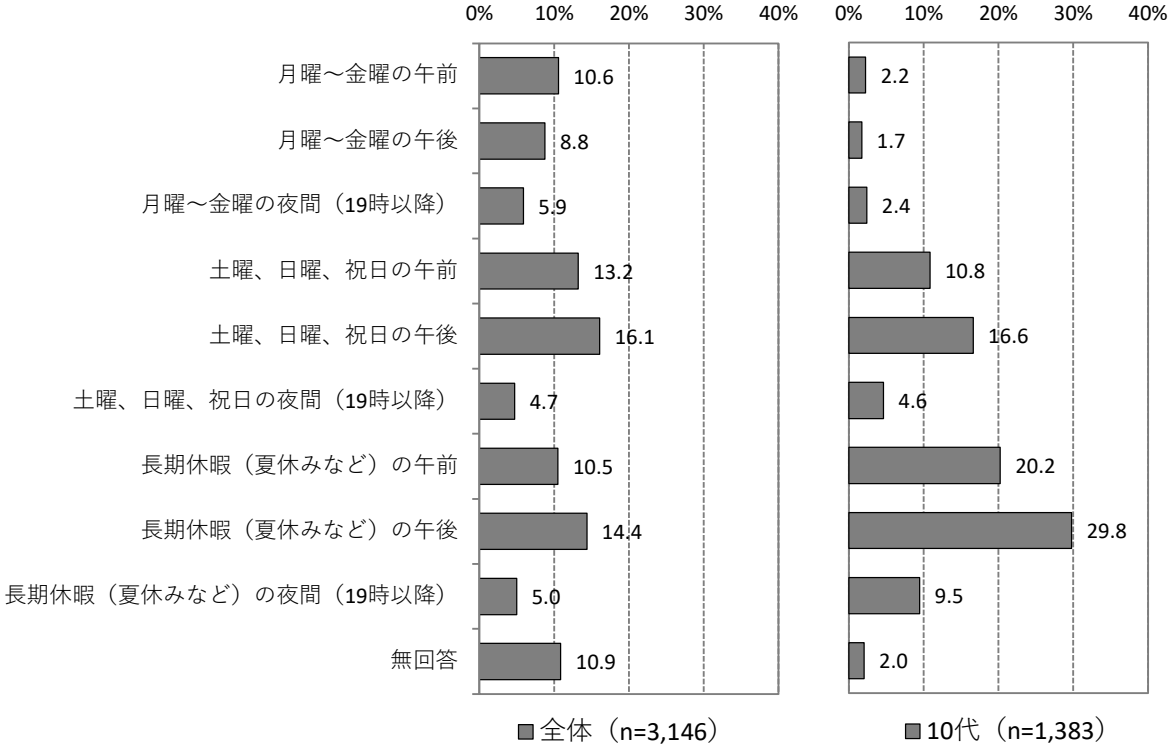
4　公民館について

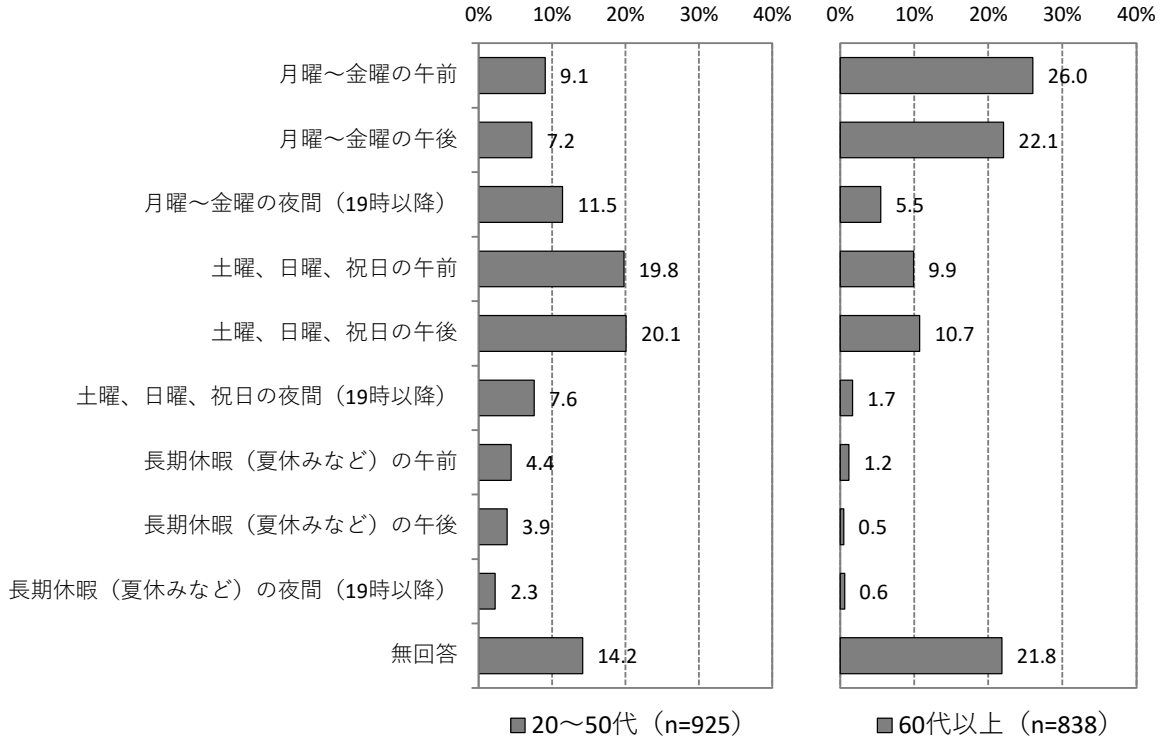
参加したいと思う公民館の講座やイベント



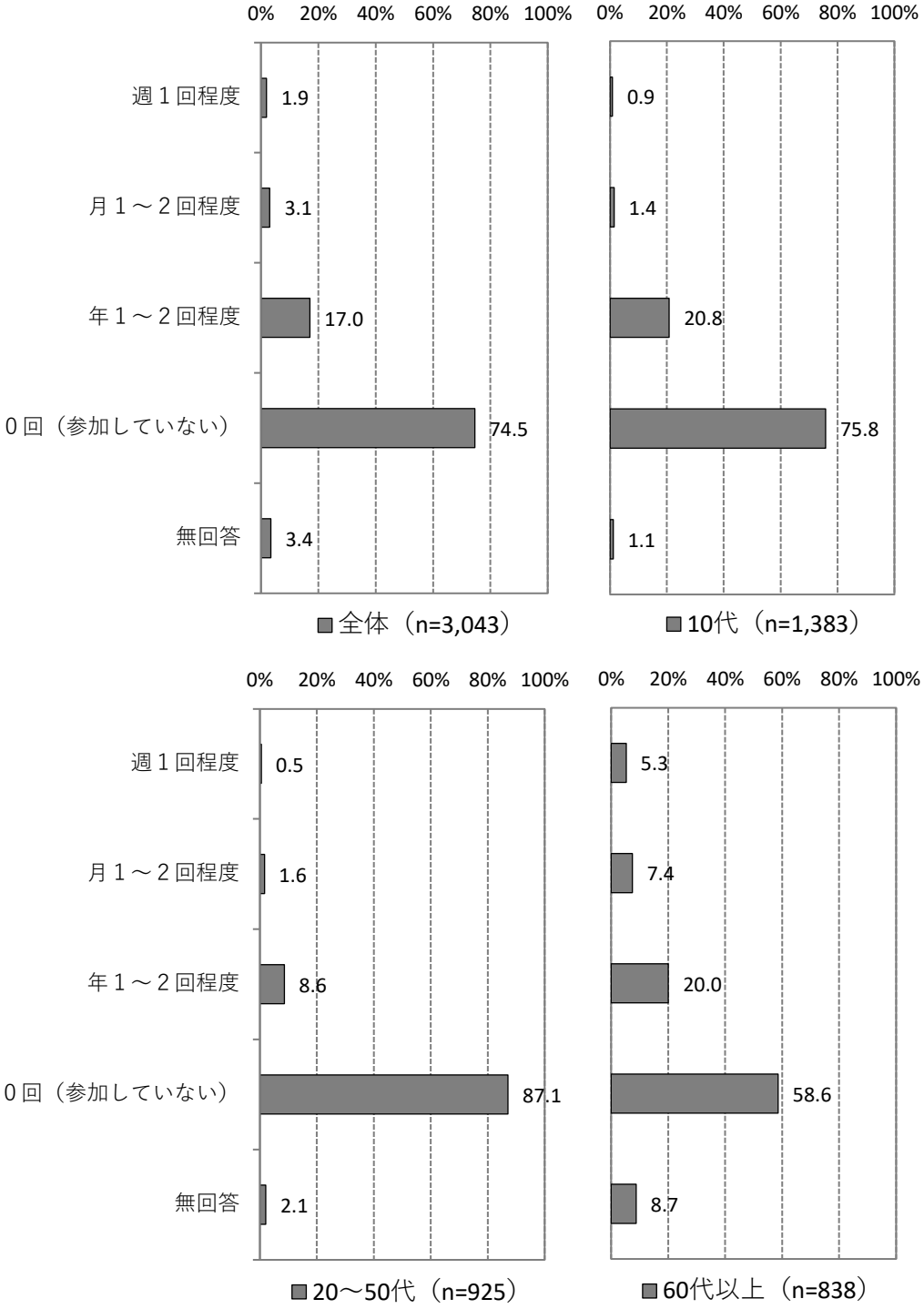


公民館の講座やイベントで参加しやすい時間・時期



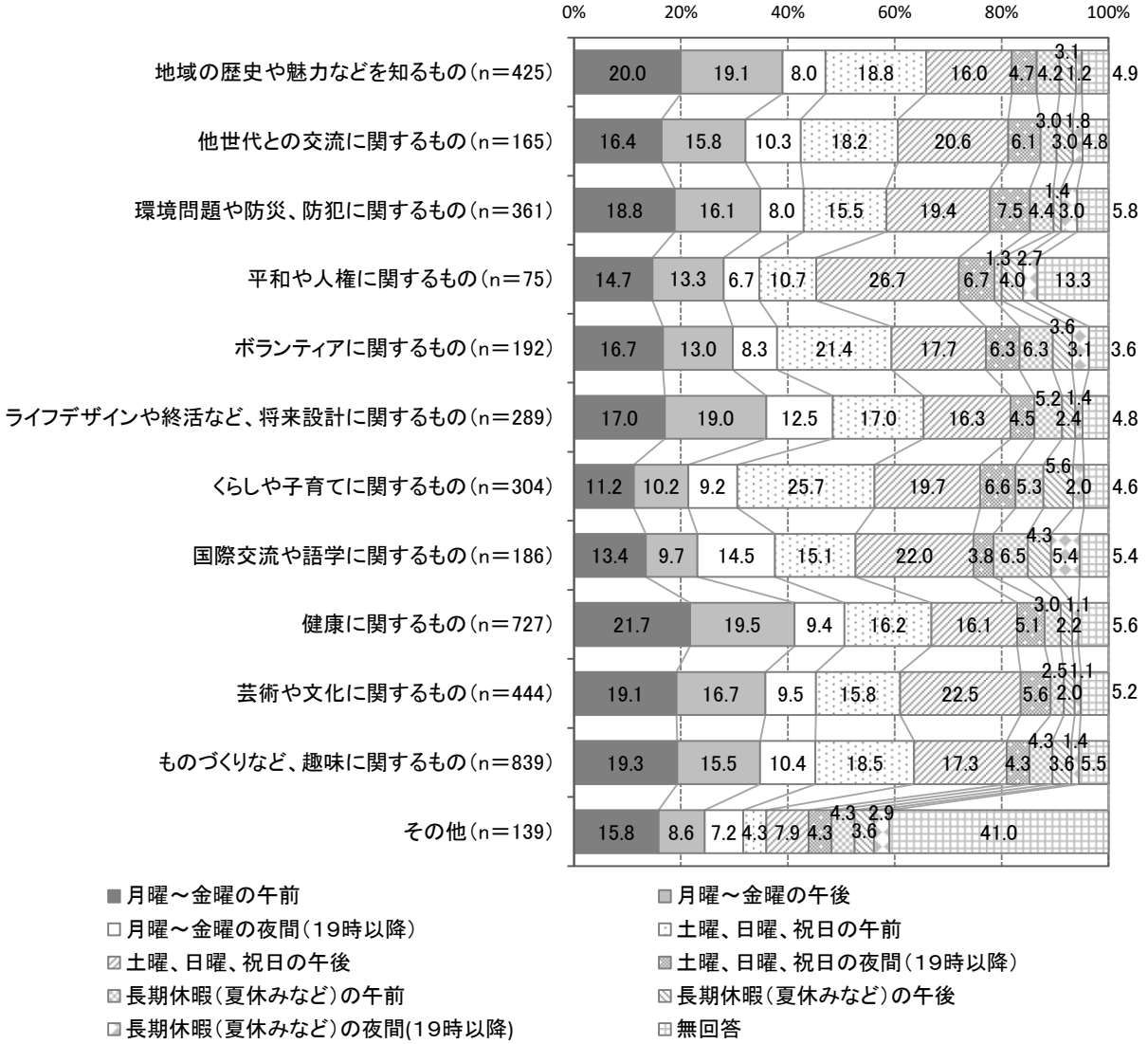


公民館の講座やイベントなどの利用頻度

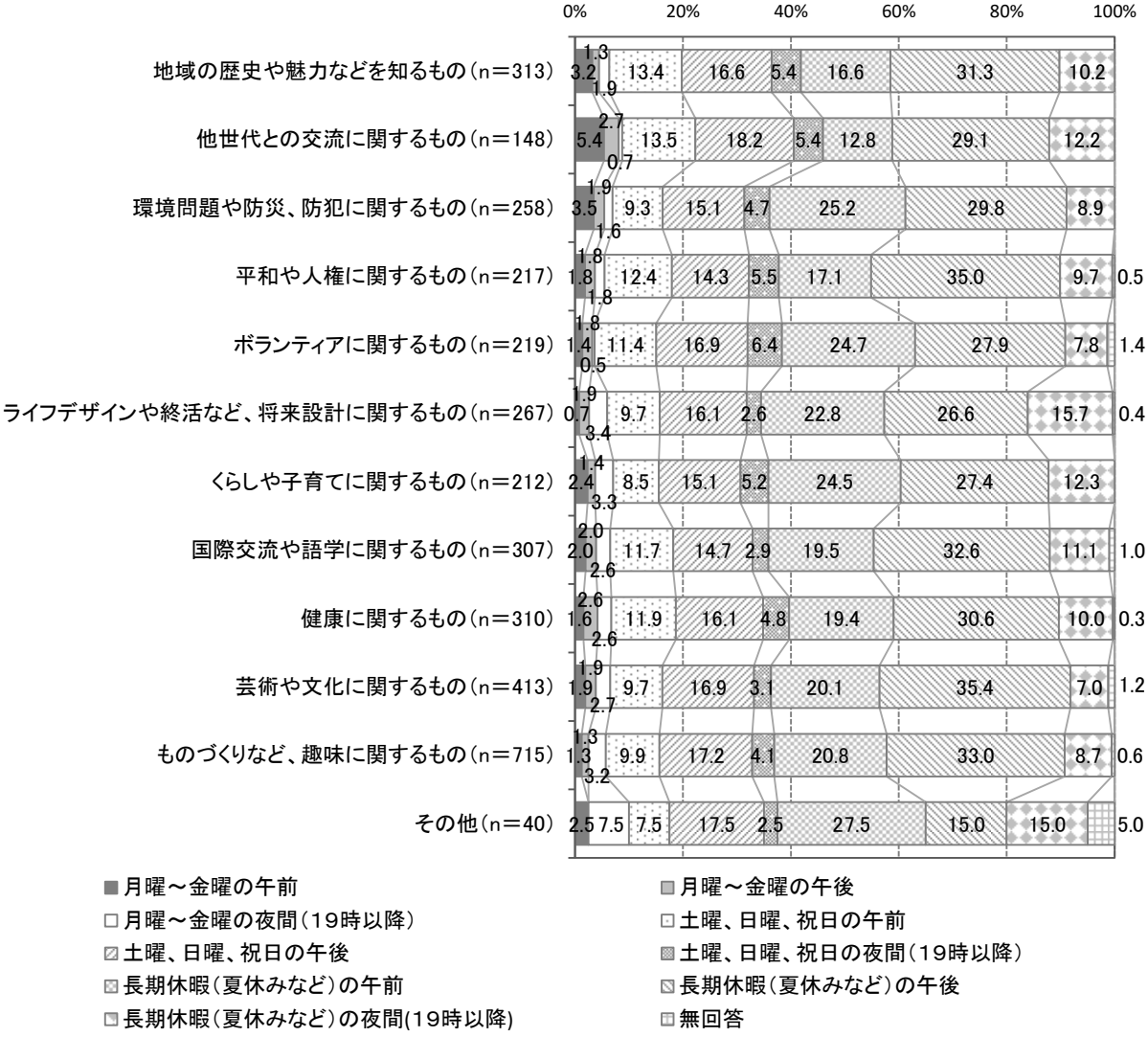


６．参加したいと思う公民館の講座やイベントと参加しやすい時間・時期のクロス集計

市民意識調査（問２２と問２３）



中学生・高校生意識調査（問８と問９）



７．調査票

令和２年度 渋川市市民意識調査

市民意識調査ご協力のお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、市の将来像「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」の実現に向けて、行財政運営を行っています。

この調査は、市の取組などについて評価や意見をいただき、これからのまちづくりにいかすため、市内在住の１８歳以上の方の中から無作為に抽出した４，０００人を対象に実施するものです。

なお、本調査の結果につきましては、各事業の見直しや改善、翌年度の予算編成等の参考とさせていただくとともに、ホームページ等で公表する予定です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和２年１０月

渋川市長　　髙　木　　勉

ご記入に当たって

1　回答は、**宛名のご本人**が記入してください。
2　回答は、無記名です。**氏名・住所は記入しないでください。**
3　回答は、次の要領で行ってください。
- ■ **選択肢の中から、あてはまる選択肢の番号を○印**をつけてください。
- ■ ○印の数は、質問ごとに「３つまで選んで○」「あてはまるもの全てに○」などの指定に合わせてください。
- ■ 「その他」を選んだ場合は、（　）内に具体的な内容を記入してください。

4　回答内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、回答内容は統計的に処理しますので、回答いただいた方が特定されることはありません。

調査票の提出方法

同封の返信用封筒に入れて、

令和２年 **１１月１７日（火）** までにご投函ください（切手不要）。

【お問合せ先】渋川市 総合政策部 政策創造課 企画戦略係
電話：０２７９－２２－２３９６　ＦＡＸ：０２７９－２４－６５４１
E-mail：hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

1．　男	2．　女

【2】あなたの年代は、どれですか。1つ選んで○をつけてください。

1．　１０代	5．　５０代
2．　２０代	6．　６０代
3．　３０代	7．　７０代以上
4．　４０代	

【3】あなたの主なご職業は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

1．　正社員・正職員	6．　家事専業
2．　派遣・嘱託・契約社員	7．　学生
3．　パート・アルバイト	8．　無職
4．　自営業（農林水産関連）	9．　その他（　　）
5．　自営業（商工関連）	

【4】あなたの家族構成は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

1．　一人暮らし	4．　三世代同居
2．　夫婦のみ	5．　その他（　　）
3．　二世代同居	

【5】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

1．　渋川地区	4．　子持地区
2．　伊香保地区	5．　赤城地区
3．　小野上地区	6．　北橘地区

【6】あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

1．　3年未満	4．　１０年以上２０年未満
2．　3年以上5年未満	5．　２０年以上３０年未満
3．　5年以上１０年未満	6．　３０年以上

市政との関わりについてお伺いします。

【問１】あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	進んだ	４．	どちらかと言えば進んでいない
２．	どちらかと言えば進んだ	５．	進んでいない
３．	どちらとも言えない		

【問２】あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	向上している	４．	どちらかと言えば向上していない
２．	どちらかと言えば向上している	５．	向上していない
３．	どちらとも言えない		

【問３】あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	住み続けたい	３．	市外に移りたい
２．	一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい	４．	わからない

市の現状の評価についてお伺いします。

【問４】あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。次の１～４８の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の５段階評価の中から、<u>１つずつ選んで</u>○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
（例）	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	災害などの発生に備える防災機能の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	安心して暮らせる防犯体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	移住・定住環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	公共下水道整備や水洗化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	すこやかな生活のための健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	市民が安心して受診できる医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	生涯スポーツ、競技スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
１５	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１６	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１７	国民健康保険の円滑な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１８	豊かな自然をいかした農林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
１９	創業・活性化支援による工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２０	商店街の活性化と商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２１	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２２	地域資源の活用による新たな観光資源の開発	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２３	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２４	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２５	生活に身近な道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２６	使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２７	良好な市街地の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２８	自然景観や歴史的景観などを守る活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
２９	身近な公園などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３０	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３１	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３２	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
３３	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３４	小・中学校の教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３５	小・中学校の施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３６	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３７	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３８	地域に残る文化財の保護、伝統の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
３９	地域づくり団体などの活動基盤の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４０	人権意識の向上と平和な社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４１	あらゆる分野での男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４２	国内外の交流都市との交流連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４３	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４４	公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４５	情報通信技術の活用などによる情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４６	無駄のないスリムな行財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４７	市有地や公共施設などの適正な管理・運用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
４８	周辺自治体との連携による業務の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

男女共同参画についてお伺いします。

【問５】あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	そう思う	４．	そう思わない
２．	ややそう思う	５．	どちらとも言えない
３．	あまりそう思わない	６．	分からない

移住・定住についてお伺いします。

【問６】渋川市では、保育料を完全無料化しています。また、学校給食費を完全無料化し、市が負担しています。あなたは、人口減少が進む中、渋川市に住み続けてもらうためのこれらの取組をどう考えますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	どちらの取組も、必要である	４．	どちらの取組も、不要である
２．	保育料の無料化は、必要であるが、学校給食費の無料化は、不要である	５．	分からない
３．	保育料の無料化は、不要であるが、学校給食費の無料化は必要である		

【問７】渋川市では、住宅を取得して他の市から転入する世帯に対し、基本１０万円、加算額を含んで最大５０万を支援する「移住者住宅支援制度」を行っています。あなたは、この制度が移住者の増加につながると思いますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	移住者の増加につながる	３．	分からない
２．	移住者の増加につながらない		

【問８】あなたは、渋川市に住み続けてもらうための市の取組として、どのような取組が効果があると思いますか。**当てはまるもの全てに**○をつけてください。

１．	保育料の無料化	５．	効果のある取組はない
２．	学校給食費の無料化	６．	分からない
３．	住宅取得時の補助金	７．	その他（　　）
４．	通勤費の補助金		

【問９】渋川市内に、**持ち家の**ご自宅やご実家がある方のみお答えください。
あなたのご自宅やご実家が、今後５年以内に空き家になる可能性はありますか。
１つ選んで○をつけてください。

１．	自宅が、空き家になる可能性がある	４．	実家が、既に空き家となっている
２．	実家が、空き家になる可能性がある	５．	自宅または実家は、空き家になる可能性はない
３．	自宅と実家の両方が、空き家になる可能性がある		

【問１０】前問【問９】で、選択肢１～４を選んだ人にお伺いします。
今後５年以内に空き家になる可能性があるご自宅またはご実家は、渋川市内のどの地区にありますか。**当てはまるもの全てに**○をつけてください。

１．	渋川地区	４．	子持地区
２．	伊香保地区	５．	赤城地区
３．	小野上地区	６．	北橘地区

インターネットの利用環境についてお伺いします。

【問１１】あなたは、インターネットを利用するとき、どのような手段を使いますか。**当てはまるもの全てに**○をつけてください。

１．	スマートフォン	４．	自宅以外のパソコン
２．	タブレット型端末	５．	インターネットは利用していない
３．	自宅のパソコン	６．	その他（　　）

環境問題についてお伺いします。

【問１２】あなたは、次の環境に関する項目の中で、どのようなことに関心がありますか。**当てはまるもの全てに**○をつけてください。

１．	大気汚染、水質汚濁	５．	地球温暖化、気候変動
２．	生物多様性、自然環境保護	６．	再生可能エネルギー
３．	歴史的環境や景観の保全	７．	その他（　　）
４．	ごみ処理、リサイクル		

【問１３】あなたは、持続可能な社会の実現へ向けた、低炭素社会・循環型社会への取組について、どう考えますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	重要	３．	あまり重要ではない
２．	どちらかといえば重要	４．	重要ではない

【問１４】あなたは、持続可能な社会の実現へ向けて、どのような取組が重要だと思いますか。**当てはまるもの全てに**○をつけてください。

１．	食品ロスの削減	５．	環境に配慮した商品の購入・使用
２．	資源ごみ集団回収の推進	６．	再生可能エネルギーの導入
３．	プラスチックごみの削減	７．	学校や地域における環境教育・学習の充実
４．	温室効果ガス排出量の削減	８．	その他（　　）

老人福祉センターについてお伺いします。

【問１５】あなたは、老人福祉センター（渋川老人福祉センター、小野上地域福祉センター、子持老人福祉センター）を知っていますか。**１つ選んで**○をつけてください。
※「老人福祉センター」とは、高齢者が無料で風呂、カラオケなどを利用できる福祉施設です。

１．	知っている	２．	知らない

【問１６】あなたは、老人福祉センターを現在利用していますか。または、将来利用したいですか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	現在利用している、または将来利用したい	３．	将来利用したいか分からない
２．	現在利用していない、または将来利用したくない		

【問１７】外部有識者で組織された「渋川市社会福祉施設等のあり方検討委員会」において、平成２３年１０月にまとめた報告書では、渋川老人福祉センターは「廃止の検討をすべき」とされています。あなたは、渋川老人福祉センターの今後の方向性について、どう考えますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	廃止すべき	３．	さらに充実すべき
２．	継続すべき	４．	分からない

【問１８】前問【問１７】のように回答した理由は何ですか。（ご自由にお書きください。）

がん検診の受診についてお伺いします。

【問１９】あなたは、平成３１年４月から令和２年３月までに、次のがん検診を受けましたか。それぞれの検診ごとに**１つ選んで**○をつけてください。

①胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ）による撮影など）

１．　受けた	２．　受けなかった

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

１．　市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）	３．　人間ドック
２．　勤め先または健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診	４．　その他（個人的に医療機関にて受診など）

②肺がん検診（胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など）

１．　受けた	２．　受けなかった

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

１．　市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）	３．　人間ドック
２．　勤め先または健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診	４．　その他（個人的に医療機関にて受診など）

③大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）

１．　受けた	２．　受けなかった

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

１．　市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）	３．　人間ドック
２．　勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診	４．　その他（個人的に医療機関にて受診など）

【問２０】女性のみお答えください。
あなたは、平成３１年４月から令和２年３月までに、次のがん検診を受けましたか。それぞれの検診ごとに**１つ選んで**○をつけてください。

①子宮がん（子宮頸がん）検診（子宮の細胞診検査など）

１．	受けた	２．	受けなかった

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

１．	市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）	３．	人間ドック
２．	勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診	４．	その他（個人的に医療機関にて受診など）

②乳がん検診（マンモグラフィ撮影や乳房超音波検査など）

１．	受けた	２．	受けなかった

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

１．	市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）	３．	人間ドック
２．	勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診	４．	その他（個人的に医療機関にて受診など）

【問２１】前々問【問１９】、前問【問２０】のがん検診を受けなかった人にお伺いします。
あなたが、がん検診を受けなかった理由は何ですか。**あてはまるもの全てに**○をつけてください。

１．	知らなかったから	７．	毎年受ける必要性を感じないから
２．	時間がとれないから	８．	健康状態に自信があり、必要性を感じないから
３．	場所が遠いから	９．	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
４．	費用がかかるから	１０．	結果が不安なため、受けたくないから
５．	検査等に不安があるから	１１．	面倒だから
６．	検診の時に医療機関に入通院していたから	１２．	その他

公民館についてお伺いします。

【問２２】あなたが、参加したいと思う公民館の講座やイベントは何ですか。**３つ選んで**○をつけてください。

１．	地域の歴史や魅力などを知るもの	７．	くらしや子育てに関するもの
２．	他世代との交流に関するもの	８．	国際交流や語学に関するもの
３．	環境問題や防災、防犯に関するもの	９．	健康に関するもの
４．	平和や人権に関するもの	１０．	芸術や文化に関するもの
５．	ボランティアに関するもの	１１．	ものづくりなど、趣味に関するもの
６．	ライフデザインや終活など、将来設計に関するもの	１２．	その他（　　）

【問２３】あなたが、公民館の講座やイベントなどに参加しやすいのはいつですか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	月曜～金曜の午前	６．	土曜、日曜、祝日の夜間（１９時以降）
２．	月曜～金曜の午後	７．	長期休暇（夏休みなど）の午前
３．	月曜～金曜の夜間（１９時以降）	８．	長期休暇（夏休みなど）の午後
４．	土曜、日曜、祝日の午前	９．	長期休暇（夏休みなど）の夜間（１９時以降）
５．	土曜、日曜、祝日の午後		

【問２４】あなたは、公民館の講座やイベントなどにどの位の頻度で参加していますか。**１つ選んで**○をつけてください。

１．	週１回程度	３．	年１～２回程度
２．	月１～２回程度	４．	０回（参加していない）

市政についてお伺いします。

【問２５】あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。

令和２年**１１月１７日（火）**までにご投函ください。